Ⅰ．はじめに

北海道大学医学部保健学科は，平成15年10月１日に設置されました。北海道大学における看護師，助産師，診療放射線技師，臨床検査技師，理学療法士，ならびに作業療法士の教育は，20数年にわたる北海道大学医療技術短期大学部での３年制の教育から，４年制大学での教育に大きく転換されました。北海道大学における保健医療職種の教育は，沿革にあるようにさらに古い歴史があり，それらの伝統を踏まえて保健学科の教育はスタートしました。

皆さんには，４年間の課程の中で医療を担うにふさわしい人間性と，高度医療を支える医学知識と技術を身につけて欲しいと思います。本学生便覧は，これからの学生生活を，有意義に過ごすために必要な決まり事，科目履修の仕方，学生生活案内などが詳細に書かれている，いわば大学生活のガイドブックであります。入学に際し，まず一通り本書をお読みいただくとともに，何か困ったことがおこった時には本書を利用して，快適な学生生活を送られることを期待します。

Ⅱ．沿　　革

北海道大学医学部保健学科は，2003（平成15）年10月，北海道大学医療技術短期大学部の改組により，看護学専攻，放射線技術科学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻の５専攻をもって設置された。

北海道大学における上記の各専攻に関する保健医療職種の教育としては，医学部の設置の翌年，すなわち1920（大正９）年９月にまず看護師，次いで1921（大正10）年10月に助産師，第２次世界大戦後の1956（昭和31）年４月には診療放射線技師，1966（昭和41）年４月に臨床検査技師の教育が，医学部内に設置された各々の附属学校において開始された。また，理学療法士・作業療法士の教育は，1981（昭和56）年４月，北海道大学医療技術短期大学部で開始された。

本学科の設置は，このような保健医療技術者養成の長い歴史を踏まえて，北海道大学における４年制教育として実施されるに至ったことを意味している。

Ⅲ．概　　要

１．教育目標

保健学科では，札幌農学校以来の北海道大学の教育理念である「フロンティア・スピリット」，「国際性の涵養」，「全人教育」，「実学の重視」を踏まえ，社会的要請に対応しうる保健学に関わる知的能力と意欲に優れた保健医療人の養成を目的に，以下の教育目標を掲げる。

⑴豊かな人間性を育む全人教育

保健医療人には，患者の気持ちを十分に汲み取れる豊かな人間性と高い倫理性が求められる。４年制一貫教育を通じて，広く人間・社会・環境を理解し，深い洞察力と総合的な判断力を身につける全人教育を行う。

⑵保健医療に対する総合的視野と専門的知識・技術を身に付ける教育

医学医療がめざましく進歩する今日，保健医療人には高度に専門分化した知識と技術の習得とともに，保健医療から福祉に至る領域までを見通せる視野が求められる。本学では幅広い視野と確実な知識・技術を身に付ける教育を行う。

⑶国際的視野をもった保健医療従事者の育成

21世紀の保健医療人には，先進諸国との交流や途上国への援助など，これまで以上に広い国際的

視野が求められる。このため，外国語や教養科目などの全学教育や国際保健学などの専門科目を通じて国際性を涵養する教育を行う。

⑷フロンティア・スピリットをもった指導者・教育研究者の育成

保健学の確立を目指した研究を推進し，先端的技術や学理を発展させ，リーダーシップを持って後進の指導が可能な指導者，教育研究者の育成をめざす。

２．アドミッションポリシー（求める学生像）

１）他人の痛みを理解でき，感性豊かで人間性あふれる学生

２）高い倫理観を持ち，協調性のある学生

３）周囲の状況を的確に把握し，自分を冷静にコントロールできる学生

４）向上心を持ち，自ら進んで学習する意欲のある学生

３．ディプロマポリシー（ＤＰ）・カリキュラムポリシー（ＣＰ）

１）医学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

医学部では，本学の４つの基本理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）の下，人類の健康増進に資するための体系的な教育を行うことにより，豊かな人間性，高い倫理観および国際的視野を備え，医学，医療又は生命科学の実践および発展に寄与する人材を養成することを教育目標としています。

医学部では，この目標とする人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）を学科毎に定め，当該能力を身につけ，かつ，所定の単位を修得した学生に学士の学位を授与します。

２）保健学科の学位授与水準

保健学科では，医学部の教育目標に基づき，①豊かな人間性を育む全人教育，②保健医療に対する総合的視野と専門的知識･技術を身につける教育，③国際的視野を持った保健医療従事者の育成，④フロンティア・スピリットを持った指導者・教育研究者の育成，を教育目標として，次の能力をもつと認められる学生に対し，学士の学位を授与します。

【知識・理解】

・保健科学・看護学のリーダーとしての幅広い教養と高い専門性を身につけている。

・保健科学・看護学の実践者としての専門知識およびその知識体系を身につけている。

・保健科学・看護学を取り巻く文化・歴史・社会・環境を理解することができる。

【汎用的技能】

・多様化・複雑化する課題を発見し，その本質を理解できる能力を身につけている。

・課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる能力を身につけている。

・高い学問的および臨床的な探究心を有し，幅広く社会に還元することができる。

【態度・志向性】

・保健科学・看護学をリードし，チーム医療を実践できる能力を身につけている。

・保健科学・看護学の実践者・研究者として，社会的責任感と自己管理能力を身につけている。

・多様化する価値観の中で，高い倫理観を有し，実践することができる。

・生涯にわたって最新の保健科学・看護学を理解し，実践することができる。

３）医学部の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学部では，人類の健康増進に資するための体系的な教育を行うことにより，豊かな人間性，高い倫理観および国際的視野を備え，医学，医療又は生命科学の実践および発展に寄与する人材を養成する目的を達成するため，医学を学ぶ医学科と，看護学，放射線技術科学，検査技術科学，理学療法学，作業療法学を学ぶ保健学科を設置し，専門家および研究者を養成する基礎となる体系的な教育を展開します。これらの学科では，全学共通の「全学教育科目」と体系的に配置された「専門

科目」をもって，学士課程（医学科では６年間，保健学科では４年間）における教育課程を編成します。

専門科目では，学科毎にカリキュラム・ポリシーを定め，それぞれ育成する人材像に沿ったカリキュラムを編成し，実施します。

４）保健学科の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学部保健学科では，学位授与水準に定めた能力を持つ人材を育成することを目標として，以下のとおりカリキュラムを編成し，実施します。

・主に１年次学生を対象とする全学教育科目では，専攻する分野にかかわらず，本学の学生であれば当然身につけておかなければならない共通の素養として，高いコミュニケーション能力，人間や社会の多様性への理解，独創的かつ批判的に考える能力，社会的な責任と倫理を身につけることを目的として，カリキュラムを編成します。具体的には「一般教育演習」,「総合科目」,「主題別科目」,「外国語科目」,「外国語演習」,「共通科目」に区分される教養科目（コアカリキュラム）を開講します。

また，専門科目を学ぶ心構え，基礎知識を身につけることができるように，基礎科目を開講します。

・２年次以降では，看護学，放射線技術科学，検査技術科学，理学療法学，作業療法学の５専攻に分かれ，それぞれの専攻に関する専門性を深めるため，専門科目を開講します。専門科目では，医療を担うにふさわしい人間性と，高度医療を支える医学知識と技術を身につけることを目的として，教育課程を編成しています。

『看護学専攻』

・２年次では、看護学の基礎能力を養うため、社会保障・福祉論、保健医療概論、公衆衛生学概論、医療統計学、栄養学などの保健医療福祉領域の基礎的理解を深める科目、保健解剖学、保健生理学、保健薬理学、成人健康障害論、病理学概論などの人体の構造・機能や疾病、病態に関する理解を深める科目、そして看護学概論、看護過程論などの看護学の基本となる科目、そして看護ヘルスアセスメント、生活援助看護技術などの基礎的な看護技術に関する科目を配置し、基礎看護学実習Ⅰで看護実践の場や対象について理解を深める。

・３年次では、２年次に学んだ基礎知識をもとに、看護の対象となる人と環境を理解し、科学的根拠に基づく看護学の実践と専門職としての倫理観の習得に向けて、成人看護学援助論、老年看護学援助論、精神看護学援助論、母性看護学援助論、小児看護学援助論、在宅看護学援助論などの臨床看護学に関連する科目とともに、環境保健学、健康と疫学などの環境、地域に関連する科目を配置する。更に、基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学実習Ⅰ、母性看護学実習、小児看護学実習、地域看護学実習を配置し、看護実践に関連する基本となる能力を獲得する。２年次と３年次の学習を通じて、学位授与水準に定めた【知識・理解】の能力の向上を図る。

・４年次では、学位授与水準に定めた【汎用的能力】【態度・志向性】の能力を向上するために、「看護学実習」と「卒業研究」および複数の選択科目を配置する。成人看護学実習Ⅱ、老年看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習、および看護統合実習を配置し、大学病院での急性期ケアから地域における在宅療養までを含む多様な健康ニーズに対応しつつ、他職種と連携しながらチーム医療を実践し、ヘルスケアをマネジメントする基礎能力の獲得を目指す。看護倫理、看護教育・管理、先端医療と看護、災害看護論、ヘルスプロモーション看護、リハビリテーション看護、エンド･オブ･ライフケア、実践医療英語などの科目を配置する。卒業研究では、自己の課題とともに看護学の課題を探究するための研究能力の向上を図る。

『放射線技術科学専攻』

・２年次では，放射線技術科学の基礎能力を養うため，解剖学・生理学・生化学・病理学・画像解剖学などの医学系科目，放射線物理学や放射線化学・放射線生物学などの理学系科目，電磁

気学や放射線機器工学，画像工学，放射線計測学など工学系科目を配置する。

・３年次では，２年次に学んだ基礎知識を放射線技術科学に統合する応用能力を養うため，画像診断学，撮影技術学，核医学，放射線腫瘍学，放射線治療技術などの放射線技術科学領域が配置されており，更に，放射線を適切に医療応用するための放射線防護学，放射線関係法規などの放射線関連科目を配置する。２年次と３年次の学習を通じて，学位授与水準に定めた【知識・理解】の能力の向上を図る。

・４年次では，学位授与水準に定めた【汎用的技能】・【態度志向性】の能力を養成するため，臨床実習と卒業研究を開講する。臨床実習では，臨床での実践を通じて高い倫理観のもと，チーム医療を実践できる能力，社会的責任感と自己管理能力の向上を図る。卒業研究では，高度化する放射線技術科学分野の課題に取り組むことにより，課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる学問的・臨床的な探究能力の向上を図る。

『検査技術科学専攻』

・２年次では検査技術科学の基礎能力を養うため「専門基礎分野」科目を配置する。
まず，「人体の構造・機能」の理解のため，保健解剖学，保健生理学，代謝生化学，生体機能学，組織解剖学，組織学演習，生体計測学概論を，１学期を中心に配置する。２学期では「疾病・障害の成り立ち」の理解のため，病理学概論，臨床病態学を配置する。「保健・医療の基礎」に関わる科目は２年次から４年次にわたり多数配置するが，２年次には保健・医療概論，社会保障・福祉論，公衆衛生学，保健情報科学，臨床心理学を配置する。「専門分野」科目として「検査技術科学の基礎」となる臨床検査学，検査機器学，医用工学概論，生体分析学，臨床血液学，生化学実習，臨床検査学実習を配置する。「検査技術科学の習得」のための科目としての臨床化学，免疫検査学，微生物学を２学期に配置する。

・３年次では２年次に学んだ基礎知識をもとに，「疾病・障害の成り立ち」の理解のための科目として器官病理学，「検査技術科学の基礎」に関する実習科目として医用工学概論実習，臨床血液学実習，生体機能学実習，病理学演習，病理組織細胞学演習などを配置する。「検査技術科学の習得」のための科目として臨床化学実習，臨床微生物学，臨床生理学，検査管理学，細胞診断学講義演習，遺伝子検査学，医動物学，画像検査学，微生物学実習，医動物学演習，免疫検査学演習，臨床生理画像学実習を配置する。「保健・医療の基礎」に関わる科目として公衆衛生学実習，医療統計学，地域調査法，食品関係法規，健康食品学を配置する。２年次と３年次の学習を通じて，学位授与水準に定めた【知識・理解】の能力の向上を図る。

・４年次では，学位授与水準に定めた【汎用的技能】，【態度・志向性】の能力を養成するため，「臨床実習」と「卒業研究」を配置する。「臨床実習」では，北海道大学病院，検査・輸血部，病理部，超音波センターを中心とする臨床現場の実習を通じて，高い倫理観のもと，チーム医療を実践できる能力，社会的責任感と自己管理能力の向上を図る。「卒業研究」では高度化する検査技術科学分野の課題に取り組むことにより，課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる学問的・臨床的な研究能力の向上を図る。「保健・医療の基礎」に関わる科目として４年次では関係法規、国際保健学演習、チーム医療論を配置する。

『理学療法学専攻』

・２年次では理学療法学の基礎能力を養うため「専門基礎分野」科目を配置する。まず，「人体の構造・機能」の理解のため，解剖学，生理学，人間発達学を配置し，その後に「人体の構造・機能」の知識・理解を深めるため，解剖学実習および生理学実習を配置する。また，「疾病・障害の成り立ち」の理解のため，神経障害学，運動器障害学，内部障害学，精神障害学，老年医学，発達障害学を配置する。「専門分野」科目としては「理学療法学の基礎」となるリハビリテーション概論，理学療法概論，運動学，運動機能評価学を配置する。さらに，「保健・医療の基礎」に関わる科目として保健・医療概論，公衆衛生学概論を配置する。

・３年次では２年次に学んだ基礎知識をもとに，理学療法学の臨床において実践する能力を養う

ための「理学療法学の実践」科目として運動療法学，物理療法学，義肢装具学，運動学実習，運動機能評価学実習，運動療法学実習，物理療法実習，義肢装具学実習を配置する。そして，理学療法学の各専門領域を深く学ぶ「専門的理学療法の知識習得」科目として運動器系理学療法学，神経系理学療法学，体力科学系理学療法学，スポーツ障害理学療法学を配置する。さらに，国際的な理学療法学の動向に目を向け，理学療法学の研究手および法を修得するために理学療法研究法演習を配置する。また，「保健・医療の基礎」に関わる科目としてリハビリテーション医学，地域リハビリテーション，医療統計学を配置する。以上の２年次と３年次の学習を通じて，学位授与水準に定めた【知識・理解】の能力の向上を図る。

・４年次では，学位授与水準に定めた【汎用的技能】・【態度志向性】の能力を養成するため，臨床実習と卒業研究を開講する。また，理学療法の専門領域でリーダー的あるいは指導的役割を担う人材を育成するための「保健・医療の基礎」の理解を深める科目として生活環境学，職場管理学，チーム医療演習，遠隔医療システム演習を配置する。臨床実習では，臨床での実践を通じて高い倫理観のもと，チーム医療を実践できる能力，社会的責任感と自己管理能力の向上を図る。卒業研究では，高度化する理学療法学分野の国内および国際的な課題に取り組むことにより，課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる学問的・臨床的な探求能力の向上を図る。

『作業療法学専攻』

・２年次では，作業療法学の基礎能力を養うため，「専門基礎分野」科目を配置する。「専門基礎分野」科目は，解剖学・生理学等の基礎医学系科目，臨床心理学・人間発達学等の心理学系科目，精神医学等の臨床医学系科目，社会福祉系科目から構成される。
また，作業療法概論等作業療法学の基礎に関する「専門分野」科目を配置する。

・３年次では，前半で引き続き臨床医学系科目を配置する。また２年次または３年次前半に学んだ基礎知識をもとに，実学としての作業療法学を習得するため，「専門分野」として，作業療法に関する評価学・治療学の講義・実習を配置する。さらに，４年次の卒業研究の基礎となる調査・研究法に関する科目を配置する。２年次と３年次の学習を通じて，学位授与水準に定めた【知識・理解】の能力の向上を図る。

・４年次では，学位授与水準に定めた【汎用的技能】，【態度・志向性】の能力を養成するため，総合的な臨床実習と卒業研究を配置する。臨床実習では，臨床での実践を通じて高い倫理観のもと，チーム医療を実践できる能力，社会的責任感と自己管理能力の向上を図る。卒業研究では，高度化する作業療法学分野の課題に取り組むことにより，課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる学問的・臨床的な研究能力の向上を図る。

４．各専攻の特徴

１）看護学専攻

看護学は，さまざまな健康状態や環境で生活している人々が，自らの生命力を高め，もてる力を十分に発揮できるための援助について，科学的に探求する学問である。

本専攻では，社会の多様なニーズに対応できる高度な看護実践能力と国際的視野を持った看護師を育成することを目的としている。また，将来，教育・研究者として看護学を探求できる人材を育成し，看護学の確立と看護技術の開発を促進し，もって人々の保健医療福祉の向上に貢献することを目的としている。

２）放射線技術科学専攻

放射線技術科学は，放射線，電磁波，音波，コンピュータ技術などを医療・医学に役立たせる応用科学で，理工学と生命科学にまたがる領域の学問である。

本専攻は，検査機器などを駆使し，診断に必要な患者の生体情報を得ることや，放射線を用いた高度な治療を行うことができる診療放射線技師の育成を目的にしている。また，医療機器や医療情

報システムの企業で活躍できる人材の育成も目指している。

3）検査技術科学専攻

検査技術科学は，人体から医学的な情報を有効に検出する検査法とその分析結果について研究する学問であり，病気の診断および治療方針の決定を科学的に行うために不可欠な分野である。

本専攻は，多岐にわたる臨床検査法を習得し，検査技術科学の分野で指導的な立場につく臨床検査技師を養成すると共に，教育者・研究者として医学・医療の発展にも寄与できる人材の育成を目的としている。

4）理学療法学専攻

理学療法学は，発達障害，疾病，外傷，加齢などにより，機能低下や身体障害のある者に対して，運動療法，物理療法などを通じて基本的動作能力の回復を図り，家庭や社会への再適応を目指す学問である。

本専攻は，保健，医療，福祉，教育の分野において幅広い知識と高度の技術，ならびに豊かな人間性と国際的素養を備えた理学療法士の育成を図り，臨床における指導者，および教育・研究者の育成を目的としている。

5）作業療法学専攻

作業療法学は，精神や身体に障害を持つ人々が，障害により失われた，その人にとって不可欠な活動（これを作業といい，身辺処理，家事，趣味，仕事などを指す）を再獲得するための援助について科学的に探求する学問である。

本専攻は，幅広い教養と深い人間理解，高度で専門的な知識と技術を持ち，国際的視野に立った作業療法士の育成，ならびに保健学として高度な作業療法の理論と方法を探究する教育・研究者の育成を目的としている。

5．資格と卒業後の進路

1）卒業に伴う各専攻の資格など

⑴次の学士の称号が得られる。

看護学専攻	学士（看護学）
放射線技術科学専攻	学士（保健学）
検査技術科学専攻	学士（保健学）
理学療法学専攻	学士（保健学）
作業療法学専攻	学士（保健学）

⑵次の国家試験の受験資格が得られる。

看護学専攻	看護師国家試験
放射線技術科学専攻	診療放射線技師国家試験
検査技術科学専攻	臨床検査技師国家試験
理学療法学専攻	理学療法士国家試験
作業療法学専攻	作業療法士国家試験

2）卒業後の進路

⑴看護学専攻

国公立病院，診療所，小児施設，老人保健施設などへの就職のほか，保健師養成課程，助産師養成課程，養護教諭養成課程や看護学・保健学系，心理学・福祉学系などへの大学院への進学の道もある。

⑵放射線技術科学専攻

国公私立病院，診療所，検診センターなどの医療機関，医療機器関連企業への就職のほか，保健学・医学系や理学・工学系などの大学院への進学の道もある。

⑶検査技術科学専攻

国公私立病院，診療所等のほか，検査センターや血液センター，保健所，健康管理施設，公衆衛生施設，研究施設，医療関連企業などへの就職のほか，保健学・医学系や理学系などの大学院への進学の道もある。

⑷理学療法学専攻

国公私立病院，診療所等，リハビリテーション施設，小児施設，老人保健施設，保健所や保健センター，養護学校などへの就職のほか，保健学・医学系や体育学・工学系などの大学院への進学の道もある。

⑸作業療法学専攻

国公私立病院，診療所等，リハビリテーション施設，精神障害関連施設，小児施設，介護老人保健施設，保健所や保健センター，特別支援学校などへの就職のほか，保健学・医学系や教育学・心理学・福祉学系などの大学院への進学の道もある。

大学院保健科学研究院教職員配置表

（令和元年12月1日現在）

■ 研究院配置人数 ■

分野合計	教授	准教授	講師	助教
71名	21名	13名	9名	28名

■ 研究院組織 ■

分野等の名称	教授	准教授	講師	助教	契約職員・短時間勤務職員
研究院長付				D613 WAGEH DARWISH（健康科学） TEL３５７６ A310 THAPA JEEWAN（病態解析学） TEL２８３０ D306 ROJEET（病態解析学） TEL３７３０ D206 鏡山 浩美（基盤看護学） TEL３４９９ D613 何 欣蓉（健康科学） TEL３５７６ A311 DIBWE D.F（病態解析学） TEL３６９６ A203 唐 明輝（医用生体理工学） TEL３４２１ D613 GOWDA（健康科学） TEL３５７６	
8名	名	名	名	8名	名
基盤看護学分野	B211 結城美智子 TEL３５９２ A202 尾崎 倫孝 TEL３３３７ B214 ◎ 矢野 理香 TEL３３２３	B212 宮島 直子 TEL３３２７ B206 大槻 美佳 TEL３３７６ B205 岩本 幹子 TEL３４００ B204 鷲見 尚己 TEL３６９７	C202 溝部 佳代 TEL３６９４ C203 佐藤 三穂 TEL３３２４	C205 浅野 真未 TEL４９１５ C207 吉田 祐子 TEL３７１８ C207 下田 智子 TEL３７１８ D206 平山 憲吾 TEL３４９９	（事務補助員） 長見 薫 【看護学専攻】 TEL３４０２ （事務補助員） 渡邉 恭子 TEL３６９７ （学術研究員） 篠塚 常子 TEL３３２３ （学術研究員） 宍戸 穂 TEL３３２３ （学術研究員） 杉村 直孝 TEL３３２３ （技術補助員） 松下 佑太 TEL３３２３
13名	3名	4名	2名	4名	6名
創成看護学分野	A201 佐川 正（特任） TEL２８２２ B201 ◎ 佐藤 洋子 TEL３３７８	B210 安積 陽子 TEL２８３２ B203 平野美千代 TEL３３７７	C201 青柳 道子 TEL３４０１	D207 コリー紀代 TEL２３２０ D207 中村 真弥 TEL２３２０ C206 大西 竜太 TEL３７１３	（事務補助員） 荒戸 真弓 TEL３４０１
8名	2名	2名	1名	3名	1名
医用生体理工学分野	A212 山本 徹 TEL３４１２ A206 加藤千恵次 TEL３３３６ A213 伊達 広行 TEL３４２３ A207 神島 保 TEL２８２４ A205 ◎ 石川 正純 TEL３４１１	A204 杉森 博行 TEL３４１０		A203 堤 香織 TEL３４２１ A305 山品 博子 TEL２８４８ A203 高木 聡志 TEL２８２６	
9名	5名	1名	名	3名	名
病態解析学分野	A309 ◎ 山口 博之 TEL３３２６ D309 恵 淑萍 TEL３６９３ D314 石津 明洋 TEL３３８５	D304 政氏 伸夫 TEL３３８４ D310 加賀 早苗 TEL３４０３	D308 櫻井 俊宏 TEL３４１３ A311 大久保寅彦 TEL３６９６ D306 岡田 一範 TEL３７３０ D311 益田紗季子 TEL３４０５		（学術研究員） 西端 友香 TEL３３８５ （学術研究員） 政氏 裕美 TEL３３８４ （学術研究員） 岡田 由佳 TEL３４０４ （学術研究員） 山本 祐輔 TEL３５７６ （学術研究員） DIVYAVANI TEL４９１２
9名	3名	2名	4名	名	5名

■ 事務組織（事務室）■

部署の名称	担当名	課長	係長	主任	係員		事務補助員	
医学系事務部 保健科学研究院事務課 （医学部保健学科事務室）	事務課長	松嶋 敏幸 TEL３３３８						
	庶務担当		高山 大樹 TEL３３１５	谷 薫 TEL３３１６	畑 翔太朗 TEL３３１６		小森いずみ TEL３３１６	大屋 唯 TEL３３１６
	会計担当		小笠原さおり TEL３３３３	桑村 厚志 TEL３３３２			田形みどり TEL３３３２	
	教務担当		槇松 剛志 TEL３３１８		林 みと TEL２１３５	酒井 美咲 TEL２１３５	佐藤 美優 TEL３３１８	
合計 13 名		1名	3名	2名	3名		4名	
医学部保健学科図書室 （附属図書館研究支援課）	図書担当				川村 路代 TEL３３１９	中村 瑞穂 TEL３３１９		
合計 2 名		名	名	名	2名		名	

※事務室FAX：０１１－７０６－４９１６

■ 研究院長室，警備員室及び各会議室■

B102 研究院長室 TEL３３２０	B106 小会議室 TEL４９１３	C602 準備室 TEL４９１４
C601 大会議室 TEL３３３４	B104 警備員室 TEL３３１７	

（ ）・・・ 基準日における追加または変更箇所です。
その他，実際と異なる箇所がある場合は，庶務担当（内線3316，3315）あて連絡願います。

分野等の名称	教授	准教授	講師	助教	契約職員・短時間勤務職員
機能回復学分野	D412 浅賀 忠義 TEL３３８１ D411 ◎ 遠山 晴一 TEL３３９３ D405 前島 洋 TEL３３２８	D407 寒川 美奈 TEL３３２９		D406 笠原 敏史 TEL３３９０ D404 萬井 太規 TEL３５３１ D404 石田 知也 TEL３５３１ D406 高松 泰行 TEL３３９０	
8名	3名	1名	名	4名	名
生活機能学分野	D505 ◎ 境 信哉 TEL３３８８	D512 宮崎 太輔 TEL３３３０ D513 千見寺貴子 TEL３３８２	D514 澤村 大輔 TEL３３８７ D507 吉田 一生 TEL３４１４	D506 井上 貴雄 TEL３３８０ D506 高島 理沙 TEL３３８０ D507 宮島 真貴 TEL３４１４	
8名	1名	2名	2名	3名	名
健康科学分野	D615 齋藤 健 TEL３３２５ D610 横澤 宏一 TEL２８２８ D604 小笠原克彦 TEL３４０９ D607 ◎ 山内 太郎 TEL３３７９ D309 恵 淑萍（兼） TEL３６９３	D608 武田 晴治 TEL３６８７		D613 陳 震 TEL３５７６ D613 喬 琳 TEL３５７６ A305 吉村 高明 TEL２８４８	（学術研究員） 郝 明 TEL３３７９ （学術研究員） 佐井 旭 TEL３３７９ （事務補助員） 佐生みどり TEL３３７９ （技術補助員） 下條 暁司 TEL４８５０ （技術補助員） 木村 京子 TEL３５７６
9名	5名	1名	名	3名	5名

■ 寄附分野 ■

分野等の名称	教授	准教授	講師	助教	契約職員・短時間勤務職員
食品機能解析・保健栄養学分野 （H22.1.1-R1.12.31）	E505 ◎ 布田 博敏（特任） TEL３３９５ D309 恵 淑萍（兼） TEL３６９３ D601 千葉 仁志（特別招へい） TEL３６９８		D308 櫻井 俊宏（兼） TEL３４１３		
4名	3名	名	1名	名	名
生体応答制御医学分野 （H28.9.1-R3.3.31）	A202 ◎ 尾崎 倫孝（兼） TEL３３３７		A202 芳賀 早苗（特任） TEL３４９８		（事務補助員） 芝家あずさ TEL３３３７
2名	1名	名	1名	名	1名
高次脳機能創発分野 （R1.7.1-R4.6.30）	総合研究棟2号館313 寶金 清博（特任） TEL３７１９	B206 ◎ 大槻 美佳（兼） TEL３３７６		E505 高倉 祐樹（特任） TEL２８２９ TEL３７１９	（事務補助員） 樋口美奈子 TEL３７１９
3名	1名	1名	名	1名	1名

■ 健康イノベーションセンター ■

研究室ラボの名称	教授	准教授	講師	助教	契約職員・短時間勤務職員
センター長	D601 千葉 仁志（特別招へい） TEL３６９８				
高度脂質分析ラボラトリー	D309 ◎ 恵 淑萍（兼） TEL３６９３	D608 武田 晴治（兼） TEL３６８７	D308 櫻井 俊宏（兼） TEL３４１３	D613 陳 震（兼） TEL３５７６ D613 喬 琳（兼） TEL３５７６ D613 WAGEH DARWISH（兼） TEL３５７６ D306 ROJEET（兼） TEL３７３０ D613 何 欣蓉（兼） TEL３５７６ A311 DIBWE D.F（兼） TEL３６９６ D613 GOWDA（兼） TEL３５７６	
遠隔健康相談部門	D604 ◎ 小笠原克彦（兼） TEL３４０９				
生体分子機能部門	A202 ◎ 尾崎 倫孝（兼） TEL３３３７			C205 浅野 真未（兼） TEL４９１５	
One-Health推進部門	D604 ◎ 小笠原克彦（兼） TEL３４０９		E505 湊屋 街子（特任） TEL３４０７		
15名	4名	1名	2名	8名	名

■ 保健医療教育研究センター ■

部門の名称	教授	准教授	講師	助教	契約職員・短時間勤務職員
センター長	D604 小笠原克彦（兼） TEL３４０９				
継続教育開発研究部門	B211 ◎ 結城美智子（兼） TEL３５９２				
教育改革研究部門					（事務補助員） 鈴木 恵里 TEL３４０９
病院経営教育プログラム開発部門	D604 ◎ 小笠原克彦（兼） TEL３４０９				（学術研究員） 森井 康博 TEL３４２８ （学術研究員） 鈴木 隆介 TEL３４２８
2名	2名	名	名	名	2名

資料保2

入学者数

資料保3

平成28年度

■ 医学部保健学科

専　攻	試験区分	入学者数	内　訳		
			道内高校出身	左記以外	現 役
看護学専攻	AO入試	7(7)	6(6)	1(1)	7(7)
	前期日程	64(61)	50(47)	14(14)	40(40)
	計	71(68)	56(53)	15(15)	47(47)
放射線技術科学専攻	前期日程	30(12)	24(10)	6(2)	17(7)
	後期日程	6(2)	6(2)	0(0)	4(2)
	計	36(14)	30(12)	6(2)	21(9)
検査技術科学専攻	前期日程	28(14)	21(11)	7(3)	15(8)
	後期日程	8(7)	5(4)	3(3)	4(3)
	計	36(21)	26(15)	10(6)	19(11)
理学療法学専攻	前期日程	14(5)	8(2)	6(3)	8(3)
	後期日程	3(1)	3(1)	0(0)	3(1)
	計	17(6)	11(3)	6(3)	11(4)
作業療法学専攻	AO入試	3(3)	1(1)	2(2)	3(3)
	前期日程	14(6)	8(4)	6(2)	10(6)
	計	17(9)	9(5)	8(4)	13(9)
小計	AO入試	10(10)	7(7)	3(3)	10(10)
	前期日程	150(98)	111(74)	39(24)	90(64)
	後期日程	17(10)	14(7)	3(3)	11(6)
合　計		177(118)	132(88)	45(30)	111(80)
私費外国人入試		0(0)	0	0	0
帰国子女入試		0(0)	0	0	0
総　計		177(118)	132(88)	45(30)	111(80)
【参考：27年度】		181(127)	139(102)	41(25)	103(86)

※()は女子で内数

		看護学				助産師			保健師			放射線技術科学				検査技術科学				理学療法学				作業療法学			
	大学名	全学	専門	合計	単位数/一人	全学	専門	合計	全学	専門	合計	全学	専門	合計	単位数/一人	全学	専門	合計	単位数/一人	全学	専門	合計	単位数/一人	全学	専門	合計	単位数/一人
1	北海道大学医学部保健学科	40	99	139	4.1							40	105	145	8.1	40	98	138	5.2	40	99	139	12.4	40	95	135	11.9
	*外国人を除く(-9名)															40	98	138	9.8								
2	弘前大学医学部保健学科	34	91	125	2.7							34	95	129	4.8	34	94	128	5.2	34	91	125	9.1	34	97	131	9.7
3	東北大学医学部保健学科	41	87	128								41	86	127		41	86	127									
4	筑波大学医学群	22	102	124					22	107	129					21	103	124									
5	群馬大学医学部保健学科				0.0														0.0				0				0.0
6	東京医科歯科大学	29	95	124		29	97	126								32	102	134									
7	新潟大学医学部保健学科	31	93	124	3.1							31	93	124	7.2	31	93	124	6.2								
8	金沢大学	34	95	129	3.2							40	95	135	5.6	40	88	128	5.2	36	92	128	9.2	36	92	128	9.2
9	信州大学保健学科	25	103	128	3.6											33	96	129	8.7	25	100	125	10.0	25	100	125	11.1
10	名古屋大学保健学科	33	91	124	2.9							33	92	125	5.4	33	91	124	5.7	33	91	124	10.1	33	94	127	11.8
11	京都大学	54	99	153	3.5											54	91	145	4.6	54	91	145	7.6	54	94	148	9.4
12	大阪大学医学部保健学科	45	92	137	2.9							47	84	131	5.3	51	81	132	5.4								
13	神戸大学	26	99	125	3.4											26	101	127	5.3	26	99	125	11.0	26	99	125	9.9
14	鳥取大学医学部保健学科	33	96	129	2.9											37	93	130	5.2								
15	岡山大学医学部保健学科	30	94	124	4.3							30	95	125	6.8	30	100	130	8.3								
16	山口大学	44	86	130												44	86	130									
17	徳島大学	35	93	128	2.9							37	98	135	7.0	35	93	128	10.3								
18	九州大学	46	96	142	3.1							48	97	145	8.1	46	99	145	7.1								
19	熊本大学医学部保健学科	28	103	131	4.9							20	108	128	9.0	20	119	139	9.2								
20	琉球大学医学部保健学科	28	98	126												33	93	126									

資料保4

区分	専攻	看護学専攻				放射線技術科学専攻				検査技術科学専攻				理学療法学専攻				作業療法学専攻			
		必修	選択必修	選択		必修	選択必修	選択		必修	選択必修	選択		必修	選択必修	選択		必修	選択必修	選択	
全学教育科目	教養科目 一般教育演習			3	4			3	4			3	4			3	4			3	4
	教養科目 総合科目																				
	教養科目 主題別科目			2科目4				2科目4				2科目4				2科目4				2科目4	
	教養科目 （※論文指導）			(2)				(2)				(2)				(2)				(2)	
	教養科目 共通科目	4		1		4		1		4		1		4		1		4		1	
	教養科目 外国語	4	4			4	4			4	4			4	4			4	4		
	教養科目 外国語演習			2				2				2				2				2	
	※基礎科目	2	12			2	12			2	12			2	12			2	12		
	小計	10	16	10	4	10	16	10	4	10	16	10	4	10	16	10	4	10	16	10	4
		40				40				40				40				40			
専門教育科目	学科共通科目	16	0	0		13	0	2		12	2	0		12	0	4		10	0	2	
	専門科目	81	2			90	0	0		84	0	0		83	0			83	0		
	小計	97	2	0		103	0	2		96	2	0		95	0	4		93	0	2	
		99				105				98				99				95			
合計		107	18	14		113	16	16		106	18	14		105	16	18		103	16	16	
卒業要件単位		139				145				138				139				135			

※ 全学教育科目論文指導の科目は、主題別科目又は一般教育演習より修得すること。論文指導の科目を主題別科目・一般教育演習の内数とすることができる。

※ 基礎科目は、入門線形代数学，入門微分積分学，線形代数学Ⅰ・Ⅱ，微分積分学Ⅰ・Ⅱ，物理学Ⅰ・Ⅱ，化学Ⅰ・Ⅱ，生物学Ⅰ・Ⅱ，及び地球惑星科学Ⅰ・Ⅱから合わせて12単位以上及び自然科学実験1単位2科目2単位の併せて14単位以上を修得すること。ただし，看護学専攻及び作業療法学専攻以外の学生は、入門線形代数学及び入門微分積分学を進級・卒業の要件に含めることはできない。

※ インターンシップA及びBの単位は、進級・卒業に必要な単位数には算入できない。

資料保6

看護学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数 必修	選択必修	選択	開講期・配当時間数 2年次 1学期 春	2年次 1学期 夏	2年次 2学期 秋	2年次 2学期 冬	3年次 1学期 春	3年次 1学期 夏	3年次 2学期 秋	3年次 2学期 冬	4年次 1学期 春	4年次 1学期 夏	4年次 2学期 秋	4年次 2学期 冬	備考（必要単位数）
専門教育科目	学科共通科目	社会保障・福祉論	1			15												
		保健・医療概論	1				15											
		保健解剖学	2			15	15											
		保健生理学	2			15	15											
		代謝生化学	2			15	15											
		病理学概論	1			15												
		医療統計学	2					15	15									
		地域調査法			1			15										
		公衆衛生学概論	2					15	15									
		生体計測学概論			1				15									
		臨床心理学	1					15										
		国際保健学	1							15								
		国際保健学演習			1												30	
		保健情報科学	1			15												
		チーム医療論			1											15		
		健康食品学			2			15	15									
		食品関係法規			1				15									
	専門科目	保健微生物学	2			15	15											必修97単位及び選択必修2単位を含む99単
		臨床生理学Ⅰ	1					15										
		臨床生理学Ⅱ	1						15									
		保健組織病理学	1				15											
		栄養学	1			15												
		保健生化学			1			15										
		疾患病態学概論	1					15										
		保健薬理学	2					15	15									
		健康と疫学	1							15								
		環境保健学	1							15								
		看護学概論	1			15												
		生活援助看護技術Ⅰ	1			30												
		生活援助看護技術Ⅱ	1				30											
		看護過程論	2					15	15									
		看護ヘルスアセスメント	1					15	15									
		治療と看護技術	1					15	15									
		基礎看護学統合演習	1					15	15									
		基礎看護学実習Ⅰ	1						45									
		基礎看護学実習Ⅱ	1								45							
		看護教育・看護管理	1											15				
		看護倫理	1													15		
		成人看護学概論	1				15											
		成人健康障害論Ⅰ	2					15	15									
		成人健康障害論Ⅱ	2					15	15									
		成人看護学援助論Ⅰ	1						15									
		成人看護学援助論Ⅱ	1							15								
専門教育科目	専門科目	成人看護学援助論Ⅲ	1								15							
		臨床看護技術	1							15	15							
		成人看護学援助論Ⅳ	1										15					
		成人看護学実習Ⅰ	3									135						
		成人看護学実習Ⅱ	3												135			
		精神看護学概論	1					15										
		精神健康障害論	2							15	15							
		精神看護学援助論	1										30					
		精神看護学実習	2												90			
		老年看護学概論	1				15											
		老年看護学健康論	1					15										
		老年看護学援助論	1							15	15							
		老年健康障害論	1							15								
		老年看護学実習Ⅰ	1									45						
		老年看護学実習Ⅱ	3												135			
		小児看護学概論	1				15											
		小児看護学援助論Ⅰ	1						30									
		小児看護学援助論Ⅱ	1								30							
		小児健康障害論	1							30								
		小児看護学実習	2									90						
		母性看護学概論	1				15											
		母性健康障害論	1					15										
		母性看護学援助論Ⅰ	1					15	15									
		母性看護学援助論Ⅱ	1							15	15							
		母性看護学実習	2									90						
		在宅看護学概論	1								15							
		家族看護論	1							15								
		地域生活支援技術論	1							15	15							
		地域看護学概論	1							15								
		看護研究Ⅰ	1								30							
		看護研究Ⅱ	1										30					
		在宅看護学援助論	1										30					
		地域看護学実習	1									45						
		在宅看護学実習	2												90			
		看護総合技術論	1										15					
		看護研究Ⅲ	1												30			
		看護研究Ⅳ	1													30		
		災害看護論	1													15		
		エンド・オブ・ライフケア		1										15				選択必修科目の内2科目2単位以
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護		1										15				
		先端医療と看護		1										15				
		ヘルスプロモーション看護		1										15				
		実践医療英語		1										15				
		看護統合実習	2													90		
合計			97	5	8	165	180	285	300	420		525		570		165	30	99単位以上

検査技術科学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数			開講期・配当時間数												備考（必要単位数）
						2年次				3年次				4年次				
			必修	選択必修	選択	1学期		2学期		1学期		2学期		1学期		2学期		
						春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1				15											必修12単位及び選択必修2単位を含む14単位
		社会保障・福祉論	1			15												
		保健解剖学	2			15	15											
		保健生理学	2			15	15											
		代謝生化学	2			15	15											
		保健情報科学	1							15								
		病理学概論	1					15										
		医療統計学	2									15	15					
		臨床心理学		1				15										1単位以上修得すること
		生体計測学概論		1					15									
		国際保健学		1						15								
		地域調査法		1								15						1単位以上修得すること
		チーム医療論		1												15		
		国際保健学演習			1												30	
		健康食品学			2							15	15					
		食品関係法規			1								15					
	専門科目	検査機器学Ⅰ	1			15												84単位以上
		検査機器学Ⅱ	1					15										
		組織解剖学	1				15											
		組織学演習	1				30											
		生体機能学	1					15										
		生体機能学実習	1									45						
		生体分析学	1					15										
		生化学実習	1					45										
		臨床検査学	2			30	30											
		臨床検査学実習Ⅰ	2					45	45									
		公衆衛生学Ⅰ	1			15												
		公衆衛生学Ⅱ	1						15									
		公衆衛生学実習	1							45								
		情報科学演習			1									15	15			
		医用工学概論	2					15	15									
		医用工学概論実習	1								45							
		医療安全管理学	1									15						
		臨床病態学Ⅰ	2					15	15									
		臨床病態学Ⅱ	2							15	15							
		臨床病態学Ⅲ	2									15	15					
		臨床血液学Ⅰ	2					30	30									
		臨床血液学Ⅱ	1							15								
		臨床血液学実習Ⅰ	2							45	45							
		器官病理学	1								15							
		細胞診断学講義演習	1										30					
		病理学演習	1									30						
		病理組織細胞学演習	1									30						
		臨床化学Ⅰ	1						15									
		臨床化学Ⅱ	2							15	15							
		臨床化学実習Ⅰ	1								45							
		核医学概論	2											15	15			
		医療安全管理学演習	1											15	15			
		免疫検査学Ⅰ	1						15									
		免疫検査学Ⅱ	1							15								
		輸血･移植検査学	1								15							
		免疫検査学演習	1									30						
		遺伝子検査学	1									15						
		輸血検査学演習	1													30		
		微生物学	2					15	15									
		微生物学実習Ⅰ	2										90					
		臨床微生物学	2							15	15							
		医動物学	2									15	15					
		医動物学演習	1										30					
		臨床生理学Ⅰ	1							15								
		臨床生理学Ⅱ	2							15	15							
		臨床生理学Ⅲ	2							15	15							
		臨床生理画像学実習Ⅰ	1										45					
		画像検査学Ⅰ	2									15	15					
		画像検査学Ⅱ	1													15		
		検査管理学Ⅰ	1							15								
		検査管理学Ⅱ	1							15								
		医学英語	1								15							
		関係法規	1													15		
		卒業研究	7											157.5	157.5			
		臨床検査学実習Ⅱ	1													45		
		臨床血液学実習Ⅱ	1													45		
		病理組織細胞学実習Ⅱ	1													45		
		臨床化学実習Ⅱ	1													45		
		免疫検査学実習	1													45		
		微生物学実習Ⅱ	1													45		
		臨床生理画像学実習Ⅱ	2													90		
合計			96	5	5	120	135	240	180	525		255	285	202.5	202.5	435	30	98単位以上

放射線技術科学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	開講期・配当時間数 2年次 1学期 春	2年次 1学期 夏	2年次 2学期 秋	2年次 2学期 冬	3年次 1学期 春	3年次 1学期 夏	3年次 2学期 秋	3年次 2学期 冬	4年次 1学期 春	4年次 1学期 夏	4年次 2学期 秋	4年次 2学期 冬	備考（必要単位数）
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1			15											
		社会保障・福祉論	1		15												
		保健解剖学	2		15	15											
		保健生理学	2		15	15											
		代謝生化学	2		15	15											
		病理学概論	1				15										
		臨床心理学		1			15										
		生体計測学概論	1					15									
		公衆衛生学概論	2				15	15									
		保健情報科学	1		15												
		地域調査法		1							15						
		医療統計学		2							15	15					
		国際保健学		1									15				
		国際保健学演習		1												30	
		チーム医療論		1											15		
		健康食品学		2											15	15	
		食品関係法規		1												15	
	専門教育科目	一般臨床医学	2				15	15									必修103単位を含む105単位以
		臨床画像解剖学Ⅰ	2				15	15									
		臨床画像解剖学Ⅱ	1						15								
		画像解剖学演習	1						15	15							
		保健解剖学演習	1							30							
		物理数学	1		15												
		医用電磁気学	2		15	15											
		医用電気回路	1				15										
		制御工学概論	1					15									
	専門科目	医用電子工学Ⅰ	1				15										
		医用電子工学Ⅱ	1					15									
		基礎工学実験Ⅰ	1		45												
		基礎工学実験Ⅱ	1				45										
		放射線物理学基礎	1		15												
		放射線物理学Ⅰ	2				15	15									
		放射線物理学Ⅱ	2						15	15							
		放射化学	2						15	15							
		放射線計測学Ⅰ	2				15	15									
		放射線計測学Ⅱ	2						15	15							
		放射線計測学実習	1						45								
		磁気共鳴学基礎	2				15	15									
		磁気共鳴学Ⅰ	2						15	15							
		磁気共鳴学Ⅱ	2								15	15					
		医用画像機器工学Ⅰ	2				15	15									
		医用画像機器工学Ⅱ	1								15						
		医用機器工学実習	1								45						
		臨床撮影技術学Ⅰ	2						15	15							
		臨床撮影技術学Ⅱ	2								15	15					
専門教育科目	専門科目	基礎撮影技術学実習	1								45						
		臨床画像技術学	1						15								
		検査薬理学概論	1							15							
		医療安全管理学	1								15						
		超音波機器工学	1					15									
		臨床超音波検査学	1						15								
		画像診断学概論	2						15	15							
		放射化学実験	1								45						
		核医学機器工学概論	1						15								
		核医学概論	2						15	15							
		核医学検査技術学	2								15	15					
		核医学検査技術学実習	1											45			
		放射線治療工学概論	2						15	15							
		放射線生物学	1						15								
		放射線腫瘍学	2								15	15					
		放射線治療技術学	2								15	15					
		基礎放射線治療技術学実習	1											45			
		医用画像情報学	2				15	15									
		医用画像情報学実験	1							45							
		医療情報学	2								15	15					
		放射線防護学	2						15	15							
		放射線防護学実習	1								45						
		放射線関係法規	2								15	15					
		臨床実習Ⅰ	2											45	45		
		臨床実習Ⅱ	2											45	45		
		臨床実習Ⅲ	2											45	45		
		臨床実習Ⅳ	2											45	45		
		臨床実習Ⅴ	2											45	45		
		卒業研究	5											90	135		
合計			103	10	240		405		510		465		420		390	60	105単位以上

理学療法学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	開講期・配当時間数 2年次 1学期 春	2年次 1学期 夏	2年次 2学期 秋	2年次 2学期 冬	3年次 1学期 春	3年次 1学期 夏	3年次 2学期 秋	3年次 2学期 冬	4年次 1学期 春	4年次 1学期 夏	4年次 2学期 秋	4年次 2学期 冬	備考（必要単位数）
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1			15											
		社会保障・福祉論	1		15												
		保健解剖学	2		15	15											
		保健生理学	2		15	15											
		代謝生化学		2	15	15											
		病理学概論	1				15										
		臨床心理学	1				15										
		公衆衛生学概論	2				15	15									
		生体計測学概論		1				15									
		医療統計学	2				15	15									
		地域調査法		1							15						
		国際保健学		1									15				
		保健情報科学		1					15								
		国際保健学演習		1												30	
		チーム医療論		1											15		
		健康食品学		2							15	15					
		食品関係法規		1												15	
	専門科目	リハビリテーション解剖学Ⅰ	1		15												必修95単位を含む99単位以上
		リハビリテーション解剖学Ⅱ	1				15										
		リハビリテーション解剖学実習Ⅰ	1			45											
		リハビリテーション解剖学実習Ⅱ	1				45										
		リハビリテーション生理学	2				30										
		リハビリテーション生理学実習	1					45									
		運動学	2				15	15									
		運動学実習	1						45								
		リハビリテーション医学	1							15							
		老年健康障害論	1						15								
		運動器障害学	2				15	15									
		成人健康障害論	2				15	15									
		内部障害学	1						15								
		神経障害学Ⅰ	1				15										
		神経障害学Ⅱ	2						30								
		神経障害学Ⅲ	1							15							
		高次脳機能障害学	1				15										
		精神障害学Ⅰ	1					15									
		精神障害学Ⅱ	1						15								
		発達障害学	2		15	15											
		リハビリテーション概論	1			15											
		理学療法学概論	1		15												
		運動療法学	2						15	15							
		運動療法学演習	1							30							
		理学療法研究法演習Ⅰ	1								15	15					
		理学療法研究法演習Ⅱ	2												60		
		運動機能評価学	1			15											
		運動機能評価学演習	2				60										
		運動機能評価学実習	1							45							
		人間発達学	2		15	15											
		職場管理学	1												15		
	専門科目	運動器系理学療法学	2						15	15							
		運動器系理学療法学実習	1								45						
		神経系理学療法学	2						15	15							
		神経系理学療法学実習	1								45						
		発達障害理学療法学	2						15	15							
		内部障害系理学療法学	2								15	15					
		義肢装具学I	2						15	15							
		義肢装具学II	1								15						
		物理療法学	2						15	15							
		物理療法学実習	1								45						
		臨床運動学	1								15						
		精神保健学	1												15		
		生活環境学	1								15						
		スポーツ理学療法学	1								15						
		地域リハビリテーション	1								15						
		生活技術学	2								15	15					
		臨床実習Ⅰ	1					45									
		臨床実習Ⅱ	2								90						
		臨床実習Ⅲ	8										360				
		臨床実習Ⅳ	8										360				
合計			95	11	120	165	480		420		435		735		105	45	99単位以上

作業療法学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数		開講期・配当時間数												備考
			必修	選択	2年次				3年次				4年次				
					1学期		2学期		1学期		2学期		1学期		2学期		
					春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	（必要単位数）
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1			15											必修93単位を含む95単位以上
		社会保障・福祉論	1		15												
		保健解剖学	2		15	15											
		保健生理学	2		15	15											
		代謝生化学		2	15	15											
		病理学概論	1				15										
		臨床心理学	1				15										
		生体計測学概論		1				15									
		地域調査法		1							15						
		医療統計学	2				15	15									
		国際保健学		1					15								
		保健情報科学		1					15								
		国際保健学演習		1												30	
		チーム医療論		1											15		
		公衆衛生学概論		2			15	15									
		健康食品学		2							15	15					
		食品関係法規		1												15	
	専門科目	リハビリテーション概論	1			15											
		リハビリテーション解剖学Ⅰ	1			15											
		リハビリテーション解剖学Ⅱ	1				15										
		リハビリテーション解剖学実習	1			45											
		リハビリテーション解剖学実習	1				45										
		リハビリテーション生理学	2				30										
		リハビリテーション生理学実習	1					45									
		人間発達学	2		15	15											
		運動学	2				15	15									
		運動学実習	1							45							
		リハビリテーション医学	1							15							
		老年健康障害論	1						15								
		運動器障害学	2				15	15									
		成人健康障害論	2				15	15									
		内部障害学	1						15								
		神経障害学Ⅰ	1				15										
		神経障害学Ⅱ	2						30								
		神経障害学Ⅲ	1							15							
		高次脳機能障害学	1				15										
		精神障害学Ⅰ	1					15									
		精神障害学Ⅱ	1						15								
		精神障害学Ⅲ	1								15						
		発達障害学	2		15	15											
		精神保健学	1												15		
		作業療法概論	1		15												
		基礎作業学	1			15											
		基礎作業学実習Ⅰ	1		45												
		基礎作業学実習Ⅱ	1				45										
		基礎作業学演習	1		30												
		作業療法管理学	1		15												
		作業療法評価学総論	1		15												
		身体障害評価学実習	1							45							
		精神障害評価学実習	1							45							
		身体障害作業療法学	2						15	15							
		身体障害作業療法学実習	1								45						
		精神障害作業療法学	2						15	15							
		精神障害作業療法学実習	1								45						
		発達障害作業療法学	1						15								
		発達障害作業療法学演習	1								15	15					
		老年期作業療法学	1			15											
		老年期作業療法学演習	1						15	15							
		日常生活活動学	1					15									
		日常生活活動学実習	1								45						
		職業関連作業療法学	1								15						
		作業療法理論	1												15		
		先端作業療法学演習	1									30					
		作業療法研究法	1								15	15					
		作業療法研究法演習	3												90		
		地域リハビリテーション	1								15						
		地域作業療法学	1							15							
		地域作業療法学実習	1							45							
		寒冷地生活援助論	1								15						
		臨床実習Ⅰ	2					90									
		臨床実習Ⅱ	2									90					
		臨床実習Ⅲ	8										360				
		臨床実習Ⅳ	8											360			
合計			93	13	210	195	525		435		420		720		135	45	95単位以上

資料保 7

http://www.jafsra.or.jp/approval/index.html より抜粋

一般社団法人
日本食品安全協会
Japanese Association of
Food Science and Risk Analysis

受験資格と認定試験の概要

これまで実施してきました認定試験により、約 8,000 名強の登録者が誕生しております。その登録者の中には病院、薬局、企業等で具体的に健康食品問題に関する活動を始められた方が多数おられます。また、認定協会教育委員会による生涯教育制度も年々充実し、多くの登録者から非常に素晴らしい教育システムであるとの高い評価を得ております。

食全般と健康のかかわり、さらには食の安全、安心に関して正しい情報の発信できる方々を養成するために、平成 19 年度からは従来の教育目標を大きく発展させて、保健機能食品、いわゆる健康食品、医薬品と食品の相互作用、医薬品や健康食品の副作用、NST (Nutrition Support Team、栄養支援チーム)への参画、食品機能成分の有効性・安全性、食品表示、食品添加物、残留農薬、食中毒など広範囲な領域の勉学をしていただいています。個人個人、こうした広範囲な領域を効率よく各自の時間に合わせて学んでいただくシステムによる生涯教育は、当協会の自慢とするところでもあります。最近では大きな医学系学会の教育委員会から当協会の生涯教育方法を取り入れたいと問い合わせをいただいております。

当協会は、食を通して健康に寄与できる知識集団を社会に供給するために認定試験制度を発足させました。また、その合格者に新たな教育制度でもって消費者と時代の要求に答えることのできる人材の養成を絶えず行っております。

認定校制度*巻末資料参照

各学校（大学）において日本食品安全協会が指定するカリキュラム等の認定基準を満たした場合には認定校として認可され、受験資格を得ることが可能となります。（認定校には、最低 1 名の健康食品管理士資格を有する教員が求められます。詳しくは、日本食品安全協会のホームページもしくは事務局へご連絡してください。）

○ 認定試験受講講座

認定団体による対面教育講座が通信教育講座のいずれかで一定の単位を取得し、予備試験に合格された方に受験資格を与える。

1. 講座の受講が必要な資格者
   - 4 年制薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、看護師、針灸師、理学療法士、作業療法士の有資格者及びその養成校の学生（受験は大学 3 年生から）、登録販売者（実務経験 2 年以上）
   - 上記資格者以外で食品衛生監視員になれる方及びその養成校学生
   - 大学卒で協会の資格審査により受講が認められた方

2. 講座の受講が免除される資格者
   - 医師、獣医師、歯科医師、6 年制薬剤師
   - 薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、栄養士、保健師、看護師で修士以上の学位取得者
   - BIO-S フードサイエンス終了者（大学生、大卒）
   - 大学院終了者で協会の資格審査により受験が認められた方

○ 認定試験受験講座と認定試験の概略

1. 受験講座（教育講座）
   ・協会が認めた指定養成機関で行われますので受講希望の方は下記へお問い合わせ下さい。日本食品安全協会指定養成機関　株式会社エコロジーヘルスラボ http://www.kenkoexpert.com
2. 受験資格者
   - 協会が認めた認定校で指定教育カリキュラムを履修された方
   - 教育講座を終了した方
   - 教育講座を免除された方
3. 認定試験について
   - 試験の方法(択一式の学科試験(100 問))
   - 試験科目:（１）健康食品総論（２）健康食品各論（３）食品と栄養（４）食品表示・食品の安全性（５）疾患と栄養（６）医薬品と食品の相互作用（７）関係法規（８）疾患と病態解析 ※ ただし、有する資格による科目免除はおこないません。

巻末資料

一般社団法人日本食品安全協会認定校一覧表（平成29年度）

1） 国立大学	
岡山大学・医学部	神戸大学・医学部
信州大学・医学部	徳島大学・医学部
名古屋大学・医学部	弘前大学・医学部
北海道大学・医学部	山口大学・医学部
琉球大学・医学部	琉球大学・農学部
2）公立大学	
香川県立保健医療大学・保健医療学部	埼玉県立大学・保健医療福祉学部
岐阜薬科大学	
3）私立大学	
愛知学院大学・心身科学部	麻布大学・生命・環境科学部
大阪大谷大学・薬学部	大阪工業大学
活水女子大学・健康生活学部	関西大学・化学生命工学部
北里大学・医療衛生学部	北里大学・薬学部
岐阜医療科学大学・保健科学部	京都学園大学・バイオ環境学部
熊本保健科学大学・保健科学部	群馬パース大学・保健科学部
慶應義塾大学・薬学部	国際医療福祉大学・福岡保健医療学部
埼玉医科大学・保健医療学部	就実大学・薬学部
純真学園大学・保健医療学部	城西国際大学・薬学部
城西大学・薬学部	鈴鹿医療科学大学・保健衛生学部
帝京大学・医療技術学部	東海大学・農学部
東京工科大学・医療保健学部	名古屋学芸大学・管理栄養学部
日本獣医生命科学大学・応用生命科学部	人間総合科学大学・人間科学部
広島国際大学・医療栄養学部	広島国際大学・保健医療学部
藤田保健衛生大学・医療科学部	文京学院大学・保健医療技術学部
北海道医療大学・医療技術学部	北海道情報大学・医療情報学部
松本大学・人間県央学部	南九州大学・健康栄養学部
森ノ宮医療大学・保健医療学部	
4）短期大学	
高知学園短期大学・医療衛生学科	山陽女子短期大学・臨床検査学科
5）専門学校	
北里大学保健衛生専門学院・臨床検査技師養成科	京都保健衛生専門学校・第一臨床検査学科

資料保8

別記様式１
海　　大　　第　　号
令和元年１１月　　日

北 海 道 知 事　　様

国立大学法人北海道大学
名　和　　豊　春

食品衛生管理者養成施設及び食品衛生監視員養成施設の登録申請書

食品衛生管理者養成施設及び食品衛生監視員養成施設として登録を受けたいので、食品衛生法施行令第１５条の規定及び同令第９条第２項において準用する同令第１５条の規定に基づき、関係書類を添えて申請します。

【担当】
学務部学務企画課
教育企画・大学院担当（藤田）
TEL：011-706-5430
E-mail:kyomu@academic.hokudai.ac.jp

別記様式２

食品衛生管理者又は食品衛生監視員養成施設登録台帳

登録番号	養成施設の種別（食品衛生管理者又は食品衛生監視員）	養成施設の名称	入学定員	所在地	電話番号	登録年月日	長の氏名	設置者	適用開始入学年度	備考（変更履歴等）
	食品衛生管理者	北海道大学医学部保健学科検査技術科学専攻	37名	札幌市北区北12条西5丁目	011-706-3318		名和　豊春	国立大学法人北海道大学	令和2年度	

別記様式２

食品衛生管理者又は食品衛生監視員養成施設登録台帳

登録番号	養成施設の種別（食品衛生管理者又は食品衛生監視員）	養成施設の名称	入学定員	所在地	電話番号	登録年月日	長の氏名	設置者	適用開始入学年度	備考（変更履歴等）
	食品衛生監視員	北海道大学医学部保健学科検査技術科学専攻	37名	札幌市北区北12条西5丁目	011-706-3318		名和　豊春	国立大学法人北海道大学	令和2年度	

北海道大学医学部保健学科臨床指導教授等の称号付与に関する内規

平成 21 年２月 19 日
制　　定

（目的）

第１条　この内規は，北海道大学医学部保健学科（以下「本学科」という。）が行う臨床実習または臨地実習等の臨床教育に関し本学科が委嘱する学内・学外の保健医療機関等の優れた医療人に対して称号を付与し，もって臨床教育の指導体制の充実を図ることを目的とする。

（称号の種類）

第２条　称号の種類は，臨床指導教授，臨床指導准教授及び臨床指導講師（以下「臨床指導教授等」という。）とする。

（称号付与対象者）

第３条　称号は，本学科が委嘱する保健医療機関等に所属し，豊富な実務経験と優れた保健医療実践能力及び教育能力を有し，本学科学生に対する臨床教育を行う医療人に付与するものとする。

（候補者の推薦）

第４条　専攻主任は，臨床指導教授等の候補者を推薦する場合は，別紙様式第１号による推薦書に，別紙様式第２号による臨床指導教授等の候補者の同意書及び別紙様式第３号による履歴書を添え，保健学科長に申請するものとする。

（選考）

第５条　臨床指導教授等の選考は，保健学科会議において行う。

（選考基準）

第６条　臨床指導教授等として選考できる者は，保健医療機関等における豊富な実務経験と優れた保健医療実践能力及び教育能力を有する者とし，次の各号に掲げる称号の区分に応じ，当該各号に定める基準に該当する者について行うものとする。

(1)　臨床指導教授　臨床経験を15年以上有する博士の学位取得者で，看護部長，副看護部長，技師長又はこれらと同等の職位の者

(2)　臨床指導准教授　臨床経験を 10 年以上有する修士以上の学位取得者で，看護部長，副看護部長，看護師長，技師長，副技師長又はこれらと同等の職位の者

(3)　臨床指導講師　臨床経験を８年以上有する者で，看護師長，副看護師長，技師長，副技師長又はこれらと同等の職位の者で，職位経験が２年以上の者

２　臨床指導教授等の選考にあたっては，前項に定めるもののほか，次の各号に掲げる事項についても考慮するものとする。

(1)　本学科の実習指導等の臨床教育実績

(2)　学会及び職能団体の認定資格等

(3)　学識，実践能力及び特筆すべき技術，経験等

(4)　臨床教育に係る研修，講習会等への受講実績

(5)　その他臨床教育に有用な資格，能力，経験等

３　前条第１項各号における基準を満たさないが臨床指導教授等と同等であると思われる者の取扱いについては，その都度保健学科会議において審議する。

（職務）

第７条　臨床指導教授等は，本学科と保健医療機関等との合意に基づいて作成された教育カリキュラムに従い，臨床実習指導等の必要な職務を行うものとする。

（称号付与期間）

第８条　臨床指導教授等の称号を付与する期間は１年以内とし，年度を単位とする。また，更新は妨げない。

２　臨床指導教授等が，所属する保健医療機関等において身分を喪失した場合は，臨床指導教授等の称号も失効するものとする。

３　本学科と保健医療機関等との合意に基づいて作成された教育カリキュラムが終了した場合は，称号も失効するものとする。

（通知）

第９条　臨床指導教授等の称号付与は，別紙様式第４号による文書を交付して行うものとする。

（給与）

第10条　臨床指導教授等には，給与を支給しない。

（雑則）

第11条　この内規に定めるもののほか，臨床指導教授等の称号付与に関し必要な事項については，保健学科会議が別に定める

附　則

この内規は，平成 21 年４月１日から施行する。

附　則

この内規は，平成 22 年６月 17 日から施行する。

別紙様式第１号

推　薦　書

私は，北海道大学医学部保健学科臨床指導教授（又は准教授・講師）として下記の者を推薦します。

記

１．候補者

氏　名

所　属

職　名

２．推薦理由

３．指導科目

平成　　年　　月　　日

北海道大学医学部保健学科長　殿

推薦人

専攻名

氏　名　　印

以上

別紙様式第２号

同　意　書

私は，下記について同意いたします。

記

１．北海道大学医学部保健学科臨床指導教授（又は准教授・講師）となること。

２．次に掲げる必要書類を提出すること。

履歴書

３．称号付与に係る給与を受けないこと。

平成　　年　　月　　日

所　属
職　名
氏　名　　印

以上

別紙様式３号

<table>
<tr><td colspan="6">履　　歴　　書</td></tr>
<tr><td>ふりがな

氏　　名</td><td colspan="2"></td><td>男
・
女</td><td>本
籍
地</td><td>都　道

府　県</td><td rowspan="2">写 真 貼 付
脱帽，正面向き３か月以内に撮影したものであること
（縦４㎝×横３㎝）</td></tr>
<tr><td>生年月日

（年齢）</td><td>昭和
年　　月　　日
（　　歳）</td><td>現
住
所</td><td colspan="3">〒

TEL</td></tr>
<tr><td colspan="7">学　　歴</td></tr>
<tr><td>年 月 日</td><td colspan="6">事　　項</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="7">免　　許　・　資　　格</td></tr>
<tr><td>取得年月日</td><td colspan="6">事　　項</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="7">職　　歴</td></tr>
<tr><td>年 月 日</td><td colspan="6">事　　項</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="7">賞　　罰</td></tr>
<tr><td>年 月 日</td><td colspan="6">事　　項</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="7">上記のとおり相違ありません。
平成　　年　　月　　日
氏　名　　印</td></tr>
</table>

本学科の実習指導等の臨床教育実績	
事　　項	実習指導期間
	年　月　日 ～ 年　月　日

学会及び職能団体の認定資格等		
事　　項	年　月　日	概　　要

学識，実践能力及び特筆すべき技術・経験等	
事　　項	概　　要

臨床教育に係る研修，講習会等への受講実績		
事　　項	年　月　日	概　　要

その他臨床教育に有用な資格，能力，経験等	
事　　項	概　　要

別紙様式第４号

発令通知書

（氏　名）	（所　属・職　名）
（発令事項） 北海道大学医学部保健学科臨床指導教授（又は准教授・講師）の称号を付与する 期間は平成　　年　　月　　日までとする	
平成　　年　　月　　日 北海道大学医学部長　○　○　○　○	

資料保10

2019年度医学部保健学科臨床指導教授等候補者概要

No.	科目群等	現職名	免許	学位	臨床経験	職位経験	指導科目	指導経験	推薦称号	更新/新規
1	看護学	副看護部長	看護師	学士	36年	12年(副看護師長) 8年（看護師長） 7年（副看護部長）	看護学実習	15年	臨床指導教授	更新
2	看護学	副看護部長	看護師	準学士	33年	6年（副看護師長） 4年(看護師長) 5年（副看護部長）	看護学実習	15年	臨床指導准教授	更新
3	看護学	副看護部長	看護師	学士	36年	15年（副看護師長） 4年(看護師長) 3年(副看護部長)	看護学実習	36年	臨床指導准教授	更新
4	看護学	副看護部長	看護師	修士（がん看護学）	31年	5年（副看護師長） 9年(看護師長) 3年(副看護部長)	看護学実習	20年	臨床指導准教授	更新
5	看護学	副看護部長	看護師	学士	35年	9年（副看護師長） 6年（看護師長） 1年（副看護部長）	看護学実習	28年	臨床指導准教授	新規
6	看護学	看護師長	看護師 保健師	修士（看護学）	23年	6年6ヶ月（副看護師長） 7年（看護師長）	看護学実習	8年	臨床指導講師	更新
7	看護学	看護師長	看護師	修士（看護学）	29年	6年（副看護師長） 14年（看護師長）	看護学実習	27年	臨床指導講師	更新
8	看護学	看護師長	看護師	学士	34年	16年（副看護師長） 12年4ヶ月(看護師長)	看護学実習	27年	臨床指導講師	更新
9	看護学	看護師長	看護師 保健師 助産師	修士（経営学）	37年	5年（副看護師長） 22年(看護師長)	看護学実習	29年	臨床指導講師	更新
10	看護学	看護師長	看護師 助産師	修士（看護学）	31年	12年（副看護師長） 6年(看護師長)	看護学実習	19年	臨床指導講師	更新
11	看護学	看護師長	看護師	学士	38年	6年（副看護師長） 21年(看護師長)	看護学実習	34年	臨床指導講師	更新
12	看護学	看護師長	看護師 保健師	学士	24年	10年（副看護師長） 4年(看護師長)	看護学実習	19年	臨床指導講師	更新
13	看護学	看護師長	看護師	準学士	32年	19年（副看護師長） 5年（看護師長）	看護学実習	6年	臨床指導講師	更新
14	看護学	看護師長	看護師 保健師	修士（成人看護学）	25年	6年（副看護師長） 5年（看護師長）	看護学実習	3年	臨床指導講師	更新
15	看護学	看護師長	看護師	準学士	34年	7年（副看護師長） 12年（看護師長）	看護学実習	3年	臨床指導講師	更新
16	看護学	看護師長	看護師	準学士	33年	12年（副看護師長） 13年（看護師長）	看護学実習	28年	臨床指導講師	更新
17	看護学	看護師長	看護師	学士	36年	14年（副看護師長） 13年（看護師長）	看護学実習	32年	臨床指導講師	新規
18	看護学	看護師長	看護師	なし	32年	26年（副看護師長） 3年（看護師長）	看護学実習	22年	臨床指導講師	新規
19	放射線技術科学	学術担当監 （事務次長）	診療放射線技師	修士（学術）	31年	3年（係長） 2年（科長補佐） 7年（科長） 1年（学術担当監）	臨床実習Ⅲ	13年	臨床指導准教授	更新

2019年度医学部保健学科臨床指導教授等候補者概要

No.	科目群等	現職名	免許	学位	臨床経験	職位経験	指導科目	指導経験	推薦称号	更新/新規
20	放射線技術科学	副技師長	診療放射線技師	博士（保健科学）	26年	7年（副技師長）	臨床実習Ⅰ	26年	臨床指導准教授	更新
21	放射線技術科学	副診療放射線技師長	診療放射線技師	博士（医学）	19年	6年（副技師長）	臨床実習Ⅳ核医学概論核医学機器工学概論	16年	臨床指導准教授	更新
22	放射線技術科学	放射線部長	診療放射線技師	専門士	34年	5年3ヶ月（次長） 9年（部長）	臨床実習Ⅲ	15年	臨床指導講師	更新
23	放射線技術科学	技術フェロー	診療放射線技師	学士	25年	9年3ヶ月（係長） 6年（課長補佐） 5年（課長） 1年（技術フェロー）	臨床実習Ⅲ	15年	臨床指導講師	更新
24	放射線技術科学	課長	診療放射線技師	準学士	21年	5年（係長） 3年（課長補佐） 2年（課長）	臨床実習Ⅲ	10年	臨床指導講師	更新
25	検査技術科学	検査・輸血部副技師長	臨床検査技師	博士（医学）	36年	12年10ヶ月(副技師長)	画像検査学画像検査学演習	29年	臨床指導教授	更新
26	検査技術科学	ME危機管理センター副部長	臨床工学技士	修士（医学）	23年	2年（副技師長） 3年（技師長）	医用工学概論実習	3年	臨床指導准教授	更新
27	理学療法学	理事 （リハビリテーション科科長兼務）	理学療法士	博士（工学）	27年	18年（科長） 4年（理事）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	3年	臨床指導教授	更新
28	理学療法学	リハビリテーション科長	理学療法士	博士（保健学）	23年	10年（科長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	5年	臨床指導教授	更新
29	理学療法学	副部長 （理学療法科長兼務）	理学療法士	修士（学術）	23年	11年（科長） 5年（副部長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	11年	臨床指導准教授	更新
30	理学療法学	副技師長	理学療法士	博士（保健科学）	14年	14年（副技師長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	11年	臨床指導准教授	新規
31	理学療法学	リハビリテーション科科長	理学療法士	準学士	22年	13年（科長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	19年	臨床指導講師	更新
32	理学療法学	リハビリテーション科長	理学療法士	学士	18年	5年（主任） 11年（科長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ臨床評価実習臨床見学実習	9年	臨床指導講師	更新
33	理学療法学	リハビリテーション科科長	理学療法士	準学士	24年	4年（主任） 11年（科長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	18年	臨床指導講師	更新
34	理学療法学	主任	理学療法士	準学士	23年	12年5ヶ月（主任）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	6年	臨床指導講師	更新
35	理学療法学	リハビリセンター主任	理学療法士	準学士	21年	5年1ヶ月（主任）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	21年	臨床指導講師	更新
36	作業療法学	作業療法部副室長	作業療法士	博士（作業療法学）	22年	8年（主任） 4年（副室長）	臨床実習Ⅲ・Ⅳ	9年	臨床指導教授	更新
37	作業療法学	リハビリテーション科技師長	作業療法士	修士（作業療法学）	30年	24年（主任） 2年（技師長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	26年	臨床指導准教授	更新
38	作業療法学	作業療法科技師長・法人評議員	作業療法士	準学士	32年	13年（法人評議員） 19年（技師長）	臨床実習Ⅲ・Ⅳ	17年	臨床指導講師	更新
39	作業療法学	医療技術部副部長 作業療法科科長	作業療法士	学士	29年	2年（科長） 9年（副部長・科長）	臨床実習Ⅲ・Ⅳ	10年	臨床指導講師	更新

2019年度医学部保健学科臨床指導教授等候補者概要

No.	科目群等	現職名	免許	学位	臨床経験	職位経験	指導科目	指導経験	推薦称号	更新/新規
40	作業療法学	リハビリテーション部課長	作業療法士	準学士	35年	2年（主任） 6年（課長代理） 20年（課長）	臨床実習Ⅰ・Ⅲ	33年	臨床指導講師	更新
41	作業療法学	センター長	作業療法士	準学士	32年	6年（主幹） 8年（センター長）	臨床実習Ⅱ・Ⅲ	9年	臨床指導講師	更新
42	作業療法学	デイケアセンター長	作業療法士	学士	26年	2年（主任） 10年（科長） 6年（センター長）	臨床実習Ⅰ・Ⅲ	7年	臨床指導講師	更新
43	作業療法学	在宅リハケアセンター次長	作業療法士	学士	28年	3年（主任） 7年（係長） 7年（科長） 5年（次長）	臨床実習Ⅰ・Ⅳ	19年	臨床指導講師	更新
44	作業療法学	主査	作業療法士	準学士	30年	19年（主任指導員） 1年（主査）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ臨床評価実習	11年	臨床指導講師	更新
45	作業療法学	作業療法室主任	作業療法士	学士	31年	28年（主任）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	15年	臨床指導講師	更新
46	作業療法学	リハビリテーション部主任	作業療法士	準学士	23年	5年（主任）	臨床実習Ⅰ・Ⅲ	23年	臨床指導講師	新規
47	作業療法学	リハビリテーション部主任	作業療法士	準学士	14年	3年（主任）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	9年	臨床指導講師	新規
48	作業療法学	作業療法士係長	作業療法士	専門士	18年	7年（係長）	臨床実習Ⅲ・Ⅳ	12年	臨床指導講師	新規
49	作業療法学	デイケア科科長	作業療法士	準学士	17年	5年5ヶ月（科長）	臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	3年	臨床指導講師	新規

資料保11

○北海道大学客員教員規程

平成16年４月１日
海大達第114号

（趣旨）

第１条　この規程は，国立大学法人北海道大学組織規則（平成16年海大達第31号）第８条第４項の規定に基づき，国立大学法人北海道大学（以下「本学」という。）の客員教員に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この規程において「職員」とは，本学の職員のうち，国立大学法人北海道大学職員就業規則（平成16年海大達第85号），国立大学法人北海道大学船員就業規則（平成16年海大達第86号）及び国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）の適用を受けない者をいう。

（客員教員）

第３条　職員のうち，本学の内外における業務遂行上必要があると認められる者であって，本学において教育又は研究に従事するものについては，経歴及び教育又は研究業績等を勘案し，客員教員とすることができる。

２　前項の規定により客員教員とすることができる職員は，次に掲げる者とする。

(1)　客員講座，客員研究部門又は客員研究分野に所属する者

(2)　連携講座又は連携分野に所属する者

(3)　北海道大学寄附講座等規程（昭和62年海大達第35号）第８条第１項第２号に規定する寄附講座等教員

(4)　プロジェクト研究等のために採用された者

(5)　北海道大学招へい教員規程（平成17年海大達第１号。次項において「招へい教員規程」という。）第２条第１号に規定する招へい教員

３　前項の規定にかかわらず，次に掲げる者のうち，総長が特に相当と認める者を，同項の職員に加えることができる。

(1)　非常勤講師（顕著な教育研究上の業績を有する者又は民間企業の経営者，国の機関の職員その他これらに準ずる実務経験者であり，本学の教育研究活動の進展に寄与すると認められる者に限る。）

(2)　招へい教員規程第２条第２号に規定する招へい教員

４　第１項の客員教員に対しては，客員教授又は客員准教授を称せしめることができる。

（選考基準）

第４条　客員教員の選考基準は，次のとおりとする。

(1)　客員教授を称せしめることができる者は，本学の教授と同等以上の資格があると認められる者であること。

(2)　客員准教授を称せしめることができる者は，本学の准教授と同等以上の資格があると認められる者であること。

（選考）

第５条　客員教員の選考は，当該教員の所属する（所属する予定の場合を含む。）教育研究組織（人材育成本部，創成研究機構，創成研究機構化学反応創成研究拠点，高等教育推進機構，安全衛生本部，大学力強化推進本部，産学・地域協働推進機構，国際連携機構及びサステイナブルキャンパスマネジメント本部を含む。）の教授会（これに相当する機関及び教授会に属する職員のうち一部の者をもって構成される代議員会，専門委員会等を含む。）の審査を経て，総長が行う。

２　前項の規定にかかわらず，国立大学法人北海道大学人事委員会規程（平成16年海大達第66号）第２条第１号に規定する客員教員の選考は，人事委員会が行う。

（了知方法）

第６条　職員を客員教員とした場合には，文書にその旨を明記して本人に了知させるものとする。

（雑則）

第７条　この規程に定めるもののほか，客員教員に関し必要な事項は，総長が別に定める。

附　則

１　この規程は，平成16年４月１日から施行する。

２　この規程の施行前に廃止前の北海道大学客員教授及び客員助教授選考基準（昭和47年11月15日制定）の規定に基づく選考により既に客員教授又は客員助教授を称せしめられ，この規程の施行の日以後第３条第２項及び第３項に規定する職員となる者については，この規程の規定により客員教授又は客員助教授として選考されたものとみなす。

附　則（平成17年１月11日海大達第２号）

この規程は，平成17年１月11日から施行し，平成17年１月１日から適用する。

附　則（平成17年３月１日海大達第20号）

この規程は，平成17年４月１日から施行する。

附　則（平成18年４月１日海大達第53号）

この規程は，平成18年４月１日から施行する。

附　則（平成19年４月１日海大達第82号）

1　この規程は，平成19年４月１日から施行する。

2　この規程の施行の際現に改正前の第３条第４項の規定による客員助教授の称号を付与された客員教員は，この規程の施行の日に，改正後の第３条第４項の規定による客員准教授の称号を付与されたものとみなす。この場合において，客員准教授の称号を付与されたとみなされる者の称号の付与の期間は，改正前の第３条第４項の規定により付与された期間と同一の期間とする。

附　則（平成21年４月１日海大達第70号）

この規程は，平成21年４月１日から施行する。

附　則（平成22年６月30日海大達第165号）

この規程は，平成22年６月30日から施行し，平成22年４月１日から適用する。

附　則（平成22年７月１日海大達第207号）

この規程は，平成22年７月１日から施行する。

附　則（平成22年10月１日海大達第240号）

この規程は，平成22年10月１日から施行する。

附　則（平成26年２月１日海大達第16号）

この規程は，平成26年２月１日から施行する。

附　則（平成26年４月１日海大達第48号）

この規程は，平成26年４月１日から施行する。

附　則（平成27年４月１日海大達第78号）

この規程は，平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成28年10月１日海大達第195号）

この規程は，平成28年10月１日から施行する。

附　則（平成30年４月１日海大達第28号）

この規程は，平成30年４月１日から施行する。

附　則（平成30年12月20日海大達第159号）抄

この規程は，平成30年12月20日から施行し，平成30年10月23日から適用する。

資料保12

管理運営体制

資料保13

北海道大学医学部保健学科専攻主任会議要項

平成 15 年 10 月 21 日
保健学科会議申合せ

（設置）

第１条　北海道大学医学部保健学科（以下「本学科」という。）に専攻主任会議を置く。

（任務）

第２条　専攻主任会議は，医学部保健学科長（以下「学科長」という。）の諮問に応じ，次の事項を審議する。

(1)　保健学科会議の議題整理に関すること。

(2)　専攻（学科目）に共通する重要事項の連絡調整に関すること。

(3)　その他，学科長から審議を付託された事項。

（構成員）

第３条　専攻主任会議は，次の者をもって構成する。

(1)　学科長

(2)　各専攻（学科目）から専攻主任として選出された教授　各１名

（任期）

第４条　前条第２号の委員の任期は，１年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

（招集及び議長）

第５条　学科長は，専攻主任会議を招集し，その議長となる。

２　学科長に事故があるときは，あらかじめ学科長により指名された専攻主任が議長を代行する。

（開催）

第６条　専攻主任会議は，学科長が必要と認めたときに開催するものとする。

（構成員以外の者の出席）

第７条　専攻主任会議が必要と認めたときは，専攻主任会議に構成員以外の者の出席を求め，説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）

第８条　専攻主任会議の庶務は，医学系事務部が行う。

（雑則）

第９条　この要項に定めるもののほか，専攻主任会議の運営に関し必要な事項は，学科長が別に定める。

附　則

この要項は，平成 15 年 10 月 21 日から実施し，平成 15 年 10 月１日から適用する。

附　則

この要項は，平成 20 年４月 17 日から実施し，平成 20 年４月１日から適用する。

附　則

この要項は，平成 23 年４月 21 日から実施し，平成 23 年４月１日から適用する。

資料保14

北海道大学医学部保健学科教務委員会早期臨床体験実習専門委員会申合せ

（設置）

第１条　北海道大学医学部保健学科教務委員会内規第７条第２項の規定に基づき，北海道大学医学部保健学科教務委員会（以下「教務委員会」という。）に早期臨床体験実習専門委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（審議事項）

第２条　委員会は早期臨床体験実習について審議･実行し，教務委員会へ報告する。

（組織）

第３条　委員会は次に掲げる者をもって組織する．

（１）各学科目の教授，准教授，講師又は助教　各１名

（２）その他教務委員会委員長が必要と認めた者　若干名

（任期）

第４条　前条の委員の任期は，１年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

２　前項の委員は，再任されることができる。

（委員長）

第５条　委員会に委員長を置き，教務委員会委員長が指名する。

第６条　委員会が必要と認めたときは，委員以外の者を委員会へ出席させ，説明または意見を聴くことができる．

（庶務）

第７条　委員会の庶務は，医学系事務部が行う。

附　記

１　第４条第１項の任期は，各年度の２月１日から１年間とする。

２　この申合せは平成 20 年６月９日から実施し，平成 20 年４月１日から適用する。

北海道大学医学部保健学科成績評価専門委員会申し合わせ

平成 21 年５月 21 日
制　　定

（設置）

第１条　北海道大学医学部保健学科教務委員会内規第７条第２項の規定に基づき，北海道大学医学部保健学科教務委員会（以下「教務委員会」という。）に成績評価専門委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（審議事項）

第２条　委員会は，次の各号に掲げる事項について審議し，教務委員会へ報告する。

(1)　医学部保健学科の授業科目（専門教育科目に限る。以下同じ。）の成績評価について，保健学科の学生が異議申立てをした場合に調査・検討を行う。

(2)　医学部保健学科の授業科目の成績評価について，適正に行われているか定期的に調査を行う。

(3)　医学部保健学科の授業科目について，学生による授業アンケートを実施し分析及び活用を行う。

（組織）

第３条　委員会は次に掲げる者をもって組織する。

(1)　教務委員会委員（１名）

(2)　医学部保健学科の授業科目を担当する各専攻の教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成 18 年海大達第 35 号）第３条第２号に該当する特任教員を含む。）（各１名）（前項の委員が所属する専攻を除く。）

(3)　その他，保健学科長が認めた者（若干名）を加えてよいものとする

（任期）

第４条　前条の委員の任期は，１年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

２　前項の委員は，再任されることができる。

（委員長）

第５条　委員会に委員長を置き，第３条第１号の委員をもって充てる。ただし，第６条に掲げる場合であって，委員長が第８条第２項の規定により委員会の構成員となれないときには，他の委員が代行するものとする。

（異議申立て）

第６条　第２条に基づき，学生から授業科目の成績評価について異議申立てがあった際には，随時委員会を開催する。異議申立てに係る委員会の開催は，次に掲げる場合とする。

(1)　シラバスに記載してある成績評価方法や授業中に指示のあった成績評価方法と，異なる成績評価方法により評価されたことを，学生が客観的・具体的事実をもって示すことができる場合

(2)　明らかに誤記入によるものと思われる場合で，学生が客観的・具体的事実をもって

示すことができる場合

（異議申立ての方法）

第７条　前条第１号又は第２号の異議申立ては，別紙様式による異議申立書を，保健学科教務担当窓口へ提出することによって行なう。

２　異議申立ての受付期間は，学期毎に定める。

（異議申立てに関する事項の審議）

第８条　第６条に規定される異議申立てがあった場合には，当該異議申し立てに関する事項の調査及び検討を，委員会が行なうものとする。

２　第３条に掲げる委員であっても，異議申立てに係る授業科目の担当教員である場合には，委員会の構成員となることはできない。この場合，保健学科長は，当該委員会の構成員が３名以上となるよう第３条第３項に掲げる者を指名しなければならない。

３　委員会は，異議申立てを行なった学生及び当該授業科目の担当教員から事情聴取を行う等の調査を行い，検討する。

４　委員会は，前項の検討結果に基づき，調査・検討結果の回答書面を作成し，教務委員会に報告する。

５　前項の報告に基づき，教務委員会の議を経て，教務委員長が当該学生に調査・検討結果を通知する。

（雑則）

第９条　この申合わせに定めるもののほか，医学部保健学科の授業科目の成績評価の異議申立ての取扱いについて必要な事項は，医学部保健学科会議の議を経て，保健学科長が定める。

附　則

この申し合わせは，平成 21 年５月 21 日から実施する。

附　則

この申し合わせは，平成 23 年４月 21 日から実施し，平成 23 年４月１日から適用する。

附　則

この申し合わせは，平成 24 年４月１日から実施する。

附　則

この申し合わせは，平成 27 年４月１日から実施する。

附　則

この申し合わせは，平成 30 年４月１日から実施する。

別紙様式（第７条関係）

保健学科専門教育科目にかかる成績評価に関する異議申立書

所属専攻名			
学生番号		学年	年
氏名			
連絡先（電話番号）			
E-mail アドレス			
開講学期	平成　　年度　第１学期，第２学期 ※年度を記入し，該当する学期を○で囲むこと。		
科目・講義題目			
担当教員氏名			

質問内容

注：申立てできるのは以下の場合です。

(1)　シラバスに記載してある成績評価方法や授業中に指示のあった成績評価方法と，異なる成績評価方法により評価されたことを，学生が客観的・具体的事実をもって示すことができる場合（客観的・具体的事実を示す資料を添付すること）

(2)　明らかに誤記入によるものと思われる場合で，学生が客観的・具体的事実をもって示すことができる場合（客観的・具体的事実を示す資料を添付すること）

＊事務担当者確認欄	受領月日　（　平成　　年　　月　　日）

資料保16

北海道大学医学部保健学科教務委員会内規

平成 15 年 12 月 16 日
制　　定

（設置）

第１条　北海道大学医学部保健学科（以下「保健学科」という。）に医学部保健学科教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（審議事項）

第２条　委員会は，次の各号に掲げる事項について審議する。

(1)　カリキュラムに関すること。

(2)　授業科目の単位修得及び履修に関すること。

(3)　授業及び試験の実施に関すること。

(4)　学生の修学指導に関すること。

(5)　学生の再入学，編入学及び転入学並びに卒業に関すること。

(6)　学生の留学及び除籍に関すること。

(7)　特別聴講学生及び外国人留学生等に関すること。

(8)　その他教務に関すること。

（組織）

第３条　委員会は，次に掲げる者をもって組織する。

(1)　各学科目の教授，准教授又は講師（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成 18 年海大達第 35 号）第３条第２号に該当する特任教員のうち，特任教授，特任准教授及び特任講師の職にある者を含む。）　各１名

(2)　その他保健学科長（以下「学科長」という。）が必要と認めた者　若干名

（任期）

第４条　前条の委員の任期は，２年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

２　前項の委員は，再任されることができる。

（委員長）

第５条　委員会に委員長を置く。

２　委員長は，委員のうちから学科長が指名する。

３　委員長は，委員会を招集し，その議長となる。

４　委員長に事故があるときは，あらかじめ委員長が指名した委員が，その職務を代行する。

（議事）

第６条　委員会は，委員の過半数が出席しなければ議事を開くことができない。

２　委員会の議事は，出席委員の過半数をもって決するものとする。

（専門委員会）

第７条　委員会に専門事項を審議又は調査するため，必要に応じて専門委員会を置くことができる。

２　専門委員会の組織及び運営に関し必要な事項は，委員会が別に定める。

（委員以外の者の出席）

第８条　委員会が必要と認めたときは，委員会に委員以外の者の出席を求め，説明又は意

見を聴くことができる。

（庶務）

第９条　委員会の庶務は，医学系事務部が行う。

（雑則）

第10条　この内規に定めるもののほか，委員会の運営に関し必要な事項は，委員会が別に定める。

附　則

１　この内規は，平成 15 年 12 月 16 日から施行する。

２　この内規施行の後，最初に委嘱される委員の任期は，第４条第１項の規定にかかわらず，平成 17 年３月 31 日までとする。

附　則

この内規は，平成 19 年４月 19 日から施行し，平成 19 年４月１日から適用する。

附　則

この内規は，平成 20 年４月３日から施行し，平成 20 年４月１日から適用する。

附　則

１　この内規は，平成 21 年２月 19 日から施行する。

２　この内規施行の後，最初に委嘱される委員の任期は，第４条第１項の規定にかかわらず，平成 22 年３月 31 日までとする。

附　則

この内規は，平成 23 年４月 21 日から施行し，平成 23 年４月１日から適用する。

附　則

この内規は，平成 27 年４月１日から適用する。

資料保17

「保健・医療概論」成績評価に関する申合せ

平成２６年１０月１４日
教 務 委 員 会 決 定

１）「保健・医療概論」の構成について
講義（3 回）・領域ガイダンス（3 回）・実習説明会（1 回）・実習前グループワーク（1 回）・2 日間の早期臨床体験実習により構成され、8 回の授業と早期臨床体験実習の出席が必須となる。

２）責任教員について
専攻のローテーションにより決定する。担当の専攻より、科目責任者 1 名および早期臨床体験実習委員会実行委員長 1 名を選出する。
講義 3 回は、科目責任者管轄、領域ガイダンス・実習は、早期臨床体験実習実行委員会管轄とする。

３）成績評価について
・8 回の授業の出席および実習後に提出するレポートにより判断する。
出席点：1 回 5 点×8 回分＝40 点
レポート：60 点満点
計 100 点満点で算出する。

・成績評価は「合・否」で行う。

附則
１．この申合せは，平成 27 年度以降の入学者を対象に平成 28 年 4 月 1 日から実施する。
２．平成 27 年 3 月 31 日に本学に在学する者については，改正後の申合せにかかわらず，なお従前の例による。

資料保18

	H28		H29		H30		R1	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
対象教員数	51	53	50	54	45	53	47	
実施教員数	35	41	36	40	40	44	45	
実施率	68.6%	77.4%	72.0%	74.1%	88.9%	83.0%	95.7%	#DIV/0!

FD研修実施状況

年度	受講者	講演内容
H27	71名	○英語論文執筆・投稿のTips：Nature Masterclassesワークショップ参加報告会 北海道大学大学院保健科学研究院 教授　山内　太郎 北海道大学大学院保健科学研究院 教授　横澤　宏一 北海道大学大学院保健科学研究院 助教　藤田和佳子 ○人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 北海道大学大学院保健科学研究院 教授・傳田　健三
H28	58名	○北海道大学におけるハラスメントの予防と対策 北海道大学ハラスメント相談室 専門相談員　髙橋　賢充　氏（社会福祉士・精神保健福祉士） ○北海道大学におけるハラスメント相談の現状と課題 北海道大学ハラスメント相談室 専門相談員　築田　美抄　氏（精神保健福祉士） ○ELMSの使い方～初級・中級編～ 北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 特定専門職員　松本　哲哉　氏
H29	74名	○保健科学教育からイノベーションへのアプローチ イノベーションはなぜ途絶えたかー科学立国日本の危機 京都大学大学院総合生存学館（思修館） 教授　山口　栄一　氏 ○一億総活躍社会の実現に向けて 多様な人材が存分に能力を発揮できる研究環境とは？ ～女性研究者支援の取組から～ 北海道大学人材育成本部女性者支援室 特任准教授　長堀　紀子　氏
H30	71名	○学生教育の国際化を目指して Important points about Teaching in English 北海道大学高等教育研修センター・FD部門 学術研究員　Michal MAZUR　氏 ○世界に向けた情報発信の促進 Tips for giving a successful English presentation 英語による発表の効果を最も高めるためのヒント 北海道大学大学院保健科学研究院・保健科学部門健康科学分野 博士研究員　BOASEN JARED FRANKLIN　氏

資料保 20

保健学科セミナーの開催（2019 年度分）

◆ 【テーマ】バイオコモンズは どこまで進んだか
【対　象】全教職員
【講　師】国立成育医療研究センター研究所 先端医療開発室　絵野沢 伸
【日　時】2020 年 1 月 31 日（金） 18：00～

◆ 【テーマ】人工知能の臨床応用－特徴量をどう使うか－
【対　象】教員，大学院生及び学部学生
【講　師】新潟大学脳研究所総合脳機能研究センター 脳機能解析学分野
准教授 松澤　等
【日　時】2019 年 12 月 5 日（木）18:30～

◆ 【テーマ】膵島移植・再生医療の現状と展望
【対　象】全教職員
【講　師】琉球大学大学院医学研究科再生医学講座　教授　野口洋文
【日　時】2019 年 11 月 18 日（月） 18：00～

◆ 【テーマ】“Monte Carlo Technique in Radiation Therapy”
【対　象】全教職員
【講　師】Dr. Lakkana APIPANYASOPON　チュラロンコン大学（タイ） 講師
【日　時】2019 年 7 月 17 日（水） 16：30～

◆ 第 2 回国際シンポジウム(The 2nd FHS International Conference) *2015 年 7 月 3 日、保健科学研究院にて第 2 回国際シンポジウム(The 2nd FHS International Conference: Gazing into the Future of Health Sciences in Asia)が開催。

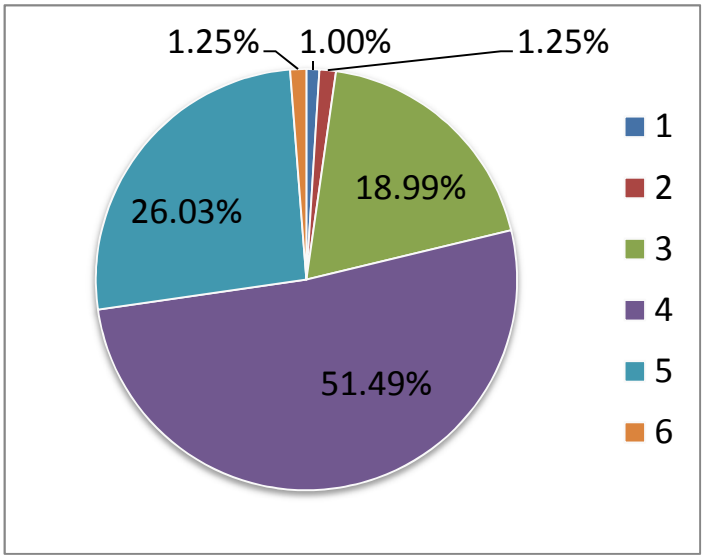
資料保21

授業アンケート実施率推移

	H28		H29		H30		R1	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
対象教員数	51	53	50	54	45	53	47	
実施教員数	35	41	36	40	40	44	45	
実施率	68.6%	77.4%	72.0%	74.1%	88.9%	83.0%	95.7%	#DIV/0!

【医学部保健学科平成28年度第1学期授業アンケート結果】

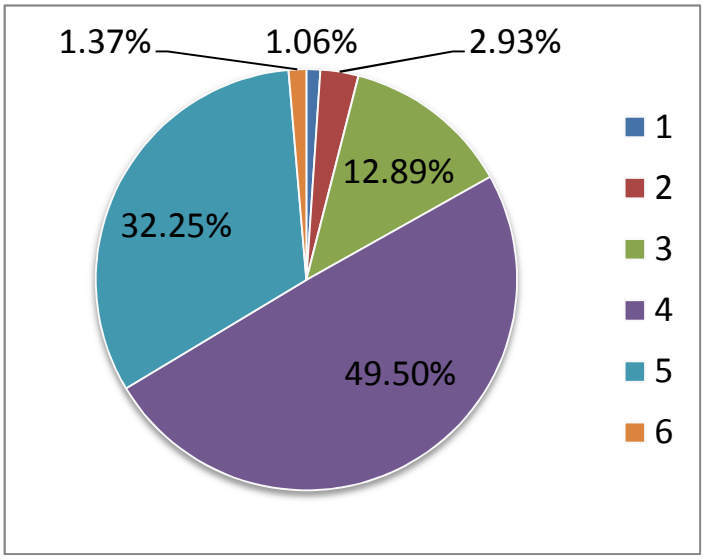
設問1　　シラバスではこの科目の重要性・内容・成績評価基準が明確に示されていましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

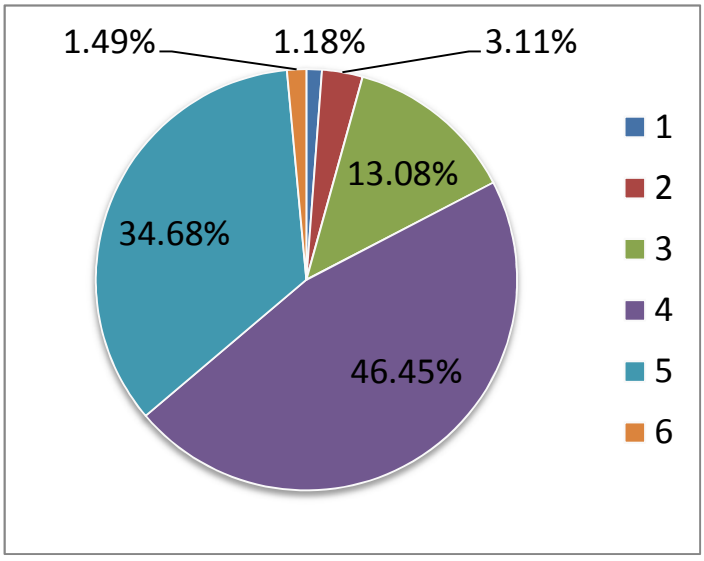
設問2　　教員は決められた授業・演習・実習時間を有効に活用していましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

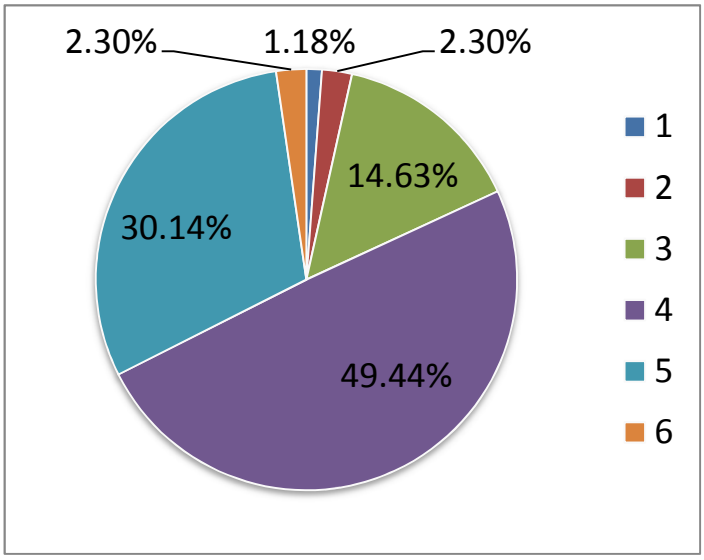
設問3　　教科書、資料テキスト、Power Point、AV、黒板等の使われ方が効果的でしたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

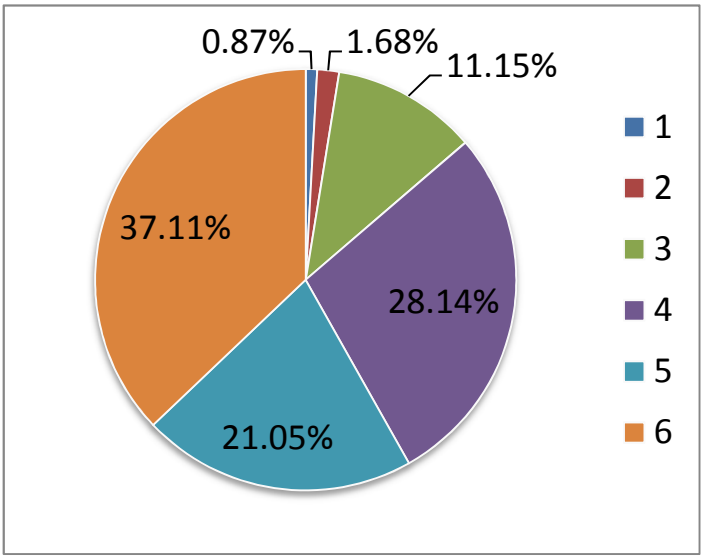
設問4　適切なテキストまたは要項に従って演習は行われていましたか。（授業・演習のみ）



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

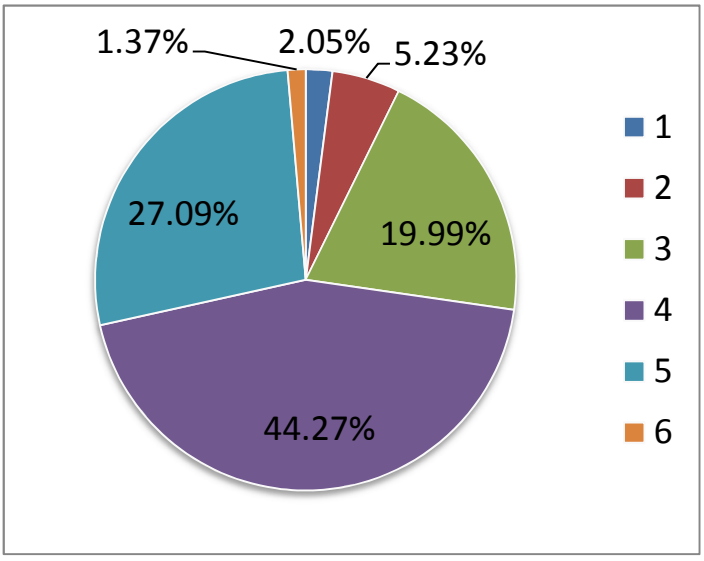
設問5　学生実習を支援のための教員又は指導者の人員は十分でしたか。（実習のみ）



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

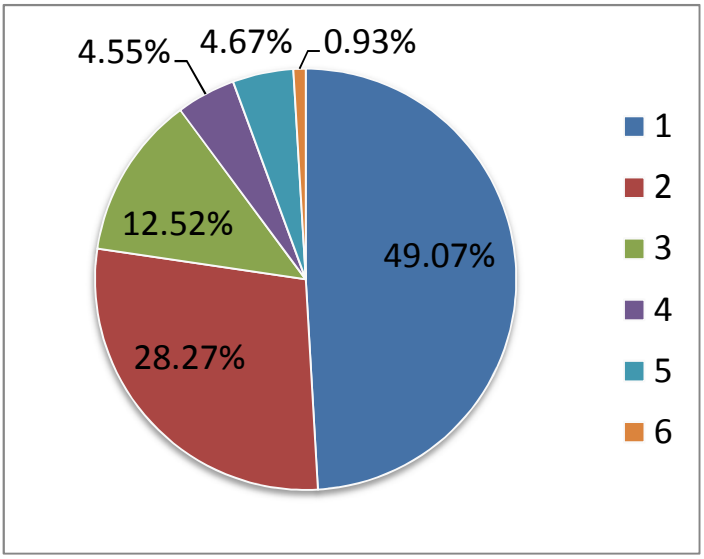
設問6　知的に刺激され、より深く勉強しようと思いましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

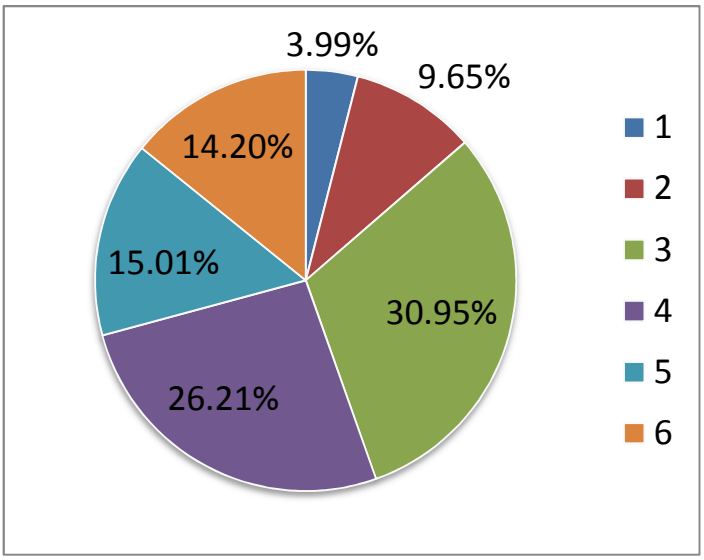
設問7　その科目の復習・予習に費やした時間は毎回どの程度ですか。
（1：1時間未満　2：1～2時間　3：2～3時間　4：3～4時間　5：4時間以上 ）



回答方法
5段階評価による選択式

1 ：1時間未満
2 ：1～2時間
3 ：2～3時間
4 ：3～4時間
5 ：4時間以上
※6 未回答

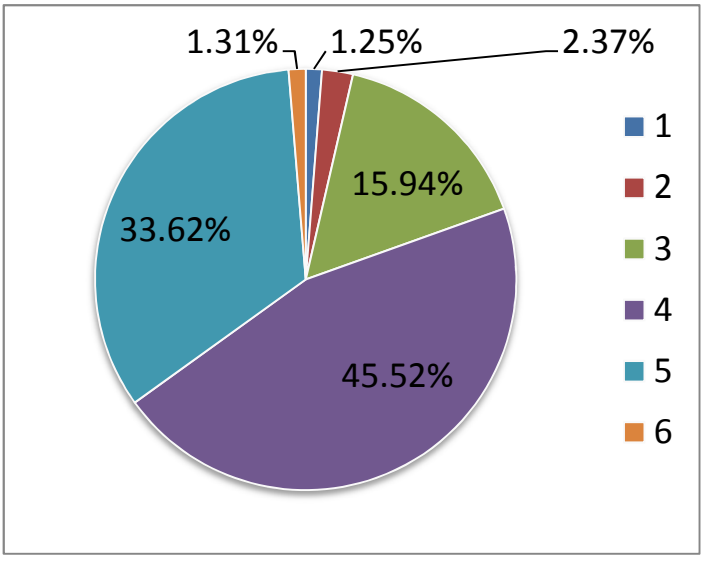
設問8　時間を惜しんで実習に取り組むことができましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

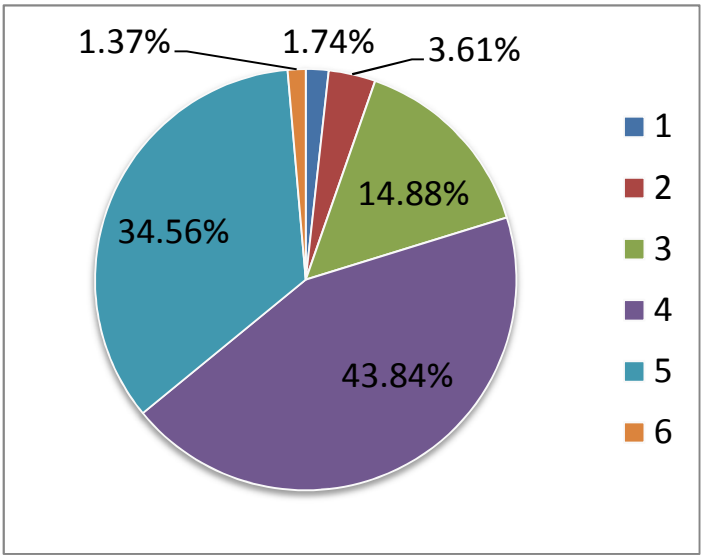
設問9　教員の熱意は伝わってきましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

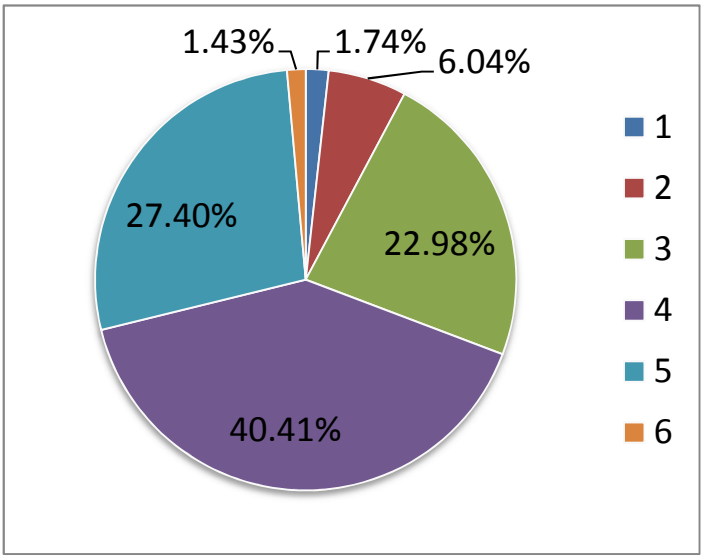
設問10　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

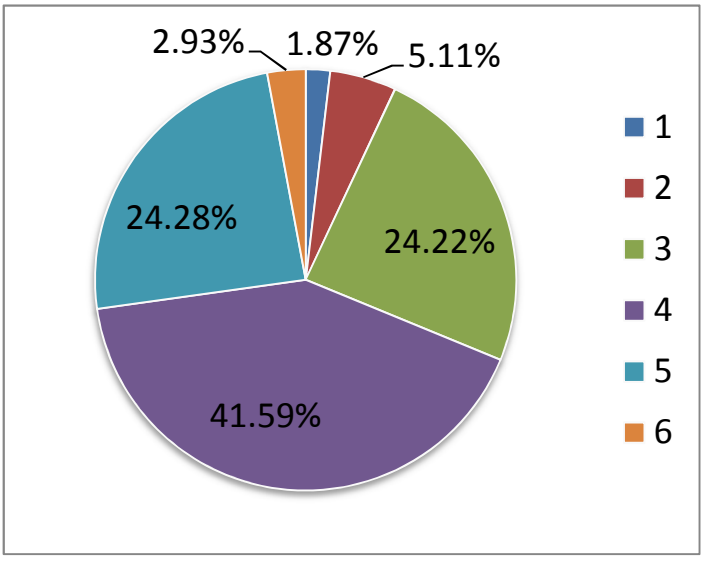
設問11　教員は学生の参加（発言や作業）を促しましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

設問12　主体的に考え行動した講義・演習・実習だと思いましたか。



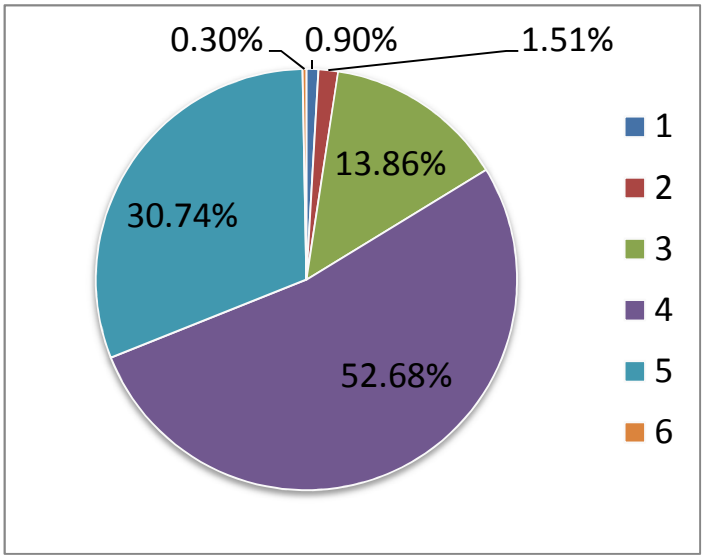
回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

資料保23

【医学部保健学科平成28年度第2学期授業アンケート結果】

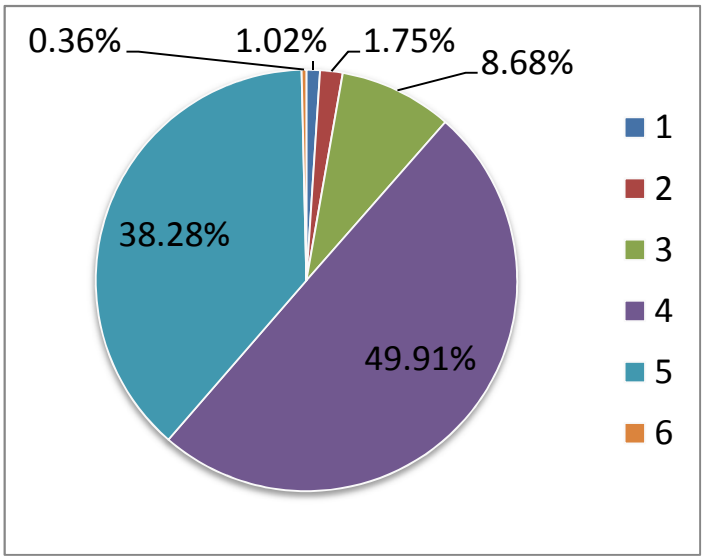
設問1　　シラバスではこの科目の重要性・内容・成績評価基準が明確に示されていましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

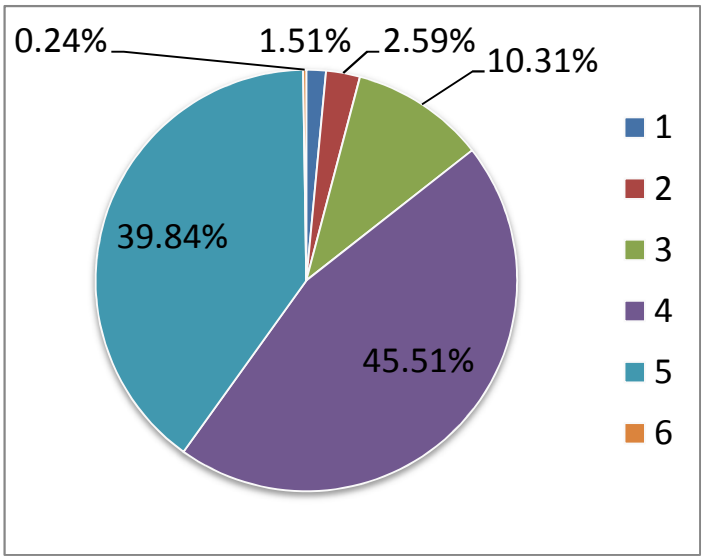
設問2　　教員は決められた授業・演習・実習時間を有効に活用していましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

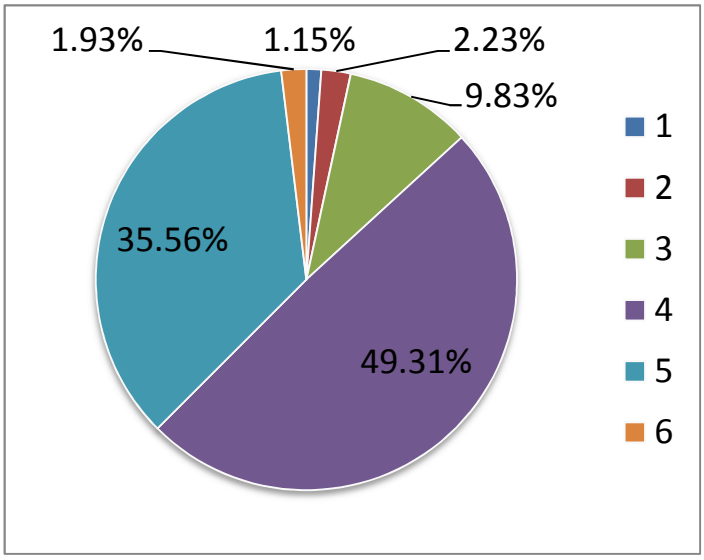
設問3　　教科書、資料テキスト、Power Point、AV、黒板等の使われ方が効果的でしたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

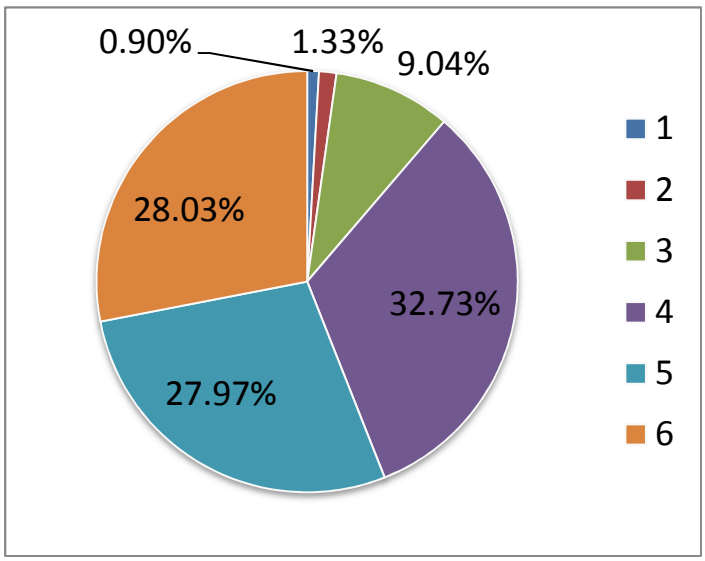
設問4　適切なテキストまたは要項に従って演習は行われていましたか。（授業・演習のみ）



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

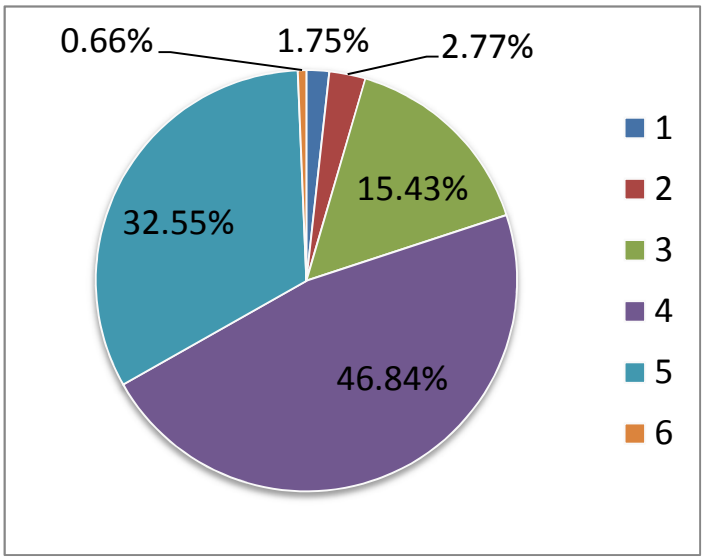
設問5　学生実習を支援のための教員又は指導者の人員は十分でしたか。（実習のみ）



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

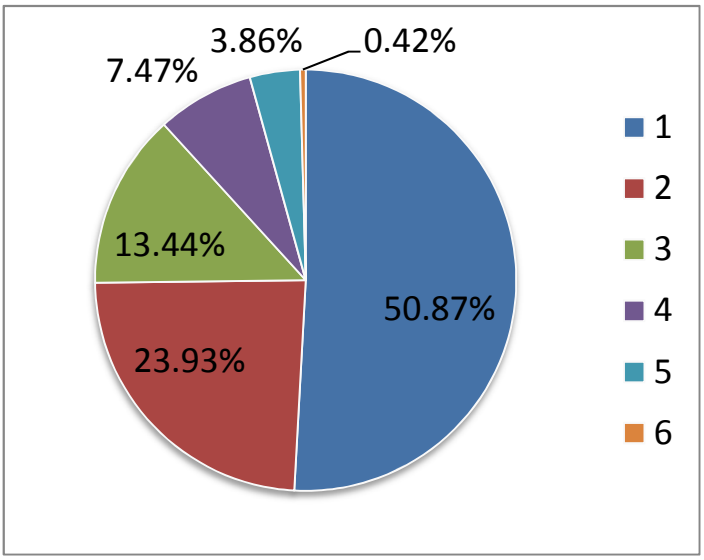
設問6　知的に刺激され、より深く勉強しようと思いましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

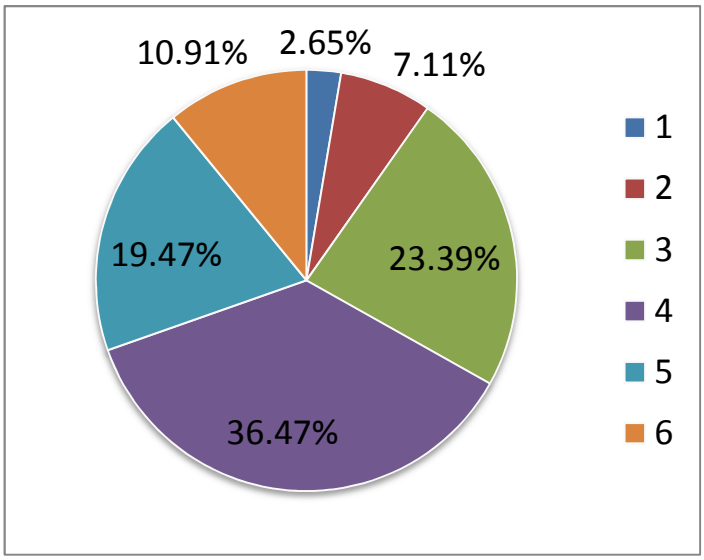
設問7　その科目の復習・予習に費やした時間は毎回どの程度ですか。
（1：1時間未満　2：1～2時間　3：2～3時間　4：3～4時間　5：4時間以上 ）



回答方法
5段階評価による選択式

1 ：1時間未満
2 ：1～2時間
3 ：2～3時間
4 ：3～4時間
5 ：4時間以上
※6 未回答

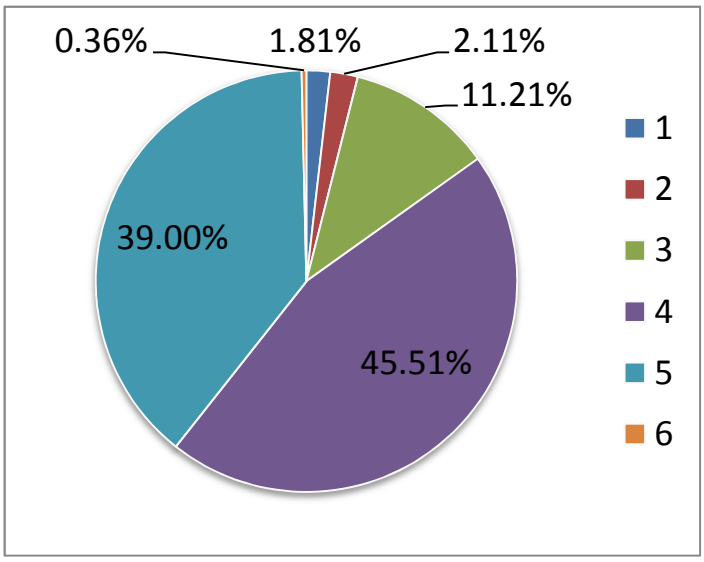
設問8　時間を惜しんで実習に取り組むことができましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

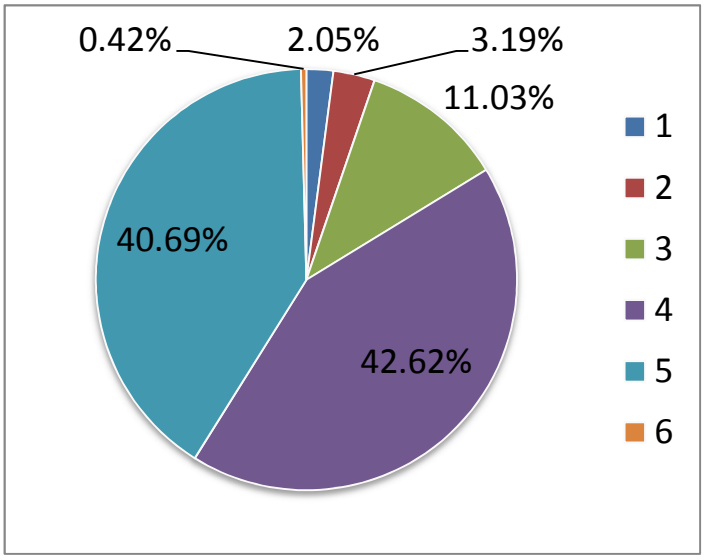
設問9　教員の熱意は伝わってきましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

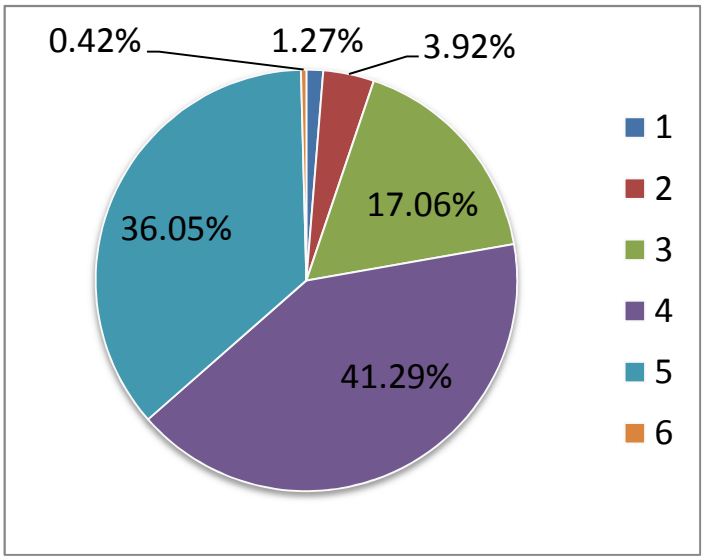
設問10　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

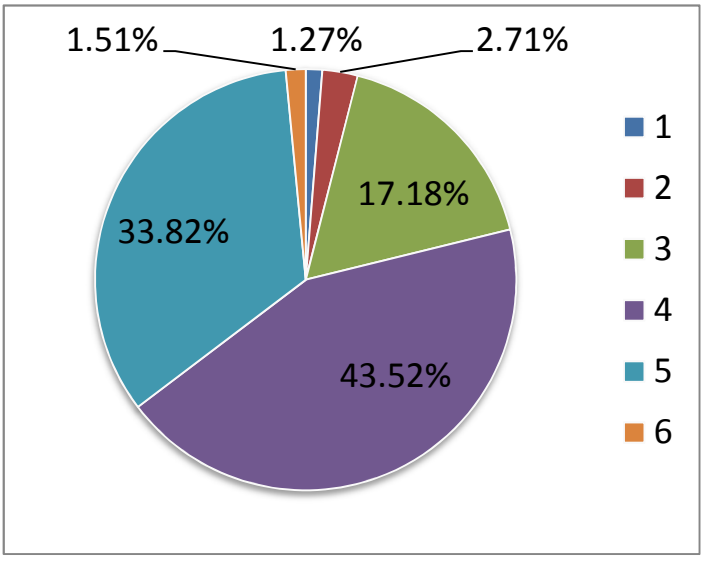
設問11　教員は学生の参加（発言や作業）を促しましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

設問12　主体的に考え行動した講義・演習・実習だと思いましたか。

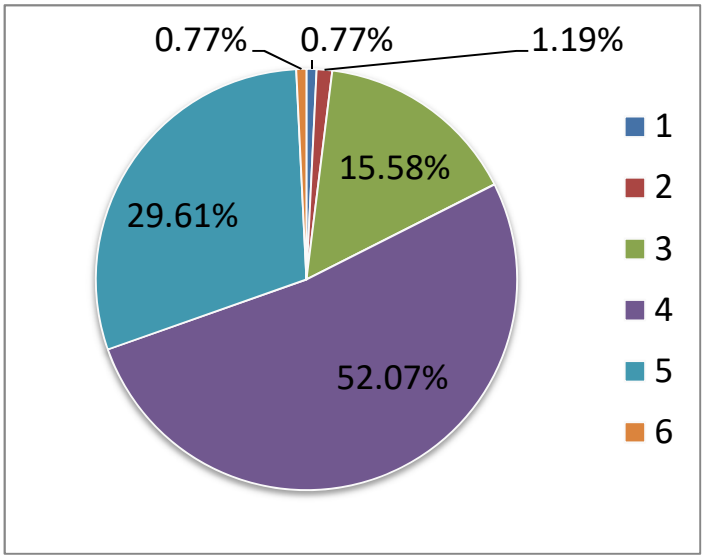


回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

【医学部保健学科平成29年度第1学期授業アンケート結果】

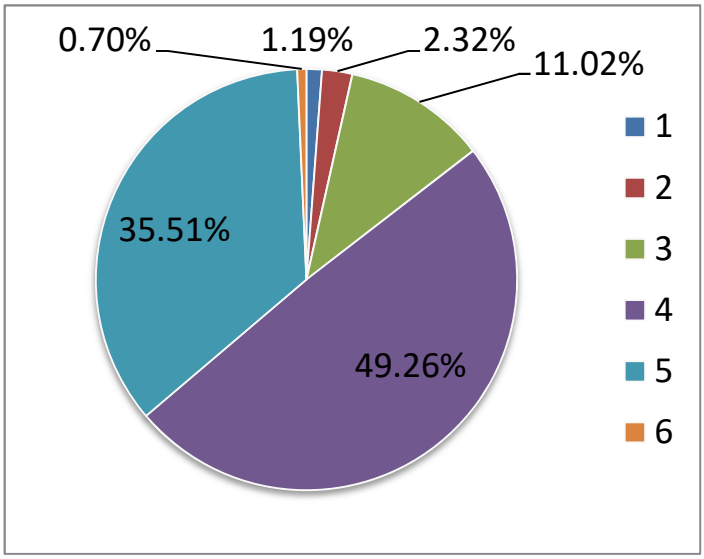
設問1　　シラバスではこの科目の重要性・内容・成績評価基準が明確に示されていましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

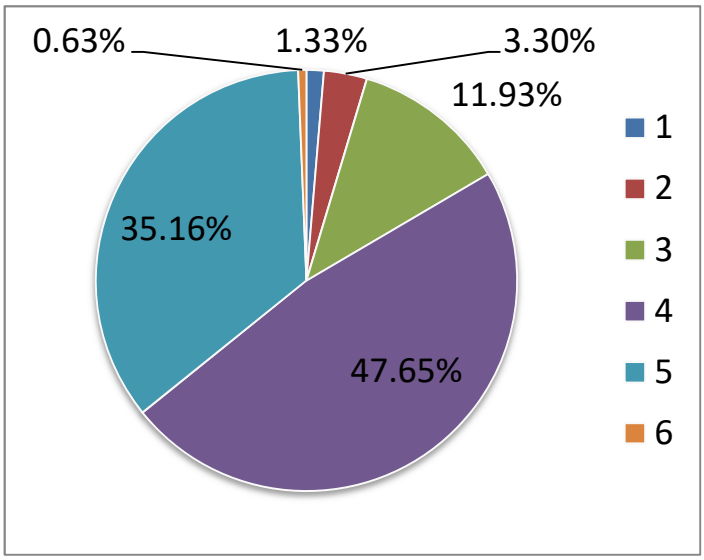
設問2　　教員は決められた授業・演習・実習時間を有効に活用していましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

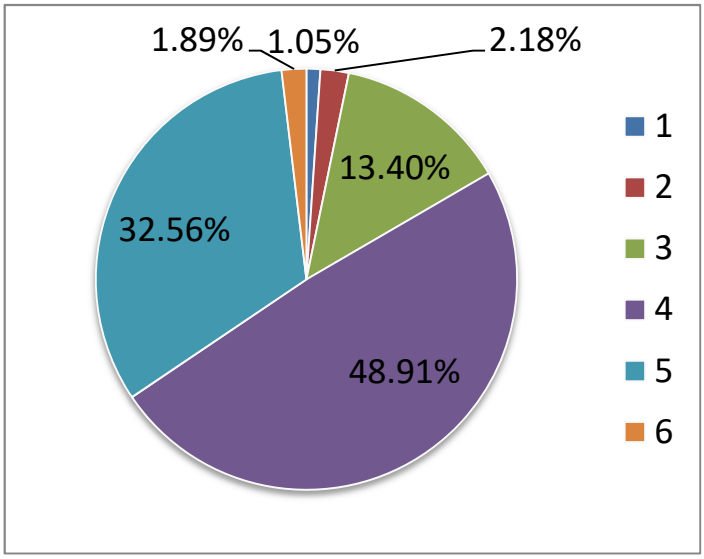
設問3　　教科書、資料テキスト、Power Point、AV、黒板等の使われ方が効果的でしたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

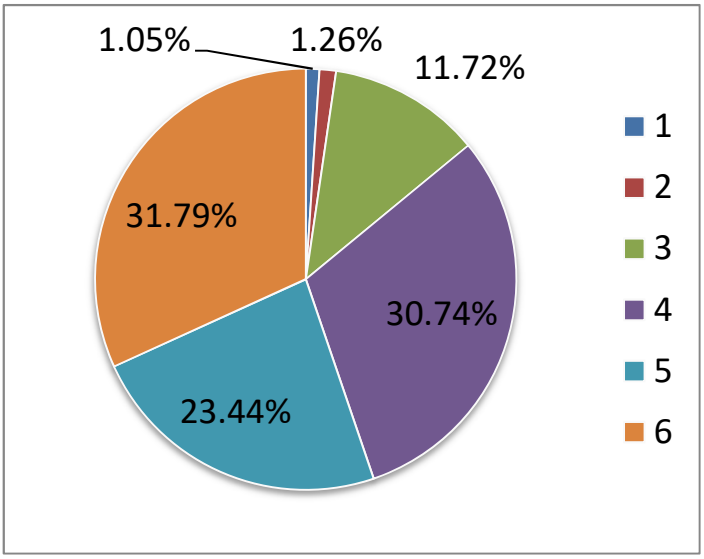
設問4　適切なテキストまたは要項に従って演習は行われていましたか。(授業・演習のみ)



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

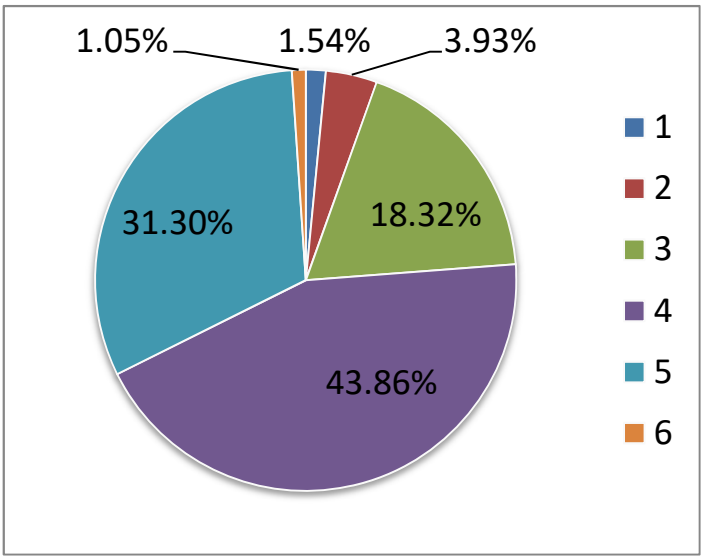
設問5　学生実習を支援のための教員又は指導者の人員は十分でしたか。(実習のみ)



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

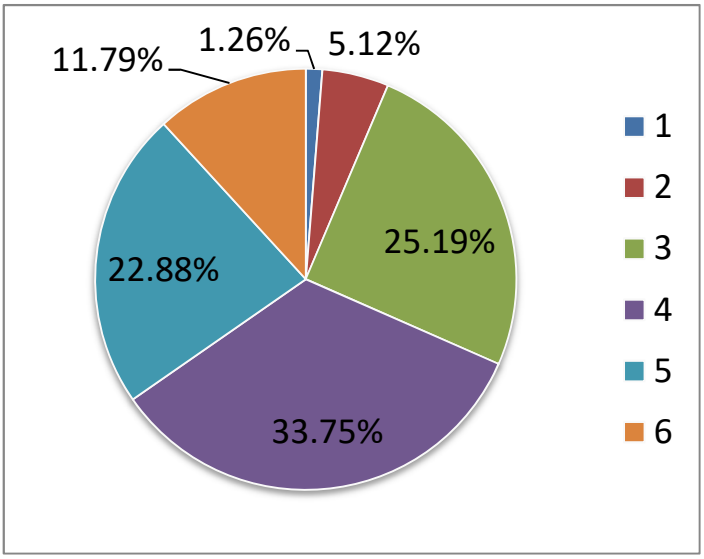
設問6　知的に刺激され、より深く勉強しようと思いましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

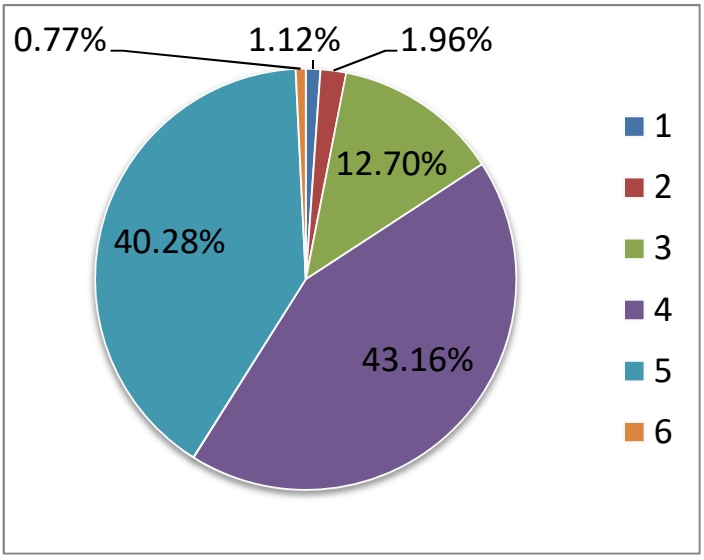
設問7　　時間を惜しんで実習に取り組むことができましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

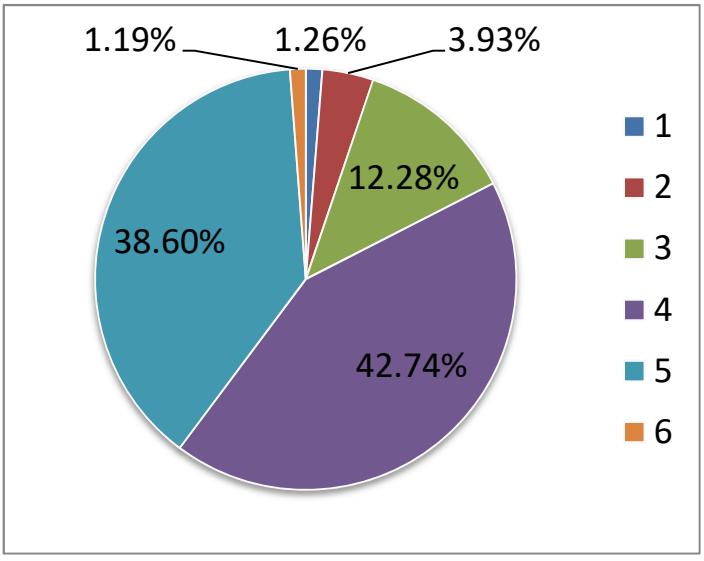
設問8　　教員の熱意は伝わってきましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

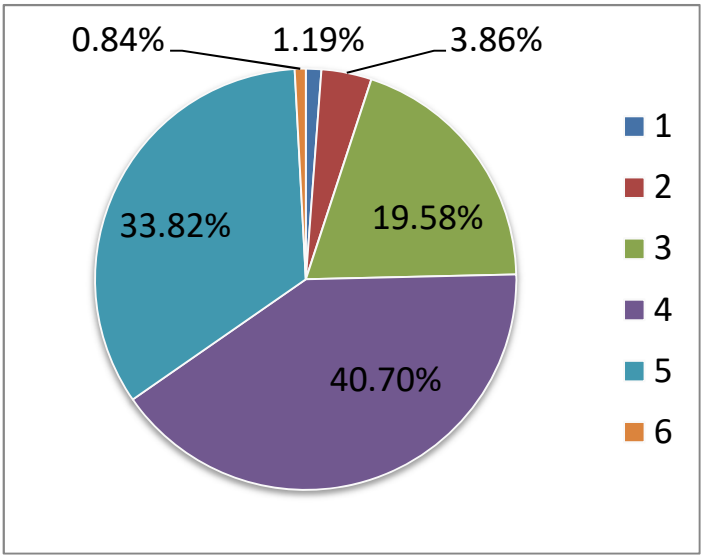
設問9　　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

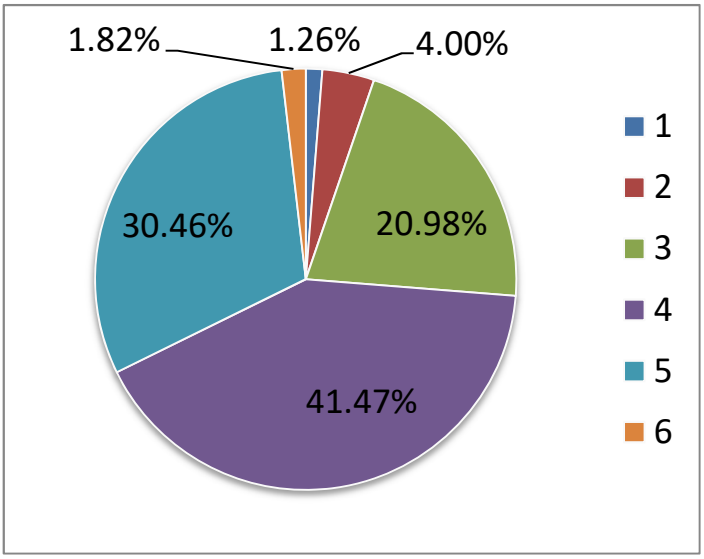
設問10　教員は学生の参加（発言や作業）を促しましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

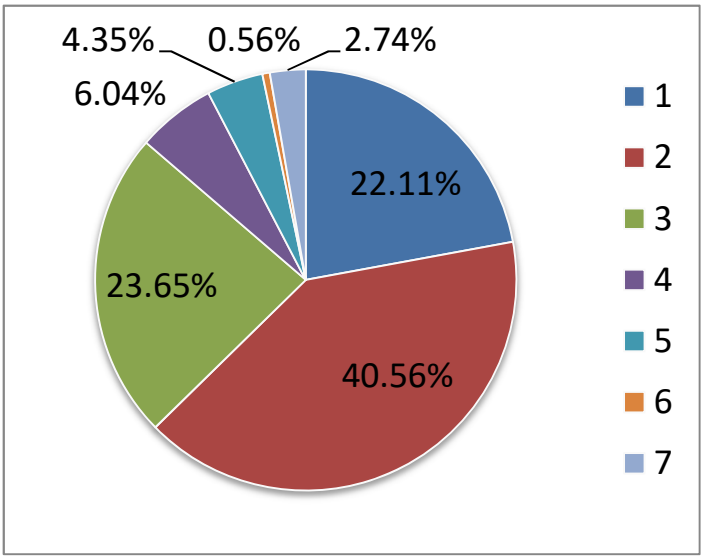
設問11　主体的に考え行動した講義・演習・実習だと思いましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

設問12　その科目の復習・予習に費やした時間は毎回どの程度ですか。
（1：しなかった 2：1時間未満 3：1～2時間程度 4：2～3時間程度 5：3～4時間程度 6：4時間以上）

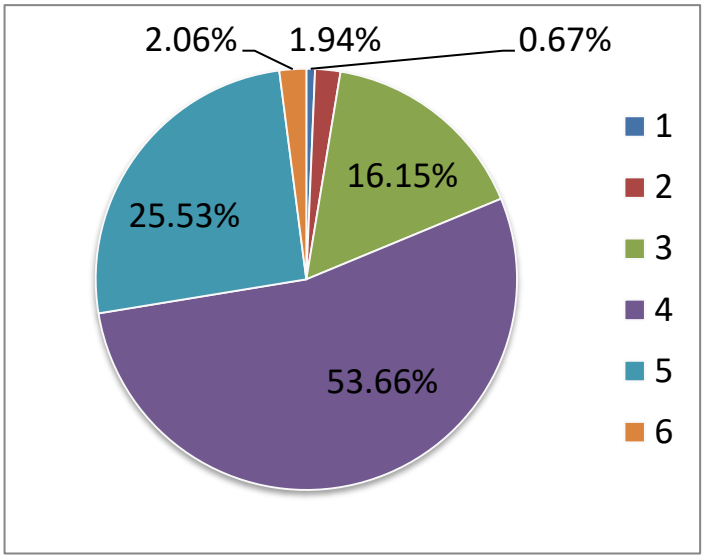


回答方法
6段階による選択式

1 ：しなかった
2 ：1時間未満
3 ：1～2時間程度
4 ：2～3時間程度
5 ：3～4時間程度
6 ：4時間以上
※7 未回答

【医学部保健学科平成29年度第2学期授業アンケート結果】

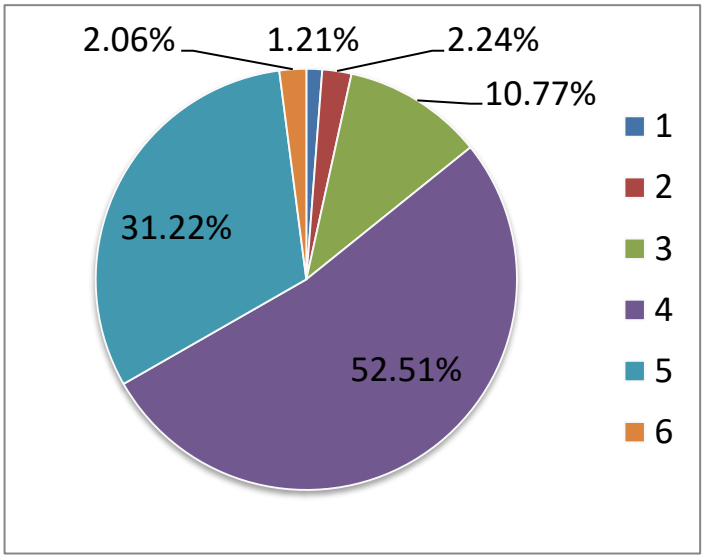
設問1　　シラバスではこの科目の重要性・内容・成績評価基準が明確に示されていましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

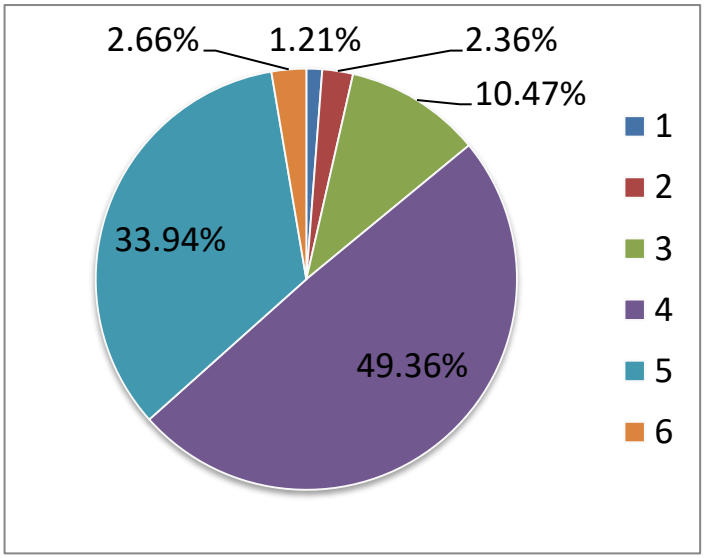
設問2　　教員は決められた授業・演習・実習時間を有効に活用していましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

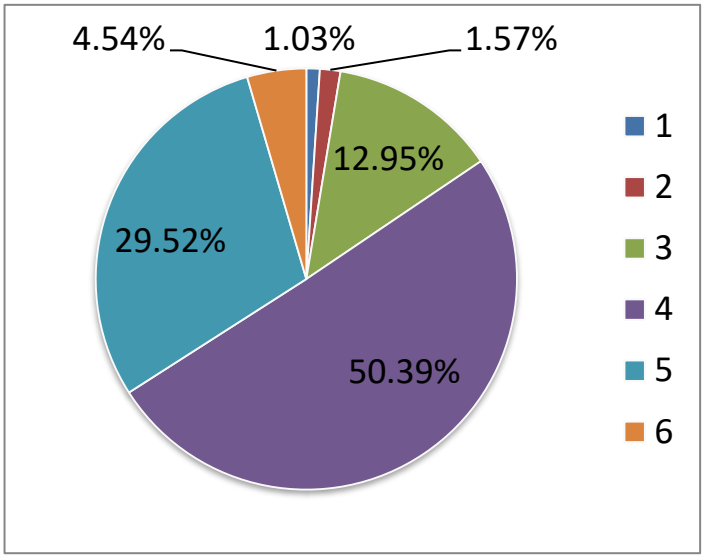
設問3　　教科書、資料テキスト、Power Point、AV、黒板等の使われ方が効果的でしたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

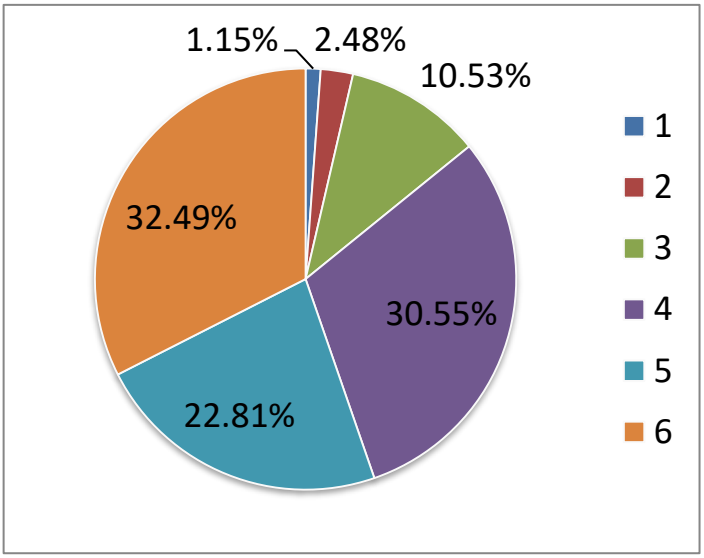
設問4　適切なテキストまたは要項に従って演習は行われていましたか。(授業・演習のみ)



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

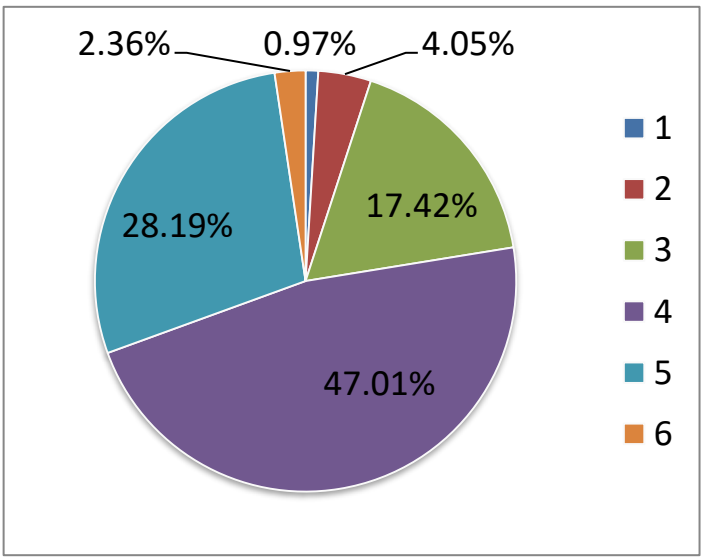
設問5　学生実習を支援のための教員又は指導者の人員は十分でしたか。(実習のみ)



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

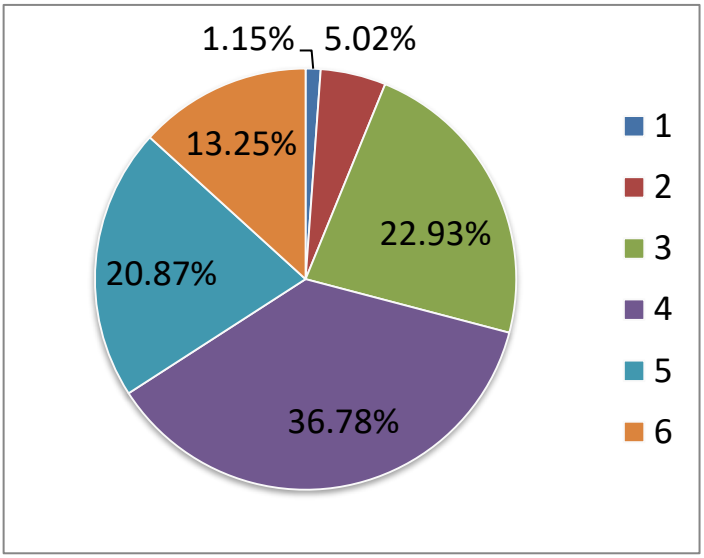
設問6　知的に刺激され、より深く勉強しようと思いましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

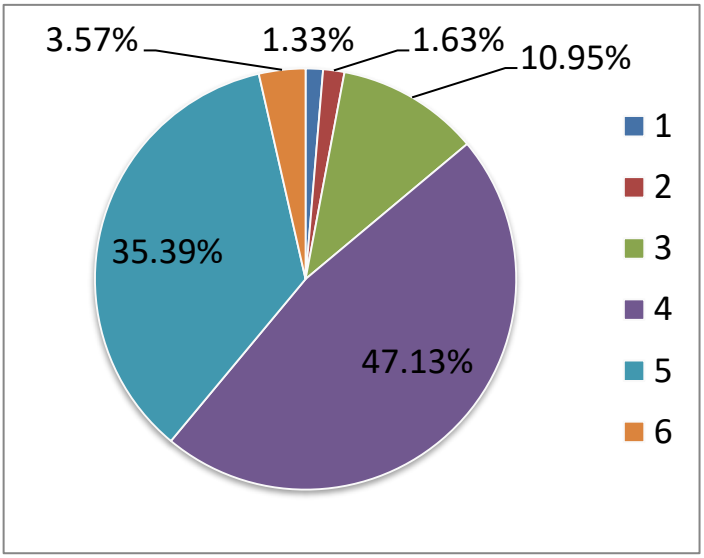
設問7　　時間を惜しんで実習に取り組むことができましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

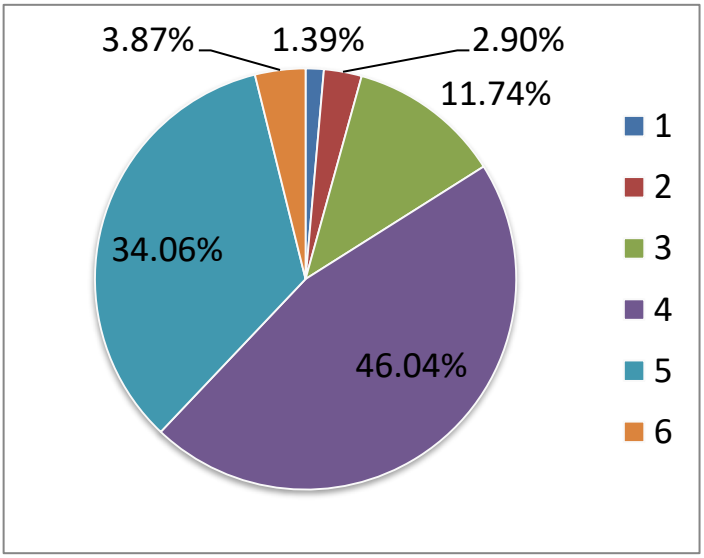
設問8　　教員の熱意は伝わってきましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

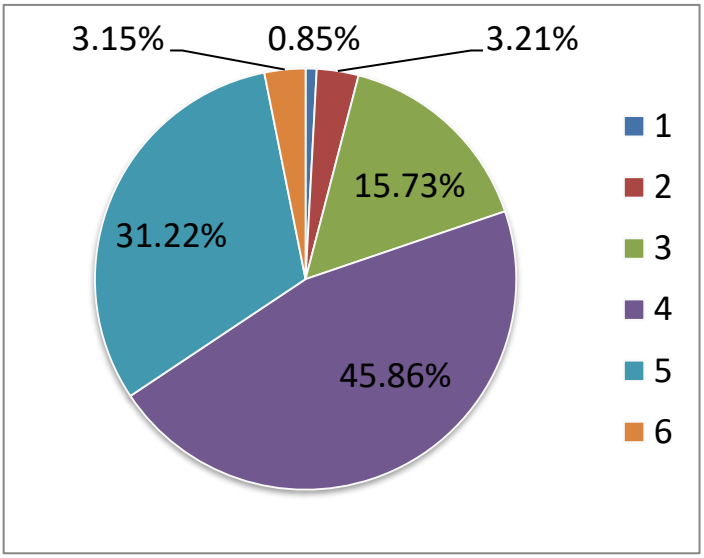
設問9　　教員の話し方は聞き取りやすかったですか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

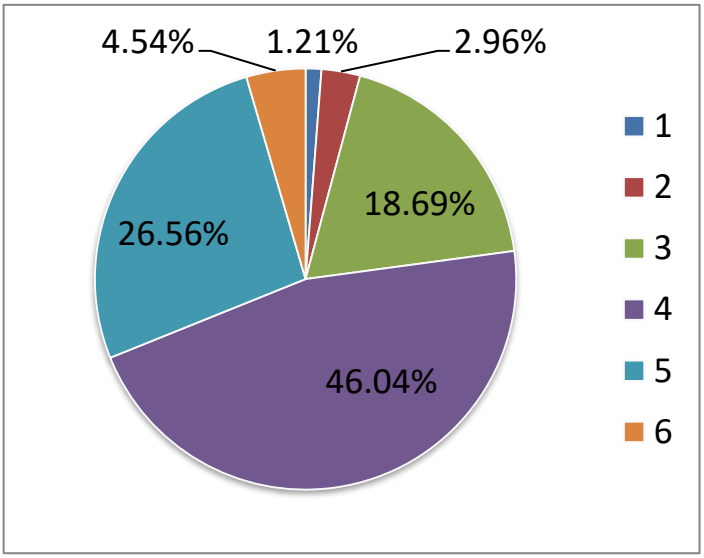
設問10　教員は学生の参加（発言や作業）を促しましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

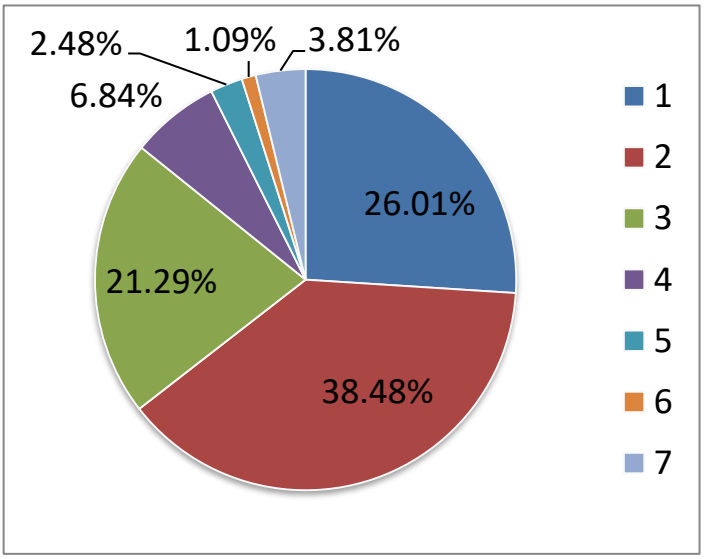
設問11　主体的に考え行動した講義・演習・実習だと思いましたか。



回答方法
5段階評価による選択式

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った
※6 未回答

設問12　その科目の復習・予習に費やした時間は毎回どの程度ですか。
（1：しなかった 2：1時間未満 3：1～2時間程度 4：2～3時間程度 5：3～4時間程度 6：4時間以上）



回答方法
6段階による選択式

1 ：しなかった
2 ：1時間未満
3 ：1～2時間程度
4 ：2～3時間程度
5 ：3～4時間程度
6 ：4時間以上
※7 未回答

資料保26

【　　年度第　　学期授業アンケート】

（科目名）

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

（記入例）良い例 ● 悪い例 ◒ ✓ ◉

番号

	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

1 強くそう思わなかった
2 そう思わなかった
3 どちらともいえない
4 そう思った
5 強くそう思った

設問 14 以外については⑥にはマークしないこと ↓

1 シラバスではこの科目の重要性・内容・成績評価基準が明確に示されていましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
2 授業は実際にシラバスに沿って行われていましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
3 教員は決められた授業時間を有効に活用していましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
4 教科書、資料テキスト、Power Point、AV、黒板等の使われ方が効果的でしたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
5 授業は適切なテキストまたは要項を用いて行われていましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
6 学生実習を支援するための教員又は指導者（TA・TF を含む）の人員は十分でしたか。（実習のみ）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
7 知的に刺激され、より深く勉強しようと思いましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
8 最後まで集中して授業に取り組むことができましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
9 時間を惜しんで実習に取り組むことができましたか。（実習のみ）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
10 教員の熱意は伝わってきましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
11 教員の話し方は聞き取りやすかったですか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
12 教員は学生の参加（発言や作業）を促しましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
13 主体的に考え行動した授業だと思いましたか。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
14 その科目の復習・予習に費やした時間は毎回どの程度ですか。 （1:しなかった 2:1時間未満 3:1～2時間程度 4:2～3時間程度 5:3～4時間程度 6:4時間以上）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
15 良かったと思う点（下枠の自由記載欄に記入してください）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
16 改良した方が良いと思う点（下枠の自由記載欄に記入してください）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
17 その他、気づいたこと（下枠の自由記載欄に記入してください）	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
18	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
19	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

自由記載

15

16

17

スキャナで読めるマークシート スキャネットシート® ©2012 スキャネット株式会社 本シートを無断で複製することを禁じます。

SN-0375

資料保27

令和２（2020）年度

学 生 募 集 要 項

（一 般 入 試）

北 海 道 大 学

北海道大学のアドミッション・ポリシー
（入学者受け入れ方針）

北海道大学は，理系から文系までの全分野において大学院での研究や教育に重点を置く，日本を代表する基幹総合大学の一つです。その起源は，1876 年に設立された札幌農学校に遡ることができます。その伝統から，本学は，帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で，「フロンティア精神」，「国際性の涵養」，「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念が生まれ，今日まで学問の自主，自由を培ってきました。

この理念の下に，本学は今，新世紀における知の創成，伝承，実証の拠点として発展することを目指し，教育研究を通じて，人類の福祉，科学，文化及び社会の発展に寄与することを使命としています。

そのため，学士課程においては，世界における市民としての自覚をもって社会に参加できること，専門の基礎となる学問やコミュニケーションの方法を身につけること，専門分野を広い視野の下に学ぶことを目指した教育を進めています。それを通じて，国際的に通用する高度な学問的素養をもち，健全な市民として的確な判断力とリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。同時に，専門的職業人として指導的立場にたつ人材の育成，学術創造に進んで向かう人材の育成も目指しています。

これらを実現するため，北海道大学は，創設以来，歴史と伝統を継承しながら広く世界に優秀な人材を求め，学士課程教育を受けるにふさわしい学力，すなわち基礎知識・基礎技能・数理能力・語学力・理解力・読解力を備えた学生，また，大学入学以降の学びで必要な問題解決能力・創造力・倫理性・思考の柔軟性・コミュニケーション能力・論理的思考力・リーダーシップ，人間性や学ぶ意欲などを備えた学生を，多様な選抜制度により受け入れています。

目　　次

Ⅰ　学部・学科等の募集人員等
1　募集人員 …… 1
2　募集方法 …… 2
3　学部・学科等の決定 …… 2

Ⅱ　一般入試
1　試験実施方式 …… 4
2　出願資格 …… 4
3　入学者選抜方法 …… 4
4　過年度の大学入試センター試験成績について …… 6
5　出願手続 …… 6
6　特定非常災害で被災された本学学部志願者への受験支援金の給付 …… 11
7　試験成績の開示について …… 11
8　受験上の配慮についての事前相談 …… 12
9　第１段階選抜結果の発表 …… 12
10　受験票 …… 12
11　個別学力検査等の期日及び時間 …… 13
12　試験場等 …… 15
13　合格者の発表 …… 16
14　入学手続 …… 17
15　追加合格 …… 18
16　入試情報 …… 18
17　獣医学部共同獣医学課程の教育について（その他必要な経費） …… 19
18　個人情報の取扱い …… 19
別紙 1　大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 …… 20
別紙 2　個別学力検査等の教科・科目等 …… 24
別紙 3　第１段階選抜時における大学入試センター試験の配点 …… 26
別紙 4　第２段階選抜（最終選抜）時における大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点 …… 27
別紙 5　受験上の注意 …… 29

Ⅲ　予告 …… 30

Ⅳ　参考
入学料免除（徴収猶予）と授業料免除 …… 37
学生寮の入寮案内 …… 38
大学案内誌（Be ambitious）の請求方法 …… 41
学部案内誌の請求方法 …… 42
平成 31 年度一般入試　合格者の平均点等一覧 …… 43
北海道大学案内図 …… 44
令和２年度大学入学者選抜実施日程 …… 46
問い合わせ先 …… 47

北海道大学では，一般入試への出願登録を，インターネットにより行います。
北海道大学インターネット出願登録サイト（https://e-apply.jp/e/hokudai-gakubu-jpn/）にアクセスしてください。
なお，出願に当たっては，
①プリンター（必要書類出力用）
②メールアドレス（検定料支払完了通知メール及び各種連絡受信用）
を必ず用意してください。
また，インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので，ご注意ください。
出願手続に関する詳細は 6～11 ページを参照してください。

Ⅰ　学部・学科等の募集人員等

1　募集人員

（単位：名）

学部・系・学科等			募集人員	募集人員の内訳					
				一般入試		ＡＯ入試	国際総合入試	帰国子女入試	私費外国人留学生入試
				前期日程	後期日程				
総合入試	文系		100	95	－	－	5	－	－
	理系	数学重点選抜群	130	129	－	－	10	－	－
		物理重点選抜群	235	233	－	－		－	－
		化学重点選抜群	235	233	－	－		－	－
		生物重点選抜群	177	175	－	－		－	－
		総合科学選抜群	250	247	－	－		－	－
		小計	1,027	1,017	－	－		－	－
	計		1,127	1,112	－	－	15	－	－
学部別入試	文学部		155	118	37	－	－	若干名	若干名
	教育学部		30	20	10	－	－		
	法学部		180	140	40	－	－		
	経済学部		160	140	20	－	－		
	理学部	数学科	13	－	13	－	－		
		物理学科	10	－	10	－	－		
		化学科	23	－	23	－	－		
		生物科学科 生物学専修分野	10	－	10	－	－		
		生物科学科 高分子機能学専修分野	5	－	5	－	－		
		地球惑星科学科	10	－	5	5	－		
		小計	71	－	66	5	－		
	医学部	医学科	95	90	－	5	－		
		保健学科 看護学専攻	67	60	－	7	－		
		保健学科 放射線技術科学専攻	35	28	7	－	－		
		保健学科 検査技術科学専攻	35	28	7	－	－		
		保健学科 理学療法学専攻	17	13	4	－	－		
		保健学科 作業療法学専攻	17	13	－	4	－		
		小計	266	232	18	16	－		
	歯学部		43	30	8	5	－		
	薬学部		24	－	24	－	－		
	工学部	応用理工系学科	38	－	34	4	－		
		情報エレクトロニクス学科	38	－	38	－	－		
		機械知能工学科	30	－	30	－	－		
		環境社会工学科	53	－	49	4	－		
		小計	159	－	151	8	－		
	農学部		53	－	53	－	－		
	獣医学部		35	20	15	－	－		
	水産学部		175	105	50	20	－		
	計		1,351	805	492	54	－		
合計			2,478	1,917	492	54	15		

※　医学部医学科一般入試（前期日程）の募集人員については，令和２年度入試から 90 名となる旨予告していたところですが，令和２年度及び令和３年度入試において暫定的な措置の再度の増員申請をしており，申請が認められた場合は，令和２年度及び令和３年度一般入試（前期日程）の募集人員は 97 名となります。

2　募集方法

(1) 総合入試の文系は，系で募集し，理系は，選抜群単位で募集します。
(2) 学部別入試は，次の単位で募集します。
　① 文学部，教育学部，法学部，経済学部，歯学部，薬学部，農学部，獣医学部，水産学部は，学部単位で募集します。
　② 理学部数学科，物理学科，化学科，地球惑星科学科は，学科単位で募集し，生物科学科は専修分野単位で募集します。
　③ 医学部医学科は，学科単位で募集し，医学部保健学科は，専攻単位で募集します。
　④ 工学部は，学科単位で募集します。
(3) ＡＯ入試は，学部・学科・専攻の単位で募集します。
(4) ＡＯ入試の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般入試の次の募集人員に加えます。
　① 医学部，歯学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員に加えます。
　② 理学部，工学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員に加えます。
(5) 国際総合入試は，系で募集します。
(6) 国際総合入試の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般入試前期日程（総合入試）の募集人員に加えます。
(7) 帰国子女入試は，学部・学科・専攻等の単位で募集し，募集人員は，一般入試の次の募集人員の内数となります。
　① 文学部，教育学部，法学部，経済学部，医学部，獣医学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員の内数となります。
　② 理学部，歯学部，薬学部，工学部，農学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員の内数となります。
(8) 私費外国人留学生入試は，学部・学科・専攻等の単位で募集し，募集人員は，一般入試の次の募集人員の内数となります。
　① 文学部，教育学部，法学部，経済学部，医学部，獣医学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員の内数となります。
　② 理学部，歯学部，薬学部，工学部，農学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員の内数となります。

3　学部・学科等の決定

(1) 総合入試入学者（国際総合入試を含む）の学部の決定は，第１年次終了時に行います。所属学科等の決定は，理学部，医学部，薬学部，工学部，農学部，水産学部は，第１年次終了時に行い，経済学部は，第２年次第１学期終了時に行います。
(2) 学部別入試入学者の所属学科等の決定は，薬学部，工学部，農学部，水産学部は，第１年次終了時に行い，経済学部は，第２年次第１学期終了時に行います。
(3) 水産学部に所属することとなった学生は，第２年次終了まで札幌キャンパスで学修し，第３年次から函館キャンパスで学修します。

＜学科等の定員，募集人員（学部別入試及びＡＯ入試），総合入試入学者（国際総合入試を含む）の移行人数＞

（単位：名）

学　部	学科・専攻・コース等	学科等の定員	学部別入試募集人員	ＡＯ入試募集人員	総合入試入学者の移行人数
文学部	人文科学科	185	155	－	30
教育学部	教育学科	50	30	－	20
法学部	法学課程	200	180	－	20
経済学部	経済学科	100	160	－	30
	経営学科	90			
理学部	数学科	50	13	－	37
	物理学科	35	10	－	25
	化学科	75	23	－	52
	生物科学科	80	15	－	65
	（生物学専修分野）	(40)	(10)	－	(30)
	（高分子機能学専修分野）	(40)	(5)	－	(35)
	地球惑星科学科	60	5	5	50

学　　部	学科・専攻・コース等	学科等の定員	学部別入試募集人員	ＡＯ入試募集人員	総合入試入学者の移行人数
医　　学　　部	医　　学　　科	100	90	5	5
	保　　健　　学　　科	180	160	11	9
	（看　護　学　専　攻）	(70)	(60)	(7)	(3)
	（放射線技術科学専攻）	(37)	(35)	－	(2)
	（検査技術科学専攻）	(37)	(35)	－	(2)
	（理学療法学専攻）	(18)	(17)	－	(1)
	（作業療法学専攻）	(18)	(13)	(4)	(1)
歯　　学　　部	歯　　学　　科	53	38	5	10
薬　　学　　部	薬　　科　　学　　科	50	24	－	35
	薬　　学　　科	30			21
工　　学　　部	応　用　理　工　系　学　科	160	34	4	122
	（応用物理工学コース）	(50)		－	(39)
	（応　用　化　学　コ　ー　ス）	(70)		－	(55)
	（応用マテリアル工学コース）	(40)		(4)	(28)
	情報エレクトロニクス学科	180	38	－	142
	（情　報　理　工　学　コ　ー　ス）	(50)			(40)
	（電気電子工学コース）	(40)			(31)
	（生　体　情　報　コ　ー　ス）	(33)			(26)
	（メディアネットワークコース）	(30)			(24)
	（電気制御システムコース）	(27)			(21)
	機　械　知　能　工　学　科	120	30	－	90
	（機　械　情　報　コ　ー　ス）	(60)			(45)
	（機械システムコース）	(60)			(45)
	環　境　社　会　工　学　科	210	49	4	157
	（社　会　基　盤　学　コ　ー　ス）	(40)		(4)	(30)
	（国　土　政　策　学　コ　ー　ス）	(40)		－	(30)
	（建　築　都　市　コ　ー　ス）	(45)		－	(34)
	（環　境　工　学　コ　ー　ス）	(50)		－	(37)
	（資源循環システムコース）	(35)		－	(26)
農　　学　　部	生　物　資　源　科　学　科	36	53	－	27
	応　用　生　命　科　学　科	30			23
	生　物　機　能　化　学　科	35			26
	森　　林　　科　　学　　科	36			27
	畜　　産　　科　　学　　科	23			17
	生　物　環　境　工　学　科	30			23
	農　　業　　経　　済　　学　　科	25			19
獣　　医　　学　　部	共　同　獣　医　学　課　程	40	35	－	5
水　　産　　学　　部	海　洋　生　物　科　学　科	54	155	20	10
	海　洋　資　源　科　学　科	53			10
	増　殖　生　命　科　学　科	54			10
	資　源　機　能　化　学　科	54			10
合　　計		2,478	1,297	54	1,127

注１　学科等の定員欄等の（　　）内の人数は，各学科の内数です。

２　総合入試入学者の移行先は，文系は，文学部，教育学部，法学部，経済学部とし，理系は選抜群を問わず，理学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部，農学部，獣医学部，水産学部の各学科・専攻・専修分野・コース等とします。

ただし，一定の人数制限のもと，総合入試の文系から理系学部へ，又は総合入試の理系から文系学部への移行も可能です。

３　総合入試入学者の学部・学科等への移行人数については，医学部医学科，歯学部，薬学部薬学科，獣医学部を除き，変動する場合があります。

Ⅱ　一般入試

1　試験実施方式

本学の募集単位である学部・系・学科・選抜群・専攻等の入学定員を分割し，「前期日程」及び「後期日程」の両試験日程でそれぞれ入学者を募集する分離分割方式による入学者選抜を実施します。

注１　国立大学志願者は，「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，合計二つまでの大学・学部に出願することができます。
２　本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは，各学部・系・学科・専攻等とも可能です。
３　本学の総合入試は「前期日程」のみで募集します。学部別入試の理学部，薬学部，工学部，農学部は「後期日程」のみで募集します。学部別入試の医学部医学科，医学部保健学科看護学専攻・作業療法学専攻は「前期日程」のみで募集します。

2　出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で，令和 2 年度大学入試センター試験の教科・科目のうち，**本学が指定した教科・科目（20～23 ページの「別紙１」を参照）をすべて受験したもの。**

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者
(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 2 年 3 月修了見込みの者
(3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち，次の各項目の一に該当する者及び令和 2 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

ア　外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
ウ　専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
エ　文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）
カ　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの
注　**(3)カ**で出願しようとする者は，令和元年 11 月 15 日（金）までに学務部入試課（47 ページ「問い合わせ先」を参照）に連絡のうえ，手続きを行ってください。

3　入学者選抜方法

(1) ２段階選抜

①　第１段階選抜

志願者が多い場合，適切な個別学力検査等を行うことが極めて困難となるため，本学所定の資格要件を備えている者について，大学入試センター試験の成績により第１段階選抜を行い，個別学力検査等の受験者を決定します。

ア　前期日程

各学部・系・学科等ごとの入学志願者数が次表の募集人員に対する倍率を上回った場合，個別学力検査等を受験させる者は，原則として次表の倍率までのものとします。

学部・系・学科等			募集人員	倍率
総合入試	文系		95 名	4.0 倍
	理系	数学重点選抜群	129 名	4.0 倍
		物理重点選抜群	233 名	4.0 倍
		化学重点選抜群	233 名	4.0 倍
		生物重点選抜群	175 名	4.0 倍
		総合科学選抜群	247 名	4.0 倍

学部・系・学科等				募集人員	倍率
学部別入試	文学部			118名	4.0倍
	教育学部			20名	4.0倍
	法学部			140名	4.0倍
	経済学部			140名	4.0倍
	医学部	医学科		90名	3.5倍
		保健学科	看護学専攻	60名	5.0倍
			放射線技術科学専攻	28名	5.0倍
			検査技術科学専攻	28名	5.0倍
			理学療法学専攻	13名	5.0倍
			作業療法学専攻	13名	5.0倍
	歯学部			30名	6.0倍
	獣医学部			20名	6.0倍
	水産学部			105名	4.0倍

イ　後期日程

各学部・学科等ごとの入学志願者数が次表の募集人員に対する倍率を上回った場合，個別学力検査等を受験させる者は，原則として次表の倍率までのものとします。

なお，工学部は，２段階選抜を行わず，志願者全員を個別学力検査の受験者とします。

学部・学科等				募集人員	倍率
学部別入試	文学部			37名	6.0倍
	教育学部			10名	10.0倍
	法学部			40名	6.0倍
	経済学部			20名	10.0倍
	理学部	数学科		13名	6.0倍
		物理学科		10名	6.0倍
		化学科		23名	6.0倍
		生物科学科	生物学専修分野	10名	6.0倍
			高分子機能学専修分野	5名	6.0倍
		地球惑星科学科		5名	6.0倍
	医学部	保健学科	放射線技術科学専攻	7名	6.0倍
			検査技術科学専攻	7名	6.0倍
			理学療法学専攻	4名	6.0倍
	歯学部			8名	6.0倍
	薬学部			24名	6.0倍
	農学部			53名	6.0倍
	獣医学部			15名	6.0倍
	水産学部			50名	6.0倍

②　第２段階選抜（最終選抜）

大学入試センター試験の成績，個別学力検査等の成績及び調査書等を総合して合格者を決定します。

ただし，**本学が指定した個別学力検査等の教科・科目等（24～25ページの「別紙2」を参照）のすべてを受験していなければ，合格者としません。**

なお，成績同点者の順位決定にあたっては，個別学力検査等の成績を重視します。

(2) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目（20～23ページの「別紙1」を参照）
(3) 個別学力検査等の教科・科目等（24～25ページの「別紙2」を参照）
(4) 第１段階選抜時における大学入試センター試験の配点（26ページの「別紙3」を参照）
(5) 第２段階選抜（最終選抜）時における大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点（27～28ページの「別紙4」を参照）

4　過年度の大学入試センター試験成績について

本学の入学者選抜において，**過年度の大学入試センター試験成績は，利用しません。**

5　出願手続（「前期日程」，「後期日程」とも）

(1) インターネット出願登録及び検定料等払込開始日

令和 2 年 1 月 20 日（月） 10:00 ～

(2) 出願期間

令和 2 年 1 月 27 日（月）～ 令和 2 年 2 月 5 日（水）（17:00 郵送必着）

※　インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので，ご注意ください。

(3) 出願書類等

出願書類のうち，「ア　入学願書」は，インターネット出願登録サイトから印刷した本学所定のもの（「前期日程総合入試用」，「前期日程学部別入試用」及び「後期日程用」がありますので，注意してください。）を用いてください。

なお，**出願書類に関する質問がある場合，学務部入試課（47 ページ「問い合わせ先」を参照）に問い合わせてください。**

出願書類等	摘　　要
ア　入　学　願　書	インターネット出願登録サイトにて，必要事項を入力するとともに，出願前 3 か月以内に撮影した上半身，脱帽，正面向きのカラー写真データ（2MB まで）をアップロードしてください。 検定料等納入後に，インターネット出願登録サイトから，**Ａ４サイズ（縦）でカラー印刷**してください。
イ　大学入試センター試験成績請求票	「令和 2 年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験票」下部の**『令和 2 センター試験成績請求票』** （「前期日程」に出願する者は「前 国公立前期日程用」 「後期日程」に出願する者は「後 国公立後期日程用」） を「ア　入学願書」の所定の欄に貼ってください。
ウ　調　査　書　等	**「２　出願資格の(1)又は(2)（4 ページ）」によって出願する者** 出身学校長（高等学校長等）が作成し，厳封した調査書を提出してください。指導要録の保存期間が経過したこと及び廃校，被災その他の事情により調査書が得られない場合には，卒業証明書及び単位修得証明書を提出してください。 **「２　出願資格の(3)（4 ページ）」によって出願する者** 出願資格を証明する書類及び成績証明書を提出してください。 ※　高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定合格者を含む。）にあっては合格成績証明書，合格見込みの者にあっては合格見込成績証明書を提出してください。 なお，高等学校等において科目を修得したことにより高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定を含む。）の受験科目を一部免除された場合は，その免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書（学校長が作成し，厳封したもの）を併せて提出してください。
エ　検　定　料　等	**【検定料等の払込方法】** 1.　出願登録の際に必要な料金 ア　検定料：17,000 円 イ　受験票（第 1 段階選抜結果）発送料：353 円 ウ　成績開示手数料・発送料：855 円　※希望者のみ （注）郵便料金の改定が行われた場合には，改定時から新たな発送料が適用されます。 2.　検定料等は，インターネット出願登録後に表示される支払手続き画面に従い，支払ってください。支払方法は以下のとおりです。

出願書類等	摘　　要
エ　検　定　料　等	（詳細は 9 ページ「出願手続の流れ－STEP4」を参照） ア　クレジットカード イ　ネットバンキング ウ　コンビニエンスストア エ　ペイジー対応銀行ＡＴＭ 注１）普通為替や現金では受理できないので，注意してください。 注２）支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールは，本人の控えとして大切に保管してください。 注３）出願登録の際，検定料等とは別に事務手数料（500 円）がかかります。 **【検定料等の返還】** 1.　第１段階選抜の不合格者（大学入試センター試験受験科目不足者を含む。）には，検定料 17,000 円のうち 13,000 円及び成績開示手数料・発送料 855 円（支払者のみ）を返還します。返還手続きの詳細については，第１段階選抜結果とともに通知します。 2.　上記 1.　に該当する場合の他は，次の場合を除き，いかなる理由があっても支払済の検定料等は返還できません。 ①　検定料（17,000 円）及び成績開示手数料・発送料（855 円）の返還ができるもの (ｱ) 検定料等を支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった）又は出願が受理されなかった場合 (ｲ) 検定料等を誤って二重に支払った場合 ②　返還請求の方法 (1)返還請求の理由，(2)氏名（フリガナ），(3)現住所，(4)連絡先電話番号，(5)出願時受付番号（12 桁），(6)返還先の銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義（フリガナ）を明記した検定料等返還請求書（様式は問いませんが，A4 サイズの用紙を使用してください。）を作成し，必ず検定料等を支払ったことを証明する書類を添付して，速やかに郵送してください。 なお，払い戻しには相当の日数がかかることをご了承ください。 【送付先】〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目 北海道大学財務部経理課収入担当　TEL(011)706-2048 E-mail syunyu@finance.hokudai.ac.jp

出願手続の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 出願内容の登録 → STEP 4 検定料等の支払い → STEP 5 出願書類の印刷と郵送 → STEP 6 出願完了 → 受験票の郵送

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
※必要書類…調査書、顔写真データ、センター試験成績請求票など

STEP 2 出願サイトにアクセス

出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/e/hokudai-gakubu-jpn/**
または、
大学ホームページ ▶ **https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/general/**
からアクセス

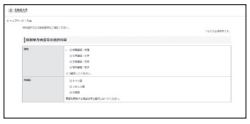
STEP 3 出願内容の登録

「出願内容の確認・印刷」ボタンより、受付番号**(＊)**、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、出願書類の出力ができます。

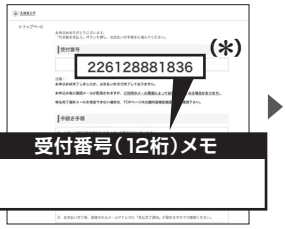
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①入試区分、出願学部等の選択

②顔写真データのアップロード

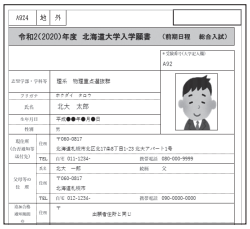

③教科・科目選択、センター試験受験科目の入力

④個人情報(氏名・住所・メールアドレス等)の入力、試験成績の開示請求登録



⑤申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。
出願情報を確認する際と、出願書類を出力する際に必要になります。

[STEP4] 検定料等の支払い
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード


[STEP5] 出願書類(PDF)の印刷と郵送

検定料の支払い方法で[コンビニエンスストア]又は[ペイジー対応銀行ATM]を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えたうえ、通知された「お支払期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料等支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※「STEP4 検定料等の支払い」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 4

検定料等の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON　MINISTOP

Famiポート　FamilyMart

クラブステーション　Seicomart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料等を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
↓
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
↓
「払込票番号（13桁）」を伝える
↓
レジで検定料等を現金で支払う※
↓
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
↓
レジで「オンライン決済」と伝える
↓
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
↓
レジで検定料等を現金で支払う※
↓
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ

Loppi
↓
「各種番号をお持ちの方」を選択
↓
「お客様番号（11桁）」を入力
↓
「マルチペイメントサービス」を選択
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料等を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
↓
取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

ファミリーマート

ファミポート
↓
「代金支払い」を選択
↓
「各種代金お支払い」（マルチペイメントサービス）を選択
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料等を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
↓
取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

セイコーマート

クラブ ステーション
↓
「インターネット受付 各種代金お支払い」を選択
↓
「オンライン決済番号（11桁）」を入力
↓
支払い内容確認
↓
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料等を現金で支払う※
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
↓
取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM

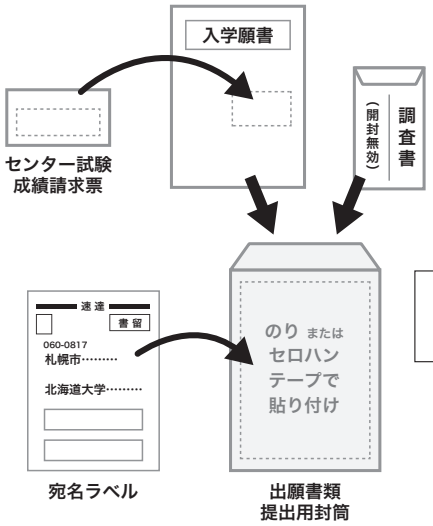
ペイジー対応銀行ATM
↓
「税金・料金払い込み」などを選択
↓
収納機関番号**「58021」**を入力
↓
「お客様番号（11桁）」入力
↓
「確認番号（6桁）」入力
↓
支払い内容確認
↓
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
↓
ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 5

出願書類(PDF)の印刷と郵送 *登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料等の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、調査書等と併せて郵便局窓口から**「書留速達郵便」**で郵送してください。※出願期間内郵送必着。



宛名ラベル　　出願書類提出用封筒

出願期間
令和2年1月27日(月)～2月5日(水)(17:00郵送必着)

送付先　〒060-0817　札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学 学務部 入試課　行

■出願書類
詳細は募集要項「出願手続」を確認してください。

※出願受理した検定料・出願書類等は一切返却しません。

「出願書類」の印刷方法

「出願内容の確認・印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、入学願書・宛名ラベルの出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、検定料等を支払い、出願書類を郵送して完了となります。
登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理しませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、検定料等の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、出願書類の郵送は出願期間内必着(最終日17:00まで)です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 6

受験票の郵送

第1段階選抜結果の発表後、「前期日程」は2月12日(水)以降、「後期日程」は2月28日(金)以降、本人宛に受験票(郵便はがきに印刷したもの)を発送します。試験当日は「北海道大学」と「大学入試センター試験」の2つの受験票を必ず持参してください。

第1段階選抜結果の発表後、5日以上過ぎても到着しない場合、
学務部入試課(011-706-7484)に問い合わせてください。

(4) 出願方法（郵送のみ）

出願書類等は，市販の角形２号（24 ㎝×33.2 ㎝）封筒に入れ，入学願書と一緒に印刷される宛名ラベルを貼り，必ず「速達書留郵便」とし，出願期間内に到着するように郵送してください。本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願する場合は，試験日程ごとに封筒を分けて郵送してください。

出願期間後に到着した出願書類等は受理しませんので，郵便事情等を考慮して余裕をもって発送してください。

なお，直接持参しても受理しません。

送　付　先	〒060-0817　札幌市北区北 17 条西 8 丁目 北海道大学学務部入試課

(5) 留意事項

ア　出願書類等に不備がある場合は，受理しませんので，誤入力，入力漏れのないように注意してください。

イ　出願後に，志願する学部・系・学科等及び個別学力検査の選択科目を変更することは，いかなる理由があっても認めません。

ウ　出願後に，入学願書等の住所に変更があった場合は，47 ページの「問い合わせ先」「①受験票や合格通知書の送付先住所が変更になった場合」を参照の上，速やかに連絡してください。

エ　いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

オ　出願書類等に虚偽の記載が発見された場合は，入学許可を取り消すことがあります。

カ　国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入試及びＡＯ入試の合格者は，当該大学の定める入学辞退手続きにより入学の辞退を許可された場合を除いては，本学の個別学力検査等を受験してもその合格者とはなりません。

キ　「前期日程」に属する国公立大学・学部の試験に合格し，**3 月 15 日（日）**までに入学手続きを行った者は，本学の「後期日程」の試験を受験してもその合格者とはなりません。

６　特定非常災害で被災された本学学部志願者への受験支援金の給付

特定非常災害により，被害に遭われた方々には，心よりお見舞い申し上げます。

北海道大学では，特定非常災害で被災された方への支援として，受験支援金給付の特別措置を講じます。

詳細は本学ホームページ（※URL https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/jukenshien/）を確認してください。

７　試験成績の開示

本学では，本人からの請求に基づき，令和 2 年度一般入試に係る試験成績について，次の要領により開示します。

なお，大学入試センター試験の成績は，大学入試センターで開示することとなりますので，開示を希望する入学志願者は，同センターが発行する「受験案内」を参照ください。

開示内容	試験成績 ・総合点 ・個別学力検査等の科目ごとの得点 ・出願した学部・系･学科・選抜群・専攻等ごとの順位 欠席者には，「欠席した」旨を記載して開示します。
請求方法	試験成績の開示を希望する場合は，インターネット出願登録時に「希望する」にチェックし，検定料払込の際に 855 円をあわせて支払ってください。 なお，出願時に試験成績の開示を希望しない場合は，試験成績の開示はしません。 また，検定料払込後の変更はできませんので注意してください。
開示方法及び時期	令和 2 年 4 月 20 日（月）以降にインターネット出願登録時に入力した送付先住所へ郵送します。 なお，4 月以降に送付先が変更になる場合は，令和 2 年 4 月 1 日（水）～ 4 月 10 日（金）17:00 までに，インターネット出願登録サイトで変更の手続きをしてください。

8　受験上の配慮についての事前相談

本学に入学を志願する者で，次表に該当する場合は，あらかじめ受験上及び修学上の対応が必要となることがありますので，**令和元年 12 月 13 日（金）**までに学務部入試課（47 ページ「問い合わせ先」を参照）に申し出てください。（申請様式を本学ホームページ（**※URL** https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/special-assistance/）に掲載しています。）

なお，障害等の程度が軽度の場合は，出願前の**令和 2 年 1 月 10 日（金）**までに申し出てください。

ただし，申請の内容及び時期によっては，試験までに対応できず，受験上の配慮ができないこともありますので，ご了承ください。

その他，受験上及び修学上の相談については，通年受け付けています。

区　　分	障　害　の　程　度
視覚障害者	両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　弱　者	1　慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ　の　他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有するもの

（注　学校教育法施行令第 22 条の 3 の規定に準拠した。）

注　日常生活において使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合も，試験場設定などの対応の関係から必ず事前に申し出てください。

9　第 1 段階選抜結果の発表

(1) 日　　時

前期日程　　令和 2 年 2 月 12 日（水）　9:00（予定）

後期日程　　令和 2 年 2 月 28 日（金）　9:00（予定）

(2) 掲示場所及び通知方法

本学高等教育推進機構（札幌市北区北 17 条西 8 丁目）正面玄関前に掲示するとともに，本学ホームページ（**※URL** https://www.hokudai.ac.jp/）に掲載します。また，結果を志願者全員に郵便により通知します。

なお，第 1 段階選抜の合格者には，北海道大学一般入試受験票の郵送をもって通知に代えます。

第 1 段階選抜結果の発表後，**5 日以上過ぎても結果が到着しない場合**，学務部入試課（47 ページ「問い合わせ先」を参照）に問い合わせてください。

10　受験票

(1) 受験票の郵送

北海道大学一般入試受験票は，「前期日程」については，2 月 12 日（水）以降，「後期日程」については，2 月 28 日（金）以降，本人あてに郵送します。（受験票は郵便はがきに印刷したもの）

なお，受験票には，指定された試験場名，受験番号及び受験教科・科目名等が記載されています。

(2) 受験票の持参

個別学力検査等当日は，北海道大学一般入試受験票及び大学入試センター試験受験票を忘れずに持参してください。

なお，大学入試センター試験受験票は，入学手続きの際にも必要となるので，紛失しないように保管してください。

11　個別学力検査等の期日及び時間

(1) 前期日程

学部等 ＼ 日 / 時	令和２年２月25日（火）		
	▼ 9 10 11 12 13 14 15 16 17 8:40		
総合入試（文系） 文 学 部	諸注意 9:00～10:30 **地理歴史，数学** (90分)	12:30～14:00 **外国語** (90分)	15:00～17:00 **国　語** (120分)
教育学部 法 学 部 経済学部	諸注意 9:00～10:30 **数　学** (90分)	12:30～14:00 **外国語** (90分)	15:00～17:00 **国　語** (120分)
医学部保健学科 （看 護 学 専 攻） （作業療法学専攻）	諸注意 9:00～10:30 **数　学** (90分)	12:30～14:00 **外国語** (90分)	15:00～17:30 **理　科** (150分)
総合入試（理系） 医学部医学科 医学部保健学科 （放射線技術科学専攻） （検査技術科学専攻） （理学療法学専攻） 歯 学 部 獣医学部 水産学部	諸注意 9:00～11:00 **数　学** (120分)	12:30～14:00 **外国語** (90分)	15:00～17:30 **理　科** (150分)

学部等 ＼ 日 / 時	令和２年２月26日（水）
	▼ 9 10 11 12 13 14 15 16 17 8:40
医学部医学科	諸注意 9:00～ **面　接**

注１　遠方からの受験者は，風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し，日程に十分ゆとりをもたせるほか，衣服・履物等に注意してください。(過去に，豪雪のため交通機関が著しく遅れた例もありますので，十分注意して日程の計画を立ててください。)

２　試験場への入場開始時刻は８時00分です。入場終了時刻の**８時35分までに入場してください。**
風雪害，交通障害等を考慮して，余裕をもって到着するように十分注意してください。
なお，万が一，風雪害，交通障害等により試験実施時間等を変更する場合の取扱いについては，15～16ページ「(4)留意事項－オ」を参照してください。

３　**試験終了後，解答用紙の回収及び点検に１時間程度を要し，この作業が完了するまで試験室から退室を認めませんので，帰路の交通機関の利用計画を立てる際は，この点に注意し，時間に余裕のある計画を立ててください。**

(2) 後期日程

学部等 ＼ 日・時	令和2年3月12日（木） 9 ▼ 10 11 12 13 14 15 16 17 9:10
文学部	諸注意：9:30～11:30 **総合問題**（120分）
教育学部 法学部 経済学部	諸注意：9:30～12:30 **小論文**（180分）
理学部 数学科 物理学科 生物科学科 （高分子機能学専修分野）*1 地球惑星科学科 *1 工学部	諸注意：9:30～10:45 **理科**（75分） 12:20～14:00 **数学**（100分）
理学部 化学科 生物科学科 （生物学専修分野） （高分子機能学専修分野）*2 地球惑星科学科 *2 薬学部 農学部 水産学部	諸注意：9:30～12:00 **理科**（150分）
医学部保健学科	諸注意：9:30～ **面接**
歯学部	諸注意：9:30～11:00 **総合問題**（90分） 12:10～ **面接**
獣医学部	諸注意：9:30～12:00 **理科**（150分） 14:00～ **面接**

注1　遠方からの受験者は，風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し，日程に十分ゆとりをもたせるほか，衣服・履物等に注意してください。(過去に，豪雪のため交通機関が著しく遅れた例もありますので，十分注意して日程の計画を立ててください。)

2　試験場への入場開始時刻は8時30分です。入場終了時刻の**9時05分までに入場してください。**
風雪害，交通障害等を考慮し，余裕をもって到着するように十分注意してください。
なお，万が一，風雪害，交通障害等により試験実施時間等を変更する場合の取扱いについては，15～16ページ「(4)留意事項－オ」を参照してください。

3　**試験終了後，解答用紙の回収及び点検に1時間程度を要し，この作業が完了するまで試験室から退室を認めませんので，帰路の交通機関の利用計画を立てる際は，この点に注意し，時間に余裕のある計画を立ててください。**

＊1　理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）及び地球惑星科学科の受験者のうち，出願時に理科1科目及び数学を選択した者が該当します。

＊2　理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）及び地球惑星科学科の受験者のうち，出願時に理科2科目を選択した者が該当します。

12　試験場等

(1) 試験地及び試験場

ア　「前期日程」の試験地は，札幌市のみとし，本学構内に次の 7 試験場を設けます。

試験場名	場所	所在地
第 1 試験場	農学部	札幌市北区北 9 条西 9 丁目
第 2 試験場	人文・社会科学総合教育研究棟	札幌市北区北 9 条西 7 丁目
第 3 試験場	理学部	札幌市北区北 10 条西 8 丁目
第 4 試験場	工学部	札幌市北区北 13 条西 8 丁目
第 5 試験場	高等教育推進機構 E 棟（1 階，2 階）	札幌市北区北 17 条西 8 丁目
第 6 試験場	高等教育推進機構 E 棟（3 階）	札幌市北区北 17 条西 8 丁目
第 7 試験場	保健科学研究院	札幌市北区北 12 条西 5 丁目

注　上記 7 試験場では受験者を収容できない場合，札幌市の本学構内に別の試験場を設けることがあります。

イ　「後期日程」の試験地は，札幌市の本学構内及び函館市の水産学部に次の 10 試験場を設けます。

試験場名	場所	所在地
第 1 試験場	農学部	札幌市北区北 9 条西 9 丁目
第 2 試験場	人文・社会科学総合教育研究棟	札幌市北区北 9 条西 7 丁目
第 3 試験場	理学部	札幌市北区北 10 条西 8 丁目
第 4 試験場	薬学部	札幌市北区北 12 条西 6 丁目
第 5 試験場	高等教育推進機構 N 棟	札幌市北区北 17 条西 8 丁目
第 6 試験場	工学部	札幌市北区北 13 条西 8 丁目
第 7 試験場	高等教育推進機構 E 棟（1 階，2 階）	札幌市北区北 17 条西 8 丁目
第 8 試験場	獣医学部	札幌市北区北 18 条西 9 丁目
第 9 試験場	高等教育推進機構 E 棟（3 階）	札幌市北区北 17 条西 8 丁目
第 10 試験場	水産学部	函館市港町 3 丁目 1 番 1 号

注　「後期日程」にあっては，水産学部の志願者の試験場は第 10 試験場（函館市），その他の学部・学科等の志願者の試験場は第 1 試験場～第 9 試験場（札幌市）です。

(2) 試験場の指定及び通知方法

試験場は本学が指定し，北海道大学一般入試受験票に記載して通知します。**指定された試験場以外では，受験できません。**（受験票による通知まで，試験場は決定となりません。）

(3) 各試験場の位置図及び各試験場内の案内図等

各試験場の位置図は，本学の正門，北 13 条門及び高等教育推進機構前の 3 か所に掲示します。
また，各試験場内の案内図等は，各試験場前に掲示します。
各試験場の下見は，以下の日程で行うことができます。ただし，建物内に入ることはできません。

前期日程：令和 2 年 2 月 21 日（金） 10:00 以降（2 月 22 日（土）～ 24 日（月）は終日可能）
後期日程：令和 2 年 3 月 11 日（水） 10:00 以降

(4) 留意事項

ア　試験場は，本学構内の広範囲に分散していますので，「前期日程」，「後期日程」とも試験日の前日までに指定された試験場を確認しておいてください。

イ　受験者は，自動車で構内に入ることはできません。また，父母等付添者が受験者送迎目的で，試験場周辺（キャンパス近辺を含む。）に路上駐車することは，交通障害及び近隣住民の迷惑となりますので，差し控えてください。

ウ　受験者以外は，試験場に立ち入ることができません。また，父母等付添者の控室の用意はありません。

エ　受験に際しては，麻しん（はしか），風しん等の感染予防のため，過去に罹ったことがなく，予防接種も受けていない場合は，受験前に予防接種を受けておくことを強くお勧めします。また，季節性インフルエンザの感染予防のためには 11 月頃にワクチン接種をするようにしてください。

オ　万が一，風雪害，交通障害等により試験実施時間等を変更する場合は，北海道大学ホームページに随時情報を掲載してお知らせします。

> **北 海 道 大 学 ホ ー ム ペ ー ジＵＲＬ** ： https://www.hokudai.ac.jp/
> **北海道大学ホームページ（携帯電話用）ＵＲＬ** ： https://www.hokudai.ac.jp/keitai/

カ　その他「受験上の注意」を**別紙 5**（29 ページ）として記載していますので参照してください。

13　合格者の発表

(1) 日　　時

前期日程　　**令和 2 年 3 月 7 日（土）**　9:00（予定）
後期日程　　**令和 2 年 3 月 20 日（金）**　9:00（予定）

(2) 掲示場所及び通知方法

本学高等教育推進機構（札幌市北区北 17 条西 8 丁目）正面玄関に**合格者受験番号を掲示**するとともに，本学ホームページ（**※URL** https://www.hokudai.ac.jp/）に合格者受験番号を掲載します。また，合格者には，郵便で合格通知書及び入学手続き関係書類を送ります。

本学の合格者の発表方法は上記以外の方法では行いません。

なお，電話等による合否に関しての問い合わせには，一切応じられません。

> 「合格通知書」及び「入学手続き関係書類」は，合格者の発表後，速達書留により郵送しますが，お住まいの地域によっては到着までに 2～3 日を要する場合があります。
>
> 入学準備等で札幌を訪れる場合は，入学手続期間（17 ページを参照）を考慮の上，計画を立ててください。

14　入学手続

(1) 入学手続期間及び方法

<table>
<tr><td>試験日程</td><td colspan="3">入 学 手 続 期 間 及 び 方 法</td></tr>
<tr><td rowspan="3">前期日程</td><td>手続期間</td><td colspan="2">令和 2 年 3 月 10 日（火）～ 令和 2 年 3 月 15 日（日）
ただし，来学する場合は，　3 月 13 日（金）～ 3 月 15 日（日）
なお，(3)に記載の「入学手続に要する経費」の入学料については，3 月 13 日（金）の銀行等の窓口営業時間終了までに振り込みを済ませてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">手続方法</td><td>来学する場　合</td><td>(2)の提出書類を持参の上，下記期間内に手続きを行ってください。
令和 2 年 3 月 13 日（金）～ 令和 2 年 3 月 15 日（日）
受付時間はいずれの日も　9:00 ～ 17:00</td></tr>
<tr><td>郵送する場　合</td><td>(2)の提出書類を同封の上，令和 2 年 3 月 15 日（日）17:00 までに到着するよう，「速達書留」で(4)の入学手続場所に郵送してください。
なお，郵送用の封筒は，合格通知時に送付する「入学手続書類送付用封筒」を使用してください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">入学を辞退する場合は，3 月 15 日（日）17:00 までに「入学辞退届」（入学手続関係書類に同封）を FAX で(4)の入学手続場所に提出してください。
期限までに入学手続きを完了しなかった場合は，入学辞退者として取り扱います。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後期日程</td><td>手続期間</td><td colspan="2">令和 2 年 3 月 23 日（月）～ 令和 2 年 3 月 27 日（金）
ただし，来学する場合は，　3 月 26 日（木）～ 3 月 27 日（金）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">手続方法</td><td>来学する場　合</td><td>(2)の提出書類を持参の上，下記期間内に手続きを行ってください。
令和 2 年 3 月 26 日（木）～ 令和 2 年 3 月 27 日（金）
受付時間はいずれの日も　9:00 ～ 17:00</td></tr>
<tr><td>郵送する場　合</td><td>(2)の提出書類を同封の上，令和 2 年 3 月 27 日（金）17:00 までに到着するよう，「速達書留」で(4)の入学手続場所に郵送してください。
なお，郵送用の封筒は，合格通知時に送付する「入学手続書類送付用封筒」を使用してください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">入学を辞退する場合は，3 月 27 日（金）17:00 までに「入学辞退届」（入学手続関係書類に同封）を FAX で(4)の入学手続場所に提出してください。
期限までに入学手続きを完了しなかった場合は，入学辞退者として取り扱います。</td></tr>
</table>

(2) 提出書類

『大学入試センター試験受験票』，『入学料受付証明書』，『入学後履修する外国語申請書』，『学生証用写真貼り付け台紙』及び『氏名等登録票』

なお，『入学料受付証明書』は，入学料を振り込んだ際に銀行等（ゆうちょ銀行含む。）から発行される「日附印」が押印されたものを本学所定の貼り付け台紙（合格通知時に送付）に貼り付けて提出してください。

また，大学入試センター試験受験票以外の提出書類については，合格通知書と併せて送付します。

(3) 入学手続に要する経費

入　学　料　　納入金額　282,000 円（予定額）

① 入学料は，本学所定の振込用紙（合格通知時に送付）を使用して銀行等（ゆうちょ銀行含む。）の窓口で振り込むこととなります。(振込手数料は振込者の負担となります。)**【ＡＴＭ（現金自動預払機）は使用不可】**

※　前期日程の入学手続きにおいて，3 月 14 日（土）及び 15 日（日）は，銀行等が営業していませんので，3 月 13 日（金）の銀行等の窓口営業時間終了までに振り込みを済ませてください。

② 振り込んだ入学料は，入学手続完了者には返還できません。

③ 入学料免除（徴収猶予）希望者は，37 ページを参照してください。
なお，入学料免除（徴収猶予）の申請を希望する者は，入学手続きの際に入学料を振り込まないでください。

※　授業料について　　納入金額（前期分）　267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

① 令和 2 年度前期分授業料については，令和 2 年 5 月中旬に，本学から送付する「授業料納入のお知らせ」により，納入することとなります。振込用紙を用いた「振込」と指定の口座から引き落とす「口座振替」の 2 つの方法から選択してください。
「授業料納入のお知らせ」送付時期　…　前期：5 月中旬　後期：11 月中旬

② 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな学生納付金が適用されます。

③ 授業料免除希望者は，37 ページを参照してください。

(4) 入学手続場所

〒060-0817　札幌市北区北 17 条西 8 丁目
北海道大学高等教育推進機構内
入学手続き窓口（学務部教育推進課）　FAX(011)706-7854

(5) 留意事項

ア　他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の入学手続完了者が，それを取り消して本学に入学手続きをすることはできません。

イ　本学の入学手続完了者が，これを取り消して他の国公立大学・学部に入学手続きをすることはできません。

ウ　入学手続完了後，特別の事情により入学できなくなった場合は，速やかに学務部教育推進課全学教育・総合教育担当（47 ページ「問い合わせ先」を参照）へ電話で連絡してください。

15　追加合格

入学手続完了者が募集人員に満たない場合は，追加合格を行うことがあります。
なお，電話等による追加合格実施の有無に関しての問い合わせには，一切応じられません。

(1) 通知期間

令和 2 年 3 月 28 日（土）～ 令和 2 年 3 月 31 日（火）

(2) 通知方法

入学願書に記載された「追加合格通知期間（3 月 28 日～3 月 31 日）の連絡先」へ，電話で本人の入学意思を確認の上，郵便で合格通知書を送付します。本人が不在の場合でも連絡が直ちに行えるように所在を明らかにしておいてください。

(3) 入学手続

入学手続きは，「14　入学手続（17～18 ページ）」に準じて行いますが，手続期間，納入方法，提出書類等の詳細は合格通知の際に連絡します。

16　入試情報

次の入試情報を本学ホームページ（※URL https://www.hokudai.ac.jp/）に掲載します。

(1) 出願状況（募集人員に対する志願倍率）

令和 2 年 1 月 29 日（水）18:00 ～ 令和 2 年 2 月 7 日（金）

(2) 追加合格の状況

令和２年３月 28 日（土） 9:00 ～ 令和２年３月 31 日（火）

17 獣医学部共同獣医学課程の教育について（その他必要な経費）

獣医学部では，帯広畜産大学と共同獣医学課程を編成し，両大学の強みを活かした教育を実施しており，専門科目の一部は帯広畜産大学で開講します。獣医学部に入学・進級する学生は，帯広畜産大学（帯広市）及び学外における授業履修に必要な，移動費・宿泊費等の一部及び保険料が別途必要です。必要な経費等の詳細は，下記の連絡先へお問い合わせください。

連　絡　先	〒060-0818　札幌市北区北18条西９丁目 北海道大学獣医学系事務部教務担当 TEL（011）706-5175

18 個人情報の取扱い

(1) 本学では，個人情報の取扱いについては，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに，「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき，保護に万全を期しています。

(2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜（選考）実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等に関する調査・研究，及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 合格者のみ，(2)の個人情報を入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請，入寮選考，福利厚生等），③就職支援関係，④授業料等に関する業務，⑤附属図書館利用に関する業務，⑥情報教育施設利用に関する業務，⑦災害緊急時の安否確認・連絡等に関する業務，⑧広報関係（広報物，行事のご案内等の送付）を行うために利用します。

また，北海道内の国立大学が，教養教育の充実強化を図る目的で締結した単位互換協定に基づく包括的授業の運営のため，上記①，⑤，⑥，⑦，⑧の業務に必要な個人情報が各大学及び北海道地区国立大学連携教育機構へ提供されます。

(4) 獣医学部合格者については，国立大学法人帯広畜産大学と共同して教育を実施するため（共同獣医学課程），上記(3)の①～⑧の業務に必要な個人情報が帯広畜産大学へ提供されます。

(5) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究を行うために利用します。

(6) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合否及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る。）を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供することがあります。

(7) 北大フロンティア基金及び次の①～⑥の本学関連団体から要請があった場合は，(2)の個人情報について，当該組織の活動に必要な範囲に限り提供することがあります。

①北海道大学体育会，②北海道大学医学部医学科学友会（医学部医学科合格者のみ対象），③北海道大学歯学部学友会（歯学部合格者のみ対象），④北海道大学工学部北工会（工学部合格者のみ対象），⑤学部同窓会，⑥北海道大学校友会エルム

(8) 上記(2)から(7)の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下，「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限り，お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

別紙１

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【前期日程】

◎印は必須科目，○印は選択科目を表す。

教科・科目名 ／ 学部・系・学科等		国語	地理歴史						公民				数学						理科								外国語				
																	別冊子試験科目										別冊子試験科目			
		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計 ※1	情報関係基礎 ※1	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
総合入試	文系	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
		必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	理系 数学重点選抜群	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	理系 物理重点選抜群	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	理系 化学重点選抜群	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	理系 生物重点選抜群	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	理系 総合科学選抜群	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
学部別入試	文学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
		必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	教育学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
		必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	法学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
		必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	経済学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
		必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【前期日程】

◎印は必須科目，○印は選択科目を表す。

学部別入試	学部・系・学科等	教科・科目名	国語	地理歴史						公民				数学						理科								外国語				
																		別冊子試験科目										別冊子試験科目				
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計 ※1	情報関係基礎 ※1	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
学部別入試	医学部	医学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○		○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		保健学科 看護学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		保健学科 放射線技術科学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		保健学科 検査技術科学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		保健学科 理学療法学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		保健学科 作業療法学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	歯学部		◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	獣医学部		◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	水産学部		◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				

この表に示した学部・系・学科等ごとの教科・科目を受験しなかった場合は，個別学力検査等を受験することができません。

〔注意事項〕

※1　「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校において，これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了（見込み）の者に限ります。

※2　総合入試（文系），文学部，教育学部，法学部，経済学部においては，「基礎を付した科目」から2科目を選択することとします。
ただし，「基礎を付していない科目」から2科目選択した場合は，「基礎を付した科目」を選択したものとみなします。また，「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合は，「基礎を付した科目」2科目を利用します。
「基礎を付した科目」とは，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」を指します。「基礎を付していない科目」とは，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」を指します。

※3　総合入試（理系），医学部，歯学部，獣医学部，水産学部において，「地理歴史」，「公民」を2科目受験している場合は，第1解答科目を利用します。
なお，第1解答科目で本学が指定する大学入試センター試験の受験を要する科目を受験しておらず，かつ，第2解答科目で本学の指定科目を受験している場合，個別学力検査等を受験することはできますが，第1解答科目の得点を0点として取り扱います。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【後期日程】

◎印は必須科目，○印は選択科目を表す。

学部・学科等 ＼ 教科・科目名			国語	地理歴史						公民				数学						理科								外国語				
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	別冊子試験科目 簿記・会計 ※1	別冊子試験科目 情報関係基礎 ※1	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	別冊子試験科目 ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
学部別入試	文学部		◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
			必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	教育学部		◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
			必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	法学部		◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
			必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	経済学部		◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○	○	○	○	○	＊	＊	＊	＊	○	○	○	○	○
			必須	○から2科目選択											必須		○から1科目選択			○から2科目選択 ※2								○から1科目選択				
	理学部	数学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		物理学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		化学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		生物科学科 生物学専修分野	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		生物科学科 高分子機能学専修分野	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		地球惑星科学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	医学部 保健学科	放射線技術科学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					◎	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							必須	○から1科目選択			○から1科目選択				
		検査技術科学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
		理学療法学専攻	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

【後期日程】

◎印は必須科目，○印は選択科目を表す。

学部・学科等 ＼ 教科・科目名		国語	地理歴史						公民				数学						理科								外国語				
																	別冊子試験科目										別冊子試験科目			
		国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計 ※1	情報関係基礎 ※1	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
学部別入試	歯学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	薬学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	工学部 応用理工系学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	工学部 情報エレクトロニクス学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	工学部 機械知能工学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	工学部 環境社会工学科	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	農学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	獣医学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				
	水産学部	◎		○		○		○				○		◎		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		必須	○から1科目選択 ※3											必須		○から1科目選択							○から2科目選択				○から1科目選択				

この表に示した学部・学科等ごとの教科・科目を受験しなかった場合は，個別学力検査等を受験することができません。

〔注意事項〕

※1　「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校において，これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了（見込み）の者に限ります。

※2　文学部，教育学部，法学部，経済学部においては，「基礎を付した科目」から2科目を選択することとします。
ただし，「基礎を付していない科目」から2科目選択した場合は，「基礎を付した科目」を選択したものとみなします。また，「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合は，「基礎を付した科目」2科目を利用します。
「基礎を付した科目」とは，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」を指します。「基礎を付していない科目」とは，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」を指します。

※3　理学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部，農学部，獣医学部，水産学部において，「地理歴史」，「公民」を2科目受験している場合は，第1解答科目を利用します。
なお，第1解答科目で本学が指定する大学入試センター試験の受験を要する科目を受験しておらず，かつ，第2解答科目で本学の指定科目を受験している場合，個別学力検査等を受験することはできますが，第1解答科目の得点を0点として取り扱います。

別紙２

個別学力検査等の教科・科目等

前期日程

◎印は必須科目，○印は選択科目を表す。

学部・系・学科等 ＼ 出題教科・科目等				国語	地理歴史			数学		理科				外国語				面接	合計
				国語総合・現代文B	世界史B	日本史B	地理B	数学α 注1	数学β 注1	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物	地学基礎・地学	英語 注1	ドイツ語	フランス語	中国語		
総合入試	文系		出題科目	◎	○	○	○	○						○	○	○	○		3
			受験科目数	1	1									1					
	理系	数学重点選抜群	出題科目					◎		○	○	○	○	○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		物理重点選抜群	出題科目					◎		◎	○	○	○	○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		化学重点選抜群	出題科目					◎		○	◎	○	○	○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		生物重点選抜群	出題科目					◎		○	○	◎	○	○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		総合科学選抜群	出題科目					◎		○	○	○	○	○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
学部別入試	文学部		出題科目	◎	○	○	○	○						○	○	○	○		3
			受験科目数	1	1									1					
	教育学部		出題科目	◎				◎						○	○	○	○		3
			受験科目数	1				1						1					
	法学部		出題科目	◎				◎						○	○	○	○		3
			受験科目数	1				1						1					
	経済学部		出題科目	◎				◎						○	○	○	○		3
			受験科目数	1				1						1					
	医学部	医学科	出題科目					◎		◎	○	○		○	○	○	○	◎	5
			受験科目数					1		2				1				1 注2	
		保健学科 看護学専攻	出題科目					◎		○	○	◎		○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		保健学科 放射線技術科学専攻	出題科目					◎		◎	○	○		○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		保健学科 検査技術科学専攻	出題科目					◎		○	◎	○		○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		保健学科 理学療法学専攻	出題科目					◎		○	○	○		○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
		保健学科 作業療法学専攻	出題科目					◎		○	○	○		○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
	歯学部		出題科目					◎		○	○	○		○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
	獣医学部		出題科目					◎		○	○	○		○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					
	水産学部		出題科目					◎		○	○	○	○	○	○	○	○		4
			受験科目数					1		2				1					

注１　出題範囲
○数学α（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B）
○数学β（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B）
　ただし，数学A及び数学Bの出題範囲は，数学Aは「場合の数と確率」，「整数の性質」，「図形の性質」，数学Bは「数列」，「ベクトル」とします。
　なお，採点に当たっては，大学で諸科学を学ぶために必要な数学的能力を総合的に評価するために，①問題の内容を的確に把握したか，②正確な推論を行っているか，③基礎的な知識及び計算力を身につけているか，④適切な説明がなされているか，について留意します。
○英語の出題範囲は，「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」，「英語表現Ⅰ」及び「英語表現Ⅱ」とします。

２　医学部医学科の面接は，高等学校等の調査書又は成績証明書等を資料として参考にします。

※　地理歴史・数学，理科及び外国語の選択する受験科目は，インターネット出願の際に登録してください。
※　出願後においては，いかなる理由があっても選択科目の変更は認められません。

後期日程

◎印は必須科目，○印は選択科目を表す。

学部・学科等			出題教科・科目等	総合問題	小論文	数学	理科				面接	合計	備考
						数学β注	物理基礎・物理	化学基礎・化学	生物基礎・生物	地学基礎・地学			
学部別入試	文学部		出題科目	◎								1	高等学校の「国語」，「地理歴史」，「公民」を総合して出題する。 ただし，英語の基礎的な知識も要求される。
			受験科目数	1									
	教育学部		出題科目		◎							1	社会科学及び人文科学を将来学ぶ上で必要な論理的思考力（一定程度の知識，読解力を前提とする。）と論文構成力をみる。
			受験科目数		1								
	法学部		出題科目		◎							1	大学において社会科学の教育を受けるにふさわしい適性をもつか否かをみる。
			受験科目数		1								
	経済学部		出題科目		◎							1	社会科学を将来学ぶ上で必要な論理的思考力（一定程度の知識，読解力を前提とする。）と論文構成力をみる。
			受験科目数		1								
	理学部	数学科	出題科目			◎	○	○	○	○		2	
			受験科目数			1	1						
		物理学科	出題科目			◎	◎					2	
			受験科目数			1	1						
		化学科	出題科目				◎	◎				2	
			受験科目数				2						
		生物科学科	生物学専修分野 出題科目				○	○	◎	○		2	
			受験科目数				2						
			高分子機能学専修分野 出題科目			○	○	○	○			2	
			受験科目数			2							
		地球惑星科学科	出題科目			○	○	○	○	○		2	
			受験科目数			2							
	医学部	保健学科	放射線技術科学専攻 出題科目								◎	1	面接は，高等学校等の調査書又は成績証明書等を資料として参考にする。
			受験科目数								1		
			検査技術科学専攻 出題科目								◎	1	
			受験科目数								1		
			理学療法学専攻 出題科目								◎	1	
			受験科目数								1		
	歯学部		出題科目	◎							◎	2	総合問題は，生命科学を含む社会一般に関する内容とし，英語又は日本語による文章を提示し日本語で解答する。 面接は，高等学校等の調査書又は成績証明書等を資料として参考にする。
			受験科目数	1							1		
	薬学部		出題科目				○	○	○			2	
			受験科目数				2						
	工学部	応用理工系学科	出題科目			◎	○	○	○			2	
			受験科目数			1	1						
		情報ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ学科	出題科目			◎	◎					2	
			受験科目数			1	1						
		機械知能工学科	出題科目			◎	◎					2	
			受験科目数			1	1						
		環境社会工学科	出題科目			◎	○	○				2	
			受験科目数			1	1						
	農学部		出題科目				○	○	○	○		2	
			受験科目数				2						
	獣医学部		出題科目				○	○	○		◎	3	面接は，高等学校等の調査書又は成績証明書等を資料として参考にする。
			受験科目数				2				1		
	水産学部		出題科目				○	○	○	○		2	
			受験科目数				2						

注　出題範囲

○数学β（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B）

ただし，数学A及び数学Bの出題範囲は，数学Aは「場合の数と確率」，「整数の性質」，「図形の性質」，数学Bは「数列」，「ベクトル」とします。

なお，採点にあたっては，大学で諸科学を学ぶために必要な数学的能力を総合的に評価するために，①問題の内容を的確に把握したか，②正確な推論を行っているか，③基礎的な知識及び計算力を身につけているか，④適切な説明がなされているか，について留意します。

※　数学・理科の選択する受験科目は，インターネット出願の際に登録してください。
※　出願後においては，いかなる理由があっても選択科目の変更は認められません。

別紙３

第１段階選抜時における大学入試センター試験の配点

前期日程

学部等／教科	総合入試（文系） 文学部，教育学部 法学部，経済学部	総合入試（理系） 医学部，歯学部 獣医学部，水産学部
国語	60 (200×0.3)	80 (200×0.4)
地理歴史 公民	80 (200×0.4)	40 (100×0.4)
数学	60 (200×0.3)	60 (200×0.3)
理科	40 (100×0.4)	60 (200×0.3)
外国語	60 (200×0.3)	60 (200×0.3)
合計	300	300

注１　(　)書きは，大学入試センター試験の素点と傾斜率を示します。
２　地理歴史・公民，数学及び理科の素点が「200」とある部分は，2科目の素点合計を示します。
３　総合入試（文系），文学部，教育学部，法学部，経済学部の理科において，「基礎を付していない科目」2科目を選択した場合は，素点合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。
４　外国語のうち，英語を選択した場合の配点については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。
なお，リスニングを免除された者については，筆記のみ利用します。

後期日程

学部等／教科	文学部	教育学部	法学部 経済学部	理学部	医学部，歯学部 薬学部，農学部 獣医学部，水産学部
国語	60 (200×0.3)	60 (200×0.3)	80 (200×0.4)	80 (200×0.4)	100 (200×0.5)
地理歴史 公民	60 (200×0.3)	80 (200×0.4)	60 (200×0.3)	40 (100×0.4)	50 (100×0.5)
数学	60 (200×0.3)	60 (200×0.3)	80 (200×0.4)	60 (200×0.3)	100 (200×0.5)
理科	40 (100×0.4)	40 (100×0.4)	40 (100×0.4)	60 (200×0.3)	100 (200×0.5)
外国語	80 (200×0.4)	60 (200×0.3)	80 (200×0.4)	60 (200×0.3)	100 (200×0.5)
合計	300	300	340	300	450

注１　(　)書きは，大学入試センター試験の素点と傾斜率を示します。
２　地理歴史・公民，数学及び理科の素点が「200」とある部分は，2科目の素点合計を示します。
３　文学部，教育学部，法学部，経済学部の理科において，「基礎を付していない科目」2科目を選択した場合は，素点合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。
４　外国語のうち，英語を選択した場合の配点については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。
なお，リスニングを免除された者については，筆記のみ利用します。

別紙４

第２段階選抜（最終選抜）時における大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

前期日程（総合入試）

系・群 ＼ 教科	文　系		理　系					
			数学重点選抜群		物理重点選抜群 化学重点選抜群 生物重点選抜群		総合科学選抜群	
	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等
国　語	60 (200×0.3)	150	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－
地理歴史	80 (200×0.4)	－　〈150〉	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－
公　民				－		－		－
数　学	60 (200×0.3)		60 (200×0.3)	200	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150
理　科	40 (100×0.4)	－	60 (200×0.3)	100 (50×2)	60 (200×0.3)	必須 100 他 50	60 (200×0.3)	150 (75×2)
外 国 語	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150
合　計	300	450	300	450	300	450	300	450
配点合計	750		750		750		750	

前期日程（学部別入試）

学部等 ＼ 教科等	文 学 部		教育学部 法 学 部 経済学部		医学部医学科		医学部保健学科 歯 学 部 獣医学部 水産学部	
	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等	大学入試 センター試験	個別学力 検 査 等
国　語	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－
地理歴史	80 (200×0.4)	－　〈150〉	80 (200×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－
公　民				－		－		－
数　学	60 (200×0.3)		60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150
理　科	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	60 (200×0.3)	150 (75×2)	60 (200×0.3)	150 (75×2)
外 国 語	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150	60 (200×0.3)	150
面　接	－	－	－	－	－	75	－	－
合　計	300	450	300	450	300	525	300	450
配点合計	750		750		825		750	

注１　大学入試センター試験の(　)書きは，素点と傾斜率を示します。
２　大学入試センター試験の地理歴史・公民，数学及び理科の素点が「200」とある部分は，２科目の素点合計を示します。
３　総合入試（文系），文学部，教育学部，法学部，経済学部の大学入試センター試験の理科において，「基礎を付していない科目」2科目を選択した場合は，素点合計得点（200 点満点）を 100 点満点に換算して利用します。
４　大学入試センター試験の外国語のうち，英語を選択した場合の配点については，筆記（200 点満点）とリスニング（50 点満点）の合計得点を 200 点満点に換算して利用します。
なお，リスニングを免除された者については，筆記のみ利用します。
５　個別学力検査等の(　)書きは，１科目当たりの配点と科目数を示します。
６　総合入試（文系）及び学部別入試の文学部の個別学力検査の〈　〉書きは，地理歴史または数学のいずれか 1 教科を選択することを示します。（公民から選択することはできません。）

後期日程

学部等 / 教科等	文学部		教育学部		法学部		経済学部	
	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等
国語	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－
地理歴史	60 (200×0.3)	－	80 (200×0.4)	－	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－
公民		－		－		－		－
数学	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－
理科	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－
外国語	80 (200×0.4)	－	60 (200×0.3)	－	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－
総合問題	－	200	－	－	－	－	－	－
小論文	－	－	－	300	－	340	－	160
面接	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	300	200	300	300	340	340	340	160
配点合計	500		600		680		500	

学部等 / 教科等	理学部									
	数学科		物理学科		化学科		生物科学科（生物学専修分野）		生物科学科（高分子機能学専修分野）地球惑星科学科	
	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等
国語	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－	80 (200×0.4)	－
地理歴史	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－	40 (100×0.4)	－
公民		－		－		－		－		－
数学	60 (200×0.3)	200	60 (200×0.3)	100	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	〈300〉 (150×2)
理科	60 (200×0.3)	100	60 (200×0.3)	200	60 (200×0.3)	化学200 物理100	60 (200×0.3)	生物200 他100	60 (200×0.3)	
外国語	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－	60 (200×0.3)	－
総合問題	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
小論文	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
面接	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
配点合計	600		600		600		600		600	

学部等 / 教科等	医学部保健学科		歯学部		薬学部 農学部 水産学部		工学部		獣医学部	
	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等	大学入試センター試験	個別学力検査等
国語	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－
地理歴史	50 (100×0.5)	－	50 (100×0.5)	－	50 (100×0.5)	－	50 (100×0.5)	－	50 (100×0.5)	－
公民		－		－		－		－		－
数学	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	150	100 (200×0.5)	－
理科	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	300 (150×2)	100 (200×0.5)	150	100 (200×0.5)	300 (150×2)
外国語	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－	100 (200×0.5)	－
総合問題	－	－	－	300	－	－	－	－	－	－
小論文	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
面接	－	200	－	150	－	－	－	－	－	200
合計	450	200	450	450	450	300	450	300	450	500
配点合計	650		900		750		750		950	

注1　大学入試センター試験の（　）書きは，素点と傾斜率を示します。
2　大学入試センター試験の地理歴史・公民，数学及び理科の素点が「200」とある部分は，2科目の素点合計を示します。
3　文学部，教育学部，法学部，経済学部の大学入試センター試験の理科において，「基礎を付していない科目」2科目を選択した場合は，素点合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。
4　大学入試センター試験の外国語のうち，英語を選択した場合の配点については，筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用します。
なお，リスニングを免除された者については，筆記のみ利用します。
5　個別学力検査等の（　）書きは，1科目当たりの配点と科目数を示します。
6　理学部生物科学科（高分子機能学専修分野）及び地球惑星科学科の個別学力検査の〈　〉書きは，数学及び理科の中から2科目を選択することを示します。

別紙５

受 験 上 の 注 意

1　試験当日は，**北海道大学一般入試受験票**（郵便はがきに印刷されたもの）及び**大学入試センター試験受験票**を持参してください。

2　試験場への入場開始時刻は「前期日程」においては 8 時 00 分，「後期日程」においては 8 時 30 分です。
入場終了時刻（「前期日程」は 8 時 35 分，「後期日程」は 9 時 05 分）までに入場してください。
指定された試験場以外では受験できません。

3　試験開始時刻（「前期日程」は 9 時 00 分，「後期日程」は 9 時 30 分）に遅刻した場合は，30 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。
30 分を超えて遅れた場合は係員の指示に従ってください。

4　試験室へ入室後，北海道大学一般入試受験票の「受験番号」と座席の「受験番号」が同じであることを確認してください。

5　机の上には，北海道大学一般入試受験票と大学入試センター試験受験票，鉛筆（黒），鉛筆キャップ，シャープペンシル（黒），プラスチック製の消しゴム，鉛筆削り（電動式，大型のもの，ナイフ類を除く），計時機能のみの時計（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能が判別しづらいもの，秒針音のするもの，キッチンタイマー，大型のものを除く），眼鏡，ハンカチ，目薬，ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの）以外のものを置いてはいけません。
時計のアラームは使用してはいけません。
スマートフォン，携帯電話，ウェアラブル端末，音の出る機器は，必ずアラームの設定を解除し電源を切り，カバン等の中にしまい，身につけないでください。
試験時間中，参考書，身の回りのものなどは，カバン，ビニール袋等に入れて椅子の下等に置き，机の中には入れないでください。

6　試験時間中は，監督者の指示等が聞き取れないことがありますので，「耳せん」は使用できません。

7　試験時間中は，途中で退室することができません。
試験時間中の発病又はトイレ等やむを得ない場合には，手を挙げて監督者の指示に従ってください。

8　**試験終了後，解答用紙の回収及び点検のために 1 時間程度を要し，この作業が完了するまで試験室から退室を認めませんので，帰路の交通機関の利用計画を立てる際は，この点に注意し，時間に余裕のある計画を立ててください。**

9　「前期日程」における医学部医学科，「後期日程」における医学部保健学科・歯学部・獣医学部が実施する面接試験については，別途指示します。

10　試験実施時期は降雪，路面凍結等により，歩行が容易でなくなることがありますので，履物には十分留意してください。

11　上記のことを含め，北海道大学一般入試受験票裏面の記載事項及び試験当日指示する事項に留意してください。

Ⅲ　予　告

令和 3 年度以降の入学者選抜における変更について，以下のとおりお知らせします。

●　令和 3 年度入試における変更について

1　「大学入試センター試験」から「大学入学共通テスト」への変更について

令和 3 年 1 月から大学入学共通テストが実施されることに伴い，受験を要する教科・科目は変更せず，令和 3 年度入試から大学入学共通テストを利用します。

2　大学入学共通テスト及び大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験の活用について

令和 3 年度入試以降に実施する大学入学共通テスト及び大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験*（以下，「英語認定試験」という。）を以下のとおり活用します。

＊独立行政法人大学入試センターが認定した英語４技能を評価する民間の資格・検定試験

１）英語認定試験

令和 3 年度入試については，英語認定試験を利用しません。

２）大学入学共通テスト「外国語（英語)」の配点

令和 6 年度入試までは，大学入学共通テストで実施される「外国語（英語)」を利用します。

「外国語（英語)」の配点は，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点 200 点満点に，各募集単位で定めた傾斜率を乗じて利用します。

３）大学入学共通テスト「国語」の記述式問題

「国語」の記述式問題は，大問の成績の段階表示により点数化し，A=20 点，B=15 点，C=10 点，D=5 点，E=0 点とします。

「国語」の配点は，マーク式問題（200 点満点）と記述式問題（20 点満点）の合計得点を 200 点満点に換算し，各募集単位で定めた傾斜率を乗じて利用します。

４）大学入学共通テスト「数学」の記述式問題

「数学」の記述式問題は，正誤のみの判定であること及び大問の中でマーク式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから，従来のマーク式と同様の取扱いとなります。

●　令和 3 年度一般選抜（現：一般入試）における変更について

1　一般選抜の変更について

令和 3 年度入試より，歯学部における一般選抜において，前期日程に「個別学力検査」と「面接」を課すこととし，後期日程を取り止めます。

2　令和 3 年度以降の歯学部における一般選抜（前期日程）の募集人員・個別学力検査等について

①　募集人員

学部別入試歯学部（後期日程）の募集人員「8 名」をすべて学部別入試歯学部（前期日程）の募集人員に振り分けることとします。

・変更後の学部別入試歯学部（前期日程）の募集人員：38 名

②　個別学力検査等

・個別学力検査と面接を課します。

・個別学力検査の教科・科目：数　学（数Ⅰ・数Ⅱ・数学Ⅲ・数A・数B）
外国語（英・独・仏・中から１）
理　科（物基・物，化基・化，生基・生から２）

・試験日程：2 日間で実施します。

3　第２段階選抜（最終選抜）時の歯学部における大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点について

（前期日程）

教科等	大学入学共通テスト	個別学力検査等
国　　語	80 (200×0.4)	－
地理歴史	40 (100×0.4)	－
公　　民		－
数　　学	60 (200×0.3)	150
理　　科	60 (200×0.3)	150 (75×2)
外国語	60 (200×0.3)	150
面　　接	－	75
合　　計	300	525
配点合計	825	

（参考：令和２年度入試）

大学入試センター試験	個別学力検査等
80 (200×0.4)	－
40 (100×0.4)	－
	－
60 (200×0.3)	150
60 (200×0.3)	150 (75×2)
60 (200×0.3)	150
－	－
300	450
750	

注１　大学入学共通テストの(　)書きは，素点と傾斜率を示します。
　２　大学入学共通テストの数学及び理科の素点が「200」とある部分は，２科目の素点合計を示します。
　３　個別学力検査等の(　)書きは，１科目当たりの配点と科目数を示します。

●　令和４年度入試における変更について

１　英語認定試験の活用について

令和４年度入試以降に実施する英語認定試験を以下のとおり活用します。

１）英語認定試験

令和４年度入試以降については，英語認定試験を利用します。

大学入試英語成績提供システムから提供される英語認定試験の評価がCEFRレベル「Ｂ２」の場合は５点，「Ｃ１，Ｃ２」の場合は20点を大学入学共通テスト「外国語（英語）」の点数に加算します。ただし，加算の結果200点を超える場合は，200点として取扱います。

２）大学入学共通テスト「外国語（英語）」の配点

「外国語（英語）」の配点は，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）に，英語認定試験の加算点を加えた合計得点200点満点に，各募集単位で定めた傾斜率を乗じて利用します。

２　総合型選抜「フロンティア入試」の実施に伴う募集人員等の変更について

令和４年度の入学者選抜から，現在のＡＯ入試を改め総合型選抜「フロンティア入試」を実施します。出願書類，選抜方法の違いにより「TypeⅠ」・「TypeⅡ」に区分して実施します。募集単位別の選抜方法等の詳細については引き続き検討を重ね，今年度中に公表します。

１）総合型選抜「フロンティア入試TypeⅠ」の特色

出願書類（調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録等）により第１次選考を行います。高等学校等における多様な活動を，各募集単位が定める評価軸に沿って高校教諭が評価し，その結果を選考に用います。

第２次選考は，課題論文，面接（口頭試問）等を課します。

２）総合型選抜「フロンティア入試TypeⅡ」の特色

出願書類（作成負担の軽減を予定）により第１次選考を行います。

第２次選考は，適性試験（各募集単位が指定する数学・理科に係る分野），面接（口頭試問）等を課し，基礎的な知識・技能と共に，思考力・表現力を評価します。

また，この変更に伴い，一般選抜，総合型選抜の募集人員並びに総合入試入学者（国際総合入試を含む）の移行人数を別紙のとおり変更します。

1　令和４年度入学者選抜における募集人員等の変更について

※　下線部は，令和３年度入試からの変更箇所

＜入学者募集人員＞

（単位：名）

学部・系・学科等			募集人員	募集人員の内訳							
				一般選抜		AO入試（現在）	フロンティア入試（総合型選抜）→		国際総合入試	帰国子女入試	私費外国人留学生入試
				前期日程	後期日程		Type Ⅰ	Type Ⅱ			
総合入試	文系		100	95	－	－	－	－	5	－	－
	理系	数学重点選抜群	130 →126	129 →125	－	－	－	－	10	－	－
		物理重点選抜群	235 →227	233 →225	－	－	－	－		－	－
		化学重点選抜群	235 →228	233 →226	－	－	－	－		－	－
		生物重点選抜群	177 →171	175 →169	－	－	－	－		－	－
		総合科学選抜群	250 →242	247 →239	－	－	－	－		－	－
		小　計	1,027 →994	1,017 →984	－	－	－	－	10	－	－
	計		1,127 →1,094	1,112 →1,079	－	－	－	－	15	－	－
学部別入試	文学部		155	118	37	－	－	－	－	若干名	若干名
	教育学部		30	20	10	－	－	－	－		
	法学部		180	140	40	－	－	－	－		
	経済学部		160	140	20	－	－	－	－		
	理学部	数学科	13 →23	－	13 →10	－	－	13	－		
		物理学科	10 →17	－	10 →3	－	－	14	－		
		化学科	23 →31	－	23 →20	－	－	11	－		
		生物科学科 生物学専修分野	10	－	10	－	－	－	－		
		生物科学科 高分子機能学専修分野	5	－	5 →2	－	－	3	－		
		地球惑星科学科	10	－	5	5 →0	5	－	－		
		小　計	71 →96	－	66 →50	5 →0	5	41	－		

学部・系・学科等			募集人員	募集人員の内訳						
				一般選抜		A O 入試（現在の入試）	フロンティア入試（総合型選抜）		国際総合入試	帰国子女入試	私費外国人留学生入試
				前期日程	後期日程		Type Ⅰ	Type Ⅱ			
学部別入試	医学部	医学科	95 →90	注1 90 →85	－	5 →0	5	－	－	若干名	若干名
		保健学科 看護学専攻	67	60	－	7 →0	7	－	－		
		保健学科 放射線技術科学専攻	35	28	7 →0	－	7	－	－		
		保健学科 検査技術科学専攻	35	28 →25	7 →0	－	10	－	－		
		保健学科 理学療法学専攻	17	13	4 →0	－	4	－	－		
		保健学科 作業療法学専攻	17	13 →10	－	4 →0	7	－	－		
		小計	266 →261	232 →221	18 →0	16 →0	40	－	－		
	歯学部		43	38	－	5 →0	5	－	－		
	薬学部		24	－	24	－	－	－	－		
	工学部	応用理工系学科	38 →48	－	34 →29	4 →0	4 応用マテリアル工学コース	15 応用物理工学コース	－		
		情報エレクトロニクス学科	38	－	38	－	－	－	－		
		機械知能工学科	30	－	30 →25	－	－	5	－		
		環境社会工学科	53 →56	－	49 →47	4 →0	4 社会基盤学コース	5 環境工学コース	－		
		小計	159 →172	－	151 →139	8 →0	8	25	－		
	農学部		53	－	53	－	－	－	－		
	獣医学部		35	20	15	－	－	－	－		
	水産学部		175	105	50	20 →0	20	－	－		
	計		1,351 →1,384	813 →802	484 →438	54 →0	78	66	－		
合計			2,478	1,925 →1,881	484 →438	54 →0	78	66	15		

注１　医学部医学科一般入試（前期日程）の募集人員については，令和２年度入試から 90 名となる旨予告していたところですが，令和２年度及び令和３年度入試において暫定的な措置の再度の増員申請をしており，申請が認められた場合は，令和２年度及び令和３年度一般入試（前期日程）の募集人員は 97 名となります。

＜募集方法＞

(1) 総合入試の文系は，系で募集し，理系は，選抜群単位で募集します。

(2) 学部別入試は，次の単位で募集します。

① 文学部，教育学部，法学部，経済学部，歯学部，薬学部，農学部，獣医学部，水産学部は，学部単位で募集します。

② 理学部数学科，物理学科，化学科，地球惑星科学科は，学科単位で募集し，生物科学科は専

修分野単位で募集します。
③　医学部医学科は，学科単位で募集し，医学部保健学科は，専攻単位で募集します。
④　工学部は，学科単位で募集します。
(3) フロンティア入試（総合型選抜）は，学部・学科・専攻単位で募集します。
(4) フロンティア入試（総合型選抜）の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜の次の募集人員に加えます。
①　医学部，歯学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員に加えます。
②　理学部，工学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員に加えます。
(5) 国際総合入試は，系で募集します。
(6) 国際総合入試の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜前期日程（総合入試）の募集人員に加えます。
(7) 帰国子女入試は，学部・学科・専攻等の単位で募集し，募集人員は，一般選抜の次の募集人員の内数となります。
①　文学部，教育学部，法学部，経済学部，医学部，歯学部，獣医学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員の内数となります。
②　理学部，薬学部，工学部，農学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員の内数となります。
(8) 私費外国人留学生入試は，学部・学科・専攻等別に募集し，募集人員は，一般選抜の次の募集人員の内数となります。
①　文学部，教育学部，法学部，経済学部，医学部，歯学部，獣医学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員の内数となります。
②　理学部，薬学部，工学部，農学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員の内数となります。

2　令和4年度以降入学者の学部・学科等の決定方法について

※　下線部は，令和3年度入学者からの変更箇所

＜学部・学科等の決定方法＞

(1) 総合入試（一般選抜，国際総合入試）入学者の学部の決定は，第1年次終了時に行います。所属学科等の決定は，理学部，医学部，薬学部，工学部，農学部，水産学部は，第1年次終了時に行い，経済学部は，第2年次第1学期終了時に行います。
(2) 学部別入試（一般選抜，フロンティア入試（総合型選抜），帰国子女入試，私費外国人留学生入試）入学者の所属学科等の決定は，薬学部，工学部，農学部，水産学部は，第1年次終了時に行い，経済学部は，第2年次第1学期終了時に行います。
(3) 水産学部に所属することとなった学生は，第2年次終了まで札幌キャンパスで学修し，第3年次から函館キャンパスで学修します。

＜学科等の定員，募集人員，総合入試入学者の移行人数＞

（単位：名）

学　部	学科・専攻・コース等	学科等の定員	学部別入試の募集人員		総合入試入学者の移行人数
			一般選抜（学部別入試）	現在のAO入試→フロンティア入試（総合型選抜）	一般選抜（総合入試）及び国際総合入試
文学部	人文科学科	185	155	－	30
教育学部	教育学科	50	30	－	20
法学部	法学課程	200	180	－	20
経済学部	経済学科	100	160	－	30
	経営学科	90			
理学部	数学科	50	13→10	13	37→27
	物理学科	35	10→ 3	14	25→18
	化学科	75	23→20	11	52→44
	生物科学科	80	15→12	3	65
	（生物学専修分野）	(40)	(10)	－	(30)
	（高分子機能学専修分野）	(40)	(5)→(2)	(3)	(35)
	地球惑星科学科	60	5	5	50

学　　部	学科・専攻・コース等	学科等の定員	学部別入試の募集人員		総合入試入学者の移行人数
			一般選抜（学部別入試）	現在のAO入試→フロンティア入試（総合型選抜）	一般選抜（総合入試）及び国際総合入試
医　学　部	医　　学　　科	100	[注4]90→85	5	5→10
	保　健　学　科	180	160→136	35	9
	（看　護　学　専　攻）	(70)	(60)	(7)	(3)
	（放射線技術科学専攻）	(37)	(35)→(28)	(7)	(2)
	（検査技術科学専攻）	(37)	(35)→(25)	(10)	(2)
	（理学療法学専攻）	(18)	(17)→(13)	(4)	(1)
	（作業療法学専攻）	(18)	(13)→(10)	(7)	(1)
歯　学　部	歯　　学　　科	53	38	5	10
薬　学　部	薬　科　学　科	50	24	－	35
	薬　　学　　科	30			21
工　学　部	応用理工系学科	160	34→29	19	122→112
	（応用物理工学コース）	(50)		(15)	(39)→(29)
	（応用化学コース）	(70)		－	(55)
	（応用ﾏﾃﾘｱﾙ工学ｺｰｽ）	(40)		(4)	(28)
	情報エレクトロニクス学科	180	38	－	142
	（情報理工学コース）	(50)			(40)
	（電気電子工学コース）	(40)			(31)
	（生体情報コース）	(33)			(26)
	（ﾒﾃﾞｨｱﾈｯﾄﾜｰｸｺｰｽ）	(30)			(24)
	（電気制御ｼｽﾃﾑｺｰｽ）	(27)			(21)
	機械知能工学科	120	30→25	5	90
	（機械情報コース）	(60)			(45)
	（機械システムコース）	(60)			(45)
	環境社会工学科	210	49→47	9	157→154
	（社会基盤学コース）	(40)		(4)	(30)
	（国土政策学コース）	(40)		－	(30)
	（建築都市コース）	(45)		－	(34)
	（環境工学コース）	(50)		(5)	(37)→(34)
	（資源循環ｼｽﾃﾑｺｰｽ）	(35)		－	(26)
農　学　部	生物資源科学科	36	53	－	27
	応用生命科学科	30			23
	生物機能化学科	35			26
	森林科学科	36			27
	畜産科学科	23			17
	生物環境工学科	30			23
	農業経済学科	25			19
獣医学部	共同獣医学課程	40	35	－	5
水産学部	海洋生物科学科	54	155	20	10
	海洋資源科学科	53			10
	増殖生命科学科	54			10
	資源機能化学科	54			10
合　　計		2,478	1,297 →1,240	54 →144	1,127 →1,094

注１　学科等の定員欄等の（　　）内の人数は，各学科の内数です。

２　総合入試入学者の移行先は，文系は，文学部，教育学部，法学部，経済学部とし，理系は選抜群を問わず，理学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部，農学部，獣医学部，水産学部の各学科・専攻・専修分野・コース等とします。

ただし，一定の人数制限のもと，総合入試の文系から理系学部へ，又は総合入試の理系から文系学部への移行も可能です。

３　総合入試入学者の学部・学科等への移行人数については，医学部医学科，歯学部，薬学部薬学科，獣医学部を除き，変動する場合があります。

４　医学部医学科一般入試（前期日程）の募集人員については，令和２年度入試から90名となる

旨予告していたところですが，令和 2 年度及び令和 3 年度入試において暫定的な措置の再度の増員申請をしており，申請が認められた場合は，令和 2 年度及び令和 3 年度一般入試（前期日程）の募集人員は 97 名となります。

Ⅳ 参 考

入学料免除（徴収猶予）と授業料免除

○ 詳細未定のため，決定次第，本学ホームページでお知らせします。

○ 入学料免除（徴収猶予）と授業料免除に関する問い合わせ先
北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当　TEL(011)706-7530

学 生 寮 の 入 寮 案 内

○ 学生寮の入寮について

本学では，札幌地区に次の 2 つの学生寮を置いています。入寮の選考は，経済状況，家族状況，地理的状況等を考慮して行います。入寮を希望する者は，下記により願い出てください。

なお，女子については，恵迪寮，霜星寮の両方に願い出ることができます。

また，本学では，合格発表後，速やかに入寮選考結果を通知するため，**合格発表前に入寮願出関係書類を提出**していただきます。合格発表後に入寮を願い出ることはできませんのでご注意ください。

・**恵迪寮**（けいてきりょう）（札幌市北区北 18 条西 13 丁目 3 番地）
入寮定員：男子 400 名，女子 90 名
令和 2 年 4 月入学学部学生募集人員：男子 100 名，女子 30 名（いずれも予定）

・**霜星寮**（そうせいりょう）（札幌市北区北 14 条西 2 丁目 1 番 10 号）
入寮定員：女子 64 名（大学院学生女子の定員を含む。）
令和 2 年 4 月入学学部学生募集人員：女子 10 名（予定）

1 「学生寮入寮案内」等の請求方法等

(1) 請求方法

「学生寮入寮案内」及び「入寮願出関係書類セット」の請求は，原則郵送で行ってください。

40 ページの「学生寮入寮案内等の請求方法」に従って，「学生寮入寮案内等請求票」と返信用封筒を作成し，以下の請求先へ送付してください。

> 請求先
> 〒060-0817　札幌市北区北 17 条西 8 丁目　北海道大学学務部学生支援課
> 生活支援担当
> ※　**封筒の表面左下に「学生寮入寮案内等請求」と朱書き**してください。

なお，大学窓口での受け取りを希望される方は，下記請求期間のうち入学試験前日，当日及び土日祝日を除く平日の 8 時 30 分から 17 時 00 分（水曜日は 12 時 15 分まで）の間に，学務部学生支援課生活支援担当窓口（札幌市北区北 17 条西 8 丁目　高等教育推進機構①番窓口）にお越しください。

(2) 請求期間

令和 2 年 1 月 17 日（金）～

※　提出期限を考慮の上，早めに請求してください。

2 入寮願出関係書類の提出方法等

(1) 提出期間

○　前期日程に出願する者（前期日程と後期日程の両方に出願する者を含む。）
令和 2 年 2 月 3 日（月）～令和 2 年 2 月 25 日（火）17:00（必着）

○　後期日程のみに出願する者
令和 2 年 2 月 3 日（月）～令和 2 年 3 月 13 日（金）17:00（必着）

(2) 提出方法

入寮願出関係書類の提出は，原則郵送で行ってください。

入寮願出関係書類は，本学所定の封筒に入れ，提出期間内に到着するように送付してください。各提出期間終了後に到着した入寮願出関係書類は受理しませんので，郵便事情等を考慮して，余裕をも

って発送してください。必要に応じて「速達」扱いとしてください。

なお，大学窓口での提出を希望される方は，上記提出期間のうち入学試験前日，当日及び土日祝日を除く平日の 8 時 30 分から 17 時 00 分（水曜日は 12 時 15 分まで）の間に，学務部学生支援課生活支援担当窓口（札幌市北区北 17 条西 8 丁目　高等教育推進機構①番窓口）にお越しください。

また，本学の入学試験前日，当日及び土日祝日に**直接持参しても受理しません**のでご注意ください。

(3)　**提出先**

38 ページの「学生寮入寮案内」等の請求先と同じ。

3　入寮選考結果の通知等

入寮の選考の結果は，「入寮選考結果通知書」を郵送により通知するとともに，以下の日時に本学ホームページ（**※URL https://www.hokudai.ac.jp**）に入寮を許可する者の受験番号を掲載します。

前期日程合格者の入寮選考結果 …… **令和 2 年 3 月 12 日（木）16:00（予定）**
後期日程合格者の入寮選考結果 …… **令和 2 年 3 月 26 日（木）16:00（予定）**

4　留意事項

(1)　入寮を希望する者は，「学生寮入寮案内」及び「入寮願出関係書類セット」を早めに請求し，入寮を願い出るにあたって必要な手続きを確認してください。

(2)　入寮を願い出るにあたっては，同一家計内の家族の「平成 31 年及び令和元年中の所得を証明する書類」が必要となりますので，**確定申告を行う場合は，提出期限に間に合うよう早めに済ませておいてください。**

5　学生寮に関する問い合わせ先

北海道大学学務部学生支援課生活支援担当　TEL (011)706-7532

※　学生寮の詳細については本学ホームページをご覧ください。
本学ホームページ（※URL https://www.hokudai.ac.jp/）
トップメニュー＞学生生活＞各種手続き・証明書＞住まい（学生寮・アパートなど）・アルバイト

学 生 寮 入 寮 案 内 等 の 請 求 方 法

「学生寮入寮案内」及び「入寮願出関係書類セット」を請求する場合は，以下のとおり「学生寮入寮案内等請求票」と返信用封筒を作成し，郵送してください。

1 「学生寮入寮案内等請求票」の作成方法

任意の紙（Ａ４判）に，以下の記入例により所定の事項を記入してください。

（記入例）

学生寮入寮案内等請求票

○恵迪寮入寮案内及び入寮願出関係書類セットを請求します。
（↑ 希望によっては，「霜星寮入寮案内」又は「恵迪寮・霜星寮両方の入寮案内」と置き換えて記入してください。）

○請　　求　　者　　北大　太郎（ホクダイ　タロウ），男
（↑ 入学志願者本人の氏名を記入してください。フリガナと性別も必ず記入してください。）

○請 求 者 現 住 所　　〒１２３－４５６７
○○県○○市○○町○○丁目○番○○号

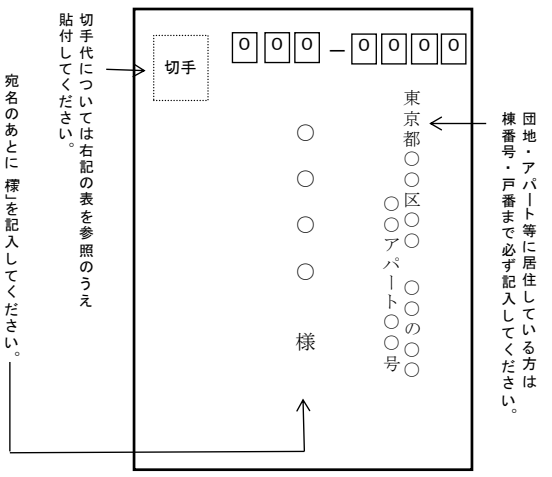
○請求者連絡先電話番号　　０９０－０００－０００
（↑ 至急で確認等を要する場合に使用しますので，8:30 から 17:00 までの間で連絡がとれる電話番号を記入してください。）

2 返信用封筒の作成方法

角形２号（24 ㎝×33.2 ㎝）封筒を用意し，以下の記入例により所定の事項を記入し，下記郵送料金分の切手を貼り付けてください。

なお，提出期限を考慮し，速達を希望される方は，別途速達料金分の切手を貼付し，返信用封筒上部に「速達」と明記の上，請求してください。

返信用封筒（角形2号24.0×33.2cm） の記入例



入寮案内種別	郵送料金	速達料込みの郵便料金
恵迪寮入寮案内	390円	780円
霜星寮入寮案内	250円	540円
恵迪寮及び霜星寮両方の入寮案内	390円	780円

（注）郵便料金の改定が行われた場合には，改定時から新たな郵便料金が適用されます。

「大学案内誌（Be ambitious）」の請求方法

北海道大学案内誌（Be ambitious）について

本学及び本学各学部の概要，教育理念，学習目標，カリキュラムの特徴，求める学生像を理解してもらうため，「北海道大学案内誌（Be ambitious)」を配布しています。

入手希望者は，窓口へ直接請求するか，以下のいずれかの方法により請求してください。(資料は郵送されます。)

（１）テレメールで請求する方法

（ア）北海道大学ホームページから直接請求する場合

北海道大学ホームページからテレメールを経由して大学案内が請求できます。詳しくは北海道大学ホームページ（※URL https://www.hokudai.ac.jp/）の「入学案内」→「資料請求」をご覧ください。

（イ）インターネット・電話による場合

テレメール（インターネットまたは 24 時間自動音声応答電話）を利用してください。

インターネットの場合（パソコン・スマートフォン・携帯電話）	**URL https://telemail.jp** ※　右のバーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。
自動音声応答電話の場合	**ＩＰ電話　０５０－８６０１－０１０１（24 時間受付）** ※　ＩＰ電話への通話料金は，一般電話回線からは日本全国どこからでも３分毎に約 12 円です。

資料請求番号　　５６０２０２（料金：215円後納）

※　料金はお届けする資料に同封されている支払い方法に従い，表示料金をお支払いください。
なお，支払いに際して手数料が別途必要になります。(手数料は支払い方法によって異なります。)

テレメールに関する請求・発送についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター　　電話　050-8601-0102（9:30～18:00）

（２）大学情報センターの「モバっちょ」で請求する方法（料金：250円）

パソコン，スマートフォン，携帯電話から請求できます。(お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。)

URL https://djc-mb.jp/hokudai3/

①　請求時払い	スマートフォン払い，携帯払い，クレジットカード払いができます。(支払い手数料は別途 50 円必要です。) ※　スマートフォン・携帯電話の機種，携帯電話会社との契約状況によって，通話料金と一緒にお支払いできない場合があります。その場合，コンビニ後払いを選択してください。
②　後払い	資料到着後，コンビニでお支払いください。(支払い手数料は別途 126 円必要です。)

「モバっちょ」に関する請求方法・発送についてのお問い合わせ先
大学情報センター株式会社　モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

※　「北海道大学案内誌（Be ambitious)」の電子版は，本学ホームページ「入学案内」の「入試・入学関係資料ダウンロード」のページにも掲載しています。

学 部 案 内 誌 の 請 求 方 法

本学の各学部では，それぞれの案内誌を作成しており，希望者には直接配布又は郵送しています。郵送希望者は，下記のとおり**返信用封筒（郵便番号，住所，氏名を明記し，切手を貼る）を封入の上，各学部あて封筒の表に「学部案内請求」と朱書き**し，請求してください。

ただし，文学部及び工学部の案内を希望する場合は，下記により請求してください。

学 部 名		請求・照会先	返信用封筒の規格	切手代
文 学 部		〒060-0810　札幌市北区北 10 条西 7 丁目 北海道大学文学部教務担当 TEL (011)706-3004･3005	文学部ホームページ（https://www.let.hokudai.ac.jp）から直接請求してください。	
教育学部		〒060-0811　札幌市北区北 11 条西 7 丁目 北海道大学教育学部教務担当 TEL (011)706-3083	角形 2 号 (24 ㎝×33.2 ㎝)	250 円
法 学 部		〒060-0809　札幌市北区北 9 条西 7 丁目 北海道大学法学部教務担当 TEL (011)706-3121	〃	210 円
経済学部		〒060-0809　札幌市北区北 9 条西 7 丁目 北海道大学経済学部教務担当 TEL (011)706-3163	〃	250 円
理 学 部		〒060-0810　札幌市北区北 10 条西 8 丁目 北海道大学理学部教務担当 TEL (011)706-2670	〃	〃
医学部	医 学 科	〒060-8638　札幌市北区北 15 条西 7 丁目 北海道大学医学部医学科教務担当 TEL (011)706-5005･5006	〃	210 円
	保健学科	〒060-0812　札幌市北区北 12 条西 5 丁目 北海道大学医学部保健学科教務担当 TEL (011)706-3318	〃	140 円
歯 学 部		〒060-8586　札幌市北区北 13 条西 7 丁目 北海道大学歯学部教務担当 TEL (011)706-4204	〃	210 円
薬 学 部		〒060-0812　札幌市北区北 12 条西 6 丁目 北海道大学薬学部教務担当 TEL (011)706-3489	〃	250 円
工 学 部		〒060-8628　札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学工学部教務課学生支援担当 TEL (011)706-6707	工学部ホームページ（https://www.eng.hokudai.ac.jp/delivery/）から直接請求してください。	
農 学 部		〒060-8589　札幌市北区北 9 条西 9 丁目 北海道大学農学部教務企画担当 TEL (011)706-2422	角形 2 号 (24 ㎝×33.2 ㎝)	250 円
獣医学部		〒060-0818　札幌市北区北 18 条西 9 丁目 北海道大学獣医学部教務担当 TEL (011)706-5175	〃	140 円
水産学部		〒041-8611　函館市港町 3 丁目 1 番 1 号 北海道大学水産学部教務担当 TEL (0138)40-5506	〃	210 円

（注）郵便料金の改定が行われた場合には，改定時から新たな郵便料金が適用されます。

平成31年度一般入試　合格者の平均点等一覧

前期日程

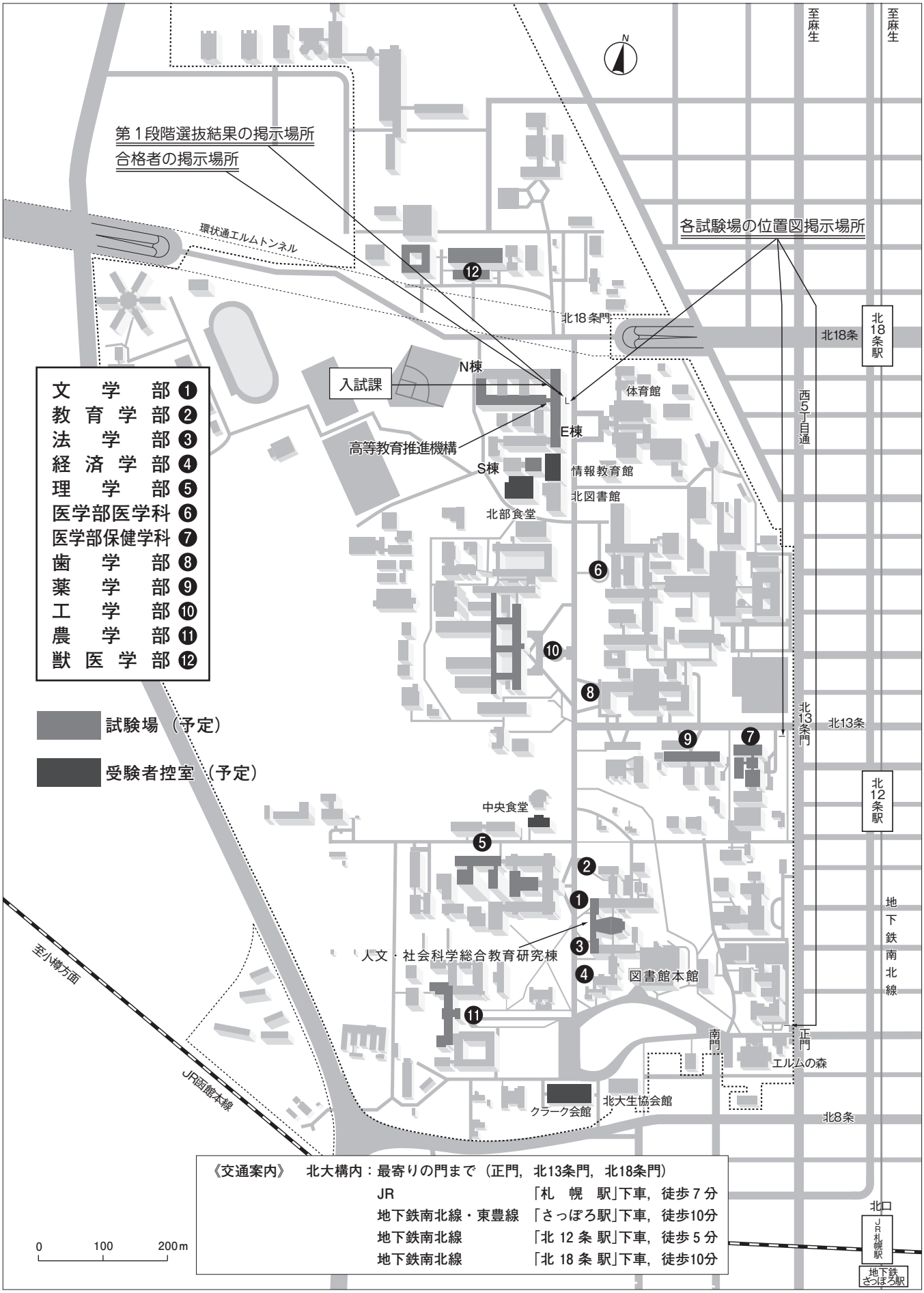
学部・系・学科・群・専攻			当初合格者数	配点合計	総合点最高点	総合点最低点	平均点	
							総合点	センター素点
総合入試	文系		107	750	629.40	510.38	538.41	740.14
	理系　数学重点選抜群		135	750	654.79	480.78	517.05	717.42
	理系　物理重点選抜群		242	750	607.70	475.86	511.30	733.18
	理系　化学重点選抜群		243	750	606.14	469.60	506.82	734.44
	理系　生物重点選抜群		182	750	610.56	477.38	516.77	740.49
	理系　総合科学選抜群		257	750	612.90	473.60	511.69	747.65
文学部			127	750	632.38	516.80	540.84	741.72
教育学部			20	750	568.94	496.20	522.18	724.24
法学部			141	750	602.82	499.08	528.12	730.86
経済学部			147	750	612.76	494.42	530.03	729.29
医学部	医学科		102	825	745.79	632.70	665.32	813.76
	保健学科	看護学専攻	64	750	578.98	432.28	467.77	660.89
		放射線技術科学専攻	28	750	598.88	443.27	485.18	713.16
		検査技術科学専攻	29	750	546.75	446.11	477.65	702.81
		理学療法学専攻	14	750	522.09	438.47	477.22	705.74
		作業療法学専攻	14	750	527.27	463.85	491.33	668.53
歯学部			30	750	573.47	475.51	511.61	729.83
獣医学部			22	750	656.33	586.61	610.43	815.62
水産学部			109	750	567.16	428.65	460.46	696.81

後期日程

学部・学科・専攻・分野			当初合格者数	配点合計	総合点最高点	総合点最低点	平均点	
							総合点	センター素点
文学部			46	500	421.78	384.98	399.93	782.65
教育学部			11	600	485.02	442.50	457.44	759.11
法学部			56	680	598.18	498.74	525.97	766.18
経済学部			23	500	419.42	376.88	387.26	775.37
理学部	数学科		12	600	514.76	464.70	480.50	772.65
	物理学科		9	600	(非開示)			
	化学科		24	600	515.94	442.90	465.99	774.62
	生物科学科	生物学専修分野	11	600	497.60	446.76	464.80	769.82
		高分子機能学専修分野	3	600	(非開示)			
	地球惑星科学科		5	600				
医学部	保健学科	放射線技術科学専攻	7	650				
		検査技術科学専攻	8	650				
		理学療法学専攻	4	650				
歯学部			8	900				
薬学部			26	750	634.50	577.90	602.10	789.85
工学部	応用理工系学科		38	750	660.80	551.80	582.88	772.37
	情報エレクトロニクス学科		38	750	656.90	561.80	598.23	778.91
	機械知能工学科		26	750	673.50	582.20	611.77	784.72
	環境社会工学科		55	750	636.70	539.50	572.98	759.02
農学部			59	750	657.60	561.90	596.28	780.43
獣医学部			15	950	847.70	749.30	772.03	787.65
水産学部			62	750	631.10	509.10	544.24	724.26

注）① 配点合計，総合点最高点，総合点最低点及び平均点の総合点欄の数値は，傾斜配点後の点数です。
② 平均点のセンター素点欄の数値は，大学入試センター試験の素点です。
ただし，英語と理科の得点を以下のとおり換算したうえ，算出しています。
英語：200点に換算
理科：総合入試（文系），文学部，教育学部，法学部，経済学部において，「基礎を付していない科目」２科目を選択した場合は，素点合計得点（200点満点）を100点満点に換算
③ 合格者数10人以下の学部・学科・専攻・分野は，開示しません。

北 海 道 大 学 案 内 図（札幌キャンパス）

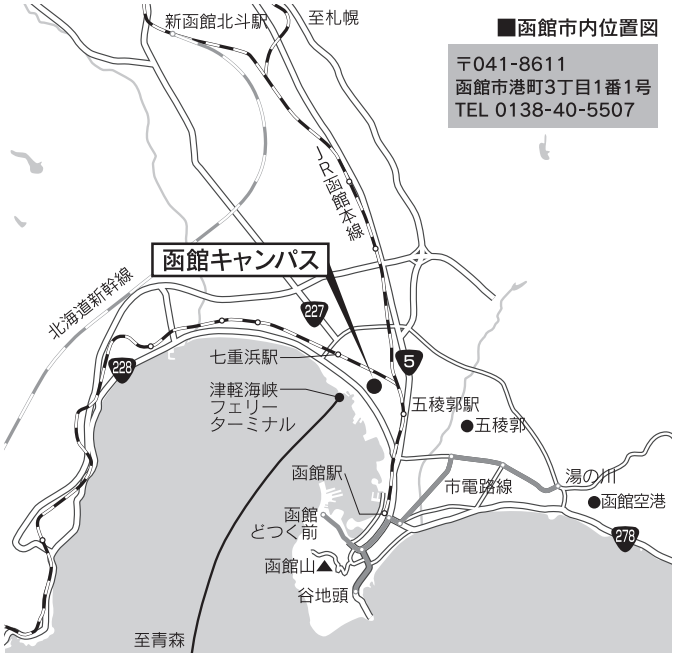


《交通案内》　北大構内：最寄りの門まで（正門，北13条門，北18条門）

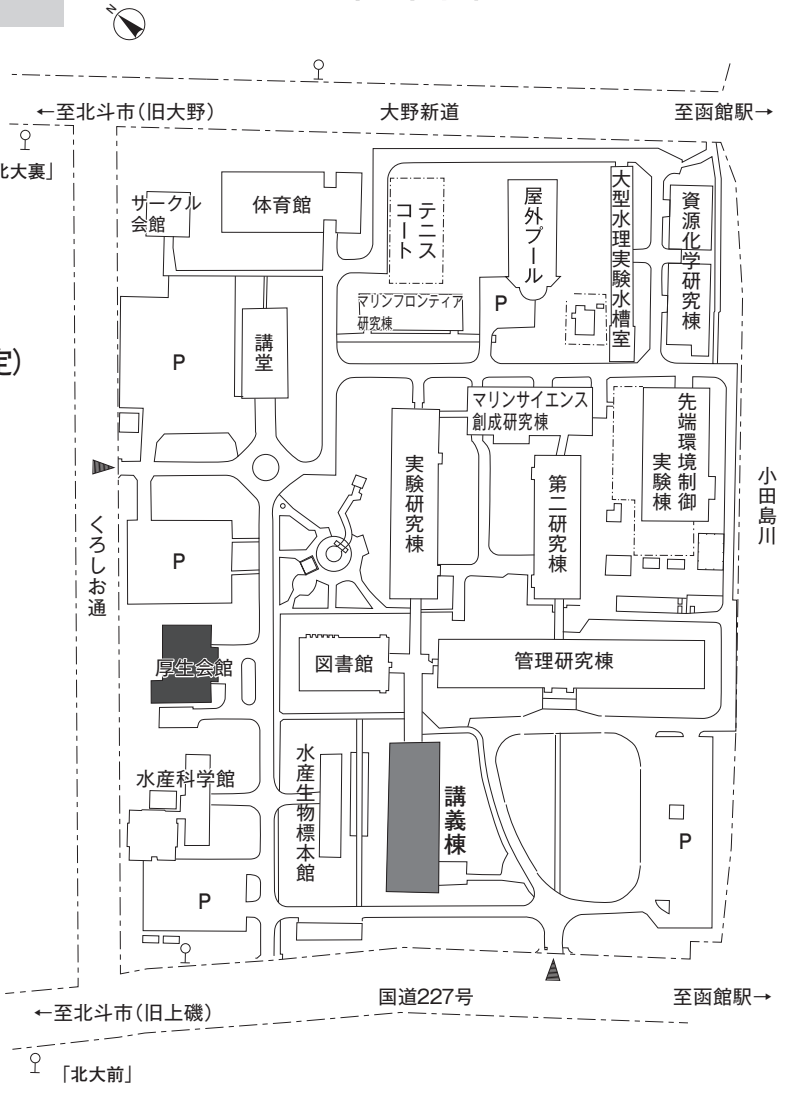
JR	「札　幌　駅」下車，徒歩７分
地下鉄南北線・東豊線	「さっぽろ駅」下車，徒歩10分
地下鉄南北線	「北 12 条 駅」下車，徒歩５分
地下鉄南北線	「北 18 条 駅」下車，徒歩10分

北 海 道 大 学 案 内 図（函館キャンパス）

函館市内位置図



水産学部建物位置図



試験場（予定）

受験生控室（予定）

《交通案内》

＜JR 函館駅から約 4.5 km＞
- タクシーで約 15 分，約 1,700 円
- バスで 15～20 分
  （直通バスは本数が少ないのでバス会社 HP で時刻をご確認ください）
- バス停から大学まで徒歩 3-5 分

＜JR 五稜郭駅から徒歩の場合 1.8 km，タクシーの場合 3 km＞

＜函館空港から＞
- タクシーで約 30 分，約 3,000 円

＜新幹線 新函館北斗駅から＞
- 函館ライナーで JR 五稜郭駅まで 10 分，JR 函館駅まで 15 分

他，詳細は「水産学部 HP（http://www2.fish.hokudai.ac.jp/department-graduate-school/access/）」をご覧ください。

令和２年度大学入学者選抜実施日程

月　　日	事　　項
令和元年10月 3日(木)～ 10日(木)	**ＡＯ入試，国際総合入試，帰国子女入試インターネット出願登録期間** （出願登録後の送付書類本学受領期限 10 月 15 日(火)まで）
10月 4日(金)	一般入試学生募集要項の公表
11月 8日(金)	ＡＯ入試，国際総合入試，帰国子女入試第１次選考結果発表
11月24日(日)	**ＡＯ入試，国際総合入試，帰国子女入試第２次選考**
12月10日(火)	ＡＯ入試（大学入試センター試験を課さない）， 国際総合入試，帰国子女入試合格者発表
12月13日(金)～ 18日(水)	ＡＯ入試（大学入試センター試験を課さない）， 国際総合入試，帰国子女入試合格者の入学手続期間
12月26日(木)～ 令和 2年 1月 6日(月)	**私費外国人留学生入試インターネット出願登録期間** （出願登録後の送付書類本学受領期限１月８日(水)まで）
1月18日(土) 19日(日)	**大学入試センター試験**
1月20日(月)～	**一般入試（前期・後期）インターネット出願登録開始日**
1月27日(月)～ 2月 5日(水)	**一般入試（前期・後期）出願期間**
1月28日(火)	私費外国人留学生入試第１次選考結果発表
2月12日(水)	ＡＯ入試（大学入試センター試験を課す）合格者発表 国際総合入試「条件付合格」最終合格発表
2月12日(水) （予 定）	一般入試（前期日程）第１段階選抜結果発表
2月13日(木)～ 19日(水)	ＡＯ入試（大学入試センター試験を課す）合格者の入学手続期間 国際総合入試「条件付合格」最終合格者の入学手続期間
2月14日(金)	**私費外国人留学生入試第２次選考**
2月25日(火) 26日(水)	**一般入試個別学力検査等（前期日程）**
2月28日(金) （予 定）	一般入試（後期日程）第１段階選抜結果発表
3月 7日(土) （予 定）	一般入試（前期日程）合格者発表 私費外国人留学生入試合格者発表
3月10日(火)～ 15日(日)	一般入試（前期日程），私費外国人留学生入試合格者の入学手続期間 （来学して手続きする場合，３月 13 日(金)～3 月 15 日(日)）
3月12日(木)	**一般入試個別学力検査等（後期日程）**
3月20日(金) （予 定）	一般入試（後期日程）合格者発表
3月23日(月)～ 27日(金)	一般入試（後期日程）合格者の入学手続期間 （来学して手続きする場合，３月 26 日(木)～3 月 27 日(金)）
3月28日(土)～ 31日(火)	一般入試追加合格通知期間

問 い 合 わ せ 先

北海道大学ホームページ（※URL https://www.hokudai.ac.jp/）「入学案内」に，入学試験に関する情報を掲載しています。「入学に関する質問・疑問」の中に，「よくある質問と回答集（FAQ）」を設けていますので，そちらをご覧いただいた上で，問い合わせください。

また，問い合わせの際は，募集要項の該当ページも必ず参照してください。

入学試験全般に関すること	学務部入試課	（011）706-7484
検定料，入学料，授業料の支払い及び返還に関すること	財務部経理課 収入担当	（011）706-2048
入学手続に関すること	学務部教育推進課 全学教育・総合教育担当	（011）706-6098・5083
入学料免除（徴収猶予），授業料免除に関すること	学務部学生支援課 奨学支援担当	（011）706-7530
学生寮に関すること	学務部学生支援課 生活支援担当	（011）706-7532

◆ 平日　8:30～17:00（年末年始を除く。）

◆ **電話による問い合わせは，やむを得ない場合を除き，志願者本人が行ってください。**

① 受験票や合格通知書の送付先住所が変更になった場合

学務部入試課に事前に電話連絡の上，Ａ４の任意の様式に出願した日程（前期・後期）・募集単位名，受験番号（受験票受領後の場合），氏名，新住所，旧住所（住所にはフリガナを付記してください。）を記入し，郵送してください。

郵送先：〒060-0817　札幌市北区北 17 条西 8 丁目　北海道大学学務部入試課　宛

② 本学の受験票が届かない場合

受験票は速達の普通郵便により第 1 段階選抜結果発表時に発送します。

第 1 段階選抜結果の発表後，5 日以上過ぎても受験票が届かない場合は，学務部入試課まで至急電話連絡してください。

③ 本学の受験票を紛失した場合

試験当日に試験場本部で仮受験票の交付を申請してください。

なお，受験番号，試験場などの情報が分からない場合は，受験者本人が学務部入試課に電話連絡の上，確認してください。

④ 大学入試センター試験受験票を紛失した場合

大学入試センターにお問い合わせください。

北海道大学アドミッションセンター入学相談室

「こんな勉強がしたいが，どこの学部に入学したらいいのか」，「○○学部では，自分の希望する勉強が出来るか」，「入試方法のうち△△の部分がよくわからない」など，北海道大学を志望されるみなさんのいろいろな質問や，入学に関する相談に対し，電子メールによる受付を行っています。詳細は，北海道大学ホームページ（https://www.hokudai.ac.jp/）をご覧いただいた上で，ご利用ください。

なお，お問い合わせの時期・内容によっては，回答までに時間を要する場合がありますので，お急ぎの場合は，電話（下記参照）をご利用ください。

北海道大学アドミッションセンター入学相談室窓口

〒060-0817　札幌市北区北 17 条西 8 丁目
（北海道大学学務部入試課内）
https://www.hokudai.ac.jp/
TEL 011-706-7484（受付窓口）
平日 8:30～17:00（年末年始を除く）

※　入学試験実施，入学手続き等に関する問い合わせについては，47 ページの「問い合わせ先」をご覧ください。

資料保28

令和２(2020)年度

学 生 募 集 要 項

（ＡＯ入試）

北 海 道 大 学

北海道大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

北海道大学は，理系から文系までの全分野において大学院での研究や教育に重点を置く，日本を代表する基幹総合大学の一つです。その起源は，1876 年に設立された札幌農学校に遡ることができます。その伝統から，本学は，帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で，「フロンティア精神」，「国際性の涵養」，「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念が生まれ，今日まで学問の自主，自由を培ってきました。

この理念の下に，本学は今，新世紀における知の創成，伝承，実証の拠点として発展することを目指し，教育研究を通じて，人類の福祉，科学，文化及び社会の発展に寄与することを使命としています。

そのため，学士課程においては，世界における市民としての自覚をもって社会に参加できること，専門の基礎となる学問やコミュニケーションの方法を身につけること，専門分野を広い視野の下に学ぶことを目指した教育を進めています。それを通じて，国際的に通用する高度な学問的素養をもち，健全な市民として的確な判断力とリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。同時に，専門的職業人として指導的立場にたつ人材の育成，学術創造に進んで向かう人材の育成も目指しています。

これらを実現するため，北海道大学は，創設以来，歴史と伝統を継承しながら広く世界に優秀な人材を求め，学士課程教育を受けるにふさわしい学力，すなわち基礎知識・基礎技能・数理能力・語学力・理解力・読解力を備えた学生，また，大学入学以降の学びで必要な問題解決能力・創造力・倫理性・思考の柔軟性・コミュニケーション能力・論理的思考力・リーダーシップ，人間性や学ぶ意欲などを備えた学生を，多様な選抜制度により受け入れています。

ＡＯ入試（アドミッションオフィス入試）とは

ＡＯ入試は，受験者の能力や資質を多面的に評価する入試制度です。
北海道大学の理念（フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視）を実現し，地球社会の未来を拓くパイオニアとして活躍できる素質を持った方を積極的に迎え入れるために実施しています。ＡＯ入試では，学力を含めた多様な個性・能力・資質・適性・目的意識や意欲を，提出書類や課題論文また面接等によって総合的に評価します。一芸一能入試ではありませんので，基礎学力のあることが条件です。
受験者は，ＡＯ入試を実施する学部・学科・専攻等の教育内容・求める学生像などをもとに，北海道大学での学生生活を十分理解し，明確な勉学目的と意志を持って出願されることを期待しています。

未来を拓く北海道大学

北海道大学は，世界の平和と繁栄に貢献する学術研究を発展させ，人類社会の未来を拓く創造力と責任ある行動力・指導力に富む人材を育成するために，教育研究に取り組んでいます。
本学は，建学以来基盤としてきたフロンティア精神のもとに，

〇先端的な学術研究を推し進める創造性と知性を持つ人材
〇高度な専門的知識を備えた職業人として社会に貢献する人材
〇グローバルな視野と国際社会に発信できる力を備えた人材

を着実に育てることを決意しています。

情報発信

ＡＯ入試は，受験者と大学とのコミュニケーションを重視します。受験者が本学を良く理解し，志望にあった選択ができるように，北海道大学は様々な情報を提供しています。
オープンキャンパスも行っています。北海道大学アドミッションセンター入学相談室もぜひご利用ください。
詳細は 42 ページをご覧ください。

目　　次

１　学部・学科等の募集人員 …… 1
２　実施学部，募集人員，出願資格及び要件等 …… 2
(1) 理学部地球惑星科学科 …… 2
(2) 医学部医学科 …… 4
(3) 医学部保健学科看護学専攻 …… 6
(4) 医学部保健学科作業療法学専攻 …… 8
(5) 歯学部 …… 10
(6) 工学部応用理工系学科（応用マテリアル工学コース） …… 12
(7) 工学部環境社会工学科（社会基盤学コース） …… 14
(8) 水産学部 …… 16
３　ＡＯ入試日程 …… 18
４　出願手続 …… 18～22
５　受験上の配慮についての事前相談 …… 23
６　入学者選抜方法 …… 24
７　第１次選考の配点 …… 24
８　第１次選考結果の発表 …… 24
９　受験票 …… 25
10　第２次選考の配点 …… 25～26
11　第２次選考（課題論文及び面接）の日時 …… 26
12　合格者の発表 …… 27
13　入学手続 …… 27～28
14　個人情報の取扱い …… 29
15　予告（令和３(2021)年度ＡＯ入試における変更） …… 29～33
16　入学料免除（徴収猶予）と授業料免除 …… 34～35
17　学生寮の入寮案内 …… 36

「大学案内誌（Be ambitious)」及び「ＡＯ入試案内」の請求方法 …… 37
平成30(2018)・31(2019)年度北海道大学ＡＯ入試　学部・学科等別志願者数・合格者数 … 38
平成31(2019)年度北海道大学ＡＯ入試　出身地別志願者数・合格者数 …… 39
令和２年度大学入試センター試験成績請求票はり付け台紙 …… 39
北海道大学案内図（札幌キャンパス・函館キャンパス） …… 40～41
オープンキャンパス情報 …… 42
各種問合せ先 …… 42
北海道大学アドミッションセンター入学相談室 …… 42

北海道大学では，ＡＯ入試への出願登録を，インターネットにより行います。
北海道大学インターネット出願登録サイト（https://e-apply.jp/e/hokudai-gakubu-jpn/）にアクセスしてください。
なお，出願に当たっては，
①プリンター（必要書類出力用）
②メールアドレス（検定料支払完了通知メール及び各種連絡受信用）
※携帯電話のメールアドレスは不可
を必ず用意してください。
また，インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので，ご注意ください。
出願手続に関する詳細は18～22ページを参照してください。

１　学部・学科等の募集人員

学部・学科等			募集人員
理学部地球惑星科学科			５名
医学部	医学科		５名
	保健学科	看護学専攻	７名
		作業療法学専攻	４名
歯学部			５名
工学部	応用理工系学科（応用マテリアル工学コース）		４名
	環境社会工学科（社会基盤学コース）		４名
水産学部			２０名
計			５４名

（注）　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する**一般入試における学部別入試の前期日程又は後期日程試験**の募集人員に加えます。

２　実施学部，募集人員，出願資格及び要件等

(1) 理学部地球惑星科学科

【趣旨・目的】

現在の日本では，高校で「地学」を教えるところが少ないため，大学進学を目指す高校生の多くは地球惑星科学という学問領域を正しく理解していません。

そのため，興味のないまま地球惑星科学科に進学して学部教育でとまどう例も多くみられます。そこで，このＡＯ入試では，地球惑星科学の特性と可能性を十分に理解し，地球惑星科学を積極的に学ぶ強い意欲と資質を持った人材を選抜することを目的としています。

【ＡＯ入試で求める学生像】

- 地球や惑星の自然現象に興味を持ち，地球惑星科学を積極的に学びたい学生
- 基礎学力があり，将来，この分野の研究者や技術者になりたいという志望を持つ学生
- 地球と惑星の構成と進化を学ぶため，野外での調査や観察及び室内実験等を積極的に行う学生

【募集学科，募集人員】

学　　科	募　集　人　員
地球惑星科学科	５　名

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（後期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

次のすべての要件に該当すること。

(1) 高等学校等で「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」を履修している者

(2) 合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書，自己推薦書，課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書，自己推薦書により選考を行う。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。

ただし，日本地学オリンピック大会における過去２年間の予選（１次選抜）通過者で課題論文の免除を希望する者については，日本地学オリンピック大会予選（１次選抜）の結果を

課題論文の点数に換算します。

【その他】

・　ＡＯ入試に合格し，入学手続きをした者には，高校段階の学習の仕上げを行い大学で学ぶための実力をたくわえてもらうために，課題によるレポートの提出等を求めます。
　なお，詳細については，入学手続き終了後に通知します。

・　入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に理学部地球惑星科学科に所属します。

(2) 医学部医学科

【趣旨・目的】

医学部医学科で実施するＡＯ入試では，国際的なリーダーシップを担う医学研究者および臨床医等を目指す高い志に溢れる学生を，学業成績とともに学業以外での活動や社会との交流経験等多くの観点で学生を評価することにより，本学で学ぶ意欲と動機に秀でた人材の選考を目的としています。

【ＡＯ入試で求める学生像】

- 基礎学力があり，医学を学ぶ意欲が旺盛で，医学研究者又は臨床医等として国際的に医学・医療，生命科学の実践及び発展に取り組む等，生涯を通じて学問的向上心にあふれる学生
- 高い倫理観と強い責任感，そして敬虔な奉仕の精神を持ち，謙虚で高潔な使命感にあふれる学生
- 幅広い視野と国際的な視点を持ち，自己研鑽の志にあふれる学生

【募集学科，募集人員】

学　　科	募　集　人　員
医　学　科	５　名

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（学部別入試の前期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和２(2020)年度大学入試センター試験の教科・科目のうち**本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者**で，次に掲げる資格及び要件に該当するもの

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

次のすべての要件に該当すること。

(1) 高等学校等で「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうち，「物理基礎・物理」を含む２つを履修している者

(2) 学習成績概評がＡ以上の者

(3) 合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書（注），自己推薦書，課題論文，面接及び大学入試センター試験等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書（注），自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。

注)「個人評価書」の一部項目については，高等学校等の教員が多段階評価のうえ，Webから入力することとなります。入力方法や提出期限等は，「４出願手続　(2)出願書類等」に記載のとおりですので，「個人評価書」を作成する教員と十分に連絡を取り，不備の無いよう準備してください。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。

ただし，令和２(2020)年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，以下の条件を満たさなければ最終合格の対象とならない。(※下記の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（765点）以上であること。

【大学入試センター試験の教科・科目と配点】

(1) 令和２(2020)年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

教科名	科　　目　　名
国　語	「国語」
地理歴史，公民	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「倫理，政治・経済」から１科目選択 ※２科目を受験している場合は，第１解答科目を利用する。
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」を必須とし，「数学Ⅱ・数学Ｂ」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から１科目選択 ※「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限る。
理　科	「物理」を必須とし，「化学」又は「生物」から１科目選択
外国語	「英語（リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目選択

(2) 大学入試センター試験の配点

第２次選考時に利用する大学入試センター試験の成績は，最終合格者とするための得点条件を満たしているか否かの判定にのみ用いるものとする。(上記の「選抜方法」を参照)

教科名	国　語	地歴・公民	数　学	理　科	外国語	合　計
点　数	200点	100点	200点	200点	200点	900点

※　大学入試センター試験の英語の配点については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用する。なお，リスニングを免除された者については，筆記試験のみ利用する。

【その他】

入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に医学部医学科に所属します。

(3) 医学部保健学科看護学専攻

【趣旨・目的】

看護学は，さまざまな環境のもとで生活している人々が，その健康状態において生命力を高め，持てる力を十分に発揮できるための援助について科学的に探求しています。

看護学専攻では，社会の多様なニーズに対応できる高度な看護実践能力と国際的視野を持った看護職を育成することを目的としています。ＡＯ入試では，学業成績とともに多様な個性と看護への志向を重視しています。

【ＡＯ入試で求める学生像】

- 看護学を学ぶ基礎学力があり，論理的な思考と豊かな表現力のある学生
- 看護と人に対して関心が高く，探求心が旺盛である学生
- グループの中で協調的に行動することができ，リーダーシップを発揮できる学生
- 受け身でなく，自ら目的や課題を設定して学ぶ意欲のある学生

【募集学科等，募集人員】

学　科	専　攻	募　集　人　員
保　健　学　科	看　護　学　専　攻	7　名

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（学部別入試の前期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和２(2020)年度大学入試センター試験の教科・科目のうち**本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者**で，次に掲げる資格及び要件に該当するもの。

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書，自己推薦書，面接及び大学入試センター試験等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，面接を行う。

さらに，令和２(2020)年度大学入試センター試験の結果も併せて総合評価する。

【大学入試センター試験の教科・科目と配点】

(1) 令和２(2020)年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

教科名	科　　目　　名
国　語	「国語」
地理歴史，公民	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「倫理，政治・経済」から１科目選択 ※２科目を受験している場合は，第１解答科目を利用する。
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」を必須とし，「数学Ⅱ・数学Ｂ」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から１科目選択 ※「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限る。
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目選択
外国語	「英語（リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目選択

(2) 大学入試センター試験の配点

第２次選考時に利用する大学入試センター試験の成績は,次の５教科の合計点数300点を50点満点に換算する。

教科名	国　語	地歴・公民	数　学	理　科	外国語	合　計
点　数	80点 (200×0.4)	40点 (100×0.4)	60点 (200×0.3)	60点 (200×0.3)	60点 (200×0.3)	300点

※　大学入試センター試験の英語の配点については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用する。なお，リスニングを免除された者については，筆記試験のみ利用する。

【その他】

入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に医学部保健学科看護学専攻に所属します。

(4) 医学部保健学科作業療法学専攻

【趣旨・目的】

作業療法は，障害を持つ人がその人らしい生活を作り直すことを目指すリハビリテーションです。基礎的な知識の習得はきわめて重要でありますが，思考の論理性・独創性もまた大切です。そこでＡＯ入試では，本当に作業療法学，リハビリテーションを専門として学びたいという学生を，学業成績とともに学業以外での活動，社会活動の豊富さによって評価します。指導力や協調性を持つ学生を選ぶことが目的です。

【ＡＯ入試で求める学生像】

医学部保健学科で学習するに十分な学力を持つ以下の学生

- 人の健康について関心を持ち，深く探求する学生
- チャレンジ精神が旺盛な学生
- 学業以外に対して良く努力して成果を上げた経験を持つ学生
- 人を尊重することができ，協調性を有する学生

【募集学科等，募集人員】

学　　科	専　　攻	募　集　人　員
保　健　学　科	作業療法学専攻	４　名

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（学部別入試の前期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和２(2020)年度大学入試センター試験の教科・科目のうち**本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者**で，次に掲げる資格及び要件に該当するもの。

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書，自己推薦書，面接及び大学入試センター試験等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，面接を行う。

さらに，令和２(2020)年度大学入試センター試験の結果も併せて総合評価する。

【大学入試センター試験の教科・科目と配点】

(1) 令和２(2020)年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

教科名	科　　目　　名
国　語	「国語」
地理歴史，公民	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「倫理，政治・経済」から１科目選択 ※２科目を受験している場合は，第１解答科目を利用する。
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」を必須とし，「数学Ⅱ・数学Ｂ」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から１科目選択 ※「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限る。
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目選択
外国語	「英語（リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目選択

(2) 大学入試センター試験の配点

第２次選考時に利用する大学入試センター試験の成績は,次の５教科の合計点数300点を50点満点に換算する。

教科名	国　語	地歴・公民	数　学	理　科	外国語	合　計
点　数	80点 (200×0.4)	40点 (100×0.4)	60点 (200×0.3)	60点 (200×0.3)	60点 (200×0.3)	300点

※　大学入試センター試験の英語の配点については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用する。なお，リスニングを免除された者については，筆記試験のみ利用する。

【その他】

入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に医学部保健学科作業療法学専攻に所属します。

(5) 歯学部

【趣旨・目的】

これまでの受験は，試験成績データによって志望を決定するという仕組みに固定されているので，このＡＯ入試では，本当に歯学，歯科医療を専門として学びたいという学生を，学業成績とともに学業以外での活動，社会との交流経験の豊富さによって評価します。「この成績なら，この辺の大学・学部に」という動機で入学する学生をできるかぎり排除することに狙いがあります。個性のある，様々な意味で個人的魅力のある学生を選ぶことが目的です。

【ＡＯ入試で求める学生像】

- 基礎学力があり，歯学，歯科医療を学びたいという意欲が旺盛で，将来，大学院に進学する等，学問的向上心の強い学生
- 何事にも積極的に取り組む意志が強く，特に高校時代にリーダーシップを発揮し，成果をあげた経験を持つ学生
- 好奇心旺盛で，自らを啓発する志が強く，特に高校時代に受験勉強一辺倒でなく，学業以外に対してもよく努力をして相当の成果をあげている学生

【募集学科・募集人員】

学　　科	募　集　人　員
歯　　学　　科	５　名

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（学部別入試の前期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

次のすべての要件に該当すること。

(1) 高等学校等で「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうちから２つを履修している者

(2) 学習成績概評がＡ以上の者

(3) 合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書，自己推薦書，課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。

【その他】

・　ＡＯ入試に合格し，入学手続きをした者には，高校段階の学習の仕上げを行い大学で学ぶための実力をたくわえてもらうために，課題によるレポートの提出等を求めます。

なお，詳細については，入学手続き終了後に通知します。

・　入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に歯学部に所属します。

(6) 工学部応用理工系学科（応用マテリアル工学コース）

【趣旨・目的】

この世界を構成するすべての物質は周期表に記載された元素から成り立っています。この元素の集合体である結晶の構造をよく理解し，緻密に制御することにより無限の可能性を秘めた素材であるマテリアルが作られます。パソコンの中の電子部品から航空機までを構成するマテリアルは,世界中のさまざまな環境において人間が生活を営むために必要不可欠です。応用マテリアル工学コースの実施するＡＯ入試では，こうした元素を制御するマテリアル工学に興味をもち，将来，国際的リーダーとなる技術者・研究者を目指す学生を，学力試験の結果のみならず学問への意欲・熱意を評価し選抜することを目的としています。

【ＡＯ入試で求める学生像】

- 元素の性質，結晶の構造などに興味を持ち，本コースで積極的に学び，新しいマテリアル・材料をつくることを希望する学生
- 基礎学力があり，将来さらに大学院まで進学し，マテリアル分野の研究者や技術者として国際的なリーダーになりたいという志望を持つ学生
- マテリアル研究の実践および発展に取り組むため，自ら積極的に実験・観察を行う学生
- 国際性豊かな応用マテリアル工学コースの中で，人を尊重することができ，留学生を含む他の学生と協調的に活動できる学生

【募集学科，募集人員】

学　　科	募　集　人　員
応　用　理　工　系　学　科 （応用マテリアル工学コース）	４　名

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（後期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和２(2020)年度大学入試センター試験の教科・科目のうち**本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者**で，次に掲げる資格及び要件に該当するもの

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 高等学校又は中等教育学校を平成31(2019)年３月に卒業した者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成30(2018)年４月から平成31(2019)年３月までに卒業した者

(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30(2018)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

次のすべての要件に該当すること。

(1) 高等学校等で，「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」のうち，「物理」又は「化学」を含む２つを履修している者

ただし，当該科目の履修が不可能な者については，当該科目を履修した者と同程度の学力を有する者とし，これに関する判断を，在籍する高等学校等の教諭が「個人評価書」

の3の項に記載すること。
(2) 十分な基礎学力がある者
(3) 合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録，課題論文，面接及び大学入試センター試験等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。

さらに，令和２(2020)年度大学入試センター試験の結果も併せて総合評価する。

ただし，令和２(2020)年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，以下の条件を満たさなければ最終合格の対象とならない。(※下記の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（520点）以上であること。

【大学入試センター試験の教科・科目と配点】

(1) 令和２(2020)年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

教科名	科　　目　　名
数　学	「数学Ⅰ・数学A」を必須とし，「数学Ⅱ・数学B」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から１科目選択 ※「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限る。
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から「物理」又は「化学」を含む２科目選択
外国語	「英語（リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目選択

(2) 大学入試センター試験の配点

合格基準点算出に用いる大学入試センター試験の配点は，以下の表のとおりとする。

なお，「数学」並びに「理科のうちの「物理」又は「化学」のいずれか得点が高い方」の２教科の合計点数400点を50点満点に換算して総合評価に利用する。

教科名	数　学	理　科	外国語	合　計
点　数	200点	200点×2	200点	800点

※　大学入試センター試験の英語の配点については，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算して利用する。なお，リスニングを免除された者については，筆記試験のみ利用する。

【その他】

入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に工学部応用理工系学科（応用マテリアル工学コース）に所属します。

(7) 工学部環境社会工学科（社会基盤学コース）

【趣旨・目的】

社会基盤学は，持続可能な未来社会の実現のために，「社会基盤施設」・「環境」・「持続可能性」・「人」を系として捉えた総合工学の基礎を学ぶ学問です。社会基盤に関係する幅広い工学分野において，将来，国際的に活躍することのできる人材の育成を目指して教育を行っています。このため，当社会基盤学コースは，世界に眼を向け，大規模国際建設プロジェクト，多発する自然災害への対策などについて，純粋で旺盛な好奇心とチャレンジスピリットを持った学生の入学を希望しています。

十分な基礎学力を有し，社会基盤に関する総合技術を探求しようとする目的意識と積極性を持った学生を対象とし，ＡＯ入試を実施します。

【ＡＯ入試で求める学生像】

- 本コースで積極的に学び，社会基盤の計画，設計，管理などを通して環境保全，安全・安心な社会の創造などに貢献する意欲のある学生
- 地域・国内のみならず地球全体というグローバルな視点から，社会基盤学の分野の研究者や技術者の国際的なリーダーとして活躍したいという希望を持つ学生
- 社会基盤学に関する研究の実践および発展に取り組むため，自ら積極的に実験，解析，現地調査等が行える学生
- 国際性豊かな社会基盤学コースの中で，人を尊重することができ，留学生を含む他の学生と協調的に活動できる学生

【募集学科，募集人員】

学　　科	募　集　人　員
環　境　社　会　工　学　科 （社会基盤学コース）	４　名

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（後期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

令和２(2020)年度大学入試センター試験の教科・科目のうち**本学が指定した教科・科目（次頁の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者**で，次に掲げる資格及び要件に該当するもの

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

次のすべての要件に該当すること。

(1) 英語能力が，以下のいずれかの試験のカッコ内のスコア以上である者

TOEIC L&R（600点），TOEFL-iBT（63点），TOEFL-PBT（503点）

ただし，平成29(2017)年10月１日以降に受験した試験のスコアのみ有効とする

(2) 合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書，自己推薦書，英語能力，諸活動の記録，課題論文，面接及び大学入試センター試験等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書，自己推薦書，英語能力，諸活動の記録により選考を行う。

ただし，英語能力は，平成29(2017)年10月１日以降に受験した TOEIC L&R，TOEFL-iBT，TOEFL-PBT のいずれかの試験結果を選考に使用する。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。

ただし，令和２(2020)年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，以下の条件を満たさなければ最終合格の対象とならない。(※下記の「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（225点）以上であること。

【大学入試センター試験の教科・科目と配点】

(1) 令和２(2020)年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

教科名	科　　目　　名
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」
理　科	「物理」

(2) 大学入試センター試験の配点

第２次選考時に利用する大学入試センター試験の成績は，最終合格者とするための得点条件を満たしているか否かの判定にのみ用いるものとする。(上記の「選抜方法」を参照)

教科名	数　学	理　科
点　数	200点	100点

【その他】

入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に工学部環境社会工学科（社会基盤学コース）に所属します。

(8) 水産学部

【趣旨・目的】

水産学部は亜寒帯水圏を中心としたモニタリングにより水圏環境と水圏資源に関する知識を蓄積し，様々な問題を解決し，人類の将来に貢献するために日夜努力をつづけています。

水圏に関する様々な分野をカバーしている水産学部は，海洋・水産の分野で日本や世界をリードすることを目指して「水圏に強い関心を持ち，深く探究したい人材」を求めています。

しかし，一般入試では，水圏にどの程度強い関心があるかを判断することは困難です。ＡＯ入試によって，水圏に強い関心を持ち，将来，日本や世界をリードして人類・社会に貢献したいという人材を意欲・思考力・学力から総合的に判断します。

【ＡＯ入試で求める学生像】

- 水圏の環境や生物・資源に強い関心があり，水圏環境と生物生産の調和を目指して社会に貢献する意欲のある学生（タイプＡ）
- 水圏生物やその成分の機能を学び，水圏生物資源を合理的な方法で利用することで，健全な人類の発展を目指して社会に貢献する意欲のある学生（タイプＢ）
- 将来，海洋・水産・環境分野における政策，管理などに関する国内外の機関やプロジェクトに参加して活躍する意欲のある学生（タイプＣ）

【募集学科，募集人員】

学　　科	募集人員
海洋生物科学科	２０　名
海洋資源科学科	
増殖生命科学科	
資源機能化学科	

※　選抜の結果，合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は本学が実施する一般入試（学部別入試の前期日程試験）の募集人員に加えます。

【出願資格・要件】

次に掲げる資格及び要件に該当する者

１．資　格

次のいずれかの資格に該当すること。

(1) 高等学校又は中等教育学校を令和２(2020)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに卒業又は卒業見込みの者

(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までに修了又は修了見込みの者

２．要　件

次のすべての要件に該当すること。

(1) 高等学校等で「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうちから２つを履修している者

(2) 合格した場合，入学を確約できる者

【選抜方法】

調査書，個人評価書（注），自己推薦書，課題論文及び面接等の結果を総合して合格者を決定する。

第１次選考

調査書，個人評価書（注），自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。

注)「個人評価書」の一部項目については，高等学校等の教員が多段階評価のうえ，Webから入力することとなります。入力方法や提出期限等は，「４出願手続　(2)出願書類等」に記載のとおりですので，「個人評価書」を作成する教員とも十分に連絡を取り，不備の無いよう準備してください。

第２次選考

第１次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。

【その他】

・　ＡＯ入試に合格し，入学手続きをした者には，高校段階の学習の仕上げを行い大学で学ぶための実力をたくわえてもらうために，課題によるレポートの提出等を求めます。

なお，詳細については，入学手続き終了後に通知します。

・　入学後１年次の間は総合教育部で学び，本人の志望及び学業成績により，２年次進級時に水産学部の各学科に所属します。また，**２年次終了時に函館キャンパスに移行**します。

３　ＡＯ入試日程

事　　項		日　時・期　間
インターネット出願登録期間		令和元(2019)年10月３日(木)　午前10時から 令和元(2019)年10月10日(木)　午後５時まで
出願書類等本学受領期限		令和元(2019)年10月15日(火)まで（午後５時必着）
第１次選考結果通知		令和元(2019)年11月８日(金)　午後発送（予定）
第２次選考日（課題論文・面接実施日）		令和元(2019)年11月24日(日)
大学入試センター試験実施日　（注２）		令和２(2020)年１月18日(土) 令和２(2020)年１月19日(日)
合格発表日	大学入試センター試験を課さない学部・学科（注１）	令和元(2019)年12月10日(火)　午後４時（予定）
	大学入試センター試験を課す学部・学科（注２）	令和２(2020)年２月12日(水)　午後４時（予定）
入学手続期間	大学入試センター試験を課さない学部・学科（注１）	令和元(2019)年12月13日(金)から 令和元(2019)年12月18日(水)まで（午後５時必着）
	大学入試センター試験を課す学部・学科（注２）	令和２(2020)年２月13日(木)から 令和２(2020)年２月19日(水)まで（午後５時必着）

注１：理学部（地球惑星科学科），歯学部，水産学部
注２：医学部（医学科・保健学科），工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）

４　出願手続

(1) 出願期間

① インターネット出願登録期間

令和元(2019)年10月３日(木)午前10時から令和元(2019)年10月10日(木)午後５時まで

② 出願書類等本学受領期限

令和元(2019)年10月15日(火)午後５時必着

(2) 出願書類等

出願書類等		留　意　事　項
ア 入学願書		インターネット出願登録サイトにて，必要事項の入力後に作成される「入学願書」を印刷し，出願前３か月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの**写真**（縦４cm×横３cm）を所定の欄に貼ってください。写真の裏には，出願する「学部・学科等名」及び「氏名」を記入してください。
イ 写真票		インターネット出願登録サイトにて，願書と一緒に印刷される「写真票」に，出願前３か月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの**写真**（縦４cm×横３cm）を所定の欄に貼ってください。写真の裏には，出願する「学部・学科等名」及び「氏名」を記入してください。
ウ 切手貼付票		所定の欄に**374円分の切手**を貼ってください。（第１次選考結果通知用）
エ 調査書		出身学校長が作成し，厳封したものを提出してください。 なお，出願要件の必履修科目を学校設定科目等で代替している場合（例：「物理基礎・物理」を「ＳＳＨ物理」，「化学基礎・化学」を「理数化学」等）は，その旨を「備考」欄等に明記してください。
	学業に関する資料	**医学部（医学科・保健学科），歯学部，工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）及び水産学部**へ出願する場合は，補足資料として志願する学部・学科等の所定様式をインターネット出願登録サイトからダウンロードして高等学校等の教員が作成し，**調査書に同封**してください。

オ 個人評価書	志願する学部・学科等の所定様式をインターネット出願登録サイトからダウンロードして高等学校の教諭等が作成し，厳封したものを提出してください。 **【以下，医学部医学科及び水産学部のみ該当】** 一部項目について，高等学校等の教員が多段階評価のうえ，Webから入力することとなります。入力方法や提出期限等は，以下のとおりです。 ①利用申請（令和元(2019)年９月２日(月)～９月26日(木)） ［高等学校等の教員］がWebシステムの利用申請を本学入試課あてにメール（adm-system@academic.hokudai.ac.jp）にて行う。その際，申請する教員の「氏名」「所属」及び志願者の「氏名」「志願学部・学科（専攻）」を明記すること。 ②ID及びパスワード郵送（申請内容確認後，７日以内） ［本学入試課］にて申請内容を確認の後，申請者の高等学校等あてに入力先URL，ID及びパスワードを郵送にて通知する（高等学校等毎に１つのID及びパスワードを発行するので，志願者が複数いる高等学校等は，そのID及びパスワードで志願者全員分を入力する）。 ③Web入力及び印刷（令和元(2019)年10月３日(木)午前10時～10月10日(木)午後５時） ［高等学校等の教員］が該当項目についてWebシステムから入力する。入力後，「個人評価書（指定画面）」を印刷のうえ厳封し，志願者に配付する。 ④出願書類等の送付（令和元(2019)年10月15日(火)午後５時必着） ［志願者］は受領した「個人評価書」を，他の必要書類（Web入力以外の項目を記入した「個人評価書」，等）と供に期日までに本学あて郵送する。 **※上記の事項を行う必要があるため，志願者はなるべく早めに高等学校等の教員に相談してください。**
カ 自己推薦書	志願する学部・学科等の所定様式をインターネット出願登録サイトからダウンロードして志願者本人が記入してください。
キ 諸活動の記録	**医学部（医学科・保健学科），歯学部，工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）及び水産学部**へ出願する場合は，志願する学部・学科等の所定様式をインターネット出願登録サイトからダウンロードして志願者本人が記入してください。 資料を添付する場合はＡ４サイズの用紙を使用し，それぞれ１枚目の右上に資料番号を記入してください。
ク 英語能力に関する証明書	工学部環境社会工学科（社会基盤学コース）に出願する場合は，TOEIC L&R，TOEFL-iBT，TOEFL-PBTのいずれかの試験（平成29年10月１日以降に受験したものに限る）のスコアの写しを提出してください。 ※写しはＡ４サイズの用紙を使用してください。
ケ 地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書(原本)	**理学部地球惑星科学科**に出願する場合で，かつ，日本地学オリンピック大会における過去２年間の予選（１次選抜）通過者のうち，第２次選考において課題論文の免除を希望する者のみ提出してください。
コ 大学入試センター試験成績請求票[国公立ＡＯ入試用]	**医学部（医学科・保健学科）及び工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）の第１次選考合格者**は，「令和２(2020)年度大学入試センター試験受験票」を受領後，**「令和２(2020)センター試験成績請求票」**のうち**「国公立ＡＯ入試用」**を39ページの「はり付け台紙」の所定の欄にはり付けて必要事項を記入の上，出願書類の送付先へ**令和元(2019)年12月20日(金)まで**に届くように「簡易書留」等で郵送してください。

サ　検　定　料 （17,000円）	**【検定料の払込方法】** 検定料は，インターネット出願登録後に表示される支払手続き画面に従い，支払ってください。支払方法は以下のとおりです。 （20ページ「(3)②支払い方法の選択，検定料の支払い」を参照） a.　クレジットカードによる支払い （VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS 等） b.　Pay-easy（銀行ATM，ゆうちょ銀行ATM，インターネットバンキング），コンビニエンスストア，ジャパンネット銀行，楽天銀行による支払い （支払方法の選択後に発行される各種支払用の番号を忘れずにメモし，各支払機関に持参してください。） c.　中国銀聯ネット決済（ChinaPay）による支払い 注１）普通為替や現金では受理できないので，注意してください。 注２）支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールは，本人の控えとして大切に保管してください。 注３）出願登録の際，検定料とは別に事務手数料（500円）がかかります。
	【検定料の返還】 １．第１次選考の不合格者には，検定料17,000円のうち13,000円を返還します。返還手続きの詳細については，第１次選考結果とともに通知します。 ２．上記１．に該当する場合の他は，次の場合を除き，いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。 ①検定料の返還ができるもの (ｱ) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった）場合 (ｲ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 (ｳ) 検定料を振り込み出願書類を提出したが受理されなかった場合 ②返還請求の方法 ［①(ｱ)及び(ｲ)に該当する場合］ (1)返還請求の理由，(2)氏名（フリガナ），(3)現住所，(4)連絡先電話番号，(5)出願時受付番号（12桁），(6)返還先の銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義（フリガナ）を明記した検定料返還請求書（様式は問いませんがＡ４サイズの用紙を使用してください。）を作成し，必ず検定料を支払ったことを証明する書類を添付して，速やかに以下の送付先へ郵送してください。なお，払い戻しには相当の日数がかかります。 ［①(ｳ)に該当する場合］ 本学から，別途返還に必要な書類を送付します。 〔送付先〕 〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目 北海道大学財務部経理課収入担当　TEL（011）706-2048 E-mail　syunyu@finance.hokudai.ac.jp

(3) 出願方法

①　インターネット出願登録

a.　期間中に北海道大学インターネット出願登録サイト（https://e-apply.jp/e/hokudai-gakubu-jpn/）にアクセスしてください。

注１）事前に操作手順や注意事項を必ず確認してください。

注２）本サイトの利用にあたり，必要書類の出力及び検定料支払いの完了メールを受信するため，プリンター及びメールアドレスが必要となります。必ず事前にプリンター及びメールアドレス（**携帯電話のメールアドレスは不可**）を用意してください。

b.　画面のガイダンスに従い必要事項を選択，入力してください。

②　支払い方法の選択，検定料の支払い

インターネット出願登録後に表示される支払手続き画面に従い，次のa～cのいずれかの

方法により支払ってください。なお，支払機関により支払いに必要な情報や方法が異なりますので，画面の説明を必ず確認してください。

a.　クレジットカードによる支払い
「カード番号」「有効期限」「カード名義」「セキュリティコード」を入力してください。

b.　Pay-easy（銀行ATM，ゆうちょ銀行ATM，インターネットバンキング），コンビニエンスストア，ジャパンネット銀行，楽天銀行による支払い

【Pay-easyの場合】
支払機関選択後に発行される「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を必ずメモし,Pay-easy対応ATM又はインターネットバンキング対応銀行の画面の説明に従い支払ってください。

【コンビニエンスストアの場合】
支払機関選択後に発行される「お客様番号」「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし，コンビニエンスストアで支払ってください。（日本国内のセブン-イレブン，ローソン，ファミリーマート，ミニストップ，ローソン・スリーエフ，デイリーヤマザキ，セイコーマートにて利用可能です。）

【ジャパンネット銀行，楽天銀行の場合】
画面の説明に従い支払ってください。

c.　中国銀聯ネット決済（ChinaPay）による支払い
各銀行の支払い画面にて,「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」などの支払い情報を入力し支払ってください。

注）出願時に日本国外に在住する者で，a又はcの方法による支払いができない場合は，日本国内の知人等に依頼して支払ってください。

③　出願書類等の郵送
検定料の支払後に届くメール内のＵＲＬ又は出願登録サイトの「出願内容を確認する」から願書（ＰＤＦ）を印刷し,その他出願に必要な書類（18～20ページの「(2)出願書類等」）と併せて封筒に入れ，願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り，必ず「書留」（日本国外から発送する場合はＥＭＳ（封筒に「ＡＯ入試出願書類」と明記））とし，出願書類等本学受領期限（令和元(2019)年10月15日（火）午後５時）までに到着するように郵送してください。なお，直接持参しても受理しません。
すべての書類が本学に到着し受理された時点で出願手続が完了します。インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので，ご注意ください。

注）令和元(2019)年10月15日（火）午後５時以降に到着した出願書類は受理しませんので，郵便事情等を考慮して余裕をもって発送してください。なお，必要に応じて「速達書留」としてください。

インターネット出願登録（操作手順及び支払方法）に関する問合せ

(1) 問合せ方法
電話又は電子メールによること。

(2) 問合せ先
「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
電　話：0120-708898（受付時間：月曜日～金曜日(祝日等を除く) 10:00～18:00）
（フリーダイヤルを利用できない場合は03-5804-5515）
E-mail：cvs-web@disc.co.jp

(4) 留意事項

① 出願書類等に不備がある場合は受理できませんので，誤記，記入漏れのないように注意してください。

② 出願後に志願する学部・学科・専攻等を変更することは，いかなる理由があっても認めません。

③ 出願後に入学願書等の住所に変更があった場合は，下記担当に速やかに連絡してください。

④ いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

⑤ 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合は，入学許可を取り消すことがあります。

入学試験に関する問合せ

(1) 問合せ方法

電子メール又は電話によることとします。

なお，郵便による場合は，必ず返信用封筒（郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し，切手を貼る。）を同封してください。

また，出願後の問合せに際しては，志願した学部・学科・専攻・コース等を明示してください。

(2) 問合せ先

〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目
北海道大学学務部入試課
電　話：(011) 706-7484（月曜日～金曜日(祝日等を除く) 8:30～17:00)
E-mail：exam2@academic.hokudai.ac.jp

(3) 北海道大学ホームページＵＲＬ

https://www.hokudai.ac.jp/

５　受験上の配慮についての事前相談

本学に入学を志願する者で，下表に該当する場合は，あらかじめ受験上及び修学上の対応が必要となることがありますので，令和元(2019)年９月13日(金)までに学務部入試課（42ページの「北海道大学アドミッションセンター入学相談室」参照）に申し出てください。
（申請様式を本学ホームページ(https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/special-assistance.html)に掲載しています。）

なお，申請の内容及び時期によっては，試験までに対応できず，受験上の配慮ができないこともありますので，ご了承ください。

その他受験上及び修学上の相談については，通年受け付けています。

区　　分	障　害　の　程　度
視覚障害者	両眼の矯正視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	１　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ２　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　弱　者	１　慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ２　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ　の　他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有するもの

（注　学校教育法施行令第22条の３の規定に準拠した。）

注）日常生活において，ごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合にも，試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に申し出てください。

６　入学者選抜方法

(1) 第１次選考

出願書類により評価します。

第１次選考の合格者に対して第２次選考を行います。

(2) 第２次選考

課題論文及び面接等の結果を総合評価します。

課題論文において与えられる文章には，高等学校等で学習した内容（英文，数式，理科の公式など）を含むことがあります。

面接では，口頭試問等を含む基礎学力の判定も行います。

なお，医学部医学科，医学部保健学科（看護学専攻・作業療法学専攻），工学部応用理工系学科及び工学部環境社会工学科では，大学入試センター試験の結果も選抜の判定に利用します。

７　第１次選考の配点

学部・学科等	出願書類	配点	学部・学科等	出願書類	配点
理学部地球惑星科学科	調査書	50	歯学部	調査書 個人評価書	50
	個人評価書 自己推薦書	50		自己推薦書 諸活動の記録	50
医学部医学科	調査書	50	工学部応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	調査書	60
	個人評価書 自己推薦書 諸活動の記録	50		個人評価書 自己推薦書 諸活動の記録	40
医学部保健学科 看護学専攻	調査書 個人評価書	50	工学部環境社会工学科 （社会基盤学コース）	調査書	50
	自己推薦書 諸活動の記録	50		個人評価書 自己推薦書 英語能力 諸活動の記録	50
医学部保健学科 作業療法学専攻	調査書 個人評価書	50	水産学部	調査書 個人評価書	40
	自己推薦書 諸活動の記録	50		自己推薦書 諸活動の記録	60

８　第１次選考結果の発表

(1) 日　　時

令和元(2019)年11月８日(金)

(2) 通知方法

志願者全員に郵便により通知します。

（11月８日(金)午後に発送予定のため，到着までに２～３日かかることがあります。）

９　受　験　票

(1) 受験票の郵送

第２次選考の受験票は，第１次選考合格者に対し，第１次選考結果通知とあわせて郵送します。

なお，受験票には，受験番号，試験場及び受験者心得等が記載されています。

(2) 受験票の持参

第２次選考当日は，受験票を忘れずに持参してください。

10　第２次選考の配点

学部・学科等	配　　点		ね　　ら　　い
理学部地球惑星科学科 ※1	課題論文	50	論理性と判断力を問う。
	面接	50	意欲，目的意識，論理的思考力を問う。
医学部医学科 ※2	課題論文	40	論理性，読解力，思考力，判断力等を問う。
	面接	60	主に理科，特に化学及び生物について，高い理解力を有しているか問う他，意欲，目的意識，実行力，適性等を問う。
医学部保健学科看護学専攻	面接	50	意欲，目的意識，論理性，協調性，適性，基礎学力等を問う。
	大学入試センター試験	50	基礎学力を問う。
医学部保健学科作業療法学専攻	面接	50	意欲，目的意識，論理性，協調性，適性，基礎学力等を問う。
	大学入試センター試験	50	基礎学力を問う。
歯学部	課題論文	50	読解力，論理的思考力を問う。
	面接	50	積極性，表現力，論理性，協調性，適性を問う。
工学部応用理工系学科(応用マテリアル工学コース) ※3	課題論文 面接	50	正確な科学的知識，論理的思考力，洞察力，作文能力，意欲，目的意識，実行力，適性を問う。
	大学入試センター試験	50	基礎学力を問う。
工学部環境社会工学科(社会基盤学コース) ※4	課題論文	50	正確な科学的知識，論理的思考力，洞察力，作文能力を問う。
	面接	50	意欲，目的意識，実行力，適性を問う。
水産学部	課題論文	50	読解力，論理的思考力を問う。
	面接	50	目的意識，積極性（意欲），表現力，協調性等を問う。

※１　理学部地球惑星科学科においては，日本地学オリンピック大会における過去２年間の予選（１次選抜）通過者で課題論文の免除を希望する者については，日本地学オリンピック大会予選（１次選抜）の結果を課題論文の点数に換算します。

※２　医学部医学科においては，令和２(2020)年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。(※５ページの「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（765点）以上であること。

※３　工学部応用理工系学科（応用マテリアル工学コース）においては，令和２(2020)年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。(※13ページの「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（520点）以上であること。

※４　工学部環境社会工学科（社会基盤学コース）においては，平成31年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，以下の条件を満たさなければ最終合格の対象となりません。(※15ページの「大学入試センター試験の教科・科目と配点」を併せて参照)

・受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点（225点）以上であること。

11　第２次選考（課題論文及び面接）の日時

課題論文及び面接の日時と会場は次のとおりです。

学部・学科等	令和元(2019)年11月24日(日)			
	諸　注　意	課題論文	面　　接	会　　場
理学部地球惑星科学科	9:45～10:00 (15分)	10:00～12:00 (120分)	13:30～	※北海道大学 札幌キャンパス
医学部医学科	8:45～ 9:00 (15分)	9:00～10:00 (60分)	10:15～	
医学部保健学科 看護学専攻	9:00～ 9:15 (15分)		9:30～	
医学部保健学科 作業療法学専攻	9:00～ 9:15 (15分)		9:30～	
歯学部	9:15～ 9:30 (15分)	9:30～12:00 (150分)	13:30～	
工学部応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	9:15～ 9:30 (15分)	9:30～11:30 (120分)	13:30～	
工学部環境社会工学科 (社会基盤学コース)	9:15～ 9:30 (15分)	9:30～11:30 (120分)	13:30～	
水産学部	10:10～10:30 (20分)	10:30～12:00 (90分)	13:00～	※北海道大学 函館キャンパス

※　集合時刻や会場等の詳細は，受験票に記載して通知します。

なお，理学部地球惑星科学科の課題論文免除者は，他の受験者とは集合時刻等が異なりますので，受験票の同封書類を参照してください。

【留意事項】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は，北海道大学ホームページの下記ＵＲＬに随時情報を掲載してお知らせします。

北海道大学ホームページURL：https://www.hokudai.ac.jp/

北海道大学ホームページ（携帯電話用）URL：https://www.hokudai.ac.jp/keitai/

12　合格者の発表

(1) 日　　時

学　部　・　学　科	日　　時
理学部（地球惑星科学科） 歯学部 水産学部	**令和元(2019)年12月10日(火) 午後４時(予定)**
医学部（医学科・保健学科） 工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）	**令和２(2020)年２月12日(水) 午後４時(予定)**

(2) 掲示場所及び通知方法

本学高等教育推進機構（札幌市北区北17条西８丁目）正面玄関に合格者受験番号を掲示するとともに，第２次選考受験者全員に対し郵便により合否を通知します。

（合格発表後に速達郵便等で発送するため，到着までに２～３日かかることがあります。）

また，午後４時頃に本学ホームページ上（https://www.hokudai.ac.jp/）に合格者受験番号を掲載します。

なお，電話・電子メール等による合否に関する問合せには，一切応じません。

13　入学手続

(1) 入学手続期間

学　部　・　学　科	期　　間
理学部（地球惑星科学科） 歯学部 水産学部	**令和元(2019)年12月13日(金)から 令和元(2019)年12月18日(水)まで（午後５時必着）**
医学部（医学科・保健学科） 工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）	**令和２(2020)年２月13日(木)から 令和２(2020)年２月19日(水)まで（午後５時必着）**

(2) 入学手続時に要する経費

入学料　282,000円（予定額）

① 入学料は，本学所定の振込用紙（合格通知に同封）を使用して銀行等（ゆうちょ銀行含む）の窓口で振り込んでください。**（振込手数料は振込者の負担となります。）**

なお，ＡＴＭ（現金自動預払機）は利用しないでください。

② 振り込んだ入学料は，入学手続完了者には返還できません。

③ 入学料免除（徴収猶予）希望者は，34ページを参照してください。

なお，入学料免除（徴収猶予）申請者は，入学手続きの際に入学料を振り込まないでください。

※　授業料について

① **令和２(2020)年度授業料納入金額（前期分） 267,900円（年額 535,800円）（予定額）**

振込用紙を用いた「振込」と指定の口座から引き落とす「口座振替」の２つの方法から選択して納入してください。

「授業料納入のお知らせ」送付時期　…　前期　５月中旬
後期　11月中旬

② 入学時及び在学時に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな学生納付金が適用されます。

③ 授業料免除希望者は，35ページを参照してください。

(3) 提出書類

	対　　象　　者	提　　出　　書　　類
①	医学部医学科，医学部保健学科，工学部応用理工系学科及び工学部環境社会工学科の合格者	**「大学入試センター試験受験票」の原本**
②	①以外の学部・学科の合格者で大学入試センター試験に出願した者	**「大学入試センター試験受験票」を複写したもの** なお，入学手続期間までに「大学入試センター試験受験票」が届いていない場合は，入学手続書類に未着である旨のメモを同封してください。 その場合，大学入試センターから受験票が届き次第，12月20日(金)までに北海道大学へ届くように送付してください。
③	全員	(2)により入学料を振り込んだ際に銀行等（ゆうちょ銀行含む）から発行される**「日附印」が押された「入学料受付証明書」**（「Ｅ」と印字された部分）**の原本を所定の台紙にはり付けたもの**

(4) 入学手続方法（郵送のみ）

① (3)の書類を，入学手続期間内に必ず到着するよう，「速達書留」で郵送してください。

② 郵送に使用する封筒の表に「ＡＯ入試入学手続書類在中」と朱書きし，裏面には，学部・学科等，受験番号，氏名を記入してください。

送　付　先	〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目 北海道大学学務部教育推進課

(5) 入学手続完了後

入学式,新入生オリエンテーション等の案内及び修学関係書類は３月６日頃に送付します。

入学手続完了者で特別な事情により入学ができなくなった場合は，速やかに学務部教育推進課全学教育・総合教育担当（TEL（011）706-6098・5083）に電話で連絡し，指示を受けてください。

(6) 留意事項

ＡＯ入試合格者は，特別な事情が生じ，２月19日(水)午後５時までに具体的な理由を付した「ＡＯ入試入学辞退届」が提出された場合を除いて，本学又は他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）を受験してもその合格者とはなりません。

14　個人情報の取扱い

(1) 本学では，個人情報の取扱いについては，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」を遵守するとともに，「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき，保護に万全を期しています。

(2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選考実施），②合格発表，③入学手続，④入学手続者に対する入学前教育，⑤入学者選抜実施方法等に関する調査・研究，及び⑥これらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 合格者のみ，(2)の個人情報を入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請，入寮選考，福利厚生等），③就職支援関係，④授業料等に関する業務，⑤附属図書館利用に関する業務，⑥情報教育施設利用に関する業務，⑦災害緊急時の安否確認・連絡等に関する業務，⑧広報関係（広報物，行事のご案内等の送付）に利用します。
　なお，北海道内の国立大学が，教養教育の充実強化を図る目的で締結した単位互換協定に基づく包括的授業の運営のため，①，⑤，⑥，⑦，⑧の業務に必要な個人情報が各大学及び北海道地区国立大学連携教育機構へ提供されることがあります。

(4) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等に関する調査・研究を行うために利用します。

(5) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため，ＡＯ入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る。）が独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(6) 北大フロンティア基金及び次の①～⑥の本学関連団体から要請があった場合は，(2)の個人情報について，当該組織の活動に必要な範囲に限り提供することがあります。
　①北海道大学体育会，②北海道大学医学部医学科学友会（医学部医学科合格者のみ対象），③北海道大学歯学部学友会（歯学部合格者のみ対象），④北海道大学工学部北工会（工学部合格者のみ対象），⑤学部同窓会，⑥北海道大学校友会エルム

(7) 上記(2)～(6)の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限り，お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。

15　予告（令和３(2021)年度ＡＯ入試における変更）

(1)「大学入試センター試験」から「大学入学共通テスト」への変更について
【医学部（医学科・保健学科）及び工学部（応用理工系学科・環境社会工学科)】

　令和３(2021)年１月から大学入学共通テストが実施されることに伴い，現在大学入試センター試験を利用している医学部（医学科・保健学科）及び工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）のＡＯ入試においては，受験を要する教科・科目は変更せず，令和３(2021)年度入試から，大学入学共通テストを利用します。
　なお，配点等については，大学入学共通テストの詳細が決まり次第，後日公表します。

(2) 「大学入学共通テスト」の新規導入について
【理学部地球惑星科学科，歯学部及び水産学部】

理学部地球惑星科学科，歯学部及び水産学部のＡＯ入試において，令和３(2021)年度入試から，新たに大学入学共通テストを導入します。これに伴い，「出願資格・要件」「選抜方法」及び「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を，以下のとおり変更します。

＜【理学部地球惑星科学科】出願資格・要件等（令和３(2021)年度ＡＯ入試基本方針(案)より抜粋）＞

出願資格・要件	令和３(2021)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で，次に掲げる資格及び要件に該当する者 １．資格 次のいずれかの資格に該当すること。 ①　高等学校又は中等教育学校を令和３(2021)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，令和２(2020)年４月から令和３(2021)年３月までに卒業又は卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和２(2020)年４月から令和３(2021)年３月までに修了又は修了見込みの者 ２．要件 次のすべての要件に該当すること。 ①　高等学校等で「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」を履修している者 ②　合格した場合，入学を確約できる者
選抜方法	調査書，個人評価書，自己推薦書，総合問題，面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定する。 １　第１次選考 調査書，個人評価書，自己推薦書により選考を行う。 ２　第２次選考 第１次選考に合格した者に対して，総合問題を課し，面接を行う。 また，令和３(2021)年度大学入学共通テストの結果を利用する。利用方法については，大学入学共通テストの詳細が決まり次第，後日公表する。 ・総合問題：科学的基礎知識，論理性，判断力を問う。 ・面接：意欲，目的意識，論理的思考力を問う。 ただし，日本地学オリンピック大会における過去２年間の予選（１次選抜）通過者で課題論文の免除を希望する者については，日本地学オリンピック大会予選（１次選抜）の結果を総合問題の点数に換算します。
大学入学共通テストの教科・科目と配点	ⅰ）令和３(2021)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 ・数　学：「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」 ・理　科：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から，「物理」又は「化学」を含む２科目選択 ・外国語：「英語（リスニングを含む）」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目選択 ⅱ）大学入学共通テストの配点 大学入学共通テストの詳細が決まり次第，後日公表する。

＜【歯学部】出願資格・要件等（令和３(2021)年度ＡＯ入試基本方針(案)より抜粋）＞

出願資格・要件	令和３(2021)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で，次に掲げる資格及び要件に該当する者 １．資格 次のいずれかの資格に該当すること。 ① 高等学校又は中等教育学校を令和３(2021)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，令和２(2020)年４月から令和３(2021)年３月までに卒業又は卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和２(2020)年４月から令和３(2021)年３月までに修了又は修了見込みの者 ２．要件 次のすべての要件に該当すること。 ① 高等学校等で「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうちから２つを履修している者 ② 学習成績概評がＡ以上の者 ③ 合格した場合，入学を確約できる者
選 抜 方 法	調査書，個人評価書，自己推薦書，課題論文，面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定する。 １ 第１次選考 調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。 ２ 第２次選考 第１次選考に合格した者に対して，課題論文を課し，面接を行う。 ・課題論文：読解力，論理的思考力を問う。 ・面 接：積極性，表現力，論理性，協調性，適性を問う。 ただし，令和３(2021)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が，合格基準点を満たさなければ最終合格の対象とならない。（※下記の「大学入学共通テスト試験の教科・科目と配点」を併せて参照） ・合格基準点については，大学入学共通テストの詳細が決まり次第，後日公表する。
大学入学共通テストの教科・科目と配点	ⅰ）令和３(2021)年度大学入学共通テスト試験の受験を要する教科・科目 ・国 語 ・地理歴史・公民：「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「倫理，政治・経済」から１科目選択 ※２科目を受験している場合は，第１解答科目を採用する。 ・数 学：「数学Ⅰ・数学Ａ」を必須とし，「数学Ⅱ・数学Ｂ」，「簿記・会計」，「情報関係基礎」から１科目選択 ※「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択解答できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限る。 ・理 科：「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目選択 ・外国語：「英語（リスニングを含む）」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目選択 ⅱ）大学入学共通テスト試験の配点 大学入学共通テストの詳細が決まり次第，後日公表する。

＜【水産学部】出願資格・要件等（令和３(2021)年度ＡＯ入試基本方針(案)より抜粋）＞

出願資格・要件	令和３(2021)年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目（「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を参照）をすべて受験する者で，次に掲げる資格及び要件に該当する者 １．資格 次のいずれかの資格に該当すること。 ①　高等学校又は中等教育学校を令和３(2021)年３月に卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第３項の規定に基づき，令和２(2020)年４月から令和３(2021)年３月までに卒業又は卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和２(2020)年４月から令和３(2021)年３月までに修了又は修了見込みの者 ２．要件 次のすべての要件に該当すること。 ①　高等学校等で「数学Ⅲ」を履修している者 ②　高等学校等で「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」及び「生物基礎・生物」のうちから２つを履修している者 ③　合格した場合，入学を確約できる者
選 抜 方 法	調査書，個人評価書，自己推薦書，面接及び大学入学共通テスト等の結果を総合して合格者を決定する。 １　第１次選考 調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録により選考を行う。 ２　第２次選考 第１次選考に合格した者に対して，面接を行う。 ・面 接：英語，数学，理科について，高い理解力を有しているか問う他，目的意識，積極性（意欲），実行力，協調性，コミュニケーション能力等を問う。 ただし，令和３(2021)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点が，合格基準点を満たさなければ最終合格の対象とならない。(※下記の「大学入学共通テストの教科・科目と配点」を併せて参照) ・合格基準点については，大学入学共通テストの詳細が決まり次第，後日公表する。
大学入学共通テストの教科・科目と配点	ⅰ）令和３(2021)年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 ・数学及び理科：「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から３科目選択 ・外国語：「英語（リスニングを含む）」 ⅱ）大学入学共通テストの配点 大学入学共通テストの詳細が決まり次第，後日公表する。

(3)その他の変更点について

【理学部地球惑星科学科及び水産学部】

理学部地球惑星科学科では，令和３(2021)年度入試から，第２次選考の選抜方法のうち，課題論文を「総合問題」に変更します。

また，水産学部では，令和３(2021)年度入試から，「求める学生像」を以下のとおり変更します。また，「出願資格・要件」に「高等学校等で「数学Ⅲ」を履修している者」を追加し，併せて，第２次選考の選抜方法のうち，課題論文を廃止します。

＜【水産学部】求める学生像（令和３(2021)年度入試以降）＞

・海の物理現象や環境計測あるいは先端的生産技術を積極的に学び，持続可能な海洋生物資源の利用と保全を目指す研究者や技術者として，社会に貢献する意欲のある学生
・海洋生物の生態，生命現象，あるいは食料・バイオテクノロジー資源としての重要性を積極的に学び，海洋生物の持続的生産や高度な活用を目指す研究者や技術者として，社会に貢献する意欲のある学生
・海洋・水産・環境分野におけるグローバルな課題を積極的に学び，それらの課題解決に向け国際的に活躍する意欲のある学生

16　入学料免除（徴収猶予）と授業料免除

(1) 入学料免除及び徴収猶予について

入学料免除及び徴収猶予を希望する者は，以下により申請手続きを行ってください。

ア　入学料免除の対象者

① 平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までの間に，**本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害**を受け，入学料の納入が著しく困難であると認められる者

② ①に準ずる場合であって，総長が相当と認める事由がある場合

イ　入学料徴収猶予の対象者

① 上記ア①の対象者

② 経済的理由により入学料の納入期限までに納入が困難であると認められる者

③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

ウ　入学料免除の額及び徴収猶予の期間

入学料の免除が必要と認められた者については，納入すべき入学料の全額又は半額を免除します。また，入学料の徴収猶予が必要と認められた者については，令和２(2020)年９月30日(水)まで入学料の納入を猶予します。

エ　関係資料の請求方法及び請求先

封筒に「入学料免除（又は徴収猶予）関係資料請求」と朱書きし，郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒（角形２号等のＡ４サイズの書類が入るもの）を同封の上，郵送で請求してください。

請　求　先	〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目 北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当

オ　関係資料の請求期間，申請書類の提出期間

学部・学科等	請　求　期　間	提　出　期　間
理学部（地球惑星科学科）・歯学部・水産学部	令和元(2019)年11月28日(木)から 令和元(2019)年12月12日(木)まで （必着）	令和元(2019)**年12月13日(金)から** 令和元(2019)**年12月18日(水)まで** **（入学手続期間中）（必着）**
医学部（医学科・保健学科）・工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）	令和２(2020)年１月29日(水)から 令和２(2020)年２月12日(水)まで （必着）	令和２(2020)**年２月13日(木)から** 令和２(2020)**年２月19日(水)まで** **（入学手続期間中）（必着）**

※申請書類を提出する場合は，入学手続関係書類に同封してください。

カ　留意事項

入学料免除（徴収猶予）の申請を希望する者は，入学手続きの際に入学料を納入しないでください。

全額免除が認められた者以外については，免除（徴収猶予）判定の決定後（７月上旬を予定），新たに発行する振込用紙により入学料を納入してください。

キ　入学料免除（徴収猶予）に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当　TEL（011）706-7530

(2) 授業料免除について

授業料免除を希望する者は，以下により申請手続きを行ってください。

ア　授業料免除の対象者

① 経済的理由により授業料の納入が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者
② 平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までの間に本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，授業料の納入が著しく困難であると認められる者
③ ②に準ずる場合であって，総長が相当と認める事由がある場合

イ　授業料免除の額

授業料の免除が必要と認められた者については，納入すべき授業料の全額，半額又は４分の１を免除します。

ウ　関係資料の取得方法

北海道大学ホームページへ掲載しますので，申請希望者は直接ダウンロードして使用してください。（ダウンロードが困難な場合は下記問合せ先までご相談ください。）

北海道大学ホームページ（URL https://www.hokudai.ac.jp/）
トップメニュー＞学生生活＞各種手続き・証明書＞入学料・授業料＞新着情報＞
令和２(2020)年度前期分授業料免除申請関係資料（ダウンロード）

※令和２(2020)年２月上旬にホームページへ掲載予定です。

エ　申請書類の提出先及び提出期限

提 出 先　**北海道大学高等教育推進機構④窓口（学務部学生支援課奨学支援担当）**
提出期限　**令和２(2020)年４月上旬予定**

※詳細については関係資料をご覧ください。

オ　授業料免除に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当　TEL（011）706-7530

17　学生寮の入寮案内

本学では，学生に対し，学生生活のための良好な環境を提供することを目的として，札幌地区に２つの学生寮を置いています。

(1) 概　要

・恵迪寮（男女混住寮）・・・札幌市北区北18条西13丁目３番地（札幌キャンパス内）

① 設　置 … 昭和58年４月
② 定　員 … 580名　日本人学部学生（男子）　400名
　　日本人学部学生（女子）　90名
　　日本人大学院学生（男子）　50名
　　外国人留学生（男子）　40名
③ 規　模 … 鉄筋５階建６棟，共用棟２階建１棟，個室580室
　　日本人学生居室9.5㎡，外国人留学生居室12.0㎡
④ 寄宿料 … 日本人学生は月額4,300円，外国人留学生は月額4,700円
　　※その他，光熱水料等の経費（実費）が月額5,000円程度かかります。

・霜星寮（女子寮）・・・札幌市北区北14条西２丁目１番10号（札幌キャンパス外）

① 設　置 … 昭和59年４月
② 定　員 … 85名　日本人学生（女子）　64名
　　外国人留学生（女子）　21名
③ 規　模 … 鉄筋４階建，個室85室
　　日本人学生居室9.1㎡，外国人留学生居室9.9㎡，9.1㎡
④ 寄宿料 … 日本人学生は月額4,300円，外国人留学生は月額4,700円(9.9㎡)，
　　4,300円(9.1㎡)
　　※その他，光熱水料等の経費（実費）が月額5,000円程度かかります。

・学生寮の施設等に関する情報は，本学ホームページにも掲載しています。
北海道大学ホームページ（URL https://www.hokudai.ac.jp/）
トップメニュー＞学生生活＞各種手続き・証明書＞住まい（学生寮･アパートなど）・アルバイト

(2) 入寮募集について

令和２(2020)年４月入寮募集に関する詳細については,合格通知書に同封する「入寮案内」でお知らせします。

(3) 学生寮に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課生活支援担当　TEL（011）706-7532

「大学案内誌（Be ambitious)」及び「ＡＯ入試案内」の請求方法

１．北海道大学案内誌（Be ambitious）について

本学及び本学各学部の概要，教育理念，学習目標，カリキュラムの特徴，求める学生像を理解してもらうため，「北海道大学案内誌（Be ambitious)」を配付しています。

入手希望者は，窓口（入試課又はインフォメーションセンター「エルムの森」）で直接受領するか，郵送を希望する場合は以下のいずれかの方法により請求してください。

(1) テレメールで請求する方法

(ｱ) 北海道大学ホームページから直接請求する場合

北海道大学ホームページからテレメールを経由して大学案内が請求できます。詳しくは北海道大学ホームページ（URL https://www.hokudai.ac.jp/）の「入学案内」→「資料請求」をご覧ください。発送開始日は，下記(ｲ)と同じです。

(ｲ) インターネット・自動音声応答電話で請求する場合

テレメール（インターネットまたは24時間自動音声応答電話）を利用してください。

テレメール

インターネットの場合（パソコン・携帯電話・スマートフォン）	**https://telemail.jp** ※右のバーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。
自動音声応答電話の場合	**ＩＰ電話　０５０－８６０１－０１０１（24時間受付）** ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも３分毎に約12円です。

資料請求番号　**５６０２０２（215円後納／6月29日発送予定）**

※上記(ｱ)，(ｲ)とも，料金はお届けする資料に同封されている料金支払用紙の支払い方法に従い，表示料金をお支払いください。
なお，支払いに際して手数料が別途必要です（手数料は支払い方法によって異なります。）。

テレメールに関する請求方法・発送についてのお問合せ先:
テレメールカスタマーセンター　IP電話　050-8601-0102　(9:30～18:00　12/31,1/1を除く)

(2) 大学情報センターの「モバっちょ」で請求する場合（料金：200円）

携帯電話，スマートフォン及びパソコンから請求できます。(お急ぎの方は宅配便も利用できます。)　URL:http://djc-mb.jp/hokudai3/

【料金の支払方法】

①請求時払い	携帯電話払い，スマートフォン払い及びクレジットカード払いができます。（支払手数料が別途 50 円必要です。） ※携帯電話・スマートフォンの機種，携帯電話会社との契約状況によっては，通話料金と一緒に支払いができない場合があります。その場合は「②後払い」を選択してください。
②後払い	資料到着後，コンビニエンスストアでお支払いください。（支払い手数料が別途 126 円必要です。）

「モバっちょ」に関する請求方法・発送についてのお問合せ先：
大学情報センター株式会社　モバっちょカスタマーセンター
電話　050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

２．北海道大学ＡＯ入試案内について（窓口又は入試課宛の郵送による請求のみ）

本学では，ＡＯ入試の概要，先輩達からのメッセージ，過去の志願者数・合格者数，課題論文要約等を記載した「ＡＯ入試案内」を作成しています。入手希望者は，返信用封筒【角形２号（24cm×33.2cm）（郵便番号，住所，氏名を明記し,140円分（速達の場合は420円分）の切手をはる。)】を同封した封筒の表面左下欄に，「ＡＯ入試案内請求」と朱書きし，下記宛に請求してください。

〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　北海道大学学務部入試課

※「北海道大学案内誌（Be ambitious)」及び「ＡＯ入試案内」の電子版は，本学ホームページ「入学案内」の「入試・入学関係資料ダウンロード」のページにも掲載しています。
※郵便料金等の改定が行われた場合は，改定時から新たな料金が適用されます。

北海道大学ＡＯ入試　学部・学科等別志願者数・合格者数

平成31(2019)年度

学部・学科等			募集人員	志願者数	倍　率	第１次選考合格者数	第２次選考合格者数
理学部地球惑星科学科			5	２０（　6）	４．０	９（　４）	５（　１）
医学部	医学科		5	２（　2）	０．４	２（　2）	０（　０）
	保健学科	看護学専攻	7	１７（１７）	２．４	１６（１６）	６（　6）
		作業療法学専攻	4	６（　6）	１．５	６（　6）	４（　４）
歯学部			5	１６（１１）	３．２	１２（　8）	５（　４）
工学部	応用理工系学科(応用マテリアル工学コース)		4	３（　1）	０．８	２（　1）	１（　１）
	環境社会工学科（社会基盤学コース）		4	１（　0）	０．３	１（　0）	０（　０）
水産学部			２０	４３（１２）	２．２	３９（１２）	１７（　４）
計			５４	１０８（５５）	２．０	８７（４９）	３８（２０）

（　　）内は女子で内数

平成30(2018)年度

学部・学科等			募集人員	志願者数	倍　率	第１次選考合格者数	第２次選考合格者数
理学部	物理学科		5	３（　2）	０．６	３（　2）	０（　０）
	地球惑星科学科		5	２０（　9）	４．０	１２（　4）	４（　１）
医学部	医学科		5	５（　2）	１．０	５（　2）	０（　０）
	保健学科	看護学専攻	7	２０（１８）	２．９	１８（１６）	６（　5）
		作業療法学専攻	4	４（　4）	１．０	４（　4）	４（　４）
歯学部			5	１３（　7）	２．６	１１（　6）	５（　４）
工学部	応用理工系学科(応用マテリアル工学コース)		4	４（　1）	１．０	３（　1）	２（　１）
	環境社会工学科（社会基盤学コース）		4	１（　0）	０．３	１（　0）	０（　０）
水産学部			２０	３５（１２）	１．８	３４（１２）	８（　１）
計			５９	１０５（５５）	１．８	９１（４７）	２９（１６）

（　　）内は女子で内数

平成31(2019)年度北海道大学ＡＯ入試　出身地別志願者数・合格者数

	志願者数	合格者数
道内	24（18）	10　（7）
道外	84（37）	28（13）
在外教育施設	0　（0）	0　（0）
全体	108（55）	38（20）

※（ ）内は女子で内数

道内振興局名	志願者数	合格者数
空知	－　－	－　－
石狩	15（12）	4　（2）
後志	1　（1）	1　（1）
胆振	1　（1）	1　（1）
日高	－　－	－　－
渡島	4　（2）	3　（2）
檜山	－　－	－　－
上川	1　（1）	1　（1）
留萌	－　－	－　－
宗谷	－　－	－　－
オホーツク	－　－	－　－
十勝	2　（1）	－　－
釧路	－　－	－　－
根室	－　－	－　－
道内合計	24（18）	10　（7）

都道府県名	志願者数	合格者数
青森県	1　（1）	－　－
岩手県	3　（0）	3　（0）
宮城県	3　（1）	1　（0）
秋田県	2　（1）	1　（1）
山形県	－　－	－　－
福島県	2　（1）	2　（1）
茨城県	2　（1）	1　（0）
栃木県	－　－	－　－
群馬県	2　（1）	1　（1）
埼玉県	4　（3）	－　－
千葉県	4　（2）	1　（1）
東京都	9　（4）	1　（0）
神奈川県	1　（0）	－　－
新潟県	－　－	－　－
富山県	－　－	－　－
石川県	－　－	－　－
福井県	2　（1）	1　（1）
山梨県	－　－	－　－
長野県	1　（1）	1　（1）
岐阜県	1　（0）	1　（0）
静岡県	3　（3）	1　（1）
愛知県	4　（1）	－　－
三重県	1　（0）	－　－

都道府県名	志願者数	合格者数
滋賀県	1　（0）	－　－
京都府	7　（2）	－　－
大阪府	12　（4）	3　（2）
兵庫県	3　（0）	3　（0）
奈良県	3　（2）	2　（1）
和歌山県	2　（0）	1　（0）
鳥取県	－　－	－　－
島根県	－　－	－　－
岡山県	5　（4）	2　（2）
広島県	－　－	－　－
山口県	1　（1）	－　－
徳島県	1　（0）	－　－
香川県	－　－	－　－
愛媛県	1　（1）	－　－
高知県	1　（1）	1　（1）
福岡県	－　－	－　－
佐賀県	－　－	－　－
長崎県	－　－	－　－
熊本県	－　－	－　－
大分県	－　－	－　－
宮崎県	－　－	－　－
鹿児島県	1　（0）	1　（0）
沖縄県	1　（1）	－　－
道外合計	84（37）	28（13）

切　取　線

令和２(2020)年度大学入試センター試験成績請求票はり付け台紙

（医学部（医学科・保健学科），工学部（応用理工系学科・環境社会工学科）の第１次選考合格者のみ）

ＡＯ　令和2センター試験成績請求票
国公立ＡＯ入試用

注　※成績請求票貼付欄

志願学部･学科･専攻等 ＿＿＿＿＿＿＿＿

受験番号　Ｆ－＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿

北 海 道 大 学 案 内 図（札幌キャンパス）

《交通案内》　北大構内：最寄りの門まで（正門，北13条門，北18条門）

	JR	「札　幌　駅」下車，徒歩７分
	地下鉄南北線・東豊線	「さっぽろ駅」下車，徒歩10分
	地下鉄南北線	「北 12 条 駅」下車，徒歩５分
	地下鉄南北線	「北 18 条 駅」下車，徒歩10分

北 海 道 大 学 案 内 図（函館キャンパス）

函館市内位置図

水産学部建物位置図

■ 試験場（予定）

～大学へのアクセス～

＜JR 函館駅から約 4.5 km＞

・タクシーで約 15 分，約 1,700 円

・バスで 15～20 分

（直通バスは本数が少ないのでバス会社 HP で時刻をご確認ください）

・バス停から大学まで徒歩 3-5 分

＜JR 五稜郭駅から徒歩の場合 1.8 km，タクシーの場合 3 km＞

＜函館空港から＞

・タクシーで約 30 分，約 3,000 円

＜新幹線 新函館北斗駅から＞

・函館ライナーで JR 五稜郭駅まで 10 分，JR 函館駅まで 15 分

他，詳細は「水産学部 HP（http://www2.fish.hokudai.ac.jp/department-graduate-school/access/）」をご覧ください。

オープンキャンパス情報

○開催日　令和元(2019)年８月４日（日）～５日（月）
（一部の学部・学科のプログラムをこれ以外の日に開催する場合があります。）
○内　容（学部・学科等により異なります。）
・自由参加プログラム　：　高校生等を含む一般市民を対象として，講義，説明会，展示等を行う自由参加行事を中心としたプログラム
・高校生限定プログラム：　大学進学を目指す高校生等を対象として，講義，実験，実習，演習等の事前申込制・定員設定行事を中心としたプログラム

※　詳細は，北海道大学ホームページ（https://www.hokudai.ac.jp/admission/）をご覧ください。

各　種　問　合　せ　先

○ＡＯ入試全般に関すること
学務部入試課特別選抜担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-7484

○検定料，入学料，授業料の支払い及び返還に関すること
財務部経理課収入担当
〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目　電話　(011) 706-2048

○入学手続に関すること
学務部教育推進課全学教育・総合教育担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-6098・5083

○入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除に関すること
学務部学生支援課奨学支援担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-7530

○学生寮に関すること
学務部学生支援課生活支援担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-7532

北海道大学アドミッションセンター入学相談室

「こんな勉強がしたいが，どこの学部に入学したらいいのか」，「○○学部では，自分の希望する勉強が出来るか」，「入試方法のうち△△の部分がよくわからない」など，北海道大学を志望されるみなさんのいろいろな質問や，入学に関する相談に対し，電子メールによる受付を行っています。詳細は，北海道大学ホームページ（https://www.hokudai.ac.jp/admission/）をご覧いただいた上で，ご利用ください。

なお，お問合せの時期・内容によっては，回答までに時間を要する場合がありますので，お急ぎの場合は，電話をご利用ください。

北海道大学アドミッションセンター入学相談室窓口
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目（学務部入試課内）
TEL（011）706-7484（受付窓口）
E-mail admission@academic.hokudai.ac.jp

HOKKAIDO UNIVERSITY
FOUNDED 1876

資料保29

令和２(2020)年度

学 生 募 集 要 項

(帰国子女入試)

北 海 道 大 学

北海道大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

北海道大学は，理系から文系までの全分野において大学院での研究や教育に重点を置く，日本を代表する基幹総合大学の一つです。その起源は，1876 年に設立された札幌農学校に遡ることができます。その伝統から，本学は，帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で，「フロンティア精神」，「国際性の涵養」，「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念が生まれ，今日まで学問の自主，自由を培ってきました。

この理念の下に，本学は今，新世紀における知の創成，伝承，実証の拠点として発展することを目指し，教育研究を通じて，人類の福祉，科学，文化及び社会の発展に寄与することを使命としています。

そのため，学士課程においては，世界における市民としての自覚をもって社会に参加できること，専門の基礎となる学問やコミュニケーションの方法を身につけること，専門分野を広い視野の下に学ぶことを目指した教育を進めています。それを通じて，国際的に通用する高度な学問的素養をもち，健全な市民として的確な判断力とリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指しています。同時に，専門的職業人として指導的立場にたつ人材の育成，学術創造に進んで向かう人材の育成も目指しています。

これらを実現するため，北海道大学は，創設以来，歴史と伝統を継承しながら広く世界に優秀な人材を求め，学士課程教育を受けるにふさわしい学力，すなわち基礎知識・基礎技能・数理能力・語学力・理解力・読解力を備えた学生，また，大学入学以降の学びで必要な問題解決能力・創造力・倫理性・思考の柔軟性・コミュニケーション能力・論理的思考力・リーダーシップ，人間性や学ぶ意欲などを備えた学生を，多様な選抜制度により受け入れています。

目　　次

１　学部・学科等の募集人員等 …… 1～ 3
２　出願資格 …… 3～ 4
３　帰国子女入試日程 …… 4
４　出願手続 …… 4～ 9
５　受験上の配慮についての事前相談 …… 10
６　入学者選抜方法 …… 11
７　第１次選考の配点 …… 11
８　第１次選考結果の発表 …… 12
９　受験票 …… 12
10　第２次選考の配点 …… 13
11　第２次選考の日時 …… 14
12　合格者の発表 …… 15
13　入学手続 …… 15～16
14　獣医学部共同獣医学課程の教育について（その他必要な経費） …… 16
15　個人情報の取扱い …… 16～17
16　予告（令和３(2021)年度帰国子女入試における変更）…… 17
17　入学料免除（徴収猶予）と授業料免除 …… 18～19
18　学生寮の入寮案内 …… 20

「大学案内誌（Be ambitious)」の請求方法 …… 21
学部案内誌の請求方法 …… 22
平成30(2018)・31(2019)年度北海道大学帰国子女入試 学部・学科等別志願者数・合格者数 … 23
北海道大学案内図（札幌キャンパス・函館キャンパス） …… 24～25
各種問合せ先 …… 26
北海道大学アドミッションセンター入学相談室 …… 26

北海道大学では，帰国子女入試への出願登録を，インターネットにより行います。
北海道大学インターネット出願登録サイト（https://e-apply.jp/e/hokudai-gakubu-jpn/）にアクセスしてください。
なお，出願に当たっては，
①プリンター（必要書類出力用）
②メールアドレス（検定料支払完了通知メール及び各種連絡受信用）
※携帯電話のメールアドレスは不可
を必ず用意してください。
また，インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので，ご注意ください。
出願手続に関する詳細は４～９ページを参照してください。

1　学部・学科等の募集人員等

(1) 募集人員

入学者選抜は，学部・学科・専攻等別に行い，募集人員は各学部・学科・専攻等とも若干名とし，一般入試（学部別入試の前期日程又は後期日程）の募集人員の内数とします。

（単位：名）

学部・学科等			募集人員（学部別入試）		帰国子女入試の募集人員
			前期日程	後期日程	
文学部			118	37	若干名（前期日程募集人員の内数）
教育学部			20	10	若干名（前期日程募集人員の内数）
法学部			140	40	若干名（前期日程募集人員の内数）
経済学部			140	20	若干名（前期日程募集人員の内数）
理学部	数学科		0	13	若干名（後期日程募集人員の内数）
	物理学科			10	
	化学科			23	
	生物科学科	（生物学専修分野）		10	
		（高分子機能学専修分野）		5	
	地球惑星科学科			5	
	計		0	66	
医学部	医学科		97	0	若干名（前期日程募集人員の内数）
	保健学科	看護学専攻	60	0	
		放射線技術科学専攻	28	7	
		検査技術科学専攻	28	7	
		理学療法学専攻	13	4	
		作業療法学専攻	13	0	
		小計	142	18	
	計		239	18	
歯学部			30	8	若干名（後期日程募集人員の内数）
薬学部			0	24	若干名（後期日程募集人員の内数）
工学部	応用理工系学科		0	34	若干名（後期日程募集人員の内数）
	情報エレクトロニクス学科			38	
	機械知能工学科			30	
	環境社会工学科			49	
	計		0	151	
農学部			0	53	若干名（後期日程募集人員の内数）
獣医学部			20	15	若干名（前期日程募集人員の内数）
水産学部			105	50	若干名（前期日程募集人員の内数）
合計			812	492	

(2) 入学時期

令和２(2020)年４月

(3) 学科等の決定

入学後１年次の間は総合教育部で学び，２年次進級時に学部に所属します。

経済学部については，本人の志望及び学業成績により学部に所属した後の２年次第１学期終了時に学科が決定されます。

理学部，**医学部**及び**工学部**については，２年次進級時に，本入試において出願した学科等に所属することになります。

薬学部及び**農学部**については，本人の志望及び学業成績により，２年次進級時に所属する学科等が決定されます。

水産学部については，本人の志望及び学業成績により２年次進級時に所属する学科等が決定され，**２年次終了時に函館キャンパスに移行**します。

（学科等の定員）

学部	学科等	定員	
文学部	人文科学科	185	
教育学部	教育学科	50	
法学部	法学課程	200	
経済学部	経済学科	100	
	経営学科	90	
理学部	数学科	50	
	物理学科	35	
	化学科	75	
	生物科学科	80	
	（生物学専修分野）	(40)	
	（高分子機能学専修分野）	(40)	
	地球惑星科学科	60	〈5〉
医学部	医学科	107	〈5〉
	保健学科	180	
	（看護学専攻）	(70)	〈7〉
	（放射線技術科学専攻）	(37)	
	（検査技術科学専攻）	(37)	
	（理学療法学専攻）	(18)	
	（作業療法学専攻）	(18)	〈4〉
歯学部	歯学科	53	〈5〉
薬学部	薬科学科	50	
	薬学科	30	
工学部	応用理工系学科	160	
	（応用物理工学コース）	(50)	
	（応用化学コース）	(70)	
	（応用マテリアル工学コース）	(40)	〈4〉
	情報エレクトロニクス学科	180	
	（情報理工学コース）	(50)	
	（電気電子工学コース）	(40)	
	（生体情報コース）	(33)	
	（メディアネットワークコース）	(30)	
	（電気制御システムコース）	(27)	
	機械知能工学科	120	
	（機械情報コース）	(60)	
	（機械システムコース）	(60)	
	環境社会工学科	210	
	（社会基盤学コース）	(40)	〈4〉
	（国土政策学コース）	(40)	
	（建築都市コース）	(45)	
	（環境工学コース）	(50)	
	（資源循環システムコース）	(35)	

学部	学科等	定員
農学部	生物資源科学科	36
	応用生命科学科	30
	生物機能化学科	35
	森林科学科	36
	畜産科学科	23
	生物環境工学科	30
	農業経済学科	25
獣医学部	共同獣医学課程	40
水産学部	海洋生物科学科	54
	海洋資源科学科	53
	増殖生命科学科	54
	資源機能化学科	54
		〈20〉
計		2,485 〈54〉

注１　〈　〉内の人数は，ＡＯ入試の募集人員で内数です。

注２　獣医学部共同獣医学課程では，帯広畜産大学と共同で教育を実施し，この課程を卒業する者には北海道大学，帯広畜産大学の両大学名で学位が授与されます。

２　出願資格

日本国籍を有する者又は**日本国の永住許可を得ている者**で，海外に在住し外国の学校教育を受け，かつ，次に掲げる基礎資格及び要件に該当するもの

(1) 基礎資格

次のいずれかに該当すること。

① 外国において，学校教育における12年の課程（※１～２）を修了した者及び令和２(2020)年３月31日までに修了見込みの者

※１　日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。

※２　高等学校は地理的・場所的に日本国外にあり，その所在国の正規の教育制度に基づく学校であること。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の課程修了の場合は，当該学校が所在国において正規の教育制度に基づく12年の課程として認められている必要がある。

② 外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

③ 外国において，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

④ 外国において，フランス共和国の大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

⑤ 外国において，英国の大学入学資格として認められている General Certificate of Education Advanced Level（GCEAレベル）資格を有する者

※　上記「(1)-①」で出願する場合は，日本と当該国における教育制度を考慮する必要があり，事前に，学校教育歴，修了又は修了見込みである高等学校（相当する学校）のカリキュラム等を確認しているので，令和元(2019)年９月13日（金）までに学務部入試課（26ページの「北海道大学アドミッションセンター入学相談室」参照）あて電子メールで以下の項目を送信し，出願資格の有無を照会してください。

なお，回答までに，２～３週間かかることがあります。

件名：「帰国子女入試出願資格照会」
内容：①氏名　②生年月日　③出願予定の学部・学科等
④学校教育歴（小学校入学から高等学校卒業までの国名・学校名と入学・卒業（見込）年月）
※転入・編入，飛び級，早期卒業等がある場合は，その年月と学校名・学年も記載
⑤高等学校のカリキュラム等が分かるwebサイトのURL（印刷物の場合は，該当部分をスキャナ等で読み取ったデータを電子メール又はFAXで送付するか，郵送すること）
⑥個人情報の取扱い同意

(2) 要　　件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

① **外国において，在住国の正規の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含む２年以上継続して在学**したこと。ただし，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設又は高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設に在学した者については，その期間を外国において学校教育を受けたものとみなさない。

② **基礎資格取得後２年以内**であること。[平成30(2018)年４月１日から令和２(2020)年３月31日までの間に取得又は取得見込みであること。]

③ **医学部医学科を志願する者**は，TOEFL-PBT，TOEFL-iBT又はTOEIC L&Rを受験し，TOEFL-PBTの得点は500点以上，TOEFL-iBTの得点は61点以上，TOEIC L&Rの得点は550点以上であること。

(3) そ の 他

国家試験等の統一試験がある国では，その統一試験を受験していることが望ましい。
（「４　出願手続　(2)出願書類等」の「カ　成績証明書等」参照）

３　帰国子女入試日程

事　　項	日　時・期　間
出願資格照会期限	令和元(2019)年９月13日(金)まで
インターネット出願登録期間	令和元(2019)年10月３日(木)　午前10時から 令和元(2019)年10月10日(木)　午後５時まで
出願書類等本学受領期限	令和元(2019)年10月15日(火)まで（午後５時必着）
第１次選考結果通知	令和元(2019)年11月８日(金)　午後発送（予定）
第２次選考日（課題論文・面接等実施日）	令和元(2019)年11月24日(日)
合格発表日	令和元(2019)年12月10日(火)　午後４時（予定）
入学手続期間	令和元(2019)年12月13日(金)から 令和元(2019)年12月18日(水)まで（午後５時必着）

４　出願手続

(1) 出願期間

① インターネット出願登録期間

令和元(2019)年10月３日(木)午前10時から
令和元(2019)年10月10日(木)午後５時まで

② 出願書類等本学受領期限

令和元(2019)年10月15日(火)午後５時必着

(2) 出願書類等

出願書類等	留　意　事　項
ア 入学願書	インターネット出願登録サイトにて,必要事項の入力後に作成される「入学願書」を印刷し，出願前３か月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの**写真**（縦４cm×横３cm）を所定の欄に貼ってください。写真の裏には，出願する「学部・学科等名」及び「氏名」を記入してください。
イ 写真票	インターネット出願登録サイトにて，願書と一緒に印刷される「写真票」に，出願前３か月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真（縦４cm×横３cm）を所定の欄に貼ってください。写真の裏には，出願する「学部・学科等名」及び「氏名」を記入してください。
ウ 切手貼付票	所定の欄に**374円分の切手**を貼ってください。（第１次選考結果通知用）
エ 高等学校の卒業(修了)証明書又は同見込証明書	卒業（修了）又は同見込みの学校長が発行するものを提出してください。 卒業証明書を発行しない学校の場合は，卒業証書（Diploma）の写しに学校が原本証明したものを提出してください。 なお，英文又は和文以外の場合は，和訳を添付してください。
オ 学校要覧等	学校の沿革，概要，志願者が履修したカリキュラム等が記載されたもの（該当部分のみの写しで可）を提出してください。 冊子体がない場合はwebサイト等の該当ページの写しでも構いません。 なお，英文又は和文以外の場合は，和訳（沿革，概要，カリキュラムが記載された部分を要約したもの）を添付してください。
カ 成績証明書等	**a 「２ 出願資格の(1)－①（３ページ)」に該当する者** 最終卒業（修了）学校（複数の高等学校等に在籍した場合は，すべての学校）の成績証明書を提出してください。
	b 「２ 出願資格の(1)－②（３ページ)」に該当する者 国際バカロレア事務局（International Baccalaureate Office）が授与する国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)の写し及びIB最終試験の成績評価証明書を提出してください。
	c 「２ 出願資格の(1)－③（３ページ)」に該当する者 大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し及び成績評価証明書を提出してください。
	d 「２ 出願資格の(1)－④（３ページ)」に該当する者 バカロレア資格証書（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）の写し及び成績評価証明書を提出してください。
	e 「２ 出願資格の(1)－⑤（３ページ)」に該当する者 General Certificate of Education Advanced Level（GCEAレベル）の成績評価証明書を提出してください。
	f 日本国の高等学校又は中等教育学校等に在学したことがある者 **調査書**を併せて提出してください。 なお，高等学校等で調査書を発行できない場合は，在学証明書と成績証明書を提出してください。
	g 国家試験等の統一試験を受験している者 下記のような統一試験を受験している者は，その成績評価証明書等を提出してください。原本の提出が原則ですが，高等学校等において証明書の写しに原本証明したものでも構いません。 なお，発行に時間がかかるものは早めに手配してください。 ・アメリカ合衆国の教育制度によるもの ＊ College Board（CB）又はEducational Testing Service（ETS）が実施する下記試験の成績評価証明書（スコアレポート） ・SAT ・SAT Subject Tests ・Test of English as a Foreign Language（TOEFL） （Examinee Score Report（原本）で可）

	＊ American College Testing Program（ACT）が行うACT Examinationの成績評価証明書 ・イギリスの教育制度によるもの General Certificate of Education（GCE）の成績評価証明書 ・その他の国の教育制度によるもの 統一試験がある国については，その統一試験の成績評価証明書 **◎　なお，医学部医学科に出願する者については，TOEFL-PBT，TOEFL-iBT，TOEIC L&Rのいずれかを必ず受験し，その成績評価証明書を提出してください。** ※TOEFL-PBT又はTOEFL-iBTのOfficial Score ReportをETSから直接送付されるように手配する場合のInstitution Codeは 0362 です。
	注１　上記のａ，ｂ，ｃ，ｄ，ｅ，ｇの中の成績関係の証明書及びｆは，全て学校長又は機関の長が作成したものとします。 ２　上記のａ，ｂ，ｃ，ｄ，ｅ及びｇの中の成績関係の証明書の科目名，成績評価等が符号，略字等で表示されている場合で，証明書に説明がない場合は，その説明書も添付してください。 ３　いずれの試験についても，受験科目やレベルの指定はありません。また，医学部医学科のTOEFL及びTOEICを除き，得点の条件はありません。
キ　推　薦　書	**（「２　出願資格の(1)－①（３ページ）」に該当する者のみ）** 卒業した高等学校等の学校長又は教員が英文又は和文で作成し，厳封したものとします。 「７　第１次選考の配点（10ページ）」に関わらず，いずれの学部・学科等に出願する場合においても提出してください。 なお，推薦書の用紙は，インターネット出願登録サイト上に掲載してあるもののほか，任意の様式を使用しても差し支えありませんが，留意事項を必ず確認のうえ作成してください。 ※基礎資格が，国際バカロレア資格，ドイツ連邦共和国のアビトゥア資格，フランス共和国のバカロレア資格及びGCEAレベル資格の者は提出を要しません。
ク 本人のパスポートの写し等	志願者本人の「写真・氏名等が掲載されているページ」の写しを提出してください。 なお，外国籍で日本国の永住許可を得ている者は，「在留カード」（両面）の写しもあわせて提出してください。 ※写しをとる際はＡ４サイズの用紙を使用してください。
ケ　自己推薦書	志願する学部の所定様式をインターネット出願登録サイトからダウンロードして志願者本人が記入してください。
コ　諸活動の記録	**（文学部，法学部，経済学部，理学部（物理学科），医学部，歯学部，農学部，獣医学部の志願者のみ）** 志願する学部の所定様式をインターネット出願登録サイトからダウンロードして志願者本人が記入してください。
サ　検　定　料 （17,000円）	**【検定料の払込方法】** 検定料は，インターネット出願登録後に表示される支払手続き画面に従い，支払ってください。支払方法は以下のとおりです。 （７ページ「(3)②支払い方法の選択，検定料の支払い」を参照） a.　クレジットカードによる支払い （VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS 等） b.　Pay-easy（銀行ATM，ゆうちょ銀行ATM，インターネットバンキング），コンビニエンスストア，ジャパンネット銀行，楽天銀行による支払い （支払方法の選択後に発行される各種支払用の番号を忘れずにメモし，各支払機関に持参してください。） c.　中国銀聯ネット決済（ChinaPay）による支払い

サ　検　定　料 （17,000円）	注１）普通為替や現金では受理できないので，注意してください。 注２）支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールは，本人の控えとして大切に保管してください。 注３）出願登録の際，検定料とは別に事務手数料（500円）がかかります。 **【検定料の返還】** １．第１次選考の不合格者には，検定料17,000円のうち13,000円を返還します。返還手続きの詳細については，第１次選考結果とともに通知します。 ２．上記１．に該当する場合の他は，次の場合を除き，いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。 ①検定料の返還ができるもの (ｱ) 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった）場合 (ｲ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 (ｳ) 検定料を振り込み出願書類を提出したが受理されなかった場合 ②返還請求の方法 [①(ｱ)及び(ｲ)に該当する場合] (1)返還請求の理由，(2)氏名（フリガナ），(3)現住所，(4)連絡先電話番号，(5)出願時受付番号（12桁），(6)返還先の銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義（フリガナ）を明記した検定料返還請求書（様式は問いませんがＡ４サイズの用紙を使用してください。）を作成し，必ず検定料を支払ったことを証明する書類を添付して，速やかに以下の送付先へ郵送してください。 なお，払い戻しには相当の日数がかかります。 [①(ｳ)に該当する場合] 本学から，別途返還に必要な書類を送付します。 〔送付先〕　〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目 北海道大学財務部経理課収入担当　TEL（011）706-2048 E-mail　syunyu@finance.hokudai.ac.jp

注　大学からの連絡は，入学願書の「日本国内の連絡先（合否通知送付先）」欄に記載の住所，電話番号又は電子メールアドレスあてに行います。

(3) 出願方法

①　インターネット出願登録

a.　期間中に北海道大学インターネット出願登録サイト（https://e-apply.jp/e/hokudai-gakubu-jpn/）にアクセスしてください。

注１）事前に操作手順や注意事項を必ず確認してください。

注２）本サイトの利用にあたり，必要書類の出力及び検定料支払いの完了メールを受信するため，プリンター及びメールアドレスが必要となります。必ず事前にプリンター及びメールアドレス（**携帯電話のメールアドレスは不可**）を用意してください。

b.　画面のガイダンスに従い必要事項を選択，入力してください。

②　支払い方法の選択，検定料の支払い

インターネット出願登録後に表示される支払手続き画面に従い，次のa～cのいずれかの方法により支払ってください。なお，支払機関により支払いに必要な情報や方法が異なりますので，画面の説明を必ず確認してください。

a.　クレジットカードによる支払い

「カード番号」「有効期限」「カード名義」「セキュリティコード」を入力してください。

b.　Pay-easy（銀行ATM，ゆうちょ銀行ATM，インターネットバンキング），コンビニエンスストア，ジャパンネット銀行，楽天銀行による支払い

【Pay-easyの場合】
支払機関選択後に発行される「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を必ずメモし，Pay-easy対応ATM又はインターネットバンキング対応銀行の画面の説明に従い支払ってください。

【コンビニエンスストアの場合】
支払機関選択後に発行される「お客様番号」「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし，コンビニエンスストアで支払ってください。（日本国内のセブン-イレブン，ローソン，ファミリーマート，ミニストップ，ローソン・スリーエフ，デイリーヤマザキ，セイコーマートにて利用可能です。）

【ジャパンネット銀行，楽天銀行の場合】
画面の説明に従い支払ってください。

c. 中国銀聯ネット決済（ChinaPay）による支払い
各銀行の支払い画面にて，「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」などの支払い情報を入力し支払ってください。

注）出願時に日本国外に在住する者で，a又はcの方法による支払いができない場合は，日本国内の知人等に依頼して支払ってください。

③ 出願書類等の郵送
検定料の支払後に届くメール内のＵＲＬ又は出願登録サイトの「出願内容を確認する」から願書（ＰＤＦ）を印刷し，その他出願に必要な書類（４～６ページのアからコ）と併せて封筒に入れ，願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り，必ず「書留」（日本国外から発送する場合はＥＭＳ（封筒に「帰国子女入試出願書類」と明記））とし，出願書類等本学受領期限（令和元(2019)年10月15日（火）午後５時）までに到着するように郵送してください。なお，直接持参しても受理しません。
すべての書類が本学に到着し受理された時点で出願手続が完了します。インターネット出願登録だけでは出願手続は完了しませんので，ご注意ください。

注）令和元(2019)年10月15日（火）午後５時以降に到着した出願書類は受理しませんので，郵便事情等を考慮して余裕をもって発送してください。なお，必要に応じて「速達書留」としてください。

④ 受験番号の確認
a. 出願手続が完了した志願者は，インターネット出願登録サイトで受験番号を確認できるようになります。令和元(2019)年10月下旬頃，登録されたメールアドレス宛に受験番号掲載のお知らせを送信しますので，メールの指示に従って受験番号を確認してください。

b. 第１次選考結果を，本学ホームページ上（https://www.hokudai.ac.jp/）に掲載しますので，受験番号により第１次選考の合否を確認してください。**（電話・電子メール等による問合せには，一切応じません。）**

インターネット出願登録（操作手順及び支払方法）に関する問合せ

(1) 問合せ方法

電話又は電子メールによること。

(2) 問合せ先

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター

電　話：0120-708898（受付時間：月曜日～金曜日(祝日等を除く) 10:00～18:00）

（フリーダイヤルを利用できない場合は03-5804-5515）

E-mail：cvs-web@disc.co.jp

(4) 留意事項

① 出願書類等に不備がある場合は受理できませんので，誤記，記入漏れのないように注意してください。

② 出願後に志願する学部・学科・専攻等を変更することは，いかなる理由があっても認めません。

③ 出願後に入学願書等の住所に変更があった場合は，下記担当に速やかに連絡してください。

④ いったん受理した出願書類等は，いかなる理由があっても返還しません。

⑤ 出願書類等に虚偽の記載が発見された場合は，入学許可を取り消すことがあります。

入学試験に関する問合せ

(1) 問合せ方法

電子メール又は電話によることとします。

なお，郵便による場合は，必ず返信用封筒（郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し，切手を貼る。）を同封してください。

また，出願後の問合せに際しては，志願した学部・学科・専攻・コース等を明示してください。

(2) 問合せ先

〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目

北海道大学学務部入試課

電　話：(011) 706-7484（月曜日～金曜日(祝日等を除く) 8:30～17:00）

E-mail：exam2@academic.hokudai.ac.jp

(3) 北海道大学ホームページＵＲＬ

https://www.hokudai.ac.jp/

５　受験上の配慮についての事前相談

本学に入学を志願する者で，下表に該当する場合は，あらかじめ受験上及び修学上の対応が必要となることがありますので，令和元(2019)年９月13日(金)までに学務部入試課（26ページの「北海道大学アドミッションセンター入学相談室」参照）に申し出てください。
（申請様式を本学ホームページ(https://www.hokudai.ac.jp/admission/faculty/special-assistance.html)に掲載しています。）

なお，申請の内容及び時期によっては，試験までに対応できず，受験上の配慮ができないこともありますので，ご了承ください。

その他受験上及び修学上の相談については，通年受け付けています。

区　　分	障　害　の　程　度
視覚障害者	両眼の矯正視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	１　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ２　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　弱　者	１　慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ２　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ　の　他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とする程度の機能障害を有するもの

（注　学校教育法施行令第22条の３の規定に準拠した。）

注）日常生活において，ごく普通に使用されている補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合にも，試験場設定や他の特別な配慮との関係から必ず事前に申し出てください。

６　入学者選抜方法

大学入試センター試験を免除し，次の方法により選考します。

(1) 第１次選考

出願書類により選考を行います。

(2) 第２次選考

第１次選考の合格者に対し，課題論文（または総合問題）及び面接により選考を行います。

課題論文（または総合問題）において与えられる文章には，高等学校（相当する学校）等で学習した内容（英文，数式，理科の公式など）を含むことがあります。

面接では，口頭試問等を含む基礎学力の判定も行います。

７　第１次選考の配点

学部・学科等			出願書類	配点
文学部			資格・成績証明書等	50
			推薦書 自己推薦書 諸活動の記録	50
教育学部			資格・成績証明書等	50
			推薦書 自己推薦書	50
法学部			資格・成績証明書等 推薦書	60
			自己推薦書 諸活動の記録	40
経済学部			資格・成績証明書等	60
			推薦書 自己推薦書 諸活動の記録	40
理学部	数学科		資格・成績証明書等	60
			推薦書 自己推薦書	40
	物理学科		資格・成績証明書等 諸活動の記録	40
			推薦書 自己推薦書	60
	化学科		資格・成績証明書等	60
			推薦書 自己推薦書	40
	生物科学科	(生物学専修分野)	資格・成績証明書等	40
			推薦書 自己推薦書	60
		(高分子機能学専修分野)	資格・成績証明書等	40
			推薦書 自己推薦書	60
	地球惑星科学科		資格・成績証明書等	50
			推薦書 自己推薦書	50

学部・学科等	出願書類	配点
医学部	資格・成績証明書等	50
	推薦書 自己推薦書 諸活動の記録	50
歯学部	資格・成績証明書等 推薦書	50
	自己推薦書 諸活動の記録	50
薬学部	資格・成績証明書等	50
	推薦書 自己推薦書	50
工学部	資格・成績証明書等	60
	自己推薦書	40
農学部	資格・成績証明書等	50
	推薦書 自己推薦書 諸活動の記録	50
獣医学部	資格・成績証明書等 推薦書	50
	自己推薦書 諸活動の記録	50
水産学部	資格・成績証明書等	40
	自己推薦書	60

８　第１次選考結果の発表

(1) 日　　時

令和元(2019)年11月８日(金)

(2) 通知方法

志願者全員に郵便により通知します。(同日午後に発送予定のため，到着まで２～３日かかることがあります。)

また，第１次選考合格者の受験番号を，同日午後４時頃，本学ホームページ上（https://www.hokudai.ac.jp/）に掲載します。**(電話・電子メール等による問合せには，一切応じません。)**

９　受　験　票

(1) 受験票の郵送

第２次選考受験票は，第１次選考合格者に対し，第１次選考結果通知とあわせて入学願書の「日本国内の連絡先」欄の住所あてに郵送します。

なお，受験票には，受験番号，試験場及び受験者心得等が記載されています。

(2) 受験票の持参

第２次選考当日は，受験票を忘れずに持参してください。

【留意事項】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は,北海道大学ホームページの下記URLに随時情報を掲載してお知らせします。

北海道大学ホームページURL：https://www.hokudai.ac.jp/

北海道大学ホームページ（携帯電話用）URL：https://www.hokudai.ac.jp/keitai/

10　第２次選考の配点

学部・学科等			配　点		ね　ら　い
文　学　部			課題論文	60	読解力，論理的思考力，問題発見能力，表現力等を問う。
			面　接	40	人間や人間の社会・文化・歴史に対する知的関心の度合い，学ぶことに対する目的意識・意欲，表現力等を問う。
教　育　学　部			課題論文	60	読解力，論理的思考力，表現力及び日本語能力等を総合的に問う。
			面　接	40	目的意識，意欲，論理的思考力，表現力等を問う。
法　学　部			課題論文	60	読解力，問題発見能力，論理的思考力，表現力等を問う。
			面　接	40	目的意識，適性，基礎学力等を問う。
経　済　学　部			課題論文	50	論理的思考力，問題発見能力，表現力等を総合的に問う。
			面　接	50	個性，意欲，資質，適性，基礎学力などを問う。
理学部	数　学　科		総合問題	50	数学の問題を出題し，数学についての発想力，計算力，論理的思考力，表現力を評価する。
			面　接	50	数学に関する質疑により資質を判定し，数学への興味・意欲及び基礎学力を問う。
	物　理　学　科		課題論文	50	数学的素養，論理的思考力，及びこれに基づき現象を解明するセンスを問う。
			面　接	50	物理学に対する興味，意欲，適性，そして暗記に頼らない問題解決能力を問う。
	化　学　科		課題論文	50	基礎的な科学的知識，論理的思考力，語学能力を問う。
			面　接	50	意欲，目的意識，化学に対する興味，適性等を問う。
	生物科学科	（生物学専修分野）	課題論文	50	論理的思考力を問う。
			面　接	50	意欲，目的意識，生物科学に対する興味，適性及び基礎学力等を問う。
		（高分子機能学専修分野）	課題論文	50	論理的思考力を問う。
			面　接	50	意欲，目的意識，生物科学に対する興味，適性及び基礎学力等を問う。
	地球惑星科学科		課題論文	50	論理性と判断力を問う。
			面　接	50	意欲，目的意識，論理的思考力を問う。
医学部	医　学　科		課題論文	50	日本語能力，論理性，読解力，思考力，判断力等を問う。
			面　接	50	主に，日本の高等学校における理科（物理・化学・生物の３科目）について，高い理解力を有しているかを問う他，意欲，目的意識，実行力，適性等を問う。
	保　健　学　科		課題論文	50	日本語能力，論理性，読解力，思考力，判断力等を問う。
			面　接	50	意欲，目的意識，実行力，適性等を問う他，放射線技術科学専攻志願者にあっては，日本の高等学校における理科の物理について，検査技術科学専攻志願者にあっては，日本の高等学校における理科の化学について，高い理解力を有しているかを問う。
歯　学　部			課題論文	50	読解力，論理的思考力を問う。
			面　接	50	意欲，表現力，論理性，協調性及び日本の高等学校における理科（物理・化学・生物の３科目）のうち，本学が指定した２科目の理解度を問う。
薬　学　部			総合問題	40	基礎的な科学的知識，論理的思考力，語学力を問う。
			面　接	60	意欲，目的意識，積極性，論理性，会話の簡潔性，理科（物理・化学・生物のうちで高校等で履修した２科目）の理解度を問う。
工　学　部			課題論文	50	科学技術を素材にして，論理的思考力，洞察力，表現能力を問う。
			面　接	50	意欲，目的意識，実行力，基礎学力等を問う。
農　学　部			課題論文	50	自分の考えを論理的に記述する能力を問う。
			面　接	50	意欲，目的意識，論理性，協調性，適性，基礎学力等を問う。
獣　医　学　部			総合問題	50	高等学校で学習する理科（物理，化学，生物）の理解度，読解力，論理的思考力を問う。
			面　接	50	意欲，資質，適性，基礎学力等を問う。
水　産　学　部			課題論文	50	読解力，論理的思考力を問う。
			面　接	50	目的意識，積極性（意欲），表現力，協調性等を問う。

11　第２次選考の日時

課題論文等及び面接の日時と会場は次のとおりです。

学部・学科等			令和元(2019)年11月24日(日)			
			諸　注　意	課題論文 (または総合問題)	面　　接	会　　場
文　　学　　部			9：15～ 9：30 (15分)	9：30～11：00 (90分)	13：00～	※北海道大学 札幌キャンパス
教　育　学　部			8：45～ 9：00 (15分)	9：00～10：30 (90分)	13：15～	
法　　学　　部			9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：30～	
経　済　学　部			9：15～ 9：30 (15分)	9：30～11：00 (90分)	13：00～	
理学部	数　学　科		9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：00～	
	物　理　学　科		9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：30～	
	化　学　科		9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：00～	
	生物科学科	（生物学専修分野）	9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：00～	
		（高分子機能学専修分野）	9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：00～	
	地球惑星科学科		9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：30～	
医学部	医　学　科		8：45～ 9：00 (15分)	9：00～10：00 (60分)	10：15～	
	保　健　学　科		8：45～ 9：00 (15分)	9：00～10：00 (60分)	10：30～	
歯　　学　　部			9：15～ 9：30 (15分)	9：30～12：00 (150分)	13：30～	
薬　　学　　部			9：45～10：00 (15分)	10：00～11：40 (100分)	13：00～	
工　　学　　部			9：15～ 9：30 (15分)	9：30～11：30 (120分)	13：30～	
農　　学　　部			9：45～10：00 (15分)	10：00～12：00 (120分)	13：00～	
獣　医　学　部			9：15～ 9：30 (15分)	9：30～11：30 (120分)	13：00～	
水　産　学　部			10：10～10：30 (20分)	10：30～12：00 (90分)	13：00～	※北海道大学 函館キャンパス

※　集合時刻や会場等の詳細は，受験票に記載して通知します。

12　合格者の発表

(1) 日　　時

令和元(2019)年12月10日(火)　午後４時（予定）

(2) 掲示場所及び通知方法

本学高等教育推進機構（札幌市北区北17条西８丁目）正面玄関に合格者受験番号を掲示するとともに，第２次選考受験者全員に対し，入学願書の「日本国内の連絡先」欄の住所あてに郵便により合否を通知します。

（合格発表後に速達郵便等で発送するため，到着まで２～３日かかることがあります。）

また，午後４時頃に本学ホームページ上（https://www.hokudai.ac.jp/）に合格者受験番号を掲載します。

なお，電話・電子メール等による合否に関する問合せには，一切応じません。

13　入学手続

(1) 入学手続期間

令和元(2019)年12月13日(金)から令和元(2019)年12月18日(水)まで（午後５時必着）

(2) 入学手続時に要する経費

入学料　282,000円（予定額）

① 入学料は，本学所定の振込用紙（合格通知に同封）を使用して銀行等（ゆうちょ銀行含む）の窓口で振り込んでください。**（振込手数料は振込者の負担となります。）**

なお，ＡＴＭ（現金自動預払機）は利用しないでください。

② 振り込んだ入学料は，入学手続完了者には返還できません。

③ 入学料免除（徴収猶予）希望者は，18ページを参照してください。

なお，入学料免除（徴収猶予）申請者は，入学手続きの際に入学料を振り込まないでください。

※　授業料について

① **令和２(2020)年度授業料納入金額（前期分）　267,900円（年額535,800円）（予定額）**

振込用紙を用いた「振込」と指定の口座から引き落とす「口座振替」の２つの方法から選択して納入してください。

「授業料納入のお知らせ」送付時期　…　前期　５月中旬
後期　11月中旬

② 入学時及び在学時に学生納付金の改定が行われた場合には，改定時から新たな学生納付金が適用されます。

③ 授業料免除希望者は，19ページを参照してください。

(3) 提出書類

(2)により入学料を振り込んだ際に銀行等(ゆうちょ銀行含む)から発行される「日附印」が押された**「入学料受付証明書」**（「Ｅ」と印字された部分）**の原本を所定の台紙にはり付けたもの**

(4) 入学手続方法（郵送のみ）

① (3)の書類を，入学手続期間内に必ず到着するように「速達書留」で郵送してください。

② 郵送に使用する封筒の表に「帰国子女入試入学手続書類在中」と朱書きし，裏面には，学部・学科等，受験番号，氏名を記入してください。

送 付 先	〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目 北海道大学学務部教育推進課

(5) 入学手続完了後

入学式，新入生オリエンテーション等の案内及び修学関係書類は３月６日頃に送付します。

入学手続完了者で特別な事情により入学ができなくなった場合は，速やかに学務部教育推進課全学教育・総合教育担当（TEL（011）706-6098・5083）に電話で連絡し，指示を受けてください。

14　獣医学部共同獣医学課程の教育について（その他必要な経費）

獣医学部では，帯広畜産大学と共同獣医学課程を編成し，両大学の強みを活かした教育を実施しており，専門科目の一部は帯広畜産大学で開講します。獣医学部に入学・進級する学生は，帯広畜産大学（帯広市）及び学外における授業履修に必要な，移動費・宿泊費等の一部及び保険料が別途必要です。必要な経費等の詳細は，下記の連絡先へお問合せください。

連 絡 先	〒060-0818　札幌市北区北18条西９丁目 北海道大学獣医学系事務部教務担当 TEL（011）706-5175

15　個人情報の取扱い

(1) 本学では，個人情報の取扱いについては，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「EU一般データ保護規則」を遵守するとともに，「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき，保護に万全を期しています。

(2) 出願及び出願資格照会に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選考実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜実施方法等に関する調査・研究，及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(3) 合格者のみ，(2)の個人情報を入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請，入寮選考，福利厚生等），③就職支援関係，④授業料等に関する業務，⑤附属図書館利用に関する業務，⑥情報教育施設利用に関する業務，⑦災害緊急時の安否確認・連絡等に関する業務，⑧広報関係（広報物，行事のご案内等の送付）に利用します。

なお，北海道内の国立大学が，教養教育の充実強化を図る目的で締結した単位互換協定に基づく包括的授業の運営のため，①，⑤，⑥，⑦，⑧の業務に必要な個人情報が国立大学法人北海道教育大学（北海道札幌市北区あいの里5-3-1-3，011-778-0206），国立大学法人室蘭工業大学(北海道室蘭市水元町27-1，0143-46-5000)，国立大学法人小樽商科大学(北海道小樽市緑3-5-21，0134-27-5206)，国立大学法人帯広畜産大学（北海道帯広市稲田町西2線11，0155-49-5216），国立大学法人旭川医科大学（北海道旭川市緑が丘東2-1-1-1，0166-65-2111)，国立大学法人北見工業大学（北海道北見市公園町165，0157-26-9113)，及び北海道地区国立大学連携教育機構（北海道札幌市北区北17西8，011-706-8086）へ提供されることがあります。

(4) 獣医学部合格者については，国立大学法人帯広畜産大学（北海道帯広市稲田町西2線11，0155-49-5216）と共同して教育を実施するため（共同獣医学課程），上記(3)の①～⑧の業

務に必要な個人情報が帯広畜産大学へ提供されます。

(5) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等に関する調査・研究を行うために利用します。

(6) 北大フロンティア基金（北海道札幌市北区北8西5，011-706-2017）及び次の①～⑥の本学関連団体から，当該組織への加入活動に係る情報提供の要請があった場合は，(2)の個人情報について，当該組織の活動に必要な範囲に限り提供することがあります。
①北海道大学体育会（北海道札幌市北区北17条西7，011-716-4815），②北海道大学医学部医学科学友会（医学部医学科合格者のみ対象）（北海道札幌市北区北15条西7，011-706-5007），③北海道大学歯学部学友会（歯学部合格者のみ対象）（北海道札幌市北区北13条西7，011-706-4902），④北海道大学工学部北工会（工学部合格者のみ対象）（北海道札幌市北区北13条西8，011-706-7131），⑤学部同窓会（北海道札幌市北区北8条西5，011-716-2111），⑥北海道大学校友会エルム（北海道札幌市北区北9条西6，011-706-2101）

(7) (2)の個人情報は，取得した年度の翌年度から５年間保存されます。

(8)本学による個人情報の取り扱いは，EU一般データ保護規則第６条第１項(a)を根拠とし，当該同意に基づき，個人情報を取扱います。個人情報は，法令等に基づく場合を除き，同意のあった取扱い目的のみに使用されます。

(9) (8)の同意は，いつでも撤回することができます。また，撤回前の同意に基づく適法な取扱いに影響を与えるものではありません。

(10) 個人情報の提供者は，本学に対してEU一般データ保護規則及び関係法令等に基づいて，次の①～⑥を要求することができます。
①個人情報の開示，②個人情報の訂正，③個人情報の消去，④個人情報の取扱い制限，⑤個人情報の取扱いへの異議申し立て，⑥他の事業者への個人情報の移転

(11) EEA（欧州経済領域）域内で個人情報を提供した者は，本学の個人情報の取扱い等に不服がある場合，EU一般データ保護規則第51条第１項に基づく監督機関へ申し立てることができます。

(12) 上記(2)～(6)の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる範囲に限り，お知らせいただいた個人情報の全部又は一部が提供されます。
＜受託業者一覧（住所，連絡先）＞
・株式会社ディスコ（東京都文京区後楽2-5-1，03-5804-5500）

(13)日本の「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の適用を受ける本学は，欧州委員会による十分性認定の決定の対象ではありません。

16　予告（令和３(2021)年度帰国子女入試における変更）

理学部生物科学科（生物学専修分野，高分子機能学専修分野）及び地球惑星科学科では，令和３(2021)年度入試から，第２次選考の選抜方法のうち，課題論文を「総合問題」に変更します。

17　入学料免除（徴収猶予）と授業料免除

(1) 入学料免除及び徴収猶予について

入学料免除及び徴収猶予を希望する者は，以下により申請手続きを行ってください。

ア　入学料免除の対象者

① 平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までの間に，**本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害**を受け，入学料の納入が著しく困難であると認められる者

② ①に準ずる場合であって，総長が相当と認める事由がある場合

イ　入学料徴収猶予の対象者

① 上記ア①の対象者

② 経済的理由により入学料の納入期限までに納入が困難であると認められる者

③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

ウ　入学料免除の額及び徴収猶予の期間

入学料の免除が必要と認められた者については，納入すべき入学料の全額又は半額を免除します。また，入学料の徴収猶予が必要と認められた者については，令和２(2020)年９月30日(水)まで入学料の納入を猶予します。

エ　関係資料の請求方法及び請求先

封筒に「入学料免除（又は徴収猶予）関係資料請求」と朱書きし，郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒（角形２号等のＡ４サイズの書類が入るもの）を同封の上，郵送で請求してください。

請 求 先	〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目 北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当

オ　関係資料の請求期間

令和元(2019)年11月28日(木)から令和元(2019)年12月12日(木)まで（必着）

カ　申請書類の提出期間及び提出方法

提出期間　入学手続期間中

提出方法　入学手続関係書類に同封してください。

キ　留意事項

入学料免除（徴収猶予）の申請を希望する者は，入学手続きの際に入学料を納入しないでください。

全額免除が認められた者以外については，免除（徴収猶予）判定の決定後（７月上旬を予定），新たに発行する振込用紙により入学料を納入してください。

ク　入学料免除（徴収猶予）に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当　TEL（011）706-7530

(2) 授業料免除について

授業料免除を希望する者は，以下により申請手続きを行ってください。

ア　授業料免除の対象者

① 経済的理由により授業料の納入が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者

② 平成31(2019)年４月から令和２(2020)年３月までの間に本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，授業料の納入が著しく困難であると認められる者

③ ②に準ずる場合であって，総長が相当と認める事由がある場合

イ　授業料免除の額

授業料の免除が必要と認められた者については，納入すべき授業料の全額，半額又は４分の１を免除します。

ウ　関係資料の取得方法

北海道大学ホームページへ掲載しますので，申請希望者は直接ダウンロードして使用してください。（ダウンロードが困難な場合は下記問合せ先までご相談ください。）

北海道大学ホームページ（URL https://www.hokudai.ac.jp/）
トップメニュー＞学生生活＞各種手続き・証明書＞入学料・授業料＞新着情報＞
令和２(2020)年度前期分授業料免除申請関係資料（ダウンロード）

※令和２(2020)年２月上旬にホームページへ掲載予定です。

エ　申請書類の提出先及び提出期限

提 出 先　**北海道大学高等教育推進機構④窓口（学務部学生支援課奨学支援担当）**
提出期限　**令和２(2020)年４月上旬予定**

※詳細については関係資料をご覧ください。

オ　授業料免除に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課奨学支援担当　TEL（011）706-7530

18　学生寮の入寮案内

本学では，学生に対し，学生生活のための良好な環境を提供することを目的として，札幌地区に２つの学生寮を置いています。

(1) 概　要

・恵迪寮（男女混住寮）・・・札幌市北区北18条西13丁目３番地（札幌キャンパス内）

①　設　置 … 昭和58年４月
②　定　員 … 580名　日本人学部学生（男子）　400名
　　日本人学部学生（女子）　90名
　　日本人大学院学生（男子）　50名
　　外国人留学生（男子）　40名
③　規　模 … 鉄筋５階建６棟，共用棟２階建１棟，個室580室
　　日本人学生居室9.5㎡，外国人留学生居室12.0㎡
④　寄宿料 … 日本人学生は月額4,300円，外国人留学生は月額4,700円
　　※その他，光熱水料等の経費が（実費）月額5,000円程度かかります。

・霜星寮（女子寮）・・・札幌市北区北14条西２丁目１番10号（札幌キャンパス外）

①　設　置 … 昭和59年４月
②　定　員 … 85名　日本人学生（女子）　64名
　　外国人留学生（女子）　21名
③　規　模 … 鉄筋４階建，個室85室
　　日本人学生居室9.1㎡，外国人留学生居室9.9㎡，9.1㎡
④　寄宿料 … 日本人学生は月額4,300円，外国人留学生は月額4,700円(9.9㎡)，
　　4,300円(9.1㎡)
　　※その他，光熱水料等の経費が（実費）月額5,000円程度かかります。

・学生寮の施設等に関する情報は，本学ホームページにも掲載しています。
北海道大学ホームページ（URL https://www.hokudai.ac.jp/）
トップメニュー＞学生生活＞各種手続き・証明書＞住まい（学生寮・アパートなど）・アルバイト

(2) 入寮募集について

令和２(2020)年４月入寮募集に関する詳細については，合格通知書に同封する「入寮案内」でお知らせします。

(3) 学生寮に関する問合せ先

北海道大学学務部学生支援課生活支援担当　TEL（011）706-7532

「大学案内誌（Be ambitious）」の請求方法

（日本国内に送付する場合）

北海道大学案内誌（Be ambitious）について

本学及び本学各学部の概要，教育理念，学習目標，カリキュラムの特徴，求める学生像を理解してもらうため，「北海道大学案内誌（Be ambitious)」を配付しています。

入手希望者は，窓口（入試課又はインフォメーションセンター「エルムの森」）で直接受領するか，郵送を希望する場合は以下のいずれかの方法により請求してください。

(1) テレメールで請求する方法

(ｱ) 北海道大学ホームページから直接請求する場合

北海道大学ホームページからテレメールを経由して大学案内が請求できます。詳しくは北海道大学ホームページ（URL https://www.hokudai.ac.jp/）の「入学案内」→「資料請求」をご覧ください。発送開始日は，下記(ｲ)と同じです。

(ｲ) インターネット・自動音声応答電話で請求する場合

テレメール（インターネットまたは24時間自動音声応答電話）を利用してください。

テレメール

インターネットの場合（パソコン・携帯電話・スマートフォン）	https://telemail.jp ※右のバーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。
自動音声応答電話の場合	**ＩＰ電話　０５０－８６０１－０１０１（24時間受付）** ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも３分毎に約12円です。

資料請求番号　**５６０２０２（215円後納／6月29日発送予定）**

※上記(ｱ)，(ｲ)とも，料金はお届けする資料に同封されている料金支払い用紙の支払い方法に従い，表示料金をお支払いください。
なお，支払いに際して手数料が別途必要です（手数料は支払い方法によって異なります。）。

テレメールに関する請求方法・発送についてのお問合せ先：
テレメールカスタマーセンター　IP電話　050-8601-0102（ 9:30～18:00　12/31，1/1を除く）

(2) 大学情報センターの「モバっちょ」で請求する場合（料金：200円）

携帯電話，スマートフォン及びパソコンから請求できます。（お急ぎの方は宅配便も利用できます。）URL：http://djc-mb.jp/hokudai3/

【料金の支払方法】

①請求時払い	携帯電話払い，スマートフォン払い及びクレジットカード払いができます。 （支払手数料が別途50円必要です。） ※携帯電話・スマートフォンの機種，携帯電話会社との契約状況によっては，通話料金と一緒に支払いができない場合があります。その場合は「②後払い」を選択してください。
②後払い	資料到着後，コンビニエンスストアでお支払いください。 （支払い手数料が別途126円必要です。）

「モバっちょ」に関する請求方法・発送についてのお問合せ先：
大学情報センター株式会社　モバっちょカスタマーセンター
電話　050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

※　「北海道大学案内誌（Be ambitious)」の電子版は，本学ホームページ「入学案内」の「入試・入学関係資料ダウンロード」のページにも掲載しています。

※　郵便料金等の改定が行われた場合は，改定時から新たな料金が適用されます。

学部案内誌の請求方法

（日本国内に送付する場合）

学部案内誌について

本学の各学部では,それぞれの案内誌を作成しており,希望者には直接配付又は郵送しています。

入手希望者は，窓口（入試課，各学部又はインフォメーションセンター「エルムの森」）で直接受領するか，郵送の場合は，下記のとおり返信用封筒（郵便番号，住所，氏名を明記し，郵送料分の切手をはる。）を同封の上，各学部あて封筒の表に**「学部案内請求」**と朱書きし，請求してください。

ただし，文学部及び工学部の案内を希望する場合は，下記により請求してください。

※　郵送料は令和元(2019)年５月現在の額ですので,請求前に北海道大学ホームページ「入学案内」の「資料請求」のページで確認してください（郵便料金の改定が行われた場合は，改定時から新たな郵便料金が適用されます。）。

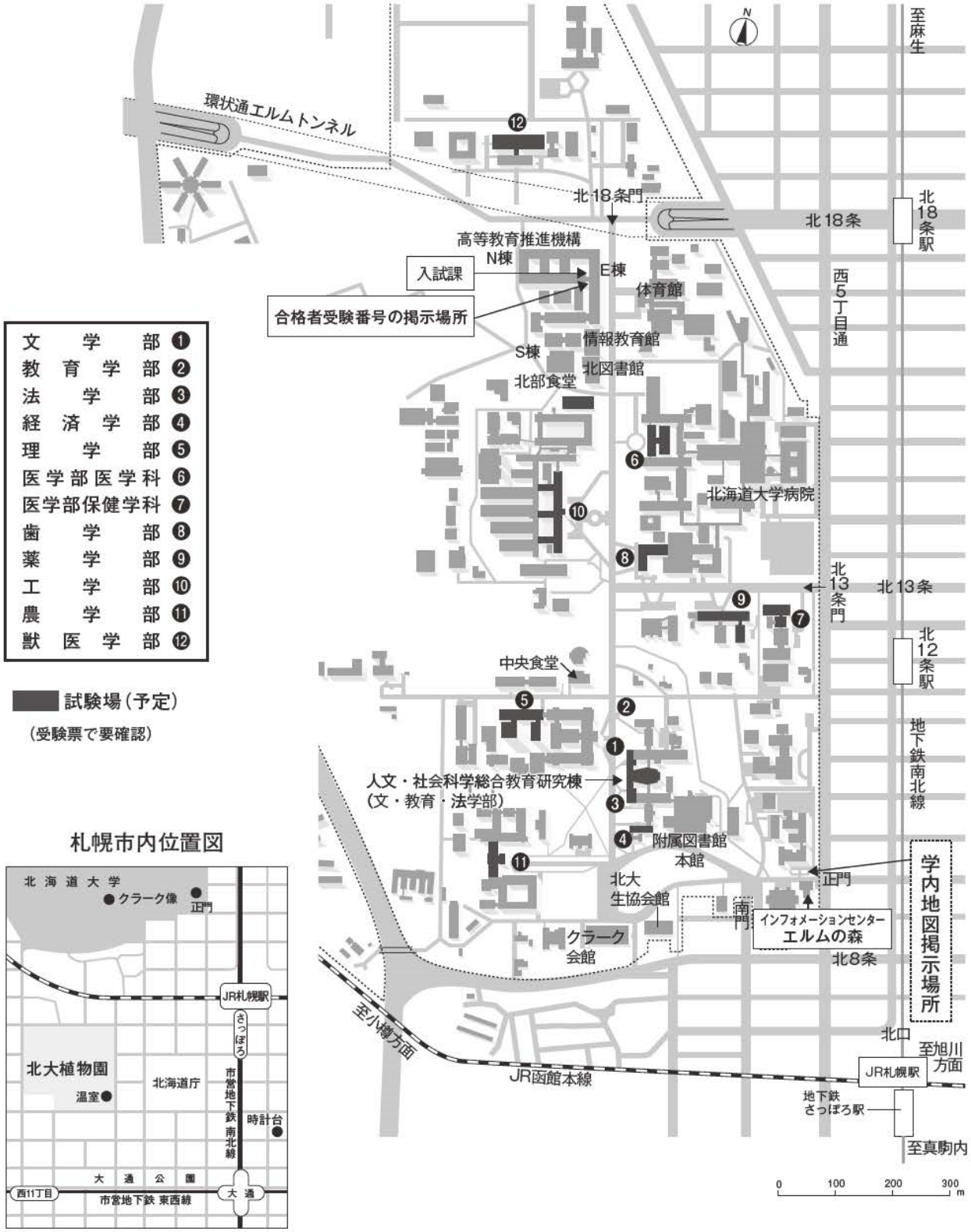
なお，一部の学部・学科の案内誌は，各学部等のホームページにも掲載しています。

学部･学科名	請求・問合せ先	返信用封筒の規格	郵送料(※)	備　考
文 学 部	〒060-0810 札幌市北区北10条西７丁目 北海道大学文学部教務担当 TEL（011）706-3004･3005	文学部ホームページ(https://www.let.hokudai.ac.jp/)から直接請求してください。		学部あて封筒の表に「学部案内請求」と朱書きしてください。 角形２号 (24㎝×33.2㎝)
教育学部	〒060-0811 札幌市北区北11条西７丁目 北海道大学教育学部教務担当 TEL（011）706-3083	角形２号	250円分	
法 学 部	〒060-0809 札幌市北区北９条西７丁目 北海道大学法学部教務担当 TEL（011）706-3121	〃	205円分	
経済学部	〒060-0809 札幌市北区北９条西７丁目 北海道大学経済学部教務担当 TEL（011）706-3163	〃	250円分	
理 学 部	〒060-0810 札幌市北区北10条西８丁目 北海道大学理学部教務担当 TEL（011）706-2670	〃	250円分	
医学部 医学科	〒060-8638 札幌市北区北15条西７丁目 北海道大学医学部医学科教務担当 TEL（011）706-5005･5006	〃	205円分	
医学部 保健学科	〒060-0812 札幌市北区北12条西５丁目 北海道大学医学部保健学科教務担当 TEL（011）706-3318	〃	140円分	
歯 学 部	〒060-8586 札幌市北区北13条西７丁目 北海道大学歯学部教務担当 TEL（011）706-4204	〃	205円分	
薬 学 部	〒060-0812 札幌市北区北12条西６丁目 北海道大学薬学部教務担当 TEL（011）706-3489	〃	250円分	
工 学 部	〒060-8628 札幌市北区北13条西８丁目 北海道大学工学部教務課学生支援担当 TEL（011）706-6707	工学部ホームページ(https://www.eng.hokudai.ac.jp/delivery/)から直接請求してください。		
農 学 部	〒060-8589 札幌市北区北９条西９丁目 北海道大学農学部教務企画担当 TEL（011）706-2422	角形２号	250円分	
獣医学部	〒060-0818 札幌市北区北18条西９丁目 北海道大学獣医学部教務担当 TEL（011）706-5175	〃	140円分	
水産学部	〒041-8611 函館市港町３丁目１番１号 北海道大学水産学部教務担当 TEL（0138）40-5506	〃	205円分	

北海道大学帰国子女入試　学部・学科等別志願者数・合格者数

学部・学科・専攻等	募集人員	平成31(2019)年度			平成30(2018)年度		
		志願者数	第１次選考合格者数	第２次選考合格者数	志願者数	第１次選考合格者数	第２次選考合格者数
文学部	若干名	6	3	0	4	2	0
教育学部	若干名	4	2	0	2	1	0
法学部	若干名	6	6	3	7	7	3
経済学部	若干名	13	4	0	4	4	3
理学部　計	－	8	8	5	5	2	0
数学科	若干名	2	2	2	0	0	0
物理学科	若干名	3	3	1	1	1	0
化学科	若干名	0	0	0	2	0	0
生物科学科（生物学専修分野）	若干名	0	0	0	1	0	0
生物科学科（高分子機能学専修分野）	若干名	3	3	2	0	0	0
地球惑星科学科	若干名	0	0	0	1	1	0
医学部　計	－	7	5	0	18	8	1
医学科	若干名	6	5	0	11	5	0
保健学科　小計	－	1	0	0	7	3	1
看護学専攻	若干名	1	0	0	5	3	1
放射線技術科学専攻	若干名	0	0	0	0	0	0
検査技術科学専攻	若干名	0	0	0	1	0	0
理学療法学専攻	若干名	0	0	0	1	0	0
作業療法学専攻	若干名	0	0	0	0	0	0
歯学部	若干名	1	0	0	0	0	0
薬学部	若干名	4	2	0	3	2	0
工学部　計	－	20	15	10	15	9	1
応用理工系学科	若干名	4	4	2	0	0	0
情報エレクトロニクス学科	若干名	5	4	3	12	6	1
機械知能工学科	若干名	8	4	4	2	2	0
環境社会工学科	若干名	3	3	1	1	1	0
農学部	若干名	1	0	0	3	1	0
獣医学部	若干名	0	0	0	1	0	0
水産学部	若干名	2	0	0	1	1	0
合　　計		72	45	18	63	37	8

北 海 道 大 学 案 内 図（札幌キャンパス）



札幌市内位置図

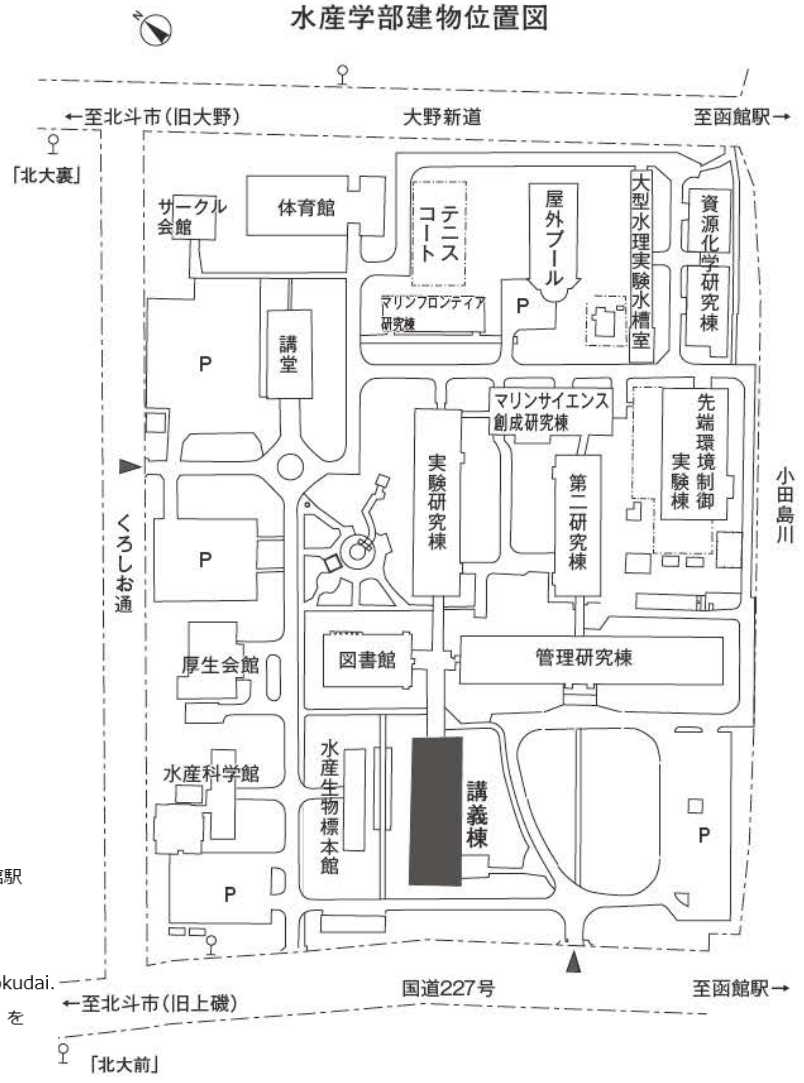
《交通案内》　北大構内：最寄りの門まで（正門，北13条門，北18条門）

JR	「札　幌　駅」下車，徒歩７分
地下鉄南北線・東豊線	「さっぽろ駅」下車，徒歩10分
地下鉄南北線	「北 12 条 駅」下車，徒歩５分
地下鉄南北線	「北 18 条 駅」下車，徒歩10分

北 海 道 大 学 案 内 図（函館キャンパス）

函館市内位置図

水産学部建物位置図



■ 試験場（予定）

～大学へのアクセス～

<JR 函館駅から約 4.5 km>

・タクシーで約 15 分，約 1,700 円

・バスで 15～20 分

（直通バスは本数が少ないのでバス会社 HP で時刻をご確認ください）

・バス停から大学まで徒歩 3-5 分

<JR 五稜郭駅から徒歩の場合 1.8 km，タクシーの場合 3 km>

<函館空港から>

・タクシーで約 30 分，約 3,000 円

<新幹線 新函館北斗駅から>

・函館ライナーで JR 五稜郭駅まで 10 分，JR 函館駅まで 15 分

他，詳細は「水産学部 HP（http://www2.fish.hokudai.ac.jp/department-graduate-school/access/）」をご覧ください。

各　種　問　合　せ　先

○帰国子女入試全般に関すること
学務部入試課特別選抜担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-7484

○検定料，入学料，授業料の支払い及び返還に関すること
財務部経理課収入担当
〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目　電話　(011) 706-2048

○入学手続に関すること
学務部教育推進課全学教育・総合教育担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-6098・5083

○入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除に関すること
学務部学生支援課奨学支援担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-7530

○学生寮に関すること
学務部学生支援課生活支援担当
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目　電話　(011) 706-7532

北海道大学アドミッションセンター入学相談室

「こんな勉強がしたいが，どこの学部に入学したらいいのか」，「○○学部では，自分の希望する勉強が出来るか」，「入試方法のうち△△の部分がよくわからない」など，北海道大学を志望されるみなさんのいろいろな質問や，入学に関する相談に対し，電子メールによる受付を行っています。詳細は，北海道大学ホームページ（https://www.hokudai.ac.jp/admission/）をご覧いただいた上で，ご利用ください。

なお，お問合せの時期・内容によっては，回答までに時間を要する場合がありますので，お急ぎの場合は，電話をご利用ください。

北海道大学アドミッションセンター入学相談室窓口
〒060-0817　札幌市北区北17条西８丁目（学務部入試課内）
TEL（011）706-7484（受付窓口）　FAX（011）706-7488
E-mail　admission@academic.hokudai.ac.jp
E-mail　exam2@academic.hokudai.ac.jp（出願資格照会）

HOKKAIDO UNIVERSITY
FOUNDED 1876

資料保30

学部収容定員一覧（平成２９年度版）

学部	学科又は課程	入学定員	編入学定員	収容定員
文学部	人文科学科	185		740
教育学部	教育学科	50	10	220
法学部	法学課程	200	20	850
経済学部	経済学科	100		400
	経営学科	90		360
	計	190		760
理学部	数学科	50		200
	物理学科	35		140
	化学科	75		300
	生物科学科	80		320
	地球惑星科学科	60		240
	計	300		1,200
医学部	医学科	107	5	667
	保健学科			
	看護学専攻	70		290
	放射線技術科学専攻	37		151
	検査技術科学専攻	37		151
	理学療法学専攻	18		74
	作業療法学専攻	18		74
	計	287	5	1,407
歯学部	歯学科	53		318
薬学部	薬科学科	50		200
	薬学科	30		180
	計	80		380
工学部	応用理工系学科	160	10	640
	情報エレクトロニクス学科	180		720
	機械知能工学科	120		480
	環境社会工学科	210		840
	計	670	10	2,700
農学部	生物資源科学科	36		144
	応用生命科学科	30		120
	生物機能化学科	35		140
	森林科学科	36		144
	畜産科学科	23		92
	生物環境工学科	30		120
	農業経済学科	25		100
	計	215		860

獣医学部	共同獣医学課程	(80) 40		(480) 240
水産学部	海洋生物科学科 海洋資源科学科 増殖生命科学科 資源機能化学科 計	54 53 54 54 215		216 212 216 216 860
総計		(2,525) 2,485	45	(10,775) 10,535

備考

1　学部及び学科又は課程の入学定員は，学生が第２年次に進級した場合の入学定員である。

2　教育学部の編入学定員は，第３年次編入学定員である。

3　法学部の編入学定員は，第２年次編入学定員10名及び第３年次編入学定員10名である。

4　医学部の医学科の編入学定員は，第２年次編入学定員である。

5　工学部の編入学定員は，高等専門学校卒業者の第３年次編入学定員である。

6　獣医学部及び総計の（　）書きの数字は，本学及び帯広畜産大学の合計数である。

大学院収容定員一覧（平成２９年度版）

研究科等	専攻	入学定員			収容定員		
		修士課程	博士後期課程又は博士課程	専門職学位課程	修士課程	博士後期課程又は博士課程	専門職学位課程
文学研究科	思想文化学専攻	14	6		28	18	
	歴史地域文化学専攻	28	11		56	33	
	言語文学専攻	29	11		58	33	
	人間システム科学専攻	19	7		38	21	
	計	90	35		180	105	
法学研究科	法学政治学専攻	20	15		40	45	
	法律実務専攻			50			150
	計	20	15	50	40	45	150
情報科学研究科	情報理工学専攻	48	12		96	36	
	情報エレクトロニクス専攻	39	8		78	24	
	生命人間情報科学専攻	33	6		66	18	
	メディアネットワーク専攻	30	8		60	24	
	システム情報科学専攻	27	8		54	24	
	計	177	42		354	126	
水産科学院	海洋生物資源科学専攻	43	17		86	51	
	海洋応用生命科学専攻	47	18		94	54	
	計	90	35		180	105	
環境科学院	環境起学専攻	44	15		88	45	
	地球圏科学専攻	35	14		70	42	
	生物圏科学専攻	52	23		104	69	
	環境物質科学専攻	28	11		56	33	
	計	159	63		318	189	
理学院	数学専攻	46	17		92	51	
	物性物理学専攻	24	10		48	30	
	宇宙理学専攻	20	9		40	27	
	自然史科学専攻	39	20		78	60	
	計	129	56		258	168	

農学院	共生基盤学専攻	40	8		80	24	
	生物資源科学専攻	42	14		84	42	
	応用生物科学専攻	18	6		36	18	
	環境資源学専攻	42	14		84	42	
	計	142	42		284	126	
生命科学院	生命科学専攻	132	46		264	138	
	臨床薬学専攻		4			16	
	計	132	50		264	154	
教育学院	教育学専攻	45	21		90	63	
国際広報メディア・観光学院	国際広報メディア専攻	27	14		54	42	
	観光創造専攻	15	3		30	9	
	計	42	17		84	51	
保健科学院	保健科学専攻	40	10		80	30	
工学院	応用物理学専攻	33	9		66	27	
	材料科学専攻	39	7		78	21	
	機械宇宙工学専攻	27	5		54	15	
	人間機械システムデザイン専攻	26	5		52	15	
	エネルギー環境システム専攻	26	5		52	15	
	量子理工学専攻	20	5		40	15	
	環境フィールド工学専攻	24	6		48	18	
	北方圏環境政策工学専攻	26	7		52	21	
	建築都市空間デザイン専攻	22	5		44	15	
	空間性能システム専攻	27	5		54	15	
	環境創生工学専攻	28	5		56	15	
	環境循環システム専攻	18	5		36	15	
	共同資源工学専攻	(20) 10			(40) 20		
	計	(336) 326	69		(672) 652	207	
総合化学院	総合化学専攻	129	38		258	114	
経済学院	現代経済経営専攻	35	8		70	24	
	会計情報専攻			20			40
	計	35	8	20	70	24	40

医学院	医科学専攻	20			40		
	医学専攻		90			360	
	計	20	90		40	360	
歯学院	口腔医学専攻		40			160	
獣医学院	獣医学専攻		16			64	
医理工学院	医理工学専攻	12	5		24	15	
国際感染症学院	感染症学専攻		12			48	
国際食資源学院	国際食資源学専攻	15			30		
公共政策学教育部	公共政策学専攻			30			60
総計		(1,613) 1,603	664	100	(3,226) 3,206	2,154	250

備考

（ ）書きの数字は，工学院共同資源工学専攻における九州大学の定員を含んだ数である。

平成28年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　前期日程）

(28.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
総合入試文系	100	4.0	372	114	3.7	364	112	3.6	109	37	100	35
総合入試理系	1,027		2,943	781	2.9	2,865	755	2.8	1,098	258	1,080	255
数学重点選抜群	130	4.0	312	45	2.4	306	44	2.4	139	15	136	14
物理重点選抜群	235	4.0	662	87	2.8	647	84	2.8	251	25	250	25
化学重点選抜群	235	4.0	686	175	2.9	667	168	2.8	251	57	244	55
生物重点選抜群	177	4.0	464	173	2.6	451	167	2.5	189	66	187	66
総合科学選抜群	250	4.0	819	301	3.3	794	292	3.2	268	95	263	95
文学部	118	4.0	325	158	2.8	318	154	2.7	128	63	126	63
教育学部	20	4.0	54	27	2.7	54	27	2.7	20	10	20	10
法学部	140	4.0	322	108	2.3	318	107	2.3	145	48	139	46
経済学部	140	4.0	332	99	2.4	329	99	2.4	150	52	148	51
医学部	239		802	366	3.4	767	348	3.2	257	127	252	123
医学科	97	3.5	378	101	3.9	361	98	3.7	102	25	102	25
保健学科	142		424	265	3.0	406	250	2.9	155	102	150	98
看護学専攻	60	5.0	150	141	2.5	142	133	2.4	67	63	64	61
放射線技術科学専攻	28	5.0	87	25	3.1	87	25	3.1	30	12	30	12
検査技術科学専攻	28	5.0	86	54	3.1	82	50	2.9	29	15	28	14
理学療法学専攻	13	5.0	40	8	3.1	38	8	2.9	14	5	14	5
作業療法学専攻	13	5.0	61	37	4.7	57	34	4.4	15	7	14	6
歯学部	30	6.0	118	47	3.9	113	44	3.8	30	10	30	10
獣医学部	20	6.0	95	41	4.8	93	40	4.7	22	6	22	6
水産学部	105	4.0	375	90	3.6	371	90	3.5	120	23	118	23
合計	1,939		5,738	1,831	3.0	5,592	1,776	2.9	2,079	634	2,035	622

資料保31

平成28年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　後期日程）

(28.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
文学部	37	6.0	315	113	8.5	147	56	4.0	41	15	34	12
教育学部	10	10.0	85	32	8.5	43	13	4.3	11	6	11	6
法学部	40	6.0	369	87	9.2	166	40	4.2	52	12	48	11
経済学部	20	10.0	192	38	9.6	74	16	3.7	20	3	19	3
理学部	61		583	116	9.6	304	69	5.0	74	6	64	7
数学科	13	6.0	93	5	7.2	41	5	3.2	15		13	
物理学科	5	6.0	91	13	18.2	51	8	10.2	9		8	
化学科	23	6.0	140	22	6.1	66	10	2.9	26	1	23	3
生物科学科	15		164	52	10.9	97	36	6.5	18	5	15	3
生物学専修分野	10	6.0	93	30	9.3	54	20	5.4	12	4	10	2
高分子機能学専修分野	5	6.0	71	22	14.2	43	16	8.6	6	1	5	1
地球惑星科学科	5	6.0	95	24	19.0	49	10	9.8	6		5	1
医学部	18		198	102	11.0	91	49	5.1	20	12	17	10
保健学科	18		198	102	11.0	91	49	5.1	20	12	17	10
放射線技術科学専攻	7	6.0	54	18	7.7	23	7	3.3	7	2	6	2
検査技術科学専攻	7	6.0	113	75	16.1	54	37	7.7	9	8	8	7
理学療法学専攻	4	6.0	31	9	7.8	14	5	3.5	4	2	3	1
歯学部	8	6.0	113	40	14.1	55	22	6.9	8	4	8	4
薬学部	24	6.0	231	88	9.6	104	42	4.3	26	11	23	11
工学部	151		1,179	113	7.8	479	58	3.2	165	19	149	18
応用理工系学科	34		270	38	7.9	97	14	2.9	40	4	37	5
情報エレクトロニクス学科	38		322	16	8.5	125	11	3.3	38	4	34	4
機械知能工学科	30		273	10	9.1	116	8	3.9	31	2	28	2
環境社会工学科	49		314	49	6.4	141	25	2.9	56	9	50	7
農学部	53	6.0	419	119	7.9	175	53	3.3	58	17	54	17
獣医学部	15	6.0	114	52	7.6	68	35	4.5	15	9	15	9
水産学部	50	6.0	383	101	7.7	177	53	3.5	60	18	51	17
合計	487		4,181	1,001	8.6	1,883	506	3.9	550	132	493	125

平成29年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　前期日程）

(29.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
総合入試文系	100	4.0	380	98	3.8	376	97	3.8	109	25	100	23
総合入試理系	1,027		2,808	691	2.7	2,736	667	2.7	1,098	255	1,077	248
数学重点選抜群	130	4.0	418	58	3.2	406	56	3.1	139	15	138	14
物理重点選抜群	235	4.0	614	72	2.6	601	71	2.6	251	23	248	22
化学重点選抜群	235	4.0	580	117	2.5	566	113	2.4	251	43	240	41
生物重点選抜群	177	4.0	494	206	2.8	484	200	2.7	189	77	187	75
総合科学選抜群	250	4.0	702	238	2.8	679	227	2.7	268	97	264	96
文学部	118	4.0	388	203	3.3	381	198	3.2	128	72	121	70
教育学部	20	4.0	68	36	3.4	67	36	3.4	20	7	20	7
法学部	140	4.0	319	106	2.3	315	104	2.3	144	43	141	42
経済学部	140	4.0	341	99	2.4	335	98	2.4	151	48	149	48
医学部	239		739	312	3.1	702	300	2.9	253	118	252	117
医学科	97	3.5	338	66	3.5	318	66	3.3	102	22	102	22
保健学科	142		401	246	2.8	384	234	2.7	151	96	150	95
看護学専攻	60	5.0	136	121	2.3	125	113	2.1	65	57	65	57
放射線技術科学専攻	28	5.0	96	27	3.4	95	27	3.4	29	5	29	5
検査技術科学専攻	28	5.0	87	55	3.1	87	55	3.1	29	19	28	18
理学療法学専攻	13	5.0	35	15	2.7	35	15	2.7	14	6	14	6
作業療法学専攻	13	5.0	47	28	3.6	42	24	3.2	14	9	14	9
歯学部	30	6.0	102	39	3.4	99	37	3.3	31	12	29	11
獣医学部	20	6.0	91	52	4.6	91	52	4.6	22	15	22	15
水産学部	105	4.0	304	70	2.9	294	69	2.8	112	28	108	28
合計	1,939		5,540	1,706	2.9	5,396	1,658	2.8	2,068	623	2,019	609

資料保32

平成29年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　後期日程）

(29.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
文学部	37	6.0	373	146	10.1	163	63	4.4	44	19	36	15
教育学部	10	10.0	103	42	10.3	54	26	5.4	11	3	11	3
法学部	40	6.0	408	100	10.2	164	37	4.1	50	8	46	6
経済学部	20	10.0	208	37	10.4	63	14	3.2	20	4	19	4
理学部	61		495	95	8.1	220	52	3.6	71	13	63	13
数学科	13	6.0	79	8	6.1	34	5	2.6	15	1	13	2
物理学科	5	6.0	88	11	17.6	43	7	8.6	7	1	7	1
化学科	23	6.0	132	21	5.7	56	12	2.4	26	5	23	5
生物科学科	15		120	39	8.0	54	19	3.6	17	6	15	5
生物学専修分野	10	6.0	76	20	7.6	40	11	4.0	11	3	10	3
高分子機能学専修分野	5	6.0	44	19	8.8	14	8	2.8	6	3	5	2
地球惑星科学科	5	6.0	76	16	15.2	33	9	6.6	6	0	5	0
医学部	18		166	85	9.2	63	29	3.5	20	13	18	12
保健学科	18		166	85	9.2	63	29	3.5	20	13	18	12
放射線技術科学専攻	7	6.0	66	26	9.4	28	11	4.0	8	4	7	4
検査技術科学専攻	7	6.0	63	41	9.0	20	11	2.9	8	5	8	5
理学療法学専攻	4	6.0	37	18	9.3	15	7	3.8	4	4	3	3
歯学部	8	6.0	104	42	13.0	59	23	7.4	10	5	10	4
薬学部	24	6.0	212	67	8.8	107	32	4.5	27	6	24	5
工学部	151		1,159	105	7.7	467	45	3.1	165	11	152	8
応用理工系学科	34		274	24	8.1	105	10	3.1	37	2	35	1
情報エレクトロニクス学科	38		277	15	7.3	103	6	2.7	40	4	37	3
機械知能工学科	30		256	16	8.5	95	5	3.2	31	2	28	3
環境社会工学科	49		352	50	7.2	164	24	3.3	57	3	52	1
農学部	53	6.0	421	114	7.9	153	40	2.9	59	12	52	9
獣医学部	15	6.0	109	54	7.3	66	37	4.4	15	9	15	9
水産学部	50	6.0	338	94	6.8	162	42	3.2	62	17	54	15
合計	487		4,096	981	8.4	1,741	440	3.6	554	120	500	103

平成30年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　前期日程）

(30.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
総合入試文系	95	4.0	398	119	4.2	380	111	4.0	107	31	99	28
総合入試理系	1,017		2,980	699	2.9	2,905	676	2.9	1,096	249	1,072	245
数学重点選抜群	129	4.0	529	80	4.1	516	77	4.0	139	20	135	19
物理重点選抜群	233	4.0	663	74	2.8	655	74	2.8	251	21	245	20
化学重点選抜群	233	4.0	704	168	3.0	678	158	2.9	251	51	242	51
生物重点選抜群	175	4.0	469	184	2.7	461	180	2.6	189	72	187	71
総合科学選抜群	247	4.0	615	193	2.5	595	187	2.4	266	85	263	84
文学部	118	4.0	321	145	2.7	316	142	2.7	129	55	125	55
教育学部	20	4.0	49	26	2.5	49	26	2.5	21	11	21	11
法学部	140	4.0	352	104	2.5	350	103	2.5	145	45	143	45
経済学部	140	4.0	390	83	2.8	386	82	2.8	145	28	139	26
医学部	239		798	379	3.3	746	348	3.1	253	117	248	115
医学科	97	3.5	341	80	3.5	322	74	3.3	102	15	102	17
保健学科	142		457	299	3.2	424	274	3.0	151	102	146	98
看護学専攻	60	5.0	174	158	2.9	159	145	2.7	64	60	61	57
放射線技術科学専攻	28	5.0	100	42	3.6	93	39	3.3	30	10	30	10
検査技術科学専攻	28	5.0	98	58	3.5	93	53	3.3	29	18	29	18
理学療法学専攻	13	5.0	33	10	2.5	31	9	2.4	14	6	13	5
作業療法学専攻	13	5.0	52	31	4.0	48	28	3.7	14	8	13	8
歯学部	30	6.0	117	34	3.9	107	31	3.6	30	10	29	10
獣医学部	20	6.0	104	56	5.2	102	56	5.1	22	14	22	14
水産学部	105	4.0	324	88	3.1	317	85	3.0	117	31	117	31
合計	1,924		5,833	1,733	3.0	5,658	1,660	2.9	2,065	591	2,015	580

資料保33

平成30年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　後期日程）

(30.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
文学部	37	6.0	305	101	8.2	118	47	3.2	43	13	33	11
教育学部	10	10.0	105	40	10.5	50	20	5.0	10	2	9	1
法学部	40	6.0	334	68	8.4	147	30	3.7	50	11	42	8
経済学部	20	10.0	157	29	7.9	52	13	2.6	26	8	20	6
理学部	61		670	129	11.0	322	69	5.3	74	9	64	10
数学科	13	6.0	115	9	8.8	57	3	4.4	14	0	12	0
物理学科	5	6.0	103	9	20.6	45	6	9.0	9	1	8	1
化学科	23	6.0	238	46	10.3	117	28	5.1	26	3	23	4
生物科学科	15		134	43	8.9	63	21	4.2	18	4	15	4
生物学専修分野	10	6.0	84	24	8.4	39	13	3.9	12	1	10	1
高分子機能学専修分野	5	6.0	50	19	10.0	24	8	4.8	6	3	5	3
地球惑星科学科	5	6.0	80	22	16.0	40	11	8.0	7	1	6	1
医学部	18		154	83	8.6	53	29	2.9	20	12	17	10
保健学科	18		154	83	8.6	53	29	2.9	20	12	17	10
放射線技術科学専攻	7	6.0	63	27	9.0	23	12	3.3	7	3	6	2
検査技術科学専攻	7	6.0	61	41	8.7	16	10	2.3	8	6	7	5
理学療法学専攻	4	6.0	30	15	7.5	14	7	3.5	5	3	4	3
歯学部	8	6.0	109	50	13.6	57	23	7.1	9	4	8	4
薬学部	24	6.0	239	79	10.0	107	37	4.5	27	9	24	9
工学部	151		1,144	128	7.6	448	54	3.0	167	16	152	16
応用理工系学科	34		224	18	6.6	91	7	2.7	38	0	35	1
情報エレクトロニクス学科	38		309	27	8.1	123	14	3.2	38	5	34	5
機械知能工学科	30		270	21	9.0	101	8	3.4	33	1	30	1
環境社会工学科	49		341	62	7.0	133	25	2.7	58	10	53	9
農学部	53	6.0	369	104	7.0	155	53	2.9	56	20	50	19
獣医学部	15	6.0	93	48	6.2	62	34	4.1	15	10	13	10
水産学部	50	6.0	337	72	6.7	141	38	2.8	62	19	49	16
合計	487		4,016	931	8.2	1,712	447	3.5	559	133	481	120

平成31年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　前期日程）

(31.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
総合入試文系	95	4.0	278	69	2.9	271	68	2.9	107	21	101	19
総合入試理系	1,017		2,956	760	2.9	2,875	733	2.8	1,059	264	1,038	259
数学重点選抜群	129	4.0	494	83	3.8	483	80	3.7	135	21	130	20
物理重点選抜群	233	4.0	701	91	3.0	685	88	2.9	242	27	238	27
化学重点選抜群	233	4.0	624	152	2.7	603	146	2.6	243	51	239	50
生物重点選抜群	175	4.0	465	204	2.7	452	199	2.6	182	73	178	72
総合科学選抜群	247	4.0	672	230	2.7	652	220	2.6	257	92	253	90
文学部	118	4.0	463	191	3.9	459	188	3.9	127	57	120	55
教育学部	20	4.0	67	31	3.4	65	29	3.3	20	11	19	10
法学部	140	4.0	420	116	3.0	412	112	2.9	141	48	132	44
経済学部	140	4.0	378	72	2.7	370	71	2.6	147	30	142	30
医学部	239		715	338	3.0	660	309	2.8	251	123	250	121
医学科	97	3.5	307	63	3.2	281	58	2.9	102	19	102	18
保健学科	142		408	275	2.9	379	251	2.7	149	104	148	103
看護学専攻	60	5.0	147	136	2.5	137	127	2.3	64	61	64	61
放射線技術科学専攻	28	5.0	75	27	2.7	73	25	2.6	28	11	28	11
検査技術科学専攻	28	5.0	76	55	2.7	72	51	2.6	29	21	28	20
理学療法学専攻	13	5.0	42	17	3.2	37	14	2.8	14	2	14	2
作業療法学専攻	13	5.0	68	40	5.2	60	34	4.6	14	9	14	9
歯学部	30	6.0	107	43	3.6	103	42	3.4	30	8	30	8
獣医学部	20	6.0	113	61	5.7	110	60	5.5	22	13	22	13
水産学部	105	4.0	346	73	3.3	337	72	3.2	109	23	109	23
合計	1,924		5,843	1,754	3.0	5,662	1,684	2.9	2,013	598	1,963	582

資料保34

平成31年度　入学志願者数及び合格者数等（一般入試　後期日程）

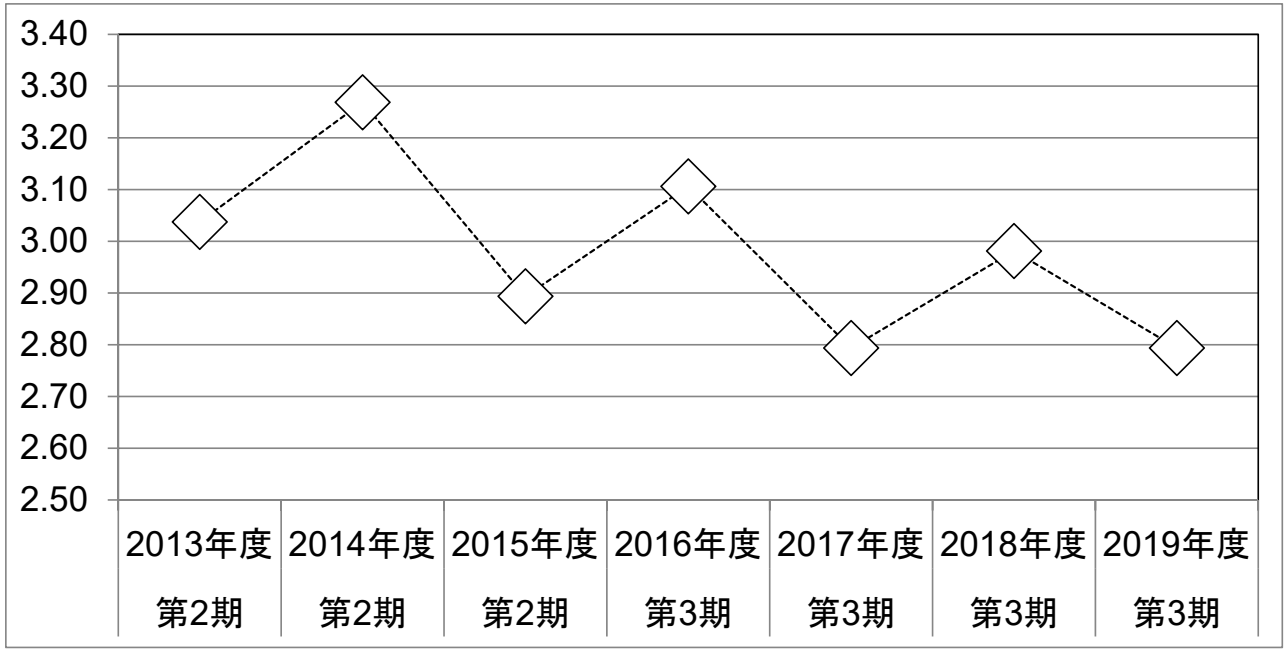
(31.4.1)

学部・学科等	募集人員	第１段階選抜予告倍率	志願者			受験者			当初合格者		入学者	
			全体	女子	倍率	全体	女子	倍率	全体	女子	全体	女子
文学部	37	6.0	318	107	8.6	136	55	3.7	46	13	43	11
教育学部	10	10.0	122	45	12.2	47	16	4.7	11	4	11	4
法学部	40	6.0	406	89	10.2	193	41	4.8	56	17	49	16
経済学部	20	10.0	220	28	11.0	78	9	3.9	23	2	22	1
理学部	66		627	120	9.5	309	68	4.7	64	9	61	7
数学科	13	6.0	121	7	9.3	69	6	5.3	12	0	11	0
物理学科	10	6.0	125	11	12.5	51	6	5.1	9	1	9	1
化学科	23	6.0	177	29	7.7	83	15	3.6	24	4	23	2
生物科学科	15		138	55	9.2	72	30	4.8	14	4	13	3
生物学専修分野	10	6.0	82	38	8.2	40	21	4.0	11	3	10	3
高分子機能学専修分野	5	6.0	56	17	11.2	32	9	6.4	3	1	3	0
地球惑星科学科	5	6.0	66	18	13.2	34	11	6.8	5	0	5	1
医学部	18		174	107	9.7	68	43	3.8	19	17	19	15
保健学科	18		174	107	9.7	68	43	3.8	19	17	19	15
放射線技術科学専攻	7	6.0	47	24	6.7	14	7	2.0	7	5	7	5
検査技術科学専攻	7	6.0	96	73	13.7	38	28	5.4	8	8	7	7
理学療法学専攻	4	6.0	31	10	7.8	16	8	4.0	4	4	5	3
歯学部	8	6.0	174	77	21.8	88	43	11.0	8	5	8	5
薬学部	24	6.0	241	94	10.0	101	42	4.2	26	9	24	9
工学部	151		1,292	130	8.6	482	55	3.2	157	14	148	12
応用理工系学科	34		282	30	8.3	92	13	2.7	38	6	36	6
情報エレクトロニクス学科	38		330	21	8.7	112	2	2.9	38	0	35	0
機械知能工学科	30		265	17	8.8	89	11	3.0	26	1	26	0
環境社会工学科	49		415	62	8.5	189	29	3.9	55	7	51	6
農学部	53	6.0	408	130	7.7	153	55	2.9	59	20	54	19
獣医学部	15	6.0	117	64	7.8	56	29	3.7	15	10	15	10
水産学部	50	6.0	399	109	8.0	178	47	3.6	62	17	56	14
合計	492		4,498	1,100	9.1	1,889	503	3.8	546	137	510	123

保健学科の受験者数と合格者数の推移(区分: 春=前期+後期)

計画区分	年度	募集人数	受験者数	倍率	入学者数	充足率	備　　考	
第2期	2013年度	160	486	3.04	170	106.3	募集人数にはAO・私費外国人(11名)とその他入試(20名)を除く	
第2期	2014年度	160	523	3.27	162	101.3	募集人数にはAO・私費外国人(11名)とその他入試(20名)を除く	第2期の平均
第2期	2015年度	160	463	2.89	173	108.1	募集人数にはAO・私費外国人(11名)とその他入試(20名)を除く	105.2
第3期	2016年度	160	497	3.11	167	104.4	募集人数にはAO・私費外国人(11名)とその他入試(20名)を除く	
第3期	2017年度	160	447	2.79	168	105.0	募集人数にはAO・私費外国人(11名)とその他入試(20名)を除く	
第3期	2018年度	160	477	2.98	163	101.9	募集人数にはAO・私費外国人(11名)とその他入試(20名)を除く	第3期の平均
第3期	2019年度	160	447	2.79	168	105.0	募集人数にはAO・私費外国人(11名)とその他入試(20名)を除く	104.1

倍率の経年推移

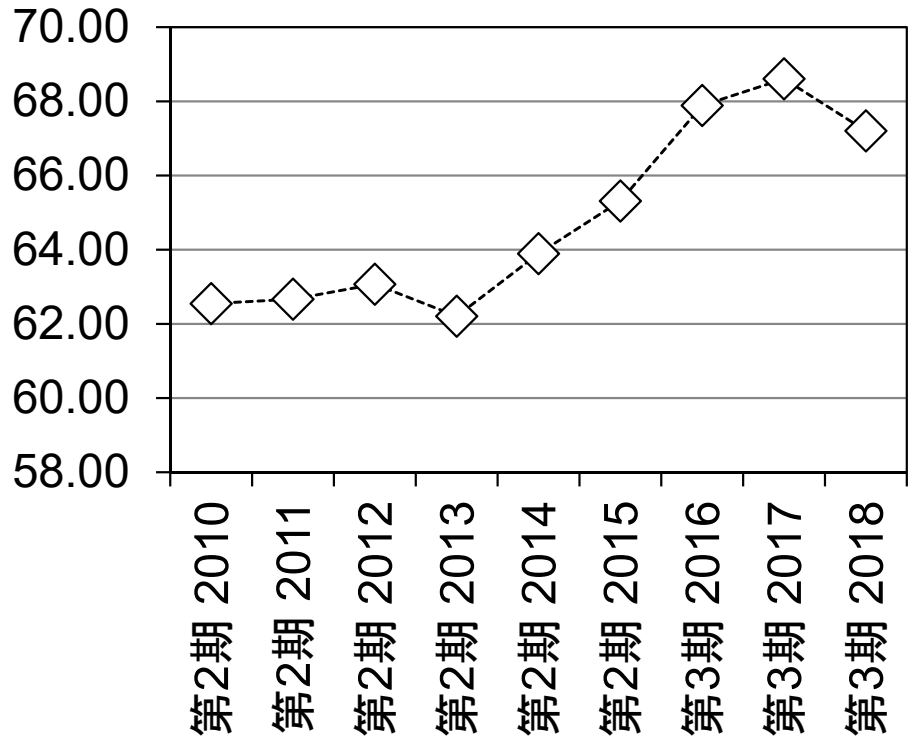


資料保36

学生数に対する女性・留学者・社会人の割合

	合計			
中期区分	男	女	合計	女性の割合(%)
第2期 2010	306	511	817	62.55
第2期 2011	224	376	600	62.67
第2期 2012	219	374	593	63.07
第2期 2013	226	372	598	62.21
第2期 2014	217	384	601	63.89
第2期 2015	205	386	591	65.31
第3期 2016	184	389	573	67.89
第3期 2017	178	389	567	68.61
第3期 2018	183	375	558	67.20
第3期 2019				

女性の割合(%)

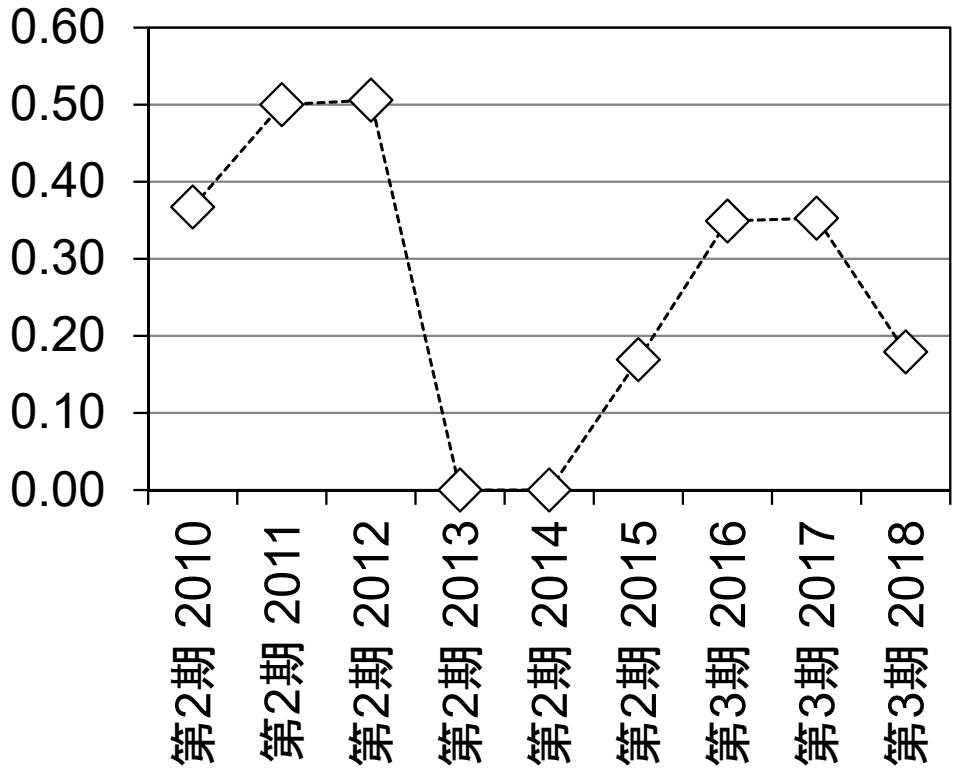


資料保37

学生数に対する留学者の割合

	合計			うち、留学生			
中期区分	男	女	合計	男	女	合計	留学生の割合(%)
第2期 2010	306	511	817	1	2	3	0.37
第2期 2011	224	376	600	1	2	3	0.50
第2期 2012	219	374	593	1	2	3	0.51
第2期 2013	226	372	598	0	0	0	0.00
第2期 2014	217	384	601	0	0	0	0.00
第2期 2015	205	386	591	0	1	1	0.17
第3期 2016	184	389	573	1	1	2	0.35
第3期 2017	178	389	567	1	1	2	0.35
第3期 2018	183	375	558	1	0	1	0.18
第3期 2019							

留学生の割合(%)



資料保38

令和4年度入試（令和3年度実施）における変更について（予告）

令和元年６月 17 日　北海道大学

令和４年度（令和３年度実施）の入学者選抜から，現在のＡＯ入試を改め総合型選抜※「フロンティア入試」を実施します。出願書類，選抜方法の違いにより「Type Ⅰ」・「Type Ⅱ」に区分して実施します。募集単位別の選抜方法等の詳細については引き続き検討を重ね，今年度中に公表します。

１）総合型選抜「フロンティア入試 TypeⅠ」の特色

出願書類（調査書，個人評価書，自己推薦書，諸活動の記録等）により第１次選考を行う。高等学校等における多様な活動を，各募集単位が定める評価軸に沿って高校教諭が評価し，その結果を選考に用いる。

第２次選考は，課題論文，面接（口頭試問）等を課す。

２）総合型選抜「フロンティア入試 TypeⅡ」の特色

出願書類（作成負担の軽減を予定）により第１次選考を行う。

第２次選考は，適性試験（各募集単位が指定する数学・理科に係る分野），面接（口頭試問）等を課し，基礎的な知識・技能と共に，思考力・表現力を評価する。

また，この変更に伴い，一般選抜※，総合型選抜（現：ＡＯ入試）の募集人員並びに総合入試入学者（国際総合入試を含む）の移行人数を別紙のとおり変更します。

《フロンティア入試導入の背景》

急速に変化する社会のなかで，今世の中に存在していない新しい方法論や考え方を生み出す力や，さらに新たに生まれる課題を見出し解決する力をもつ人材が強く求められています。このような中，基礎的な学力や技能，思考と判断力が重要なことは言うまでもありませんが，これに加えて，主体的な行動を起こす力や新しいものごとにチャレンジしていく強い意欲が極めて重要です。北海道大学においては，このような観点に立ち，将来大学や社会での新しい価値の創造を目指し，新しい時代を生き抜く素養と，北海道大学で学びたいという強い意志を持つ学生を広く募集します。

本学は 1876 年創設の札幌農学校を前身として現在に至っておりますが，その当初からの開学精神である，フロンティア精神，国際性の涵養，全人教育，実学の重視を堅持しています。なかでも，新しい社会や学問分野を切り拓く気概を表すフロンティア精神は本入試で受け入れたいと考える学生像を端的に表す言葉であり，本入試をフロンティア入試と名付けます。

※ 参考

「平成 33 年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告（文部科学省 H29.7.24 公表）」抜粋

入試区分については，多面的・総合的な評価の観点からの改善を図りつつ，各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から，次のように変更する。

・「一般入試」＜変更前＞⇒「一般選抜」＜変更後＞
・「ＡＯ入試」＜変更前＞⇒「総合型選抜」＜変更後＞
・「推薦入試」＜変更前＞⇒「学校推薦型選抜」＜変更後＞

別　紙

令和４年度（令和３年度実施）入学者選抜における募集人員等の変更について

※ 赤文字は，前年度（令和３年度入試）からの変更箇所

＜入学者募集人員＞

（単位：名）

学部・系・学科等			募集人員	募集人員の内訳								
				一般選抜		現在のAO入試	フロンティア入試（総合型選抜）→		国際総合入試	帰国子女入試	私費外国人留学生入試
				前期日程	後期日程		Type Ⅰ	Type Ⅱ			
総合入試	文系		100	95	－	－	－	－	5	－	－
	理系	数学重点選抜群	130 →126	129 →125	－	－	－	－	10	－	－
		物理重点選抜群	235 →227	233 →225	－	－	－	－		－	－
		化学重点選抜群	235 →228	233 →226	－	－	－	－		－	－
		生物重点選抜群	177 →171	175 →169	－	－	－	－		－	－
		総合科学選抜群	250 →242	247 →239	－	－	－	－		－	－
		小　計	1,027 →994	1,017 →984	－	－	－	－	10	－	－
	計		1,127 →1,094	1,112 →1,079	－	－	－	－	15	－	－
学部別入試	文学部		155	118	37	－	－	－	－	若干名	若干名
	教育学部		30	20	10	－	－	－	－		
	法学部		180	140	40	－	－	－	－		
	経済学部		160	140	20	－	－	－	－		
	理学部	数学科	13 →23	－	13 →10	－	－	13	－		
		物理学科	10 →17	－	10 →3	－	－	14	－		
		化学科	23 →31	－	23 →20	－	－	11	－		
		生物科学科 生物学専修分野	10	－	10	－	－	－	－		
		生物科学科 高分子機能学専修分野	5	－	5 →2	－	－	3	－		
		地球惑星科学科	10	－	5	5 →0	5	－	－		
		小　計	71 →96	－	66 →50	5 →0	5	41	－		

学部・系・学科等			募集人員	募集人員の内訳							
				一般選抜		現在のAO入試	フロンティア入試（総合型選抜）		国際総合入試	帰国子女入試	私費外国人留学生入試
				前期日程	後期日程		Type Ⅰ	Type Ⅱ			
学部別入試	医学部	医　学　科	102 →97	97 →92	－	5 →0	5	－	－	若干名	若干名
		保健学科 看護学専攻	67	60	－	7 →0	7	－	－		
		保健学科 放射線技術科学専攻	35	28	7 →0	－	7	－	－		
		保健学科 検査技術科学専攻	35	28 →25	7 →0	－	10	－	－		
		保健学科 理学療法学専攻	17	13	4 →0	－	4	－	－		
		保健学科 作業療法学専攻	17	13 →10	－	4 →0	7	－	－		
		小　　計	273 →268	239 →228	18 →0	16 →0	40	－	－		
	歯　学　部		43	38	－	5 →0	5	－	－		
	薬　学　部		24	－	24	－	－	－	－		
	工学部	応用理工系学科	38 →48	－	34 →29	4 →0	4 応用マテリアル工学コース	15 応用物理工学コース	－		
		情報エレクトロニクス学科	38	－	38	－	－	－	－		
		機械知能工学科	30	－	30 →25	－	－	5	－		
		環境社会工学科	53 →56	－	49 →47	4 →0	4 社会基盤学コース	5 環境工学コース	－		
		小　　計	159 →172	－	151 →139	8 →0	8	25	－		
	農　学　部		53	－	53	－	－	－	－		
	獣医学部		35	20	15	－	－	－	－		
	水産学部		175	105	50	20 →0	20	－	－		
	計		1,358 →1,391	820 →809	484 →438	54 →0	78	66	－		
合　　計			2,485	1,932 →1,888	484 →438	54 →0	78	66	15		

＜募集方法＞

(1)　総合入試の文系は，系で募集し，理系は，選抜群単位で募集します。

(2)　学部別入試は，次の単位で募集します。

①　文学部，教育学部，法学部，経済学部，歯学部，薬学部，農学部，獣医学部，水産学部は，学部単位で募集します。

②　理学部数学科，物理学科，化学科，地球惑星科学科は，学科単位で募集し，生物科学科は専修分野単位で募集します。

③　医学部医学科は，学科単位で募集し，医学部保健学科は，専攻単位で募集します。
④　工学部は，学科単位で募集します。

(3)　フロンティア入試（総合型選抜）は，学部・学科・専攻単位で募集します。

(4)　フロンティア入試（総合型選抜）の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜の次の募集人員に加えます。
①　医学部，歯学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員に加えます。
②　理学部，工学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員に加えます。

(5)　国際総合入試は，系で募集します。

(6)　国際総合入試の合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜前期日程（総合入試）の募集人員に加えます。

(7)　帰国子女入試は，学部・学科・専攻等の単位で募集し，募集人員は，一般選抜の次の募集人員の内数となります。
①　文学部，教育学部，法学部，経済学部，医学部，歯学部，獣医学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員の内数となります。
②　理学部，薬学部，工学部，農学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員の内数となります。

(8)　私費外国人留学生入試は，学部・学科・専攻等別に募集し，募集人員は，一般選抜の次の募集人員の内数となります。
①　文学部，教育学部，法学部，経済学部，医学部，歯学部，獣医学部，水産学部は，学部別入試の前期日程試験の募集人員の内数となります。
②　理学部，薬学部，工学部，農学部は，学部別入試の後期日程試験の募集人員の内数となります。

令和４年度（令和３年度実施）以降入学者の学部・学科等の決定方法について

※ 赤文字は，前年度（令和３年度入学者）からの変更箇所

＜学部・学科等の決定方法＞

(1)　総合入試（一般選抜，国際総合入試）入学者の学部の決定は，第１年次終了時に行います。所属学科等の決定は，理学部，医学部，薬学部，工学部，農学部，水産学部は，第１年次終了時に行い，経済学部は，第２年次第１学期終了時に行います。

(2)　学部別入試（一般選抜，フロンティア入試（総合型選抜），帰国子女入試，私費外国人留学生入試）入学者の所属学科等の決定は，薬学部，工学部，農学部，水産学部は，第１年次終了時に行い，経済学部は，第２年次第１学期終了時に行います。

(3)　水産学部に所属することとなった学生は，第２年次終了まで札幌キャンパスで学修し，第３年次から函館キャンパスで学修します。

＜学科等の定員，募集人員，総合入試入学者の移行人数＞

（単位：名）

学　部	学科・専攻・コース等	学科等の定員	学部別入試の募集人員		総合入試入学者の移行人数
			一般選抜（学部別入試）	現在の AO 入試→フロンティア入試（総合型選抜）	一般選抜（総合入試）及び国際総合入試
文学部	人文科学科	185	155	－	30
教育学部	教育学科	50	30	－	20
法学部	法学課程	200	180	－	20
経済学部	経済学科	100	160	－	30
	経営学科	90			
理学部	数学科	50	13→10	13	37→27
	物理学科	35	10→ 3	14	25→18
	化学科	75	23→20	11	52→44
	生物科学科	80	15→12	3	65
	（生物学専修分野）	(40)	(10)	－	(30)
	（高分子機能学専修分野）	(40)	(5)→(2)	(3)	(35)
	地球惑星科学科	60	5	5	50
医学部	医学科	107	97→92	5	5→10
	保健学科	180	160→136	35	9
	（看護学専攻）	(70)	(60)	(7)	(3)
	（放射線技術科学専攻）	(37)	(35)→(28)	(7)	(2)
	（検査技術科学専攻）	(37)	(35)→(25)	(10)	(2)
	（理学療法学専攻）	(18)	(17)→(13)	(4)	(1)
	（作業療法学専攻）	(18)	(13)→(10)	(7)	(1)
歯学部	歯学科	53	38	5	10
薬学部	薬科学科	50	24	－	35
	薬学科	30			21

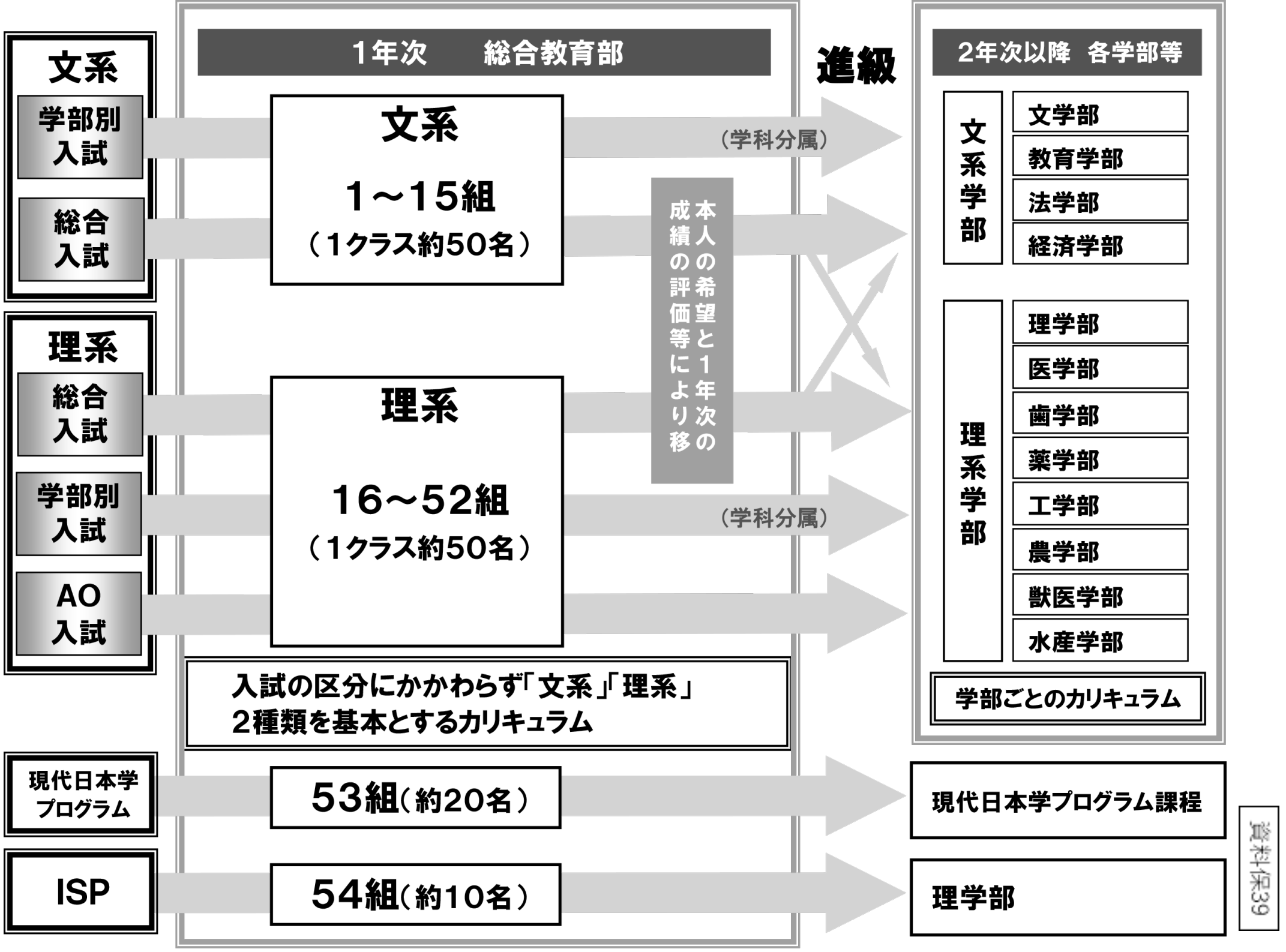
学　　部	学科・専攻・コース等	学科等の定員	学部別入試の募集人員		総合入試入学者の移行人数
			一般選抜（学部別入試）	現在の AO 入試 →フロンティア入試（総合型選抜）	一般選抜（総合入試）及び国際総合入試
工　学　部	応用理工系学科	160	34→29	19	122→112
	（応用物理工学コース）	（50）		（15）	（39）→（29）
	（応 用 化 学 コ ー ス）	（70）		－	（55）
	（応用マテリアル工学コース）	（40）		（4）	（28）
	情報エレクトロニクス学科	180	38	－	142
	（情 報 理 工 学 コ ー ス）	（50）			（40）
	（電気電子工学コース）	（40）			（31）
	（生 体 情 報 コ ー ス）	（33）			（26）
	（メディアネットワークコース）	（30）			（24）
	（電気制御システムコース）	（27）			（21）
	機械知能工学科	120	30→25	5	90
	（機 械 情 報 コ ー ス）	（60）			（45）
	（機械システムコース）	（60）			（45）
	環境社会工学科	210	49→47	9	157→154
	（社 会 基 盤 学 コ ー ス）	（40）		（4）	（30）
	（国 土 政 策 学 コ ー ス）	（40）		－	（30）
	（建 築 都 市 コ ー ス）	（45）		－	（34）
	（環 境 工 学 コ ー ス）	（50）		（5）	（37）→（34）
	（資 源 循 環 システムコース）	（35）		－	（26）
農　学　部	生物資源科学科	36	53	－	27
	応用生命科学科	30			23
	生物機能化学科	35			26
	森 林 科 学 科	36			27
	畜 産 科 学 科	23			17
	生物環境工学科	30			23
	農 業 経 済 学 科	25			19
獣 医 学 部	共同獣医学課程	40	35	－	5
水 産 学 部	海洋生物科学科	54	155	20	10
	海洋資源科学科	53			10
	増殖生命科学科	54			10
	資源機能化学科	54			10
合　　計		2，485	1，304 →1，247	54 →144	1，127 →1，094

注１　学科等の定員欄等の（　　）内の人数は，各学科の内数です。

２　総合入試入学者の移行先は，文系は，文学部，教育学部，法学部，経済学部とし，理系は選抜群を問わず，理学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部，農学部，獣医学部，水産学部の各学科・専攻・専修分野・コース等とします。

ただし，一定の人数制限のもと，総合入試の文系から理系学部へ，又は総合入試の理系から文系学部への移行も可能です。

３　総合入試入学者の学部・学科等への移行人数については，医学部医学科，歯学部，薬学部薬学科，獣医学部を除き，変動する場合があります。


文系
学部別入試
総合入試
理系
総合入試
学部別入試
AO入試
1年次　総合教育部
文系
1～15組
（1クラス約50名）
理系
16～52組
（1クラス約50名）
本人の希望と1年次の成績の評価等により移
進級
（学科分属）
（学科分属）
2年次以降　各学部等
文系学部
文学部
教育学部
法学部
経済学部
理系学部
理学部
医学部
歯学部
薬学部
工学部
農学部
獣医学部
水産学部
学部ごとのカリキュラム
入試の区分にかかわらず「文系」「理系」
2種類を基本とするカリキュラム
現代日本学プログラム
53組（約20名）
現代日本学プログラム課程
ISP
54組（約10名）
理学部

資料保39

資料保40

＜理系＞医学部保健学科 看護学専攻　カリキュラム・マップ

1. フロンティア精神 DP2 DP5 DP8 DP10	2. 国際性の涵養 DP3 DP6 DP8 DP10	3. 全人教育 DP1 DP3 DP4 DP9	4. 実学の重視 DP1 DP2 DP4 DP5

【知識・理解】

DP1　保健科学・看護学のリーダーとしての幅広い教養と高い専門性を身につけている。

DP2　保健科学・看護学の実践者としての専門知識およびその知識体系を身につけている。

DP3　保健科学・看護学を取り巻く文化・歴史・社会・環境を理解することができる。

【汎用的技能】

DP4　多様化・複雑化する課題を発見し，その本質を理解できる能力を身につけている。

DP5　課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる能力を身につけている。

DP6　高い学問的および臨床的な探究心を有し，幅広く社会に還元することができる。

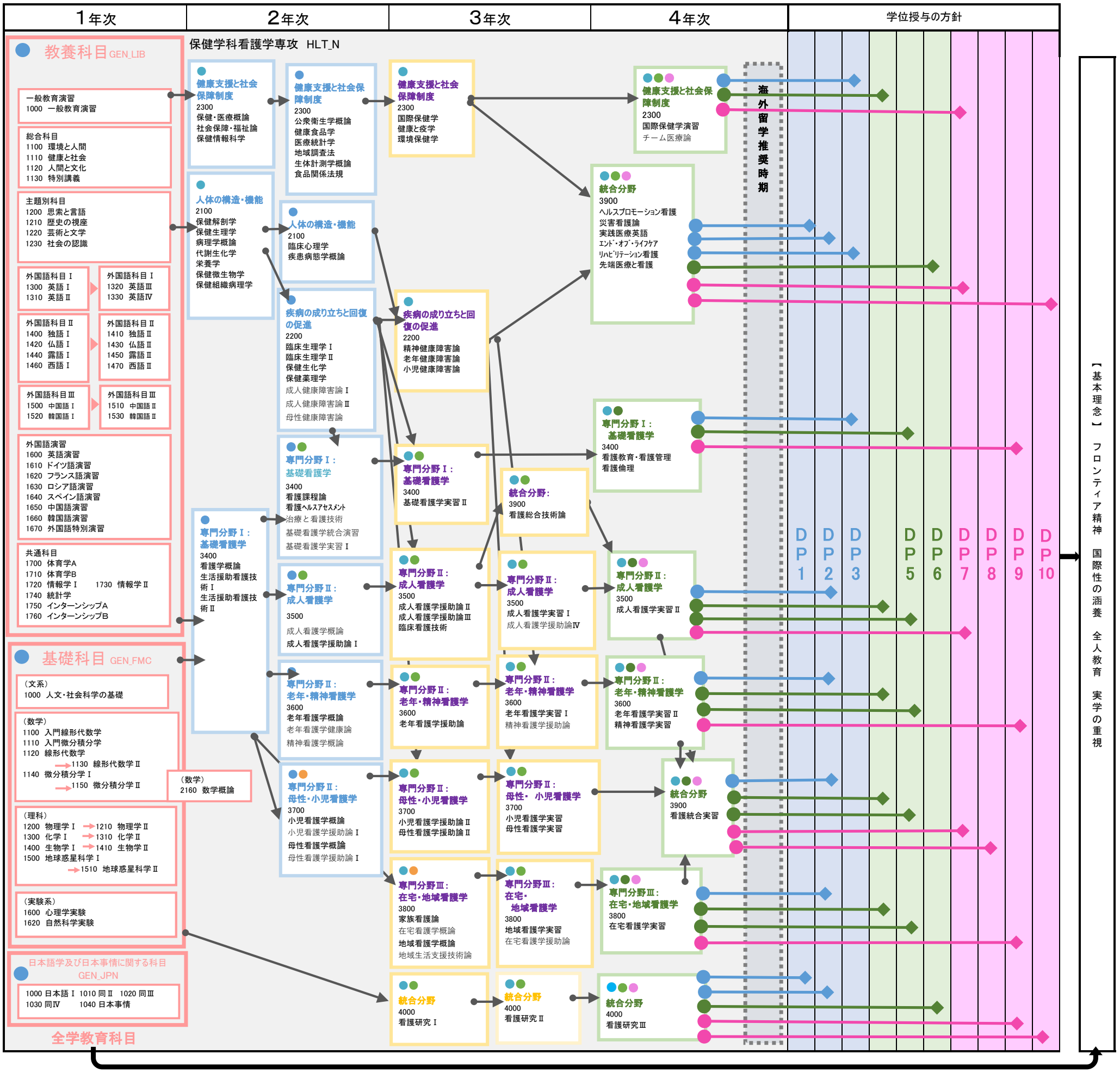
【態度・志向性】

DP7　保健科学・看護学をリードし，チーム医療を実践できる能力を身につけている。

DP8　保健科学・看護学の実践者・研究者として，社会的責任感と自己管理能力を身につけている。

DP9　多様化する価値観の中で，高い倫理観を有し，実践することができる。

DP10　生涯にわたって最新の保健科学・看護学を理解し，実践することができる。



＜理系＞医学部保健学科 放射線技術科学専攻　カリキュラム・マップ

1．フロンティア精神 DP2 DP5 DP8 DP10	2．国際性の涵養 DP3 DP6 DP8 DP10	3．全人教育 DP1 DP3 DP4 DP9	4．実学の重視 DP1 DP2 DP4 DP5

【知識・理解】

DP1　保健科学・看護学のリーダーとしての幅広い教養と高い専門性を身につけている。

DP2　保健科学・看護学の実践者としての専門知識およびその知識体系を身につけている。

DP3　保健科学・看護学を取り巻く文化・歴史・社会・環境を理解することができる。

【汎用的技能】

DP4　多様化・複雑化する課題を発見し，その本質を理解できる能力を身につけている。

DP5　課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる能力を身につけている。

DP6　高い学問的および臨床的な探究心を有し，幅広く社会に還元することができる。

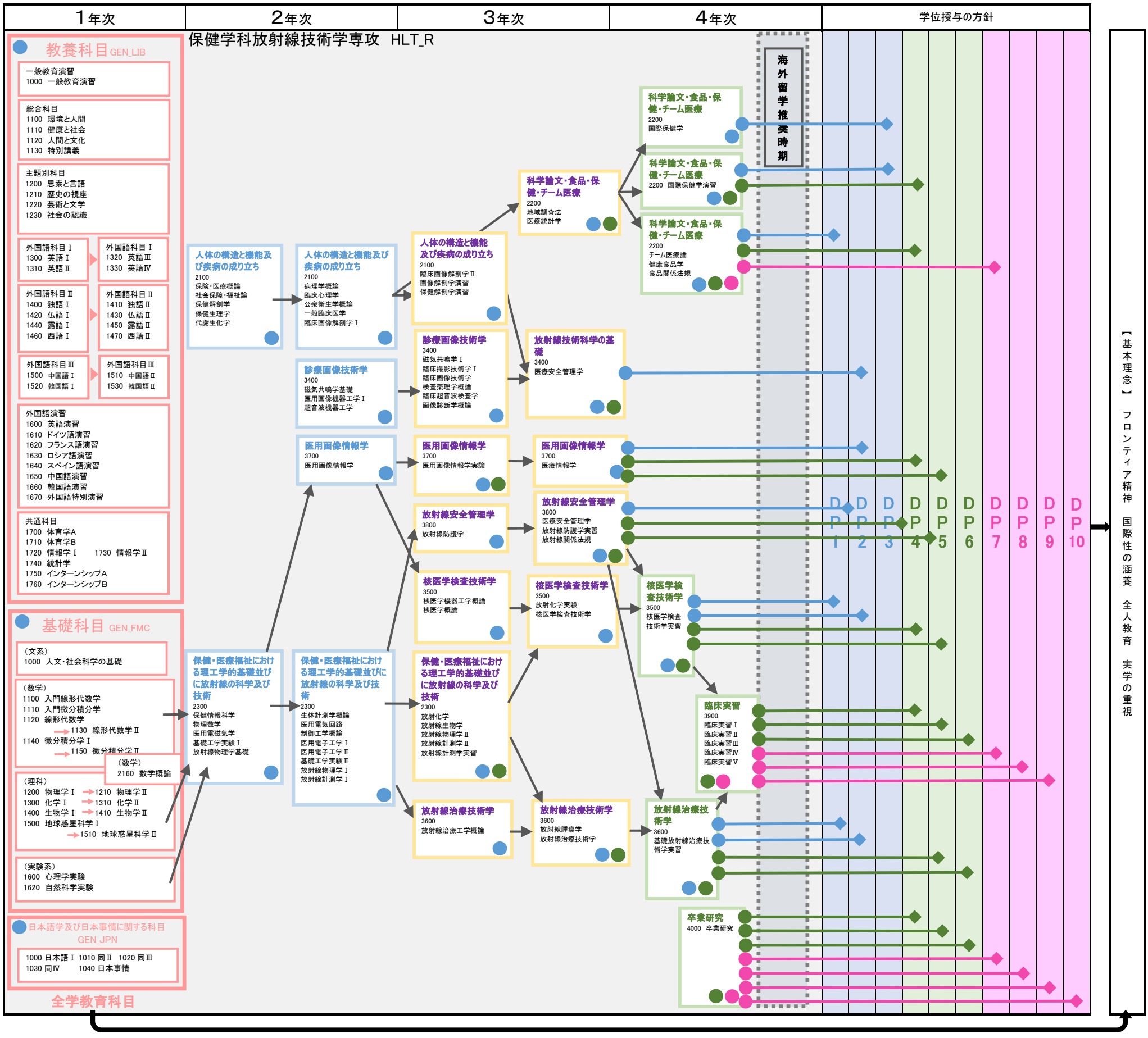
【態度・志向性】

DP7　保健科学・看護学をリードし，チーム医療を実践できる能力を身につけている。

DP8　保健科学・看護学の実践者・研究者として，社会的責任感と自己管理能力を身につけている。

DP9　多様化する価値観の中で，高い倫理観を有し，実践することができる。

DP10　生涯にわたって最新の保健科学・看護学を理解し，実践することができる。



＜理系＞医学部保健学科 検査技術科学専攻　カリキュラム・マップ

1．フロンティア精神 DP2 DP5 DP8 DP10	2．国際性の涵養 DP3 DP6 DP8 DP10	3．全人教育 DP1 DP3 DP4 DP9	4．実学の重視 DP1 DP2 DP4 DP5

【知識・理解】

DP1　保健科学・看護学のリーダーとしての幅広い教養と高い専門性を身につけている。

DP2　保健科学・看護学の実践者としての専門知識およびその知識体系を身につけている。

DP3　保健科学・看護学を取り巻く文化・歴史・社会・環境を理解することができる。

【汎用的技能】

DP4　多様化・複雑化する課題を発見し，その本質を理解できる能力を身につけている。

DP5　課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる能力を身につけている。

DP6　高い学問的および臨床的な探究心を有し，幅広く社会に還元することができる。

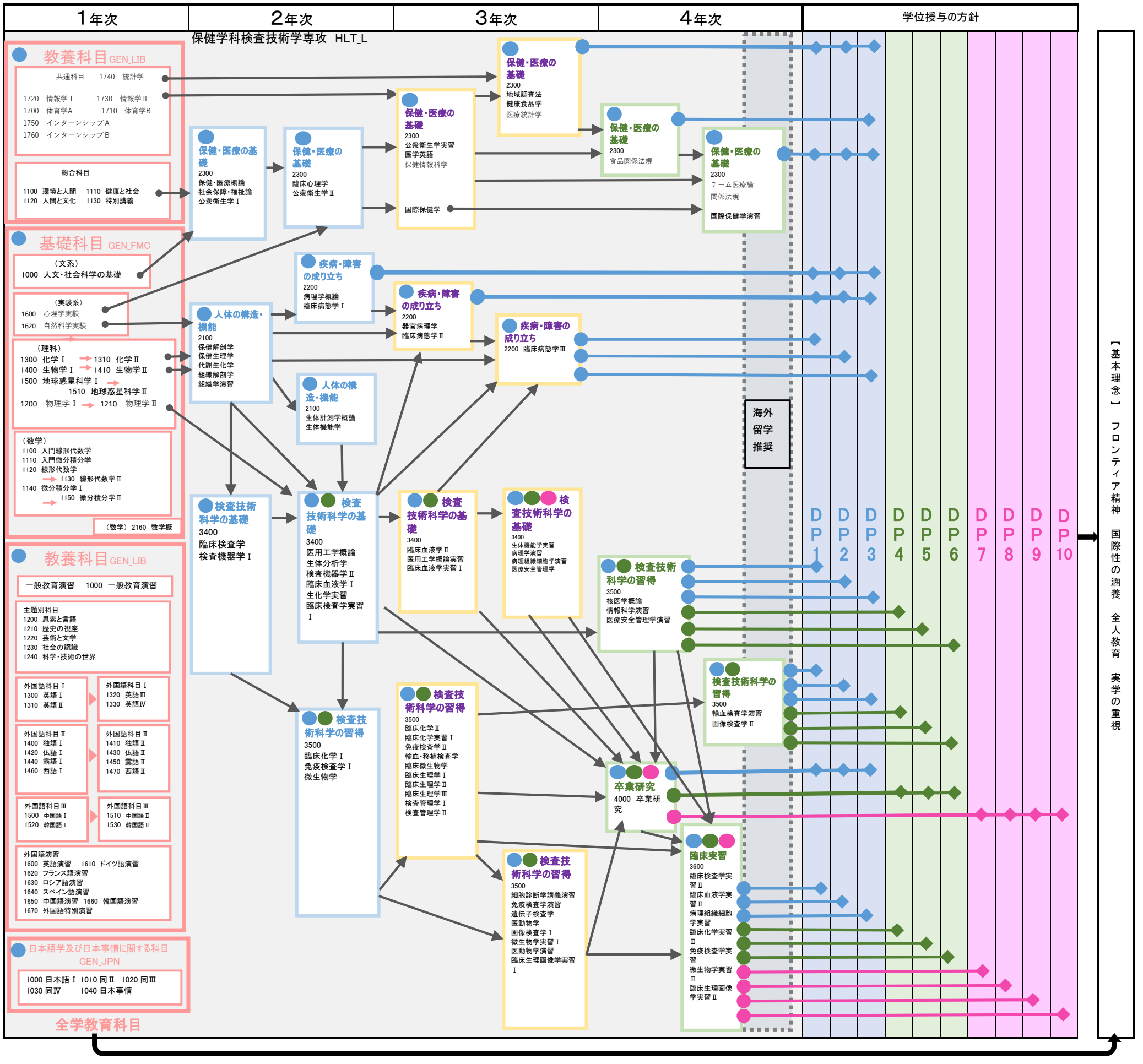
【態度・志向性】

DP7　保健科学・看護学をリードし，チーム医療を実践できる能力を身につけている。

DP8　保健科学・看護学の実践者・研究者として，社会的責任感と自己管理能力を身につけている。

DP9　多様化する価値観の中で，高い倫理観を有し，実践することができる。

DP10　生涯にわたって最新の保健科学・看護学を理解し，実践することができる。



＜理系＞医学部保健学科 理学療法学専攻　カリキュラム・マップ

1．フロンティア精神	2．国際性の涵養	3．全人教育	4．実学の重視
DP2 DP5 DP8 DP10	DP3 DP6 DP8 DP10	DP1 DP3 DP4 DP9	DP1 DP2 DP4 DP5

【知識・理解】

DP1　保健科学・看護学のリーダーとしての幅広い教養と高い専門性を身につけている。

DP2　保健科学・看護学の実践者としての専門知識およびその知識体系を身につけている。

DP3　保健科学・看護学を取り巻く文化・歴史・社会・環境を理解することができる。

【汎用的技能】

DP4　多様化・複雑化する課題を発見し，その本質を理解できる能力を身につけている。

DP5　課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる能力を身につけている。

DP6　高い学問的および臨床的な探究心を有し，幅広く社会に還元することができる。

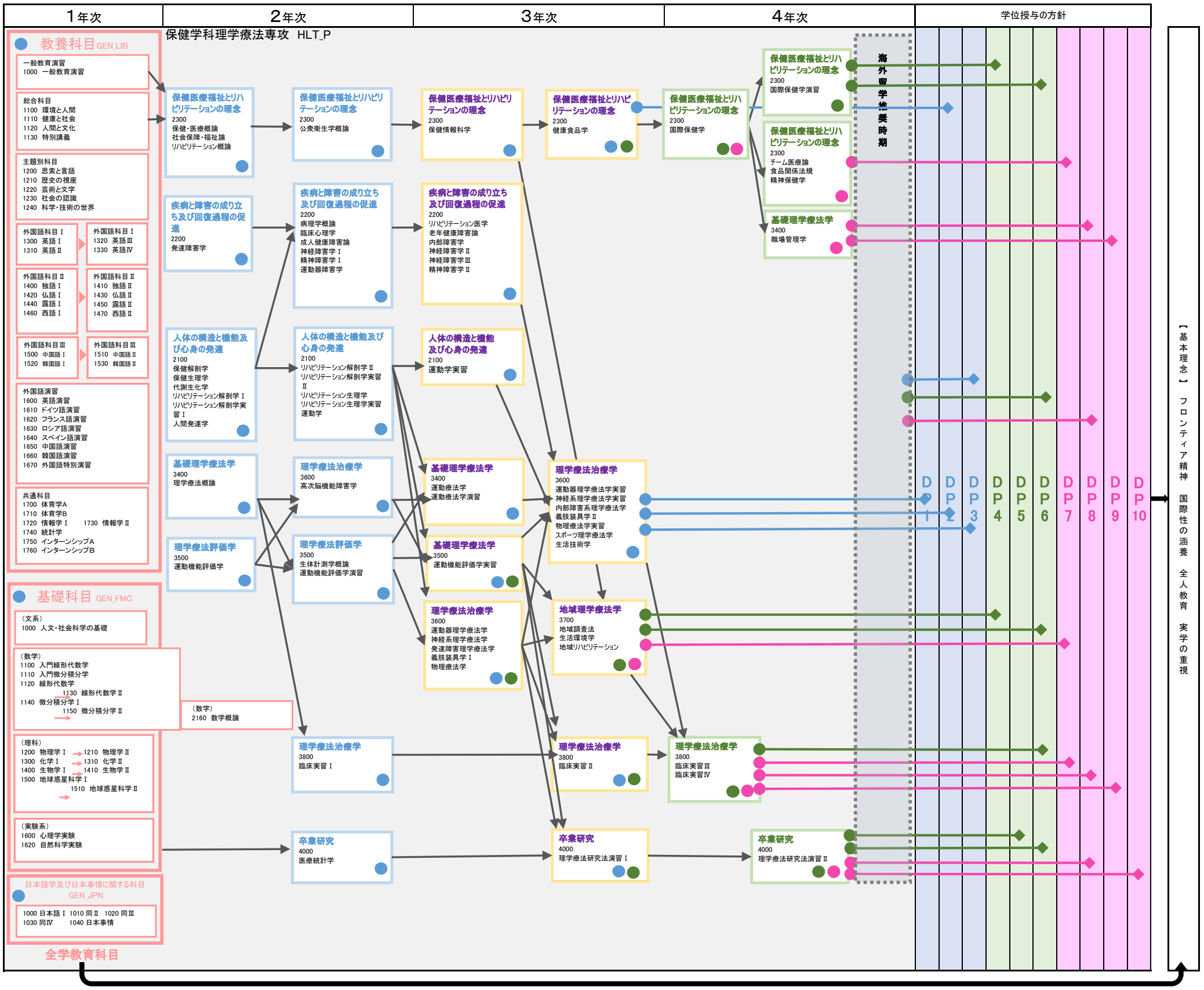
【態度・志向性】

DP7　保健科学・看護学をリードし，チーム医療を実践できる能力を身につけている。

DP8　保健科学・看護学の実践者・研究者として，社会的責任感と自己管理能力を身につけている。

DP9　多様化する価値観の中で，高い倫理観を有し，実践することができる。

DP10　生涯にわたって最新の保健科学・看護学を理解し，実践することができる。



＜理系＞医学部保健学科 作業療法学専攻　カリキュラム・マップ

1．フロンティア精神	2．国際性の涵養	3．全人教育	4．実学の重視
DP2 DP5 DP8 DP10	DP3 DP6 DP8 DP10	DP1 DP3 DP4 DP9	DP1 DP2 DP4 DP5

【知識・理解】

DP1　保健科学・看護学のリーダーとしての幅広い教養と高い専門性を身につけている。

DP2　保健科学・看護学の実践者としての専門知識およびその知識体系を身につけている。

DP3　保健科学・看護学を取り巻く文化・歴史・社会・環境を理解することができる。

【汎用的技能】

DP4　多様化・複雑化する課題を発見し，その本質を理解できる能力を身につけている。

DP5　課題解決に必要な情報を収集し，分析・判断・解決できる能力を身につけている。

DP6　高い学問的および臨床的な探究心を有し，幅広く社会に還元することができる。

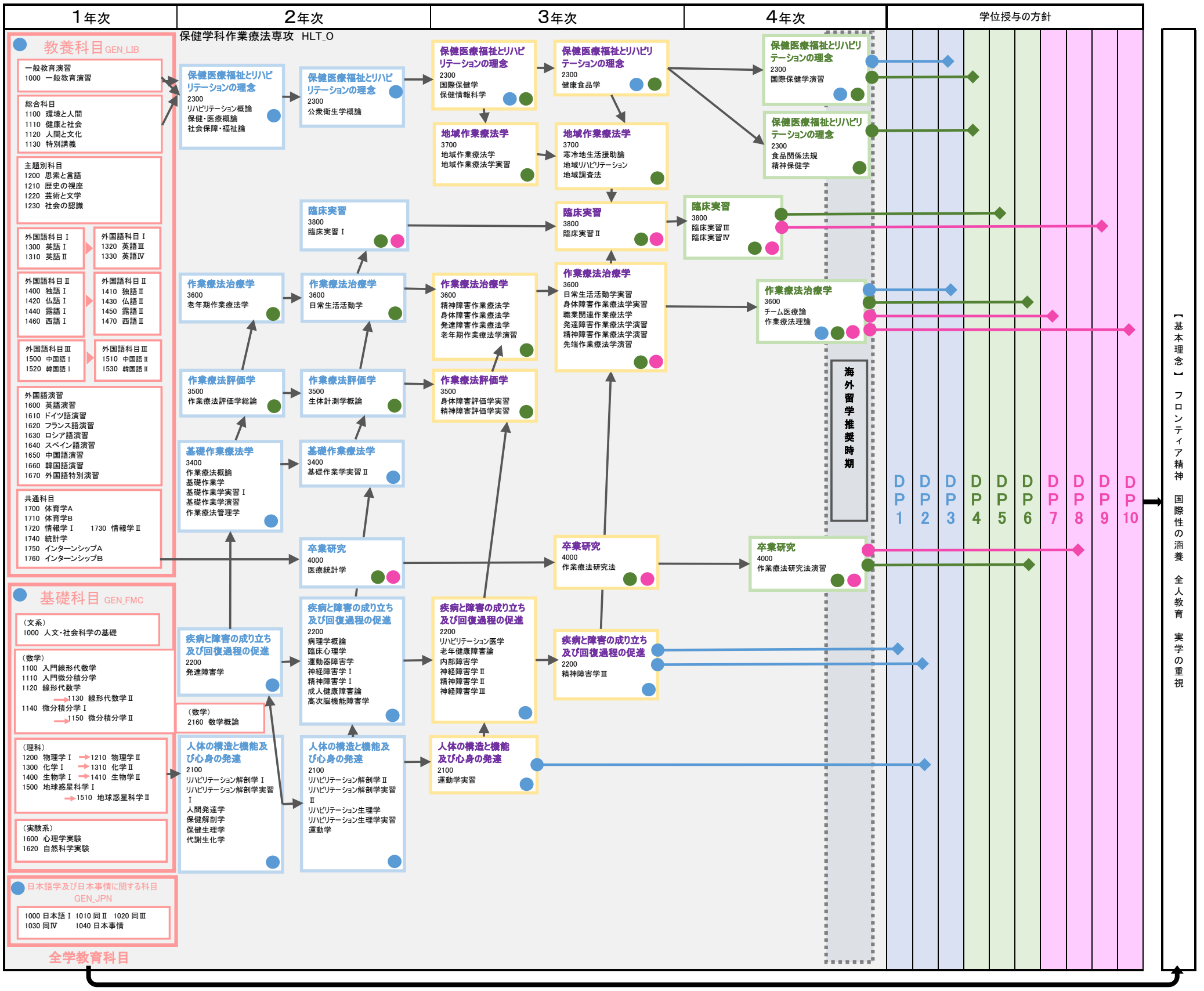
【態度・志向性】

DP7　保健科学・看護学をリードし，チーム医療を実践できる能力を身につけている。

DP8　保健科学・看護学の実践者・研究者として，社会的責任感と自己管理能力を身につけている。

DP9　多様化する価値観の中で，高い倫理観を有し，実践することができる。

DP10　生涯にわたって最新の保健科学・看護学を理解し，実践することができる。



看護学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数 必修	単位数 選択必修	単位数 選択	開講期・配当時間数 2年次 1学期 春	2年次 1学期 夏	2年次 2学期 秋	2年次 2学期 冬	3年次 1学期 春	3年次 1学期 夏	3年次 2学期 秋	3年次 2学期 冬	4年次 1学期 春	4年次 1学期 夏	4年次 2学期 秋	4年次 2学期 冬	備考（必要単位数）
専門教育科目	専門科目	社会保障・福祉論	1			15												必修97単位及び選択必修2単位を含む99
		保健・医療概論	1				15											
		保健解剖学	2			15	15											
		保健生理学	2			15	15											
		代謝生化学	2			15	15											
		病理学概論	1			15												
		医療統計学	2					15	15									
		地域調査法			1			15										
		公衆衛生学概論	2					15	15									
		生体計測学概論			1				15									
		臨床心理学	1					15										
		国際保健学	1							15								
		国際保健学演習			1												30	
		保健情報科学	1			15												
		チーム医療論			1											15		
		健康食品学			2			15	15									
		食品関係法規			1				15									
		保健微生物学	2			15	15											
		臨床生理学Ⅰ	1					15										
		臨床生理学Ⅱ	1						15									
		保健組織病理学	1				15											
		栄養学	1			15												
		保健生化学			1			15										
		疾患病態学概論	1					15										
		保健薬理学	2					15	15									
		健康と疫学	1							15								
		環境保健学	1							15								
		看護学概論	1			15												
		生活援助看護技術Ⅰ	1			30												
		生活援助看護技術Ⅱ	1				30											
		看護過程論	2					15	15									
		看護ヘルスアセスメント	1					15	15									
		治療と看護技術	1					15	15									
		基礎看護学統合演習	1					15	15									
		基礎看護学実習Ⅰ	1						45									
		基礎看護学実習Ⅱ	1								45							
		看護教育・看護管理	1											15				
		看護倫理	1													15		
		成人看護学概論	1				15											
		成人健康障害論Ⅰ	2					15	15									
		成人健康障害論Ⅱ	2					15	15									
		成人看護学援助論Ⅰ	1						15									
		成人看護学援助論Ⅱ	1							15								
		成人看護学援助論Ⅲ	1								15							
		臨床看護技術	1							15	15							
		成人看護学援助論Ⅳ	1										15					
		成人看護学実習Ⅰ	3									135						
		成人看護学実習Ⅱ	3												135			
		精神看護学概論	1					15										
		精神健康障害論	2							15	15							
		精神看護学援助論	1										30					
		精神看護学実習	2												90			
		老年看護学概論	1				15											
		老年看護学健康論	1					15										
		老年看護学援助論	1							15	15							
		老年健康障害論	1							15								
		老年看護学実習Ⅰ	1									45						
		老年看護学実習Ⅱ	3												135			
		小児看護学概論	1				15											
		小児看護学援助論Ⅰ	1						30									
		小児看護学援助論Ⅱ	1								30							
		小児健康障害論	1							30								
		小児看護学実習	2									90						
		母性看護学概論	1				15											
		母性健康障害論	1					15										
		母性看護学援助論Ⅰ	1					15	15									
		母性看護学援助論Ⅱ	1							15	15							
		母性看護学実習	2									90						
		在宅看護学概論	1								15							
		家族看護論	1							15								
		地域生活支援技術論	1							15	15							
		地域看護学概論	1							15								
		看護研究Ⅰ	1								30							
		看護研究Ⅱ	1										30					
		在宅看護学援助論	1										30					
		地域看護学実習	1									45						
		在宅看護学実習	2												90			
		看護総合技術論	1										15					
		看護研究Ⅲ	1												30			
		看護研究Ⅳ	1													30		
		災害看護論	1													15		
		エンド・オブ・ライフケア		1										15				選択必修科目の内2科目2単位以
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護		1										15				
		先端医療と看護		1										15				
		ヘルスプロモーション看護		1										15				
		実践医療英語		1										15				
		看護統合実習	2													90		
合計			97	5	8	165	180	285	300	420		525		570		165	30	99単位以上

放射線技術科学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	開講期・配当時間数 2年次 1学期 春	2年次 1学期 夏	2年次 2学期 秋	2年次 2学期 冬	3年次 1学期 春	3年次 1学期 夏	3年次 2学期 秋	3年次 2学期 冬	4年次 1学期 春	4年次 1学期 夏	4年次 2学期 秋	4年次 2学期 冬	備考（必要単位数）
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1			15											
		社会保障・福祉論	1		15												
		保健解剖学	2		15	15											
		保健生理学	2		15	15											
		代謝生化学	2		15	15											
		病理学概論	1				15										
		臨床心理学		1			15										
		生体計測学概論	1					15									
		公衆衛生学概論	2				15	15									
		保健情報科学	1		15												
		地域調査法		1							15						
		医療統計学		2							15	15					
		国際保健学		1									15				
		国際保健学演習		1												30	
		チーム医療論		1											15		
		健康食品学		2											15	15	
		食品関係法規		1												15	
	専門科目	一般臨床医学	2				15	15									必修103単位を含む105単位以
		臨床画像解剖学Ⅰ	2				15	15									
		臨床画像解剖学Ⅱ	1						15								
		画像解剖学演習	1						15	15							
		保健解剖学演習	1							30							
		物理数学	1		15												
		医用電磁気学	2		15	15											
		医用電気回路	1				15										
		制御工学概論	1					15									
		医用電子工学Ⅰ	1				15										
		医用電子工学Ⅱ	1					15									
		基礎工学実験Ⅰ	1		45												
		基礎工学実験Ⅱ	1			45											
		放射線物理学基礎	1		15												
		放射線物理学Ⅰ	2				15	15									
		放射線物理学Ⅱ	2						15	15							
		放射化学	2						15	15							
		放射線計測学Ⅰ	2				15	15									
		放射線計測学Ⅱ	2						15	15							
		放射線計測学実習	1							45							
		磁気共鳴学基礎	2				15	15									
		磁気共鳴学Ⅰ	2						15	15							
		磁気共鳴学Ⅱ	2								15	15					
		医用画像機器工学Ⅰ	2				15	15									
		医用画像機器工学Ⅱ	1								15						
		医用機器工学実習	1									45					
		臨床撮影技術学Ⅰ	2						15	15							
		臨床撮影技術学Ⅱ	2								15	15					
専門教育科目	専門科目	基礎撮影技術学実習	1								45						
		臨床画像技術学	1						15								
		検査薬理学概論	1							15							
		医療安全管理学	1								15						
		超音波機器工学	1					15									
		臨床超音波検査学	1						15								
		画像診断学概論	2						15	15							
		放射化学実験	1								45						
		核医学機器工学概論	1						15								
		核医学概論	2						15	15							
		核医学検査技術学	2								15	15					
		核医学検査技術学実習	1										45				
		放射線治療工学概論	2						15	15							
		放射線生物学	1						15								
		放射線腫瘍学	2								15	15					
		放射線治療技術学	2								15	15					
		基礎放射線治療技術学実習	1										45				
		医用画像情報学	2				15	15									
		医用画像情報学実験	1							45							
		医療情報学	2								15	15					
		放射線防護学	2						15	15							
		放射線防護学実習	1								45						
		放射線関係法規	2								15	15					
		臨床実習Ⅰ	2										45		45		
		臨床実習Ⅱ	2										45		45		
		臨床実習Ⅲ	2										45		45		
		臨床実習Ⅳ	2										45		45		
		臨床実習Ⅴ	2										45		45		
		卒業研究	5										90		135		
合計			103	10	240		405		510		465		420		390	60	105単位以上

検査技術科学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数			開講期・配当時間数												備考（必要単位数）
						2年次				3年次				4年次				
			必修	選択必修	選択	1学期		2学期		1学期		2学期		1学期		2学期		
						春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1				15											
		社会保障・福祉論	1			15												必修12単位及び選択必修2単位を含む14単
		保健解剖学	2			15	15											
		保健生理学	2			15	15											
		代謝生化学	2			15	15											
		保健情報科学	1							15								
		病理学概論	1					15										
		医療統計学	2									15	15					
		臨床心理学		1				15										1単位以上修得すること
		生体計測学概論		1					15									
		国際保健学		1						15								
		地域調査法		1								15						1単位以上修得すること
		チーム医療論		1												15		
		国際保健学演習			1												30	
		健康食品学			2							15	15					
		食品関係法規			1								15					
	専門科目	検査機器学Ⅰ	1			15												
		検査機器学Ⅱ	1					15										
		組織解剖学	1				15											
		組織学演習	1				30											
		生体機能学	1					15										
		生体機能学実習	1									45						
		生体分析学	1					15										
		生化学実習	1					45										
		臨床検査学	2			30	30											
		臨床検査学実習Ⅰ	2					45	45									
		公衆衛生学Ⅰ	1			15												84単位以上
		公衆衛生学Ⅱ	1						15									
		公衆衛生学実習	1							45								
		情報科学演習			1									15	15			
		医用工学概論	2					15	15									
		医用工学概論実習	1								45							
		医療安全管理学	1									15						
		臨床病態学Ⅰ	2					15	15									
		臨床病態学Ⅱ	2							15	15							
		臨床病態学Ⅲ	2									15	15					
		臨床血液学Ⅰ	2					30	30									
		臨床血液学Ⅱ	1							15								
		臨床血液学実習Ⅰ	2							45	45							
		器官病理学	1								15							
		細胞診断学講義演習	1										30					
		病理学演習	1									30						
	専門科目	病理組織細胞学演習	1									30						
		臨床化学Ⅰ	1						15									
		臨床化学Ⅱ	2							15	15							
		臨床化学実習Ⅰ	1								45							
		核医学概論	2											15	15			
		医療安全管理学演習	1											15	15			
		免疫検査学Ⅰ	1						15									
		免疫検査学Ⅱ	1							15								
		輸血・移植検査学	1								15							
		免疫検査学演習	1									30						
		遺伝子検査学	1									15						
		輸血検査学演習	1													30		
		微生物学	2					15	15									
		微生物学実習Ⅰ	2										90					
		臨床微生物学	2							15	15							
		医動物学	2									15	15					
		医動物学演習	1										30					
		臨床生理学Ⅰ	1							15								
		臨床生理学Ⅱ	2							15	15							
		臨床生理学Ⅲ	2							15	15							
		臨床生理画像学実習Ⅰ	1										45					
		画像検査学Ⅰ	2									15	15					
		画像検査学Ⅱ	1													15		
		検査管理学Ⅰ	1							15								
		検査管理学Ⅱ	1							15								
		医学英語	1								15							
		関係法規	1													15		
		卒業研究	7											157.5	157.5			
		臨床検査学実習Ⅱ	1													45		
		臨床血液学実習Ⅱ	1													45		
		病理組織細胞学実習Ⅱ	1													45		
		臨床化学実習Ⅱ	1													45		
		免疫検査学実習	1													45		
		微生物学実習Ⅱ	1													45		
		臨床生理画像学実習Ⅱ	2													90		
合計			96	5	5	120	135	240	180	525		255	285	202.5	202.5	435	30	98単位以上

理学療法学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数 必修	単位数 選択	開講期・配当時間数 2年次 1学期 春	2年次 1学期 夏	2年次 2学期 秋	2年次 2学期 冬	3年次 1学期 春	3年次 1学期 夏	3年次 2学期 秋	3年次 2学期 冬	4年次 1学期 春	4年次 1学期 夏	4年次 2学期 秋	4年次 2学期 冬	備考（必要単位数）
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1			15											必修95単位を含む99単位以上
		社会保障・福祉論	1		15												
		保健解剖学	2		15	15											
		保健生理学	2		15	15											
		代謝生化学		2	15	15											
		病理学概論	1				15										
		臨床心理学	1				15										
		公衆衛生学概論	2				15	15									
		生体計測学概論		1				15									
		医療統計学	2				15	15									
		地域調査法		1							15						
		国際保健学		1									15				
		保健情報科学		1					15								
		国際保健学演習		1												30	
		チーム医療論		1											15		
		健康食品学		2							15	15					
		食品関係法規		1												15	
	専門科目	リハビリテーション解剖学Ⅰ	1		15												
		リハビリテーション解剖学Ⅱ	1				15										
		リハビリテーション解剖学実習Ⅰ	1			45											
		リハビリテーション解剖学実習Ⅱ	1				45										
		リハビリテーション生理学	2				30										
		リハビリテーション生理学実習	1				45										
		運動学	2				15	15									
		運動学実習	1						45								
		リハビリテーション医学	1							15							
		老年健康障害論	1						15								
		運動器障害学	2				15	15									
		成人健康障害論	2				15	15									
		内部障害学	1						15								
		神経障害学Ⅰ	1				15										
		神経障害学Ⅱ	2						30								
		神経障害学Ⅲ	1							15							
		高次脳機能障害学	1				15										
		精神障害学Ⅰ	1					15									
		精神障害学Ⅱ	1						15								
		発達障害学	2		15	15											
		リハビリテーション概論	1			15											
		理学療法学概論	1		15												
		運動療法学	2						15	15							
		運動療法学演習	1							30							
		理学療法研究法演習Ⅰ	1								15	15					
		理学療法研究法演習Ⅱ	2												60		
		運動機能評価学	1			15											
		運動機能評価学演習	2				60										
専門教育科目	専門科目	運動機能評価学実習	1							45							
		人間発達学	2		15	15											
		職場管理学	1												15		
		運動器系理学療法学	2						15	15							
		運動器系理学療法学実習	1								45						
		神経系理学療法学	2						15	15							
		神経系理学療法学実習	1								45						
		発達障害理学療法学	2						15	15							
		内部障害系理学療法学	2								15	15					
		義肢装具学I	2						15	15							
		義肢装具学II	1								15						
		物理療法学	2						15	15							
		物理療法学実習	1								45						
		臨床運動学	1								15						
		精神保健学	1												15		
		生活環境学	1								15						
		スポーツ理学療法学	1								15						
		地域リハビリテーション	1								15						
		生活技術学	2								15	15					
		臨床実習Ⅰ	1					45									
		臨床実習Ⅱ	2								90						
		臨床実習Ⅲ	8										360				
		臨床実習Ⅳ	8										360				
合計			95	11	120	165	480		420		435		735		105	45	99単位以上

作業療法学専攻　平成28年度以降入学者

専門科目

区分	分野	授業科目	単位数		開講期・配当時間数												備考
			必修	選択	2年次				3年次				4年次				
					1学期		2学期		1学期		2学期		1学期		2学期		
					春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	（必要単位数）
専門教育科目	学科共通科目	保健・医療概論	1			15											必修93単位を含む95単位以上
		社会保障・福祉論	1		15												
		保健解剖学	2		15	15											
		保健生理学	2		15	15											
		代謝生化学		2	15	15											
		病理学概論	1				15										
		臨床心理学	1				15										
		生体計測学概論		1				15									
		地域調査法		1							15						
		医療統計学	2				15	15									
		国際保健学		1					15								
		保健情報科学		1					15								
		国際保健学演習		1												30	
		チーム医療論		1											15		
		公衆衛生学概論		2			15	15									
		健康食品学		2							15	15					
		食品関係法規		1												15	
	専門科目	リハビリテーション概論	1			15											
		リハビリテーション解剖学Ⅰ	1			15											
		リハビリテーション解剖学Ⅱ	1				15										
		リハビリテーション解剖学実習	1			45											
		リハビリテーション解剖学実習	1				45										
		リハビリテーション生理学	2				30										
		リハビリテーション生理学実習	1					45									
		人間発達学	2		15	15											
		運動学	2				15	15									
		運動学実習	1							45							
		リハビリテーション医学	1							15							
		老年健康障害論	1						15								
		運動器障害学	2				15	15									
		成人健康障害論	2				15	15									
		内部障害学	1						15								
		神経障害学Ⅰ	1				15										
		神経障害学Ⅱ	2						30								
		神経障害学Ⅲ	1							15							
		高次脳機能障害学	1				15										
		精神障害学Ⅰ	1					15									
		精神障害学Ⅱ	1						15								
		精神障害学Ⅲ	1								15						
		発達障害学	2		15	15											
		精神保健学	1												15		
		作業療法概論	1		15												
		基礎作業学	1			15											
		基礎作業学実習Ⅰ	1		45												
		基礎作業学実習Ⅱ	1				45										
		基礎作業学演習	1		30												
		作業療法管理学	1		15												
		作業療法評価学総論	1		15												
		身体障害評価学実習	1							45							
		精神障害評価学実習	1							45							
		身体障害作業療法学	2						15	15							
		身体障害作業療法学実習	1								45						
		精神障害作業療法学	2						15	15							
		精神障害作業療法学実習	1								45						
		発達障害作業療法学	1						15								
		発達障害作業療法学演習	1								15	15					
		老年期作業療法学	1			15											
		老年期作業療法学演習	1						15	15							
		日常生活活動学	1					15									
		日常生活活動学実習	1								45						
		職業関連作業療法学	1								15						
		作業療法理論	1												15		
		先端作業療法学演習	1									30					
		作業療法研究法	1								15	15					
		作業療法研究法演習	3												90		
		地域リハビリテーション	1								15						
		地域作業療法学	1							15							
		地域作業療法学実習	1							45							
		寒冷地生活援助論	1								15						
		臨床実習Ⅰ	2					90									
		臨床実習Ⅱ	2									90					
		臨床実習Ⅲ	8										360				
		臨床実習Ⅳ	8											360			
合計			93	13	210	195	525		435		420		720		135	45	95単位以上

資料保 42

北海道大学オープン・コース・ウエア（OCW）公開中の教材

1. タイトル: **大学院教育　保健科学研究院 「臨床検査」映像教材 ：ニュートンリングの作製法**（2018） 監修: 政氏伸夫（北海道大学大学院保険科学研究院）概要: この映像教材では、「ニュートンリングの作製法」の臨床検査手技について学ぶことができます。

2. タイトル: **大学院教育　保健科学研究院 「臨床検査」映像教材 ：血液塗抹標本作製**（2018）監修: 政氏伸夫（北海道大学大学院保険科学研究院）概要: この映像教材では、「血液塗抹標本作製（実験台)」「血液塗抹標本作製（手持ち)」「鏡検に適さない血液塗沫標本例」の臨床検査手技について学ぶことができます。

3. タイトル: **大学院教育　保健科学研究院 「臨床検査」映像教材 ：肘静脈からの採血**（2018）監修: 政氏伸夫（北海道大学大学院保険科学研究院）概要: この映像教材では、「肘静脈からの採血（右腕)」「肘静脈からの採血（左腕)」の臨床検査手技について学ぶことができます。

4. タイトル: **大学院教育　保健科学研究院 「臨床検査」映像教材**（2017）監修：安本篤史（東京大学大学院医学系研究科)、企画：政氏伸夫（北海道大学大学院保険科学研究院）概要: この映像教材では、「血小板凝集能」「出血時間（Duke 法)」「用手法による凝固時間の測定」の臨床検査手技について学ぶことができます。

5. タイトル: **サステナビリティ・ウィーク　ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ**（2013）教員: 小林 清一（北海道大学大学院保険科学研究院)、伊達 広行（北海道大学大学院保険科学研究院)、小笠原 克彦（北海道大学大学院保険科学研究院）概要: 保健科学研究院の公開講座は「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」というテーマのもと、3 名の研究者が専門分野の紹介をわかりやすく行います。第 1 限目：「リウマチ診療の進歩と画像診断」神島保教授（医用生体理工学分野）が進行性の関節破壊をきたす関節リウマチの診断・治療に画像診断がどのように役立つかを解説します。第 2 限目：「超音波でみる心臓の動きと血液の流れ」三神大世教授（病態解析学分野）が心臓の動きや血流の動画など人体内をリアルタイムで映像化する超音波の診断能力について解説します。第 3 限目：「子どものうつと自殺に傾く心理ーその実態と対策についてー」傳田健三教授（生活機能学分野）が、近年増加している子どものうつ病、若者の自殺について、わが国の実態を報告し、その対策について解説します。講演者はサスティナビリティ・ウィーク 2013 のテーマである「持続可能な社会の構築に向けた学び」をキーワードとして、保健科学の視点から詳しくかつ分かりやすく解説します。

6. タイトル: **サステナビリティ・ウィーク　安心した暮らしと在宅ケアを支える**（2012）教員: 伊達 広行（北海道大学大学院保健科学研究院)、進藤 ゆかり（北海道大学大学院保健化学研究院)、中島 一樹（富山大学大学院理工学研究部)、山田 憲嗣（大阪大学大学院医学系研究科)、高橋 誠（北海道大学大学院情報科学研究科）概要: 急速に高齢化が進む日本では、日常生活の中で健康を維持管理できることが重要です。また、看護・介護が必要になっても在宅で安心な生活できれば、病院ベッド数の不足を解消するとともに、「自宅で最期を迎えたい」という国民意識にも適います。本セミナーは、在宅を中心に安心した暮らしを支えるための健康科学・技術に関する紹介です。

7. タイトル: **サステナビリティ・ウィーク　ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ**（2012）教員: 伊達 広行（北海道大学大学院保健科学研究院)、小林 清一（北海道大学大学院保健科学研究院)、宮本 顯二（北海道大学大学院保健科学研究院）概要: 保健科学研究院の公開講座は「ようこそ！ ヘルスサイエンスの世界へ」というテーマのもと、３名の講師陣が専門分野の紹介をします。第１限目は「アレルギーの不思議」と題して、小林清一教授が国民病とも呼ばれているアレルギーについて解説します。第２限目は「あなたの健康生活を支える看護師活用術」と題して、良村貞子教授が保健医療福祉の現場で活躍している看護職者の業務の内容を紹介します。第３限目は「今こそ考えるとき、高齢者の延命治療　―我が国と諸外国の比較から―」と題して、宮本顯二教授が高齢者の終末期医療について解説します。

8. タイトル: **全学教育　あつまれメディカル Lab サイエンス大好き人間!! 未知なる血液学の世界**（2013）教員 政氏 伸夫 （北海道大学大学院保健科学研究院）概要:「メディカル Lab サイエンス」という造語からどのようなイメージをもちますか? 医学は病気の治療から予防さらに健康維持へと大きな転換期を迎えています。健康を維持していくためにどのようにしたらよいのか.....私達の健康を脅かすさまざまな要因からその方策を浮き彫りにして行きます。"健康"を中心に"医学"、"検査"、"生理機能、""がん""、""血液""、""化学""、""寄生虫""、""エイズ""、""染色体""、""細菌""を有機的に連結し包括的に捉えなおすことで、私達のライフスタイルについてあらためて考えてみましょう!"

9. タイトル: **ひらめき☆ときめきサイエンス　ようこそ不思議な細菌の世界へ！**（2010）教員 山口 博之（保健科学研究院）概要: 皆さんは身の周りに沢山の細菌が存在していることを知っていますか。口、皮膚、腸管等、体には沢山の細菌が住みついています。また校庭の土や流しの周りや、こうやって吸い込む空気にも細菌が存在しているのです。"病気になっちゃう!!"と思って口を塞いだあなた。大丈夫です。ほとんどの場合、害はありません。病気を起こす細菌はほんの一部です。例え害のある細菌が体に入り込んだとしても体に元から住みついている細菌のおかげで容易には病気にはなりません。さて、身の周りに沢山いる細菌は様々な環境でどのように生きているのでしょうか。 一緒にその細菌を見て、ふやして、そして感じてみましょう!

【調査票】

A 基本情報

大学・短期大学・高等専門学校におけるインターンシップ実施状況等調査

学校種	大学・大学院	学校名	北海道大学
担当部署	学務部キャリア支援課	担当者名	野坂 慎一
連絡先（TEL）	011-706-3262	連絡先（e-mail）	ccsup1@academic.hokudai.ac.jp

平成29年度 実施状況					インターンシップ実施状況①																			インターンシップ実施状況②
					基本データ				K 学年等別参加学生数（人）					L 実習月											M
B 学校名	C 学校基本調査分類	D 学部名／研究科名	E 学科名／専攻名	F 授業科目名	G 単位数	H 資格取得	I 必修選択	J 国内・海外	合計	1年	2年	3年	4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	不明	実習期間
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	基礎看護学実習	2	有	○		75			75				○											2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	基礎看護学実習	2	有	○		73		73													○			2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	小児看護学実習	2	有	○		75			75							○								2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	成人看護学実習Ⅰ	3	有	○		75			75								○							3週間～1ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	母性看護学実習	2	有	○		75			75								○							3週間～1ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	老年看護学実習Ⅰ	1	有	○		75			75							○								1週間～2週間未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	地域看護学実習	1	有	○		75			75								○							1週間～2週間未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	老年看護学実習Ⅱ	3	有	○		79				79		○												3週間～1ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	精神看護学実習	2	有	○		79				79		○												2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	成人看護学実習Ⅱ	3	有	○		79				79		○												3週間～1ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	在宅看護学実習	2	有	○		79				79		○												2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	看護学専攻	看護統合実習	2	有	○		79				79						○								2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	放射線技術科学専攻	臨床実習Ⅰ	2	有	○		38				38			○											3週間～1ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	放射線技術科学専攻	臨床実習Ⅱ	2	有	○		38				38			○											2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	放射線技術科学専攻	臨床実習Ⅲ	2	有	○		38				38			○											2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	放射線技術科学専攻	臨床実習Ⅳ	2	有	○		38				38			○											1週間未満
北海道大学	保健	医学部	放射線技術科学専攻	臨床実習Ⅴ	2	有	○		38				38			○											1週間未満
北海道大学	保健	医学部	検査技術科学専攻	臨床検査学実習Ⅱ	1	有	○		35				35						○								2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	検査技術科学専攻	臨床血液学実習Ⅱ	1	有	○		35				35						○								1週間～2週間未満
北海道大学	保健	医学部	検査技術科学専攻	病理組織細胞学実習Ⅱ	1	有	○		35				35						○								1ヶ月～2ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	検査技術科学専攻	臨床化学実習Ⅱ	1	有	○		35				35						○								1週間～2週間未満
北海道大学	保健	医学部	検査技術科学専攻	免疫検査学実習Ⅱ	1	有	○		35				35						○								2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	検査技術科学専攻	微生物学実習Ⅱ	1	有	○		35				35						○								1週間～2週間未満
北海道大学	保健	医学部	検査技術科学専攻	臨床生理画像学実習Ⅱ	1	有	○		35				35						○								1ヶ月～2ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	理学療法学専攻	臨床見学実習	1	有	○		1		1													○			1週間未満
北海道大学	保健	医学部	理学療法学専攻	臨床実習Ⅰ（新カリ）	1	有	○		18		18													○			1週間未満
北海道大学	保健	医学部	理学療法学専攻	臨床評価実習	2	有	○		16			16									○						2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	理学療法学専攻	臨床実習Ⅰ	8	有	○		15				15	○													2ヶ月～3ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	理学療法学専攻	臨床実習Ⅱ	8	有	○		16				16			○											2ヶ月～3ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	作業療法学専攻	臨床実習Ⅰ（新カリ）	2	有	○		14		14													○			1週間～2週間未満
北海道大学	保健	医学部	作業療法学専攻	臨床評価実習	2	有	○		17			17										○					2週間～3週間未満
北海道大学	保健	医学部	作業療法学専攻	臨床実習Ⅰ	8	有	○		23				23	○													2ヶ月～3ヶ月未満
北海道大学	保健	医学部	作業療法学専攻	臨床実習Ⅱ	8	有	○		23				23			○											2ヶ月～3ヶ月未満

合計 1,496

資料保43

資料保44

医学部保健学科看護学専攻　成績評価基準

Ⅰ 成績評価の基準

1．成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行う。

2. 看護学専攻の専門科目は，看護職として必要な知識・技術・態度を備えているかの具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて11 段階にて評価する。尚，成績分布の目安は示さない。

3. 看護研究Ⅱ～Ⅳに限り，「合・否」で成績評価を行う。

4. 授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を学期ごとに成績評価専門委員会で検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

Ⅱ 成績評価の方法

1. 成績評価は，授業回数の２/３以上を出席したものを対象に，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等により行う。

2. 授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。

3. 具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

1. 試験及び授業への参加度等による評価の場合は，授業回数の２／３以上出席した者を対象に，「授業への参加態度」，「レポート」，「学期末試験」について予め示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験では基礎的な学力を評価する。

2. レポートによる評価の場合は，「毎回の授業における質問票」，「授業への参加態度」，「学期末レポートの内容」について予め示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。

3. 実習は，出席日数，実習内容，実習態度，カンファレンス，学内演習への参加状況，レポートなどを総合的に評価し，11段階で到達度を評価する。

4. 看護研究Ⅱ～Ⅳについては，研究の内容と意義・新奇性，研究への取り組み方・積極性，論文内容，発表のパフォーマンスなどから総合的に評価し，到達目標に達したものを「合」とする。

Ⅳ．その他

学科共通科目は，科目責任教員の属する専攻の成績評価基準に従う。

医学部保健学科放射線技術科学専攻　成績評価基準

Ⅰ 成績評価の基準

1. 成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行う。
2. 放射線技術科学専攻の専門科目は，放射線技術科学を担う人材として必要な知識を備えているかの具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて11 段階にて評価する。
3. 授業を病院実習で行う科目及び卒業研究に限り，「合・否」で成績評価を行う。
4. 授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を学期ごとに成績評価専門委員会で検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

Ⅱ 成績評価の方法

1. 成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等により行う。
2. 授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。
3. 具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

1. 試験のみによる評価の場合は，学期末試験によって到達目標の達成度を評価する。
2. 試験及び授業への参加度等による評価の場合は，授業回数の２／３以上出席した者を対象に，「授業への参加態度」，「レポート」，「学期末試験」について予め示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験では基礎的な学力を評価する。
3. レポートによる評価の場合は，「毎回の授業における質問票」，「授業への参加態度」，「学期末レポートの内容」について予め示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。
4. 実習で行う科目については，全ての実験テーマを対象として，テーマ毎に定められた到達目標に達したレポートを提出した者を「合」とする。
5. 卒業研究については，成果発表を行い，到達目標に達した者を「合」とする。

Ⅳ．その他

学科共通科目は，科目責任教員の属する専攻の成績評価基準に従う。

医学部保健学科検査技術科学専攻　成績評価基準

Ⅰ 成績評価の基準

1. 成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行う。
2. 検査技術科学専攻は、専門科目ごとに，検査技術科学を担う人材として必要な知識を備えているかの具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて、原則、11 段階にて評価する。尚，成績分布の目安は示さない。
3. 授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果は学期ごとに成績評価専門委員会が検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

Ⅱ 成績評価の方法

1. 成績評価は，授業回数の２／３以上の授業に出席した者を対象に，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等により行う。
2. 授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。
3. 具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

1. 試験のみによって評価する場合は、学期末試験によって到達目標の達成度を評価する。
2. 試験及び授業への参加度等によって評価する場合は「授業への参加態度」,「レポート」,「学期末試験」等について各々評価し、シラバスで予め示した比率に従って集計する。この結果により到達目標の達成度を評価する。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験では基礎的な学力を評価する。
3. レポートのみによる評価の場合は、「毎回の授業における質問票や課題に対するレポート」，「授業への参加態度」，「学期末レポートの内容」について予め示された比率で各項目の評価を集計して，到達目標の達成度を評価する。

Ⅳ．その他

学科共通科目は，科目責任教員の属する専攻の成績評価基準に従う。

医学部保健学科理学療法学専攻　成績評価基準

Ⅰ 成績評価の基準

1. 成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行う。
2. 理学療法学専攻の専門科目は，理学療法学を担う人材として必要な知識を備えているかの具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて11 段階にて評価する。尚，成績分布の目安は示さない。
3. 「理学療法研究」に限り，「合・否」で成績評価を行う。
4. 授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を学期ごとに成績評価専門委員会で検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

Ⅱ 成績評価の方法

1. 成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等により行う。
2. 授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。
3. 具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

1. 試験のみによる評価の場合は，学期末試験によって到達目標の達成度を評価する。
2. 試験及び授業への参加度等による評価の場合は，授業回数の２／３以上出席した者を対象に，「授業への参加態度」，「レポート」，「学期末試験」について予め示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。レポートでは授業のテーマについての理解の深まりを，学期末試験では基礎的な学力を評価する。
3. レポートによる評価の場合は，「毎回の授業における質問票」，「授業への参加態度」，「学期末レポートの内容」について予め示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。
4. 実習で行う科目については，出席日数，実習内容，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等を総合的に評価して，到達目標の達成度を評価する。

5. 「理学療法研究」については，成果発表（プレゼンテーション）を行い，到達目標に達した者を「合」とする。

Ⅳ．その他

学科共通科目は，科目責任教員の属する専攻の成績評価基準に従う。

医学部保健学科作業療法学専攻　成績評価基準

Ⅰ 成績評価の基準

1. 成績評価にあたっては，本学部の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる本学科の「養成する人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）」を踏まえ，授業科目ごとに「到達目標」を設定し，履修者の「学修成果の質」（達成度）に応じて行うこととする。
2. 作業療法学専攻の専門科目は，作業療法学を担う人材として必要な知識を備えているかの具体的な「到達目標」を定め，達成度に応じて11 段階で評価する。尚，成績分布の目安は示さない。
3. 授業科目ごとに適切な「到達目標」が設定されており，当該「到達目標」に基づく成績評価の結果を学期ごとに成績評価専門委員会で検証し，必要に応じて担当教員に「到達目標」の再検討を依頼する。

Ⅱ 成績評価の方法

1. 成績評価は，試験結果，レポート評価，成果発表（プレゼンテーション），学修態度等により行う。
2. 授業への出欠状況を単に点数化し評価に用いることはできない。
3. 具体的な評価方法は，授業担当教員が定める。

Ⅲ シラバスへの記載方法

授業担当教員は，下記の例を参考に「成績評価の基準と方法」をシラバスに明記する。

1. 試験による評価の場合は，学期末試験と中間試験によって到達目標の達成度を評価する。試験のみならず「レポート」，「授業への参加態度」等についても予めシラバスに示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。
2. 試験によらない評価の場合は，「レポート」，「授業への参加態度」等についても予めシラバスに示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。臨床実習についても同様の方法で評価する。
3. 作業療法研究法及び作業療法研究法演習については，計画発表・成果発表（プレゼンテーション），論文等予めシラバスに示された比率を総合して，到達目標の達成度を評価する。

Ⅳ．その他

学科共通科目は，科目責任教員の属する専攻の成績評価基準に従う。

４. 成績評価とＧＰＡについて

ＧＰＡ（grade point average）とは，米国の大学で一般的に行われている成績評価方法で，学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値により表すものである。学期ごとに，学生が履修した各科目の評価に一定のＧＰを与え，このＧＰにその科目の単位数を乗じ，その合計を，履修科目の単位数の合計で除して算出する。

１）成績評価の方法

授業科目の成績は，授業の履修状況と試験の評点を総合して判定する。

２）成績評価とＧＰ

成績は，「A+」「A」「A-」「B+」「B」「B-」「C+」「C」「D」「D-」「F」の１１段階で評価され，各評価に対するＧＰは下表のとおりである。

３）成績評価の基準

絶対評価によるか，相対評価によるか，絶対評価による場合の評価基準，相対評価による場合の評価基準と各評価の割合等については，授業科目ごとに担当教員の協議により定め，シラバスに明記する。

評語	学修成果の質	GP	100点方式による素点の目安	備考
A^+	授業科目の到達目標すべての面で秀逸な学修成果をあげた。	4.3	95-100	合格
A	授業科目の到達目標のすべての面で優秀な学修成果をあげた。	4.0	90-94	
A^-	授業科目の到達目標のほとんどの面で優秀な学修成果をあげたが，一部において良好な結果にとどまった。	3.7	85-89	
B^+	授業科目の到達目標のすべての面で良好な学修成果をあげた。	3.3	80-84	
B	授業科目の到達目標のほとんどの面で良好な学修成果をあげたが，一部において良好とまでは言えない結果にとどまった。	3.0	75-79	
B^-	授業科目の到達目標のいくつかの面で良好な学修成果をあげたが，全体として良好とまでは言えない結果にとどまった。	2.7	70-74	
C^+	授業科目の到達目標のほとんどの面で合格となる最低限の学修成果であったが，良好な面がいくつかあった。	2.3	65-69	
C	授業科目の到達目標のすべての面で合格となる最低限の学修成果であった。	2.0	60-64	
D	授業科目の到達目標全体として合格となる最低限の学修成果より少し低い結果であった。	1.0	50-59	不合格 ただし，通算GPA及び学期GPAには含める
D^-	授業科目の到達目標のほとんどまたはすべての面で合格となる最低限の学修成果はなかった。	0.7	0-49	
F	学修成果を示す証拠はなかった。 例）試験の未受験，授業出席回数不足	0	評価無	

４）ＧＰＡ（科目成績平均値）

ＧＰＡとは，単位当たりの成績の平均値で，以下の計算式によって算出する。

【学期ＧＰＡ】（その学期のＧＰＡ）

（その学期に評価を受けた科目で得たＧＰ）×（その科目の単位数）の合計）
その学期に評価を受けた科目の単位数の合計

【通算ＧＰＡ】（在学中の各学期を通算したＧＰＡ）

（（各学期に評価を受けた科目で得たＧＰ）×（その科目の単位数）の合計）の総和
（各学期に評価を受けた科目の単位数の合計）の総和

※ＧＰＡの計算は，小数点第３位以下を切り捨てとする。

５）ＧＰＡ対象科目：１年次の対象科目は，総合教育部便覧で確認すること。
①全学教育科目（教養科目，基礎科目，日本語科目及び日本事情に関する科目），専門科目，教職科目，国際交流科目のうち，学部（第１年次の学生にあっては，本学）において，
※１　１１段階評価によって成績を認定された科目　であって，かつ，
※２　卒業要件に算入できる科目　を対象とする（他学部履修，再履修を含む。）
②本学在学中に他大学での履修（留学を含む）によって修得した単位も，上記の２要件（※１及び※２）を満たす場合は，対象とする。
③全学教育科目の「入門線形代数学」及び「入門微分積分学」は，１年次においてGPAの対象科目とするが，２年次進級先の学部が，理系学部（医学部保健学科看護学専攻及び作業療法学専攻を除く）である場合は，１年次に履修した科目について，２年次以降GPAの対象外科目とする。
④教職科目及び国際交流科目で１年次に修得した単位は，１年次において対象から除くものとする。ただし，第２年次進級先の学部が卒業要件に算入できる科目と定めている場合は，進級時に対象となる。
⑤「合格・不合格」による評価は，対象としない。
⑥自由設計科目制度により卒業要件に算入しないこととした科目は，対象としない。
⑦英語単位「優秀認定」制度により認定された単位は，上記の２要件（※１及び※２）を満たす場合は，学期ＧＰＡには算入せず，通算ＧＰＡに算入する。
⑧既修得単位として認定された科目は，対象としない。

６）ＧＰＡ制度の利用方法
①クラス担任・指導教員等による修学指導に利用される。
②授業料免除の選考基準（ＧＰＡ２.７以上），新渡戸賞（１年次の成績優秀者の表彰制度）の選考基準，（一部の研究科等の）大学院の入学試験に利用されている。

７）Web 履修登録システムや成績証明書への記載
学期ＧＰＡ及び通算ＧＰＡは各学期末にＷｅｂ履修登録システムにより，オンラインで閲覧できる。全学ＧＰＡの平均値が付記され，自分の学習状況を数値で客観的に知り，次の学期の履修計画等に役立てることができる。なお，ＧＰＡは，成績証明書にも記載される。成績証明書へのＧＰＡの記載は，留学予定の
学生のために役立つ。

８）ＧＰＡに関するＱ＆Ａ
Ｑ１）「不合格」の評価を受けたあと，再履修で合格となった場合の取扱いは？
－ 45 －Ａ１）再履修によって合格の評価を受けた時点でそのＧＰ及び単位数がＧＰＡの

計算式に算入され，以前のＧＰ及び単位数は除外される。
Ｑ２）「不合格」の評価を受けたあと，再履修で再び不合格の評価となった場合の取扱いは？
Ａ２）評価が上がった場合は，再履修後の評価に係るＧＰ及び単位数がＧＰＡの計算式に算入され，評価が上がらなかった場合は，再履修前の評価に係るＧＰ及び単位数をＧＰＡの計算式に算入する。
Ｑ３）成績評価の基準は？
Ａ３）絶対評価によるか，相対評価によるか，絶対評価による場合の評価基準，相対評価による場合の評価基準と各評価の割合等については，授業科目ごとに担当教員集団で協議して定める。

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　医学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)

※１．履修者５名以下の科目は除いている

令和元年 9月11日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
社会保障・福祉論		保健学科［看護学専攻］	木3	小笠原　克彦	181	9.9	22.1	22.1	17.7	11.6	9.9	2.8	3.9				3.47
病理学概論		保健学科［看護学専攻］	金2	石津　明洋	71	7.0	26.8	15.5	16.9	14.1	8.5	5.6	5.6				3.40
保健解剖学		保健学科［看護学専攻］	月2	宮﨑　太輔	180	9.4	10.0	11.7	10.6	8.9	18.9	13.9	16.7				3.02
保健生理学		保健学科［看護学専攻］	月4	尾崎　倫孝	71	4.2	7.0	7.0	9.9	7.0	14.1	22.5	28.2				2.72
保健生理学		保健学科［理学療法学専攻］	月4	尾崎　倫孝	35	8.6	11.4	17.1	14.3	11.4	14.3	17.1	2.9			2.9	3.11
保健生理学		保健学科［放射線技術科学専攻］	水3	政氏　伸夫	75	14.7	25.3	14.7	9.3	5.3	8.0	2.7	18.7			1.3	3.31
代謝生化学		保健学科［看護学専攻］	金3	惠　淑萍	176	0.6	4.0	16.5	13.6	14.8	19.9	10.2	19.9			0.6	2.86
保健情報科学		保健学科［看護学専攻］	木1	山内　太郎	167	7.2	12.0	14.4	16.2	19.8	18.0	12.0	0.6				3.22
栄養学		保健学科［看護学専攻］	水3	山内　太郎	70	8.6	11.4	14.3	14.3	21.4	15.7	10.0	4.3				3.21
看護学概論		保健学科［看護学専攻］	火2	矢野　理香	70	1.4	7.1	12.9	11.4	12.9	11.4	18.6	24.3				2.81
生活援助看護技術Ⅰ		保健学科［看護学専攻］	火3,火4	矢野　理香	71	1.4	2.8	2.8	21.1	25.4	26.8	15.5	2.8	1.4			2.88
生活援助看護技術Ⅱ		保健学科［看護学専攻］	火3,火4	矢野　理香	71		5.6	11.3	18.3	15.5	16.9	15.5	15.5	1.4			2.85
看護教育・看護管理		保健学科［看護学専攻］	集中	岩本　幹子	73	1.4	20.5	19.2	17.8	15.1	9.6	6.8	9.6				3.24
成人看護学概論		保健学科［看護学専攻］	水2	鷲見　尚己	71	16.9	7.0	12.7	18.3	2.8	18.3		23.9				3.14
成人看護学援助論Ⅱ		保健学科［看護学専攻］	火2,火3	溝部　佳代	73	4.1	24.7	23.3	21.9	12.3	9.6	1.4	2.7				3.46
老年看護学概論		保健学科［看護学専攻］	火2	結城　美智子	71	1.4	15.5	21.1	15.5	21.1	11.3	8.5	5.6				3.22
成人看護学実習Ⅱ		保健学科［看護学専攻］	集中	溝部　佳代	73	1.4	8.2	24.7	43.8	13.7	5.5		2.7				3.36
精神看護学実習		保健学科［看護学専攻］	集中	宮島　直子	73	2.7	6.8	35.6	42.5	4.1	2.7	2.7	2.7				3.43
母性看護学概論		保健学科［看護学専攻］	水4	安積　陽子	71	4.2	4.2	14.1	16.9	25.4	28.2	4.2	2.8				3.10
小児看護学概論		保健学科［看護学専攻］	水3	佐藤　洋子	71	39.4	21.1	16.9	5.6	5.6	2.8	2.8	5.6				3.77
地域看護学概論		保健学科［看護学専攻］	月2	平野　美千代	73	8.2	20.5	19.2	20.5	11.0	5.5	4.1	11.0				3.35
保健組織病理学		保健学科［看護学専攻］	金2	石津　明洋	71		12.7	11.3	21.1	7.0	22.5	9.9	15.5				2.98
老年健康障害論		保健学科［看護学専攻］	木3	大槻　美佳	73	6.8	17.8	12.3	27.4	20.5	11.0	2.7	1.4				3.37
リハビリテーション看護		保健学科［看護学専攻］	集中	結城　美智子	16	6.3	31.3	50.0	12.5								3.78
在宅看護学実習		保健学科［看護学専攻］	集中	青柳　道子	73	1.4	26.0	28.8	34.2	4.1	4.1		1.4				3.56
家族看護論		保健学科［看護学専攻］	水5	青柳　道子	73	6.8	31.5	24.7	26.0	4.1	5.5		1.4				3.62
健康と疫学		保健学科［看護学専攻］	金3	山内　太郎	73	9.6	17.8	15.1	17.8	20.5	12.3	4.1	2.7				3.37
環境保健学		保健学科［看護学専攻］	月4	齋藤　健	73	9.6	20.5	27.4	31.5	11.0							3.62
臨床看護技術		保健学科［看護学専攻］	火2,火3	佐藤　三穂	73	4.1	11.0	32.9	31.5	15.1	2.7	1.4	1.4				3.46
成人看護学援助論Ⅲ		保健学科［看護学専攻］	火4	鷲見　尚己	73	17.8	13.7	16.4	13.7	12.3	11.0	1.4	13.7				3.35
老年看護学実習Ⅱ		保健学科［看護学専攻］	集中	結城　美智子	73	2.7	13.7	39.7	23.3	12.3	4.1	1.4	2.7				3.47
在宅看護学概論		保健学科［看護学専攻］	水5	青柳　道子	73	5.5	5.5	21.9	21.9	24.7	13.7	4.1	2.7				3.25
先端医療と看護		保健学科［看護学専攻］	集中	鷲見　尚己	26	19.2	34.6	15.4	30.8								3.80
ヘルスプロモーション看護		保健学科［看護学専攻］	集中	佐藤　洋子	27	3.7	18.5	14.8	55.6		7.4						3.48
実践医療英語		保健学科［看護学専攻］	集中	佐川　正	13			46.2	53.8								3.48

資料保46

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　医学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)

※１．履修者５名以下の科目は除いている

令和元年 9月11日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
看護研究Ⅰ		保健学科［看護学専攻］	木5	佐川　正	73		1.4	6.8	17.8	12.3	13.7	8.2	39.7				2.62
保健微生物学		保健学科［看護学専攻］	金1	山口　博之	70	1.4	7.1	5.7	21.4	11.4	15.7	11.4	25.7				2.81
基礎看護学実習Ⅱ		保健学科［看護学専攻］	集中	矢野　理香	73	1.4	12.3	41.1	23.3	8.2	4.1	2.7	4.1	2.7			3.37
精神健康障害論		保健学科［看護学専攻］	水4	宮島　真貴	73	6.8	15.1	35.6	19.2	6.8	13.7	1.4	1.4				3.48
老年看護学援助論		保健学科［看護学専攻］	水1	平山　憲吾	73		5.5	9.6	26.0	30.1	12.3	12.3	4.1				3.04
小児看護学援助論Ⅱ		保健学科［看護学専攻］	月2,月3	佐藤　洋子	73	17.8	42.5	15.1	9.6	8.2	4.1	1.4	1.4				3.75
小児健康障害論		保健学科［看護学専攻］	木4	山田　雅文	73	13.7	32.9	15.1	19.2	6.8	4.1	4.1	4.1				3.59
母性看護学援助論Ⅱ		保健学科［看護学専攻］	金2	安積　陽子	73	1.4	2.7	13.7	17.8	20.5	24.7	13.7	5.5				2.97
地域生活支援技術論		保健学科［看護学専攻］	水2	平野　美千代	73	4.1	5.5	16.4	21.9	32.9	12.3	5.5	1.4				3.20
エンド・オブ・ライフケア		保健学科［看護学専攻］	集中	青柳　道子	66	6.1	21.2	21.2	27.3	13.6	6.1	3.0	1.5				3.47
基礎工学実験Ⅰ		保健学科［放射線技術科学専攻］	火3,火4	横澤　宏一	37	10.8	13.5	40.5	18.9	8.1	5.4					2.7	3.52
放射線計測学実習		保健学科［放射線技術科学専攻］	水3,水4	石川　正純	37	8.1	16.2	27.0	21.6	13.5	10.8	2.7					3.47
画像解剖学演習		保健学科［放射線技術科学専攻］	金2	神島　保	37	16.2	8.1	10.8	8.1	16.2	5.4	8.1	27.0				3.05
医用画像情報学実験		保健学科［放射線技術科学専攻］	金3,金4	小笠原　克彦	37		18.9	45.9	29.7	5.4							3.60
放射線生物学		保健学科［放射線技術科学専攻］	月4	堤　香織	37	8.1	29.7	16.2	16.2	10.8	13.5	2.7	2.7				3.48
核医学概論		保健学科［放射線技術科学専攻］	木1	加藤　千恵次	37	35.1	10.8	10.8	13.5	2.7	10.8	2.7	13.5				3.49
検査薬理学概論		保健学科［放射線技術科学専攻］	金1	神島　保	37	2.7	5.4	10.8	8.1	18.9	16.2	13.5	24.3				2.80
基礎放射線治療技術学実習		保健学科［放射線技術科学専攻］	火1,火2,火3,火4,火5	石川　正純	35	5.7	17.1	20.0	22.9	20.0	8.6	2.9	2.9				3.38
放射線防護学		保健学科［放射線技術科学専攻］	月2	神島　保	37	8.1	10.8	10.8	18.9	27.0	21.6	2.7					3.26
医用電磁気学		保健学科［放射線技術科学専攻］	月2	横澤　宏一	37	8.1	16.2	13.5	16.2	13.5	10.8	5.4	13.5			2.7	3.12
臨床画像技術学		保健学科［放射線技術科学専攻］	火2	杉森　博行	37	8.1	8.1	8.1	8.1	18.9	10.8	8.1	29.7				2.88
臨床超音波検査学		保健学科［放射線技術科学専攻］	金1	神島　保	37		5.4	13.5	24.3	21.6	18.9	10.8	5.4				3.04
核医学検査技術学実習		保健学科［放射線技術科学専攻］	月3,月4	加藤　千恵次	35	20.0	11.4	5.7	11.4	14.3	2.9	17.1	17.1				3.15
臨床画像解剖学Ⅱ		保健学科［放射線技術科学専攻］	月3	神島　保	37		16.2	5.4	21.6	13.5	21.6	2.7	18.9				2.99
物理数学		保健学科［放射線技術科学専攻］	火1	横澤　宏一	37	8.1	18.9	5.4	13.5	13.5	10.8	10.8	16.2			2.7	3.02
放射線物理学基礎		保健学科［放射線技術科学専攻］	火2	伊達　広行	36	8.3	16.7		11.1	8.3	19.4	13.9	22.2				2.93
放射線物理学Ⅱ		保健学科［放射線技術科学専攻］	木2	伊達　広行	37	29.7	21.6	13.5	8.1	13.5		5.4	8.1				3.60
放射化学		保健学科［放射線技術科学専攻］	火4	堤　香織	37	5.4		29.7	24.3	10.8	16.2	5.4	8.1				3.18
放射線計測学Ⅱ		保健学科［放射線技術科学専攻］	水2	石川　正純	37	5.4	10.8	13.5	13.5	16.2	16.2	13.5	10.8				3.06
磁気共鳴学Ⅰ		保健学科［放射線技術科学専攻］	木3	山本　徹	37	5.4	2.7	5.4	21.6	35.1	27.0		2.7				3.09
臨床撮影技術学Ⅰ		保健学科［放射線技術科学専攻］	火3	杉森　博行	37	8.1	8.1	27.0	13.5	18.9	5.4	13.5	5.4				3.25
画像診断学概論		保健学科［放射線技術科学専攻］	水1	神島　保	37	2.7	10.8	13.5	10.8	16.2	16.2	13.5	16.2				2.96
放射線治療工学概論		保健学科［放射線技術科学専攻］	木4,木5	石川　正純	37	8.1	10.8	13.5	16.2	16.2	13.5	10.8	10.8				3.13
医用画像情報学		保健学科［放射線技術科学専攻］	水4	小笠原　克彦	37	5.4	5.4	5.4	16.2	8.1	13.5	18.9	24.3			2.7	2.71
放射線関係法規		保健学科［放射線技術科学専攻］	火1	加藤　千恵次	37	16.2	29.7	29.7	16.2	5.4	2.7						3.76

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　医学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)

※１．履修者５名以下の科目は除いている

令和元年 9月11日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
組織解剖学		保健学科［検査技術科学専攻］	火3	石津　明洋	38	7.9	26.3	10.5	18.4	10.5	10.5		15.8				3.31
公衆衛生学Ⅰ		保健学科［検査技術科学専攻］	金4	齋藤　健	38	13.2	18.4	28.9	23.7	5.3	7.9	2.6					3.59
公衆衛生学実習		保健学科［検査技術科学専攻］	火3, 火4, 火5	齋藤　健	41	26.8	19.5	19.5	26.8	2.4	4.9						3.75
医用工学概論実習		保健学科［検査技術科学専攻］	水3, 水4	加藤　千恵次	41	46.3	26.8	9.8	12.2	2.4	2.4						3.97
臨床血液学Ⅱ		保健学科［検査技術科学専攻］	金2	政氏　伸夫	41		29.3	24.4	24.4	14.6	4.9		2.4				3.50
器官病理学		保健学科［検査技術科学専攻］	金2	石津　明洋	41	2.4	22.0	31.7	19.5	14.6	7.3	2.4					3.49
臨床生理学Ⅰ		保健学科［検査技術科学専攻］	木3	岡田　一範	41	9.8	14.6	24.4	12.2	24.4	7.3	4.9	2.4				3.40
臨床生理学Ⅱ		保健学科［検査技術科学専攻］	金1	加賀　早苗	41	29.3	24.4	17.1	14.6	4.9	7.3	2.4					3.75
臨床生理学Ⅲ		保健学科［検査技術科学専攻］	木2	加賀　早苗	41	4.9	36.6	19.5	14.6	12.2	4.9	7.3					3.54
検査管理学Ⅰ		保健学科［検査技術科学専攻］	木3	櫻井　俊宏	41	19.5	31.7	31.7	14.6				2.4				3.81
免疫検査学Ⅱ		保健学科［検査技術科学専攻］	月2	石津　明洋	41	12.2	24.4	46.3	12.2		2.4		2.4				3.73
臨床微生物学		保健学科［検査技術科学専攻］	火1	山口　博之	41		12.2	41.5	12.2	22.0	4.9	4.9	2.4				3.38
検査機器学Ⅰ		保健学科［検査技術科学専攻］	水2	惠　淑萍	38				7.9	13.2	18.4	18.4	42.1				2.42
組織学演習		保健学科［検査技術科学専攻］	火4, 火5	石津　明洋	38	2.6	5.3	13.2	18.4	23.7	26.3	7.9	2.6				3.07
臨床検査学		保健学科［検査技術科学専攻］	木1, 木2	櫻井　俊宏	38	13.2	47.4	26.3	7.9			5.3					3.82
臨床血液学実習Ⅰ		保健学科［検査技術科学専攻］	月3, 月4, 月5	政氏　伸夫	40	30.0	20.0	22.5	22.5	2.5			2.5				3.79
臨床化学Ⅱ		保健学科［検査技術科学専攻］	火2	惠　淑萍	41		7.3	7.3	7.3	12.2	7.3	14.6	43.9				2.58
臨床化学実習Ⅰ		保健学科［検査技術科学専攻］	金3, 金4, 金5	惠　淑萍	41	31.7	46.3	14.6	4.9	2.4							3.99
核医学概論		保健学科［検査技術科学専攻］	金3	加藤　千恵次	32	34.4	25.0	28.1	6.3		6.3						3.89
医療安全管理学演習		保健学科［検査技術科学専攻］	金4, 金5	政氏　伸夫	32	12.5	18.8	28.1	15.6	12.5	3.1	6.3	3.1				3.51
輸血・移植検査学		保健学科［検査技術科学専攻］	月2	政氏　伸夫	41	14.6	24.4	24.4	24.4	4.9	2.4	2.4	2.4				3.63
医学英語		保健学科［検査技術科学専攻］	水2	山口　博之	41			7.3	14.6	29.3	26.8	12.2	9.8				2.83
リハビリテーション解剖学Ⅰ		保健学科［理学療法学専攻］	火2	大槻　美佳	35	14.3	2.9		25.7	25.7	14.3	11.4	2.9			2.9	3.05
リハビリテーション解剖学実習Ⅰ		保健学科［理学療法学専攻］	火4, 火5, 金4, 金5	宮﨑　太輔	34	8.8	11.8	11.8	23.5	11.8	17.6	8.8	5.9				3.21
運動学実習		保健学科［理学療法学専攻］	金3, 金4	笠原　敏史	34	8.8	35.3	35.3	11.8	2.9	2.9		2.9				3.71
リハビリテーション医学		保健学科［理学療法学専攻］	月3	前島　洋	36	16.7	30.6	19.4	11.1	11.1	2.8	2.8				5.6	3.50
神経障害学Ⅲ		保健学科［理学療法学専攻］	火5	大槻　美佳	36	2.8	5.6	22.2	38.9	27.8						2.8	3.28
精神障害学Ⅱ		保健学科［理学療法学専攻］	金2	宮島　真貴	35	17.1	37.1	17.1	17.1	5.7		5.7					3.73
リハビリテーション概論		保健学科［理学療法学専攻］	水2, 水3	千見寺　貴子	35	31.4	40.0	25.7								2.9	3.90
老年健康障害論		保健学科［理学療法学専攻］	木3	大槻　美佳	35	25.7	8.6	5.7	28.6	17.1	8.6	2.9	2.9				3.47
内部障害学		保健学科［理学療法学専攻］	月3	遠山　晴一	35	14.3	5.7	14.3	14.3	11.4	22.9	17.1					3.20
神経障害学Ⅱ		保健学科［理学療法学専攻］	火5, 木3	大槻　美佳	37	2.7	24.3	2.7		8.1	21.6	27.0	5.4			8.1	2.75
発達障害学		保健学科［理学療法学専攻］	月5, 火4	白石　秀明	34	14.7	20.6	26.5	8.8	14.7	5.9	5.9	2.9				3.52
人間発達学		保健学科［理学療法学専攻］	火3	境　信哉	35	2.9	14.3	28.6	20.0	20.0	5.7	5.7				2.9	3.30
臨床実習Ⅲ（作）		保健学科［作業療法学専攻］	集中	澤村　大輔	13	23.1	23.1	23.1	15.4		7.7				7.7		3.54

北海道大学

成績評価分布状況表

令和元年度１学期　医学部（学部）

11段階評価対象者(平成27年度以降入学者)

※１．履修者５名以下の科目は除いている

令和元年 9月11日現在

授業科目名	講義題目名	クラス名	曜日・時限	担当教員名	履修者数	A+(%)	A(%)	A-(%)	B+(%)	B(%)	B-(%)	C+(%)	C(%)	D(%)	D-(%)	F(%)	GPA
臨床実習Ⅳ（作）		保健学科［作業療法学専攻］	集中	澤村　大輔	13	30.8	23.1	30.8	7.7							7.7	3.64
臨床実習Ⅲ（理）		保健学科［理学療法学専攻］	集中	浅賀　忠義	15	26.7	26.7	26.7		20.0							3.80
臨床実習Ⅳ（理）		保健学科［理学療法学専攻］	集中	浅賀　忠義	15	13.3	20.0	13.3	26.7	13.3	6.7		6.7				3.46
理学療法学概論		保健学科［理学療法学専攻］	月3	前島　洋	18	5.6	5.6	16.7	27.8	16.7	22.2	5.6					3.22
神経系理学療法学		保健学科［理学療法学専攻］	水4	浅賀　忠義	18	16.7	44.4	33.3								5.6	3.73
発達障害理学療法学		保健学科［理学療法学専攻］	月2	前島　洋	19	10.5	10.5	31.6	5.3	10.5	10.5	5.3	10.5			5.3	3.15
物理療法学		保健学科［理学療法学専攻］	水3	髙松　泰行	18	5.6	11.1	27.8	5.6	27.8	5.6	11.1				5.6	3.13
運動機能評価学		保健学科［理学療法学専攻］	金2	浅賀　忠義	18	16.7	44.4	11.1	16.7	5.6	5.6						3.77
運動器系理学療法学		保健学科［理学療法学専攻］	火4	寒川　美奈	17	11.8	5.9	17.6	11.8		29.4		23.5				3.05
運動療法学		保健学科［理学療法学専攻］	水2	寒川　美奈	17	11.8	5.9	23.5	17.6	17.6	11.8		11.8				3.28
運動療法学演習		保健学科［理学療法学専攻］	木4, 木5	笠原　敏史	18	11.1	11.1	22.2	22.2	22.2	5.6					5.6	3.29
運動機能評価学実習		保健学科［理学療法学専攻］	月4, 月5	萬井　太規	19	26.3	15.8	31.6	10.5	5.3	5.3					5.3	3.58
義肢装具学Ⅰ		保健学科［理学療法学専攻］	火3	石田　知也	19	15.8	15.8	21.1	21.1	5.3	5.3		10.5			5.3	3.29
作業療法概論		保健学科［作業療法学専攻］	火2	境　信哉	17		47.1	11.8	29.4		11.8						3.61
基礎作業学		保健学科［作業療法学専攻］	月3	千見寺　貴子	17	5.9	52.9	5.9	23.5	5.9						5.9	3.54
基礎作業学実習Ⅰ		保健学科［作業療法学専攻］	木1, 木2	吉田　一生	17		11.8	41.2	29.4	17.6							3.49
基礎作業学演習		保健学科［作業療法学専攻］	金1, 金2	境　信哉	17		11.8	41.2	29.4	17.6							3.49
作業療法評価学総論		保健学科［作業療法学専攻］	月3	澤村　大輔	17			17.6	5.9	35.3	5.9	35.3					2.88
身体障害評価学実習		保健学科［作業療法学専攻］	水4, 水5	澤村　大輔	17		11.8	29.4	29.4	11.8	11.8					5.9	3.20
精神障害評価学実習		保健学科［作業療法学専攻］	火3, 火4	井上　貴雄	18	5.6	16.7	22.2	16.7	11.1	5.6	16.7				5.6	3.14
身体障害作業療法学		保健学科［作業療法学専攻］	水3	澤村　大輔	18		11.1	11.1	22.2	22.2	5.6	11.1	11.1			5.6	2.88
精神障害作業療法学		保健学科［作業療法学専攻］	月5	井上　貴雄	16	6.3	12.5	18.8	12.5	12.5	12.5		18.8			6.3	2.96
発達障害作業療法学		保健学科［作業療法学専攻］	月4	境　信哉	16		12.5	18.8	37.5	6.3		6.3	18.8				3.14
地域作業療法学		保健学科［作業療法学専攻］	木2	髙島　理沙	17	5.9	5.9	29.4	11.8	5.9	11.8	5.9	17.6			5.9	2.95
作業療法管理学		保健学科［作業療法学専攻］	水2	境　信哉	17	11.8	29.4	17.6	17.6	11.8	11.8						3.59
老年期作業療法学		保健学科［作業療法学専攻］	水4	髙島　理沙	17		17.6	41.2	11.8	5.9	11.8	5.9				5.9	3.25
老年期作業療法学演習		保健学科［作業療法学専攻］	木4	髙島　理沙	18	22.2	33.3	11.1	16.7			5.6	5.6			5.6	3.49
	総計			(講義題目数132)	6102	8.8	16.0	18.8	18.3	12.9	10.6	6.2	7.8	0.1		0.5	3.29

北海道大学

資料保47

保健学科学生　各位

保健学科専門科目の成績確認について

このことについて，下記日程で実施しますので，お知らせします。

記

２～４年次

成績確認(成績評価に関する申立て期間を含む)
：８/２８(水)から８/３０(金)まで

※成績確認については，Web 上で行ってください。

【保健学科専門科目における成績評価に対する申立て】
異議申立てができるのは以下 2 つの場合になります。
① シラバスに記載してある成績評価方法や授業中に指示のあった成績評価方法と，異なる成績評価方法により評価されたことを，学生が客観的・具体的事実をもって示すことができる場合
② 明らかに誤記入によるものと思われる場合で，学生が客観的・具体的事実をもって示すことが出来る場合

上記の場合に該当し，令和元年度第１学期保健学科専門科目における成績評価に異議がある場合は，「異議申立書」を教務担当窓口へ提出してください。
（「異議申立書」用紙は教務担当窓口にあります。）

令和元年７月１６日　　教務担当

【専門科目】

		2017		2018		2019	
		1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
2016入学	全学	3.06	3.06	3.07	3.05	2.81	
	N	3.07	3.14	3.18	3.22	3.25	
	R	3.02	3.18	3.25	3.27	2.69	
	L	3.24	3.29	3.32	3.32	2.98	
	P	3.23	3.28	3.30	3.30	3.30	
	O	2.85	2.87	2.73	2.96	3.07	
2017入学	全学			3.05	3.05	3.10	
	N			3.12	3.13	3.21	
	R			2.86	3.09	3.14	
	L			3.32	3.33	3.45	
	P			3.55	3.59	3.56	
	O			3.28	3.21	3.22	
2018入学	全学					3.06	
	N					3.03	
	R					3.02	
	L					3.28	
	P					3.42	
	O					3.15	

*全学平均より、高いものについては、赤字

【全学教育科目】

		2017		2018		2019	
		1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
2016入学	全学	3.12	3.12	3.12	3.08	2.87	
	N	3.02	3.07	3.10	3.14	3.16	
	R	3.03	3.08	3.17	3.19	2.77	
	L	3.13	3.18	3.24	3.24	2.90	
	P	3.02	3.11	3.18	3.20	3.21	
	O	2.87	2.79	2.79	2.94	2.99	
2017入学	全学			3.12	3.12	3.14	
	N			3.08	3.10	3.15	
	R			2.96	3.02	3.08	
	L			3.19	3.23	3.33	
	P			3.22	3.33	3.38	
	O			3.09	3.11	3.13	
2018入学	全学					3.13	
	N					3.03	
	R					3.02	
	L					3.15	
	P					3.12	
	O					3.05	

*全学平均より、高いものについては、赤字

◇看護学課程卒業者の看護師国家試験合格率

		卒業者	出願者	受験者	合格者	合格率	全国合格率
卒業年度	2016年度	70	70	70	67	95.7	94.3
	2017年度	80	80	80	79	98.8	96.3
	2018年度	75	75	75	74	98.7	89.3
	2019年度	―	―	―	―	―	―
2016～2018年度平均		75.0	75.0	75.0	73.3	97.7	93.3

◇放射線技術科学課程卒業者の診療放射線技師国家試験合格率

		卒業者	出願者	受験者	合格者	合格率	全国合格率
卒業年度	2016年度	40	39	39	37	94.9	96
	2017年度	38	38	36	30	83.3	84.8
	2018年度	36	36	36	32	88.9	79.2
	2019年度	―	―	―	―	―	―
2016～2018年度平均		38.0	37.7	37.0	33.0	89.0	86.7

◇検査技術科学課程卒業者の臨床検査技師国家試験合格率

		卒業者	出願者	受験者	合格者	合格率	全国合格率
卒業年度	2016年度	39	39	39	38	97.4	89.9
	2017年度	35	35	35	29	82.9	90.5
	2018年度	35	35	35	25	71.4	75.2
	2019年度	―	―	―	―	―	―
2016～2018年度平均		36.3	36.3	36.3	30.7	83.9	85.2

◇理学療法学課程卒業者の理学療法士国家試験合格率

		卒業者	出願者	受験者	合格者	合格率	全国合格率
卒業年度	2016年度	19	19	19	18	94.7	96.3
	2017年度	16	16	16	14	87.5	87.7
	2018年度	15	15	15	15	100	85.8
	2019年度	―	―	―	―	―	―
2016～2018年度平均		16.7	16.7	16.7	15.7	94.1	89.9

◇作業療法学課程卒業者の作業療法士国家試験合格率

		卒業者	出願者	受験者	合格者	合格率	全国合格率
卒業年度	2016年度	18	18	18	17	94.4	90.5
	2017年度	21	21	21	19	90.5	83.9
	2018年度	17	17	16	14	87.5	71.3
	2019年度	―	―	―	―	―	―
2016～2018年度平均		18.7	18.7	18.3	16.7	90.8	81.9

資料保50

	H28年度	H29年度	H30年度
卒業生数	186	191	179
①他大学院進学数 （内部進学・他大学院進学）	58	50	57
①進学率	31.2%	26.2%	31.8%
②他進学数 （他大学専攻科等）	5	7	8
②進学率	2.7%	3.7%	4.5%
①＋②進学数	63	57	65
①＋②進学率	33.9%	29.8%	36.3%

平成30年度修了者の就職先一覧（学部）

【回答欄】TOP20について回答願います。

順位	医学部保健学科	
	就職先	人数
1	北海道大学病院	25
2	札幌禎心会病院	5
3	KKR札幌医療センター	4
4	札幌東徳洲会病院	4
5	東京大学医学部附属病院	4
6	市立札幌病院	3
7	手稲渓仁会病院	2
8	旭川医科大学病院	2
9	NTT東日本札幌病院	2
10	聖路加国際病院	2
11	中村記念病院	2
12	花川病院	2
13	パナソニックITS株式会社	2
14	松田整形外科記念病院	2
15	札幌徳洲会病院	2
16	千葉大学医学部附属病院	1
17	愛心メモリアル病院	1
18	小樽市立病院	1
19	静岡県立総合病院	1
20	札幌北楡病院	1
21	静岡県立総合病院	1
22	砂川市立病院	1
23	筑波大学附属病院	1
24	東京品川病院	1
25	苫小牧日翔病院	1
26	新潟リハビリテーション病院	1
27	日本赤十字社北見赤十字病院	1
28	北海道がんセンター	1
29	室蘭市立病院	1
30	横浜済生会病院	1
31	輪厚三愛病院	1
32	国立病院機構　南和歌山医療センター	1
33	札幌臨床検査センター	1
34	船橋市徳洲会病院	1
35	北海道職員	1
36	イムス札幌中央消化器病院	1
37	旭川がん健診センター	1
38	JCHO北海道病院	1
39	JR東京総合病院	1
40	帯広厚生病院	1
41	旭川厚生病院	1
42	イムスリハビリテーション内科リハビリテーション病院	1
43	イムス札幌中央消化器病院	1
44	北海道脳神経外科記念病院	1
45	岩手県立病院	1
46	江藤病院	1
47	えにわ病院	1
48	キャノンメディカルシステムズ	1
49	帯広北斗十勝リハビリテーションセンター	1
50	熊谷総合病院	1
51	公益財団法人がん研究会がん研有明病院	1
52	国立病院機構　熊本医療センター	1
53	国立病院機構　北海道医療センター	1
54	国立病院機構　青森病院	1
55	札幌渓仁会リハビリテーション病院	1
56	札幌北楡病院	1
	合　　計	104

	医学部保健学科	
	就職先	人数
1	北海道大学病院	25
2	札幌禎心会病院	5
3	KKR札幌医療センター	4
4	札幌東徳洲会病院	4
5	東京大学医学部附属病院	4
6	市立札幌病院	3
7	手稲渓仁会病院	2
8	旭川医科大学病院	2
9	NTT東日本札幌病院	2
10	聖路加国際病院	2
11	中村記念病院	2
12	花川病院	2
13	パナソニックITS株式会社	2
14	松田整形外科記念病院	2
15	札幌徳洲会病院	2
16	千葉大学医学部附属病院	1
17	愛心メモリアル病院	1
18	小樽市立病院	1
19	静岡県立総合病院	1
20	札幌北楡病院	1

平成29年度修了者の就職先一覧（学部）

（同数の場合、企業名（読み）五十音順）

順位	医学部保健学科	
	就職先	人数
1	北海道大学病院	24
2	KKR札幌医療センター	8
3	千葉大学医学部附属病院	4
4	愛心メモリアル病院	3
5	国家公務員共済組合連合会斗南病院	3
6	札幌厚生病院	3
7	札幌禎心会病院	3
8	手稲渓仁会病院	3
9	札幌秀友会病院	2
10	札幌東徳洲会病院	2
11	札幌北楡病院	2
12	東京歯科大学市川総合病院	2
13	東京大学医学部附属病院	2
14	旭川医科大学病院	1
15	旭川赤十字病院	1
16	旭山病院	1
17	茨城県立医療大学付属病院	1
18	株式会社医療システム研究所	1
19	NTT東日本札幌病院	1
20	小樽市立病院	1
21	帯広第一病院	1
22	科研製薬株式会社	1
23	京都大原記念病院	1
24	釧路赤十字病院	1
25	渓仁会リハビリテーション病院	1
26	県立広島病院	1
27	孝仁会	1
28	興和株式会社	1
29	国土交通省航空保安大学校	1
30	国土交通省北海道開発局	1
31	独立行政法人国立病院機構北海道東北グループ	1
32	五稜会病院	1
33	札樽病院	1
34	札幌麻生脳神経外科病院	1
35	札幌医科大学附属病院	1
36	公益財団法人北海道対がん協会札幌がん検診センター	1
37	札幌市役所	1
38	札幌スポーツクリニック	1
39	賛育会病院	1
40	JR札幌病院	1
41	シスメックス株式会社	1
42	独立行政法人国立病院機構渋川医療センター	1
43	新札幌豊和会病院	1
44	聖路加国際病院	1
45	株式会社セコマ	1
46	セントラルCIクリニック	1
47	総合東京病院	1
48	第二成田記念病院	1
49	滝川市立病院	1
50	独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院	1
51	独立行政法人地域医療機能推進機構北海道グループ	1
52	天使病院	1
53	東京女子医科大学病院	1
54	東京労災病院	1
55	東京湾岸リハビリテーション病院	1
56	東芝メディカルシステムズ株式会社	1
57	十勝リハビリテーションセンター	1
58	中村記念病院	1
59	日本医科大学付属病院	1
60	特定非営利活動法人NECST	1
61	花川病院	1
62	パナソニックITS株式会社	1
63	社会福祉法人はるにれの里	1
64	東戸塚記念病院	1
65	東苗穂病院	1
66	羊ヶ丘病院	1
67	平松記念病院	1
68	平山医院	1
69	富士脳障害研究所附属病院	1
70	船橋市立リハビリテーション病院	1
71	北海道消化器科病院	1
72	北海道庁	1
73	ミヤリサン製薬株式会社	1
74	恵み野病院	1
75	横浜舞岡病院	1
76	練成会グループ	1
	合　　計	

【回答欄】TOP20について回答願います。

	医学部保健学科	
	就職先	人数
1	北海道大学病院	24
2	KKR札幌医療センター	8
3	千葉大学医学部附属病院	4
4	愛心メモリアル病院	3
5	国家公務員共済組合連合会斗南病院	3
6	札幌厚生病院	3
7	札幌禎心会病院	3
8	手稲渓仁会病院	3
9	札幌秀友会病院	2
10	札幌東徳洲会病院	2
11	札幌北楡病院	2
12	東京歯科大学市川総合病院	2
13	東京大学医学部附属病院	2
14	旭川医科大学病院	1
15	株式会社医療システム研究所	1
16	公益財団法人北海道対がん協会札幌がん検診センター	1
17	札幌市役所	1
18	JR札幌病院	1
19	株式会社セコマ	1
20	ミヤリサン製薬株式会社	1

平成28年度卒業者の就職先一覧（学部）

（同数の場合、企業名（読み）五十音順）

	医学部保健学科	
	就職先	人数
1	北海道大学病院	20
2	千葉大学医学部附属病院	5
3	手稲渓仁会病院	5
4	青森県立中央病院	3
5	NTT東日本札幌病院	3
6	東京医科歯科大学医学部附属病院	3
7	株式会社LSIメディエンス	2
8	王子総合病院	2
9	札幌医科大学附属病院	2
10	札幌徳洲会病院	2
11	JR札幌病院	2
12	市立札幌病院	2
13	総合東京病院	2
14	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）北海道病院	2
15	東京大学医学部附属病院	2
16	中村記念病院	2
17	日本赤十字社北海道ブロック血液センター	2
18	旭川医科大学病院	1
19	旭川リハビリテーション病院	1
20	麻生整形外科病院	1
21	岩手医科大学附属病院	1
22	株式会社インテリジェンスビジネスソリューションズ	1
23	大阪府三島救命救急センター	1
24	小樽市立病院	1
25	香川オリーブガイナーズ	1
26	社会医療法人社団カレスサッポロ北光記念病院	1
27	川崎協同病院	1
28	公益財団法人がん研究会有明病院	1
29	KKR札幌医療センター	1
30	神戸市役所	1
31	医療法人光臨会荒木神経外科病院	1
32	国家公務員共済組合連合会斗南病院	1
33	埼玉石心会病院	1
34	札幌渓仁会リハビリテーション病院	1
35	社会福祉法人札幌恵友会茨戸アカシアハイツ	1
36	札幌秀友会病院	1
37	札幌禎心会病院	1
38	札幌東徳洲会病院	1
39	札幌北楡病院	1
40	札幌山の上病院	1
41	賛育会病院	1
42	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社	1
43	株式会社昭和メディカルサイエンス	1
44	市立旭川病院	1
45	新浦安虎の門クリニック	1
46	医療法人新さっぽろ脳神経外科病院	1
47	医療法人仁友会北彩都病院	1
48	社会医療法人仁陽会西岡第一病院	1
49	住友病院	1
50	社会医療法人製鉄記念室蘭病院	1
51	医療法人社団石史山会札幌スポーツクリニック	1
52	滝川脳神経外科病院	1
53	田辺三菱製薬株式会社	1
54	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）札幌北辰病院	1
55	千葉中央メディカルセンター	1
56	土田病院	1
57	東京都立広尾病院	1
58	東邦大学医療センター佐倉病院	1
59	苫小牧市立病院	1
60	日本赤十字社医療センター	1
61	日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター	1
62	医療法人豊和会新札幌豊和会病院	1
63	医療法人社団朋和会西広島リハビリテーション病院	1
64	北海道大野記念病院	1
65	北海道こども心療内科氏家医院	1
66	公益財団法人北海道対がん協会	1
67	北海道庁	1
68	公益財団法人北海道労働保健管理協会	1
69	宮の森記念病院	1
70	ミヤリサン製薬株式会社	1
71	吉田病院	1
	合　　計	115

【回答欄】TOP20について回答願います。

	医学部保健学科	
	就職先	人数
1	北海道大学病院	20
2	千葉大学医学部附属病院	5
3	手稲渓仁会病院	5
4	青森県立中央病院	3
5	NTT東日本札幌病院	3
6	東京医科歯科大学医学部附属病院	3
7	株式会社LSIメディエンス	2
8	王子総合病院	2
9	札幌医科大学附属病院	2
10	札幌徳洲会病院	2
11	JR札幌病院	2
12	市立札幌病院	2
13	総合東京病院	2
14	独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）北海道病院	2
15	東京大学医学部附属病院	2
16	中村記念病院	2
17	日本赤十字社北海道ブロック血液センター	2
18	公益財団法人北海道対がん協会	1
19	国家公務員共済組合連合会斗南病院	1
20	北海道庁	1

資料保54_H27年度学部卒業時アンケート集計

看護学専攻

卒業者数: 80 名
回答者数: 77 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	5
２．女性	72

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

看護学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	61
２．総合入試	4
３．編入学	3
４．ＡＯ入試	7
５．帰国子女入試	1
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	26	
２．北海道へのあこがれ	12	
３．本学へのあこがれ	41	
４．勉強したい分野があった	22	
５．指導して欲しい教員がいた	1	
６．学力（偏差値など）が適当	39	
７．親・先生・友人等に勧められた	12	
８．その他	2	夢をあきらめたため1，学校に足を運んだ時学生の雰囲気がよかった1

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	19
２．資格取得が有利	29
３．希望する職業分野が勉強できる	45
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	21
６．就職に有利	18
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	58
２．無かった（→問７へ）	19

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	11
２．まあまあ達成できた	42
３．あまり達成できなかった	5
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	27
２．知らなかった	48

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	20
２．知らなかった	56

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	3
２．知らなかった	73

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	11	2	41	3	23	4	2
B．実験・実習	1	35	2	35	3	3	4	2
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	32	2	35	3	8	4	2
D．外国語	1	10	2	23	3	25	4	17
E．海外留学	1	6	2	4	3	9	4	42
F．資格の取得	1	22	2	22	3	10	4	12
G．インターンシップ・就職活動	1	13	2	29	3	19	4	14
H．部・サークル活動	1	28	2	21	3	18	4	6
I．アルバイト	1	33	2	25	3	13	4	4
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	6	2	12	3	23	4	26
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	28	2	37	3	10	4	1

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	17	2	57	3	3	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	8	2	49	3	19	4	1
C．ディスカッション能力	1	11	2	42	3	22	4	2
D．コミュニケーション能力	1	20	2	46	3	9	4	2
E．外国語能力	1	2	2	12	3	37	4	26
F．リーダーシップ	1	6	2	21	3	45	4	5
G．集団の中での協調性	1	23	2	47	3	7	4	0
H．情報収集・分析能力	1	14	2	55	3	7	4	1
I．企画、アイディア等の創造力	1	5	2	33	3	33	4	6
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	11	2	54	3	11	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	4	2	23	3	33	4	17
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	10	2	45	3	16	4	6
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	13	2	52	3	12	4	0
B．演習	1	18	2	53	3	5	4	0
C．実験・実習	1	18	2	52	3	4	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	21	2	38	3	14	4	4
E．カリキュラム全体	1	11	2	55	3	6	4	2

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・卒業研究を個人で行うのは少し大変だった。　・もっと学生の積極性・学ぶ姿勢を引き出すように促してほしい。
・忙しかった。　・講義の質を上げてほしかった。　・一部の先生で授業開始後に休講の連絡が入る，連絡すら入らないことがあった。
・卒業研究のサポート体制，時間割の変動が大きく，全学・他学部授業を履修したくても理解が得られないことがあった。
・国試に向けての勉強時間が削られた。　・卒研がグループから個人になり負担が増えた。　・個人研究の負担
・個人での研究になったため戸惑った。グループ→個人に移行した際のテーマの切り分けにあまり意味を感じられなかった。
・実習就活テスト卒研と全て時期が重なり大変。その中で卒研を行なう理由がよく分からない。　・負担が大きかった。
・個人研究になったせいで中途半端になった気がする。（グループなら1つでできたテーマを複数人で分けたため）
・配属の決め方に疑問を感じた。　・先生による講義の質の差が大きいこと。個人研究なのに１つのテーマから作ること。
・卒業論文提出後にもう少し国試対策をしてほしい。　・保健師受験資格をとることができたら良かった。
・一方的である。　・授業が多い。実習の心身への負担が大きい。
・余裕の無いカリキュラムなので学習が追いつかなかった。その場しのぎの学習が多かったので力が身についたとはいえない。
　全体的につめ込み学習が多い。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	6
4．中長期ボランティアやインターンシップ	1
5．在学中に海外渡航はしていない	49
6．その他	13

旅行10，留学（1ヶ月未満）2，交流プログラム1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	9	2	31	3	25	4	10	5	1
B．立地を始めとした学修環境	1	31	2	33	3	9	4	2	5	1
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	7	2	20	3	46	4	2	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	5	2	21	3	47	4	2	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	10	2	20	3	39	4	2	5	3
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	6	2	16	3	48	4	4	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	57
2．就職（その他）	5
3．大学院進学（本学保健科学院）	7
4．大学院進学（本学医学研究科）	0
5．大学院進学（その他）	4
6．その他	3

助産専攻科2，専門学校進学1

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・24時間はいれるようにしてほしい。（勉強する環境がなかった）
・総合入試はいらない。学部別（特に医系）の学生は1年次から専門科目を選択させてほしい。
・勉強は大変だけど北大は好きです。　・勉強しろという割にはそのための環境（場所）が整っていない。
・他専攻の人との関わりのある授業（PTOT等）がもっとあれば良い。
・卒研を個人で行なうことは端末室使用増加に繋がり実習を行なう他学年に迷惑がかかると感じた。
・各学部によって学習環境の差がありすぎる。22時以降空いている学部は自習室などで学習できるが，空いていない学部は学習する時間曜日が制限されることも多い。格差をうめて欲しい。

検査技術科学専攻
卒業者数: 39 名
回答者数: 33 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	13
２．女性	20

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

検査技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	31
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	6	
２．北海道へのあこがれ	4	
３．本学へのあこがれ	19	
４．勉強したい分野があった	11	
５．指導して欲しい教員がいた	1	
６．学力（偏差値など）が適当	12	
７．親・先生・友人等に勧められた	3	
８．その他	1	センターの点数で合格できそうだったため1

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	12
２．資格取得が有利	14
３．希望する職業分野が勉強できる	13
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	10
６．就職に有利	1
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	23
２．無かった（→問７へ）	10

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	0
２．まあまあ達成できた	20
３．あまり達成できなかった	3
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	6
２．知らなかった	25

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	4
２．知らなかった	28

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	0
２．知らなかった	32

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	3	2	20	3	10	4	0
B．実験・実習	1	10	2	18	3	5	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	15	2	18	3	0	4	0
D．外国語	1	4	2	10	3	14	4	5
E．海外留学	1	2	2	0	3	4	4	25
F．資格の取得	1	10	2	11	3	5	4	6
G．インターンシップ・就職活動	1	5	2	4	3	13	4	9
H．部・サークル活動	1	14	2	9	3	6	4	3
I．アルバイト	1	11	2	13	3	7	4	1
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	1	2	5	3	6	4	19
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	10	2	13	3	9	4	1

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	7	2	21	3	5	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	4	2	17	3	12	4	0
C．ディスカッション能力	1	0	2	12	3	20	4	1
D．コミュニケーション能力	1	1	2	19	3	12	4	1
E．外国語能力	1	1	2	6	3	20	4	6
F．リーダーシップ	1	2	2	4	3	18	4	9
G．集団の中での協調性	1	7	2	18	3	6	4	2
H．情報収集・分析能力	1	4	2	23	3	5	4	1
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	8	3	21	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	1	2	19	3	10	4	3
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	3	3	18	4	12
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	3	2	19	3	10	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	3	2	29	3	1	4	0
B．演習	1	5	2	28	3	0	4	0
C．実験・実習	1	10	2	23	3	0	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	9	2	22	3	1	4	1
E．カリキュラム全体	1	3	2	29	3	0	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・卒業研究期間が他学部と比べて非常に少ない。・教えてくださる先生によっては熱意が感じられないことがあったり，学生を不安なままにして　しまったりする方がいたような気がする。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	3	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	23	
6．その他	5	旅行5

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	7	2	23	3	2	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	13	2	16	3	2	4	1	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	1	2	6	3	23	4	2	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	0	2	5	3	25	4	2	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	4	2	10	3	16	4	2	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	0	2	6	3	20	4	6	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	14	
2．就職（その他）	3	
3．大学院進学（本学保健科学院）	8	
4．大学院進学（本学医学研究科）	4	
5．大学院進学（その他）	2	
6．その他	1	空欄1

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・自習できる場所を増やしてほしい。・就職進学に関する情報をもっと学生に伝えてほしい。知らない学生が多いと思う。

作業療法学専攻
卒業者数: 17 名
回答者数: 15 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	６
２．女性	９

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

作業療法学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	11
２．総合入試	０
３．編入学	０
４．ＡＯ入試	３
５．帰国子女入試	０
６．その他（私費入試等）	０

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	１	
２．北海道へのあこがれ	２	
３．本学へのあこがれ	７	
４．勉強したい分野があった	７	
５．指導して欲しい教員がいた	２	
６．学力（偏差値など）が適当	７	
７．親・先生・友人等に勧められた	２	
８．その他	１	第一志望のボーダーに満たなかったため1

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	６
２．資格取得が有利	８
３．希望する職業分野が勉強できる	９
４．指導して欲しい教員がいた	２
５．学力（偏差値など）が適当	２
６．就職に有利	０
７．その他	０

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	11
２．無かった（→問７へ）	４

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	０
２．まあまあ達成できた	７
３．あまり達成できなかった	３
４．全く達成できなかった	０

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	４
２．知らなかった	11

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	３
２．知らなかった	12

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	１
２．知らなかった	14

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	0	2	11	3	1	4	3
B．実験・実習	1	7	2	6	3	0	4	2
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	2	2	8	3	4	4	1
D．外国語	1	2	2	6	3	5	4	1
E．海外留学	1	0	2	2	3	1	4	10
F．資格の取得	1	1	2	7	3	1	4	5
G．インターンシップ・就職活動	1	1	2	5	3	3	4	4
H．部・サークル活動	1	7	2	5	3	2	4	1
I．アルバイト	1	3	2	7	3	4	4	1
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	1	2	4	3	5	4	4
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	7	2	6	3	2	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	2	2	9	3	2	4	1
B．発表・プレゼンテーション能力	1	2	2	8	3	4	4	1
C．ディスカッション能力	1	2	2	5	3	5	4	3
D．コミュニケーション能力	1	6	2	3	3	5	4	1
E．外国語能力	1	0	2	2	3	9	4	3
F．リーダーシップ	1	1	2	5	3	7	4	2
G．集団の中での協調性	1	5	2	8	3	1	4	1
H．情報収集・分析能力	1	3	2	7	3	4	4	1
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	4	3	7	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	2	2	7	3	6	4	0
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	4	3	6	4	5
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	0	2	9	3	5	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	0	2	12	3	3	4	0
B．演習	1	0	2	11	3	4	4	0
C．実験・実習	1	4	2	8	3	2	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	2	2	5	3	7	4	1
E．カリキュラム全体	1	0	2	10	3	4	4	1

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・実習や国試に直結する内容をもっと学校で学びたかった。・卒業論文の時期の短さ。・臨床に直結する実習に役立つ内容が少ない。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	0
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0
5．在学中に海外渡航はしていない	14
6．その他	0

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	0	2	4	3	7	4	1	5	2
B．立地を始めとした学修環境	1	4	2	5	3	4	4	0	5	1
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	0	2	3	3	8	4	1	5	1
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	0	2	4	3	8	4	0	5	1
E．奨学金など学費援助の制度	1	1	2	6	3	4	4	2	5	1
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	0	2	6	3	6	4	1	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	11
2．就職（その他）	0
3．大学院進学（本学保健科学院）	1
4．大学院進学（本学医学研究科）	2
5．大学院進学（その他）	0
6．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・臨床実習の遠方手当や通勤手当がしっかりしていると良かったと思います。・国家試験対策を先生方からもしていただきたいです。

放射線技術科学専攻
卒業者数: 37 名
回答者数: 35 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	29
２．女性	6

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

放射線技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	33
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	10
２．北海道へのあこがれ	7
３．本学へのあこがれ	14
４．勉強したい分野があった	14
５．指導して欲しい教員がいた	0
６．学力（偏差値など）が適当	13
７．親・先生・友人等に勧められた	5
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	11	
２．資格取得が有利	18	
３．希望する職業分野が勉強できる	17	
４．指導して欲しい教員がいた	0	
５．学力（偏差値など）が適当	8	
６．就職に有利	8	
７．その他	2	友人が多い1，受かる気がした1

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	25
２．無かった（→問７へ）	10

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	4
２．まあまあ達成できた	19
３．あまり達成できなかった	2
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	6
２．知らなかった	27

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	3
２．知らなかった	31

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	2
２．知らなかった	32

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	4	2	20	3	9	4	2
B．実験・実習	1	9	2	20	3	4	4	2
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	19	2	11	3	3	4	2
D．外国語	1	4	2	11	3	18	4	2
E．海外留学	1	2	2	2	3	1	4	26
F．資格の取得	1	12	2	9	3	6	4	7
G．インターンシップ・就職活動	1	5	2	9	3	6	4	13
H．部・サークル活動	1	13	2	7	3	4	4	9
I．アルバイト	1	11	2	13	3	6	4	3
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	3	2	3	3	8	4	18
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	9	2	17	3	7	4	2

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	7	2	22	3	5	4	1
B．発表・プレゼンテーション能力	1	9	2	20	3	5	4	1
C．ディスカッション能力	1	5	2	14	3	14	4	2
D．コミュニケーション能力	1	6	2	18	3	7	4	4
E．外国語能力	1	2	2	14	3	13	4	6
F．リーダーシップ	1	4	2	10	3	14	4	7
G．集団の中での協調性	1	5	2	22	3	6	4	2
H．情報収集・分析能力	1	7	2	24	3	3	4	1
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	15	3	15	4	3
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	5	2	22	3	6	4	2
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	1	2	10	3	14	4	10
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	2	2	24	3	5	4	4
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	5	2	27	3	2	4	1
B．演習	1	7	2	25	3	2	4	1
C．実験・実習	1	7	2	26	3	1	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	15	2	17	3	3	4	0
E．カリキュラム全体	1	9	2	23	3	3	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・ゼミの先生によって優遇が違う。・興味のある分野ではなかった。・（卒業論文作成について）「過去論文にならうように」というだけで詳細ではなかった。・声が小さい教員だと前にいても聞き取れないときがあった。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	2	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	25	
6．その他	1	旅行1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	5	2	17	3	8	4	2	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	9	2	16	3	7	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	0	2	12	3	20	4	0	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	0	2	8	3	24	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	5	2	8	3	16	4	2	5	1
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	1	2	9	3	21	4	0	5	1

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	17
2．就職（その他）	1
3．大学院進学（本学保健科学院）	10
4．大学院進学（本学医学研究科）	3
5．大学院進学（その他）	1
6．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・学生に主体性を求める教育方針を徹底してほしい。

理学療法学専攻

卒業者数: 20 名
回答者数: 18 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	11
２．女性	7

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

理学療法学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	16
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	7
２．北海道へのあこがれ	3
３．本学へのあこがれ	10
４．勉強したい分野があった	12
５．指導して欲しい教員がいた	0
６．学力（偏差値など）が適当	6
７．親・先生・友人等に勧められた	2
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	12
２．資格取得が有利	5
３．希望する職業分野が勉強できる	11
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	2
６．就職に有利	2
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	16
２．無かった（→問７へ）	2

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	0
２．まあまあ達成できた	13
３．あまり達成できなかった	3
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	4
２．知らなかった	14

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	1
２．知らなかった	17

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	0
２．知らなかった	18

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	8	2	6	3	2	4	2
B．実験・実習	1	15	2	3	3	0	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	15	2	2	3	1	4	0
D．外国語	1	1	2	7	3	9	4	1
E．海外留学	1	1	2	0	3	3	4	12
F．資格の取得	1	6	2	3	3	8	4	1
G．インターンシップ・就職活動	1	1	2	2	3	5	4	8
H．部・サークル活動	1	8	2	2	3	5	4	3
I．アルバイト	1	8	2	7	3	2	4	1
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	2	2	4	3	6	4	4
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	10	2	6	3	2	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	8	2	9	3	0	4	1
B．発表・プレゼンテーション能力	1	5	2	10	3	2	4	1
C．ディスカッション能力	1	6	2	9	3	2	4	1
D．コミュニケーション能力	1	7	2	9	3	1	4	1
E．外国語能力	1	0	2	3	3	11	4	4
F．リーダーシップ	1	1	2	8	3	7	4	2
G．集団の中での協調性	1	6	2	9	3	2	4	1
H．情報収集・分析能力	1	9	2	7	3	1	4	1
I．企画、アイディア等の創造力	1	3	2	7	3	6	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	5	2	9	3	3	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	2	2	3	3	12	4	1
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	8	2	8	3	1	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	5	2	11	3	1	4	1
B．演習	1	5	2	11	3	1	4	1
C．実験・実習	1	9	2	7	3	1	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	11	2	5	3	2	4	0
E．カリキュラム全体	1	6	2	11	3	0	4	1

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・教科書の必要性の精査をしてほしい。安くない買物であるし授業でほとんど使わなかった（学校に持ってくることすらなかった）　うえに今後必要とも感じられないものを買わされた。逆に高くても良い内容ならほしい。解剖等は中途半端な内容で使いづらい。　もっと良いものを。レジュメを用いた授業が多いが，せっかく買ったのだからもう少し教科書に沿って授業をしてほしい。　レジュメは学ぶべきことの優先順位がわかり易いという利点があるが情報量が少ない。それにあとで自分で勉強する　ときは教科書を使うので授業でも用いてほしい。・（卒業研究）実習のあとで時間が少なかった。・実習の回数が少ない。・授業の質が悪かった。教授の自己満足な授業が多くみられた。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	1	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	14	
6．その他	1	旅行1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	2	2	10	3	4	4	2	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	7	2	10	3	1	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	2	2	4	3	11	4	1	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	2	2	4	3	11	4	1	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	4	2	6	3	6	4	1	5	1
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	1	2	7	3	9	4	1	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	9
2．就職（その他）	0
3．大学院進学（本学保健科学院）	4
4．大学院進学（本学医学研究科）	0
5．大学院進学（その他）	5
6．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・論文検索や患者情報の管理についてロうるさく言うわりには何も教えてもらった記憶がない。　英語論文の検索方法，良質な論文のみつけ方，インパクトファクターの意味，USBメモリの　ロック方法などの授業がほしい。・1年次の成績は学部移行に関わるため授業間での成績の比率の差やクラス間での差をなくして公平性を保つべき。・専門的な知識を実験や実習を通して実際に体験しながら学ぶことがたくさんできてよかったです。　ありがとうございました。・外国語教育，留学等国際化にむけた取り組みをより強化していくとよいと感じた。

資料保55_H28年度学部卒業時アンケート集計

看護学専攻

卒業者数: 70 名
回答者数: 56 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	4
２．女性	52

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

看護学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	49
２．総合入試	1
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	6
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	22	
２．北海道へのあこがれ	11	
３．本学へのあこがれ	31	
４．勉強したい分野があった	16	
５．指導して欲しい教員がいた	1	
６．学力（偏差値など）が適当	23	
７．親・先生・友人等に勧められた	11	
８．その他	1	道内で進学したい1

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	8
２．資格取得が有利	22
３．希望する職業分野が勉強できる	39
４．指導して欲しい教員がいた	1
５．学力（偏差値など）が適当	15
６．就職に有利	9
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	31
２．無かった（→問７へ）	25

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	6
２．まあまあ達成できた	23
３．あまり達成できなかった	1
４．全く達成できなかった	1

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	16
２．知らなかった	40

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	11
２．知らなかった	45

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	2
２．知らなかった	54

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	9	2	40	3	6	4	1
B．実験・実習	1	25	2	29	3	1	4	1
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	23	2	27	3	5	4	1
D．外国語	1	3	2	24	3	20	4	9
E．海外留学	1	2	2	10	3	2	4	37
F．資格の取得	1	11	2	19	3	6	4	14
G．インターンシップ・就職活動	1	5	2	24	3	18	4	7
H．部・サークル活動	1	13	2	18	3	7	4	16
I．アルバイト	1	20	2	23	3	7	4	5
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	6	2	8	3	14	4	24
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	16	2	29	3	4	4	6

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	21	2	32	3	3	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	15	2	33	3	8	4	0
C．ディスカッション能力	1	8	2	36	3	11	4	1
D．コミュニケーション能力	1	13	2	35	3	8	4	0
E．外国語能力	1	3	2	11	3	27	4	15
F．リーダーシップ	1	2	2	25	3	24	4	5
G．集団の中での協調性	1	13	2	38	3	5	4	0
H．情報収集・分析能力	1	12	2	37	3	7	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	6	2	23	3	24	4	3
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	15	2	31	3	10	4	0
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	5	2	13	3	29	4	9
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	10	2	37	3	9	4	0
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	11	2	44	3	1	4	0
B．演習	1	14	2	41	3	1	4	0
C．実験・実習	1	16	2	34	3	4	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	23	2	30	3	1	4	1
E．カリキュラム全体	1	11	2	42	3	2	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・私の学力には合っていなかったしたかすぎた

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	5	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	2	
5．在学中に海外渡航はしていない	43	
6．その他	3	2週間の留学1，海外旅行1，4日間のプロジェクト1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	11	2	32	3	8	4	4	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	18	2	28	3	8	4	1	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	10	2	11	3	31	4	2	5	1
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	10	2	14	3	29	4	2	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	13	2	19	3	21	4	1	5	1
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	8	2	18	3	26	4	2	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	38	
2．就職（その他）	0	
3．大学院進学（本学保健科学院）	9	
4．大学院進学（本学医学院）	0	
5．大学院進学（本学医理工学院）	0	
6．大学院進学（その他）	4	
7．その他	3	未定1，専攻科進学1

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・NETの環境悪い（今はインターネットで情報得ることが大切）。寒い。
・24時間学科棟に入れるようにして欲しいです。PCか広範囲のWi-Fiを増やして欲しいです。

検査技術科学専攻
卒業者数: 39 名
回答者数: 32 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	11
２．女性	21

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

検査技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	30
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	8	
２．北海道へのあこがれ	7	
３．本学へのあこがれ	16	
４．勉強したい分野があった	18	
５．指導して欲しい教員がいた	0	
６．学力（偏差値など）が適当	15	
７．親・先生・友人等に勧められた	6	
８．その他	3	北海道の国公立1，研究が充実していて他大学院への進学ができる1，オープンキャンパスで惹かれた1

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	11	
２．資格取得が有利	18	
３．希望する職業分野が勉強できる	18	
４．指導して欲しい教員がいた	0	
５．学力（偏差値など）が適当	10	
６．就職に有利	2	
７．その他	2	研究が充実していて大学院への進路選択が幅広い1，オープンキャンパスで惹かれた1

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	24
２．無かった（→問７へ）	8

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	5
２．まあまあ達成できた	13
３．あまり達成できなかった	4
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	7
２．知らなかった	24

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	7
２．知らなかった	25

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	3
２．知らなかった	29

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	5	2	17	3	8	4	2
B．実験・実習	1	14	2	15	3	2	4	1
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	19	2	10	3	1	4	2
D．外国語	1	3	2	8	3	14	4	7
E．海外留学	1	0	2	6	3	3	4	21
F．資格の取得	1	7	2	15	3	6	4	3
G．インターンシップ・就職活動	1	2	2	20	3	6	4	4
H．部・サークル活動	1	5	2	14	3	7	4	4
I．アルバイト	1	8	2	16	3	8	4	0
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	5	2	6	3	8	4	12
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	7	2	20	3	5	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	5	2	24	3	3	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	4	2	19	3	8	4	1
C．ディスカッション能力	1	3	2	12	3	14	4	3
D．コミュニケーション能力	1	3	2	21	3	8	4	0
E．外国語能力	1	0	2	10	3	14	4	8
F．リーダーシップ	1	1	2	8	3	17	4	6
G．集団の中での協調性	1	6	2	25	3	1	4	0
H．情報収集・分析能力	1	7	2	19	3	4	4	2
I．企画、アイディア等の創造力	1	3	2	18	3	9	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	3	2	19	3	7	4	3
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	9	3	18	4	5
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	3	2	17	3	10	4	2
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	5	2	25	3	2	4	0
B．演習	1	5	2	26	3	1	4	0
C．実験・実習	1	11	2	21	3	0	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	13	2	16	3	3	4	0
E．カリキュラム全体	1	7	2	22	3	3	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－2　不満に感じた点を教えて下さい

・学年ごとの負荷に差がありすぎ。4年に病院志望者が苦労するシステムだった。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	4	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	1	
5．在学中に海外渡航はしていない	25	
6．その他	1	1年間のワーキングホリデーインターンシップ1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	8	2	17	3	3	4	2	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	11	2	13	3	6	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	5	2	10	3	15	4	0	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	6	2	12	3	10	4	2	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	4	2	14	3	10	4	1	5	1
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	3	2	12	3	11	4	3	5	1

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	21	
2．就職（その他）	2	
3．大学院進学（本学保健科学院）	2	
4．大学院進学（本学医学院）	1	
5．大学院進学（本学医理工学院）	0	
6．大学院進学（その他）	2	
7．その他	2	専門学校2

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・就職に関して他の大学よりも放置気味に感じました。・卒業研究で保健学科の外で研究できたのがよかった。・楽しい4年間でした。・1年次の教養の講義が面白かったのでぜひこのまま全学教育を続けていただければと思います。・2年生以降，英語の授業が全くなくてとても不安でした。　入学前に知らなかったからとてもびっくりしてしまった。・人数に対する自習スペースが足りない。病院実習の時期を早めてほしい。

作業療法学専攻
卒業者数: 18 名
回答者数: 8 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	4
２．女性	4

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

作業療法学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	6
２．総合入試	0
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	2
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	3	
２．北海道へのあこがれ	2	
３．本学へのあこがれ	5	
４．勉強したい分野があった	1	
５．指導して欲しい教員がいた	0	
６．学力（偏差値など）が適当	2	
７．親・先生・友人等に勧められた	1	
８．その他	1	国公立大に入学したかった1

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	1
２．資格取得が有利	4
３．希望する職業分野が勉強できる	3
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	3
６．就職に有利	1
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	5
２．無かった（→問７へ）	3

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	0
２．まあまあ達成できた	2
３．あまり達成できなかった	2
４．全く達成できなかった	1

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	0
２．知らなかった	8

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	0
２．知らなかった	8

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	0
２．知らなかった	8

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	1	2	2	3	3	4	2
B．実験・実習	1	3	2	4	3	1	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	1	2	4	3	2	4	1
D．外国語	1	2	2	1	3	2	4	3
E．海外留学	1	1	2	0	3	0	4	5
F．資格の取得	1	3	2	3	3	1	4	1
G．インターンシップ・就職活動	1	1	2	2	3	0	4	4
H．部・サークル活動	1	3	2	3	3	0	4	2
I．アルバイト	1	2	2	4	3	1	4	1
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	0	2	0	3	1	4	5
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	1	2	4	3	2	4	1

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	1	2	6	3	1	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	0	2	5	3	2	4	1
C．ディスカッション能力	1	0	2	2	3	5	4	1
D．コミュニケーション能力	1	0	2	4	3	3	4	1
E．外国語能力	1	0	2	2	3	2	4	4
F．リーダーシップ	1	0	2	2	3	5	4	1
G．集団の中での協調性	1	1	2	3	3	4	4	0
H．情報収集・分析能力	1	0	2	3	3	5	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	0	2	1	3	5	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	1	2	4	3	3	4	0
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	2	3	3	4	3
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	1	2	4	3	2	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	2	2	3	3	2	4	1
B．演習	1	2	2	4	3	2	4	0
C．実験・実習	1	2	2	4	3	1	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	2	2	4	3	2	4	0
E．カリキュラム全体	1	2	2	4	3	2	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－2　不満に感じた点を教えて下さい

・興味が沸くような授業ではなかった。・実際にすぐ役立てる内容が少ない。現場との差が大きい。・実習において自身の勉強不足の範囲に収まらない講義で学んでいないことがいくつかあった。　卒論の内容も形ばかりの提出だと感じた。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	1	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	6	
6．その他	1	台湾旅行3泊4日1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	5	2	1	3	2	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	6	2	0	3	2	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	1	2	0	3	7	4	0	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	1	2	0	3	7	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	2	2	0	3	5	4	1	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	1	2	0	3	6	4	1	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	1	
2．就職（その他）	2	
3．大学院進学（本学保健科学院）	2	
4．大学院進学（本学医学院）	2	
5．大学院進学（本学医理工学院）	0	
6．大学院進学（その他）	0	
7．その他	1	未定1

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

放射線技術科学専攻
卒業者数: 40 名
回答者数: 25 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	16
２．女性	9

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

放射線技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	24
２．総合入試	1
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	4
２．北海道へのあこがれ	6
３．本学へのあこがれ	8
４．勉強したい分野があった	6
５．指導して欲しい教員がいた	1
６．学力（偏差値など）が適当	10
７．親・先生・友人等に勧められた	5
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	5
２．資格取得が有利	12
３．希望する職業分野が勉強できる	11
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	4
６．就職に有利	4
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	19
２．無かった（→問７へ）	6

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	4
２．まあまあ達成できた	12
３．あまり達成できなかった	4
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	7
２．知らなかった	17

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	8
２．知らなかった	17

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	4
２．知らなかった	21

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	4	2	16	3	5	4	0
B．実験・実習	1	7	2	16	3	2	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	12	2	10	3	3	4	0
D．外国語	1	4	2	12	3	7	4	2
E．海外留学	1	1	2	3	3	1	4	13
F．資格の取得	1	8	2	10	3	2	4	3
G．インターンシップ・就職活動	1	2	2	9	3	3	4	5
H．部・サークル活動	1	9	2	8	3	6	4	1
I．アルバイト	1	5	2	13	3	5	4	2
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	1	2	4	3	7	4	7
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	6	2	15	3	3	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	11	2	13	3	0	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	4	2	15	3	4	4	2
C．ディスカッション能力	1	2	2	14	3	9	4	0
D．コミュニケーション能力	1	5	2	17	3	2	4	1
E．外国語能力	1	1	2	9	3	10	4	5
F．リーダーシップ	1	1	2	9	3	10	4	5
G．集団の中での協調性	1	6	2	15	3	2	4	2
H．情報収集・分析能力	1	6	2	16	3	3	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	6	2	9	3	10	4	0
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	8	2	12	3	4	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	2	2	6	3	11	4	6
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	8	2	12	3	3	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	7	2	17	3	1	4	0
B．演習	1	7	2	17	3	1	4	0
C．実験・実習	1	6	2	18	3	1	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	10	2	12	3	3	4	0
E．カリキュラム全体	1	7	2	18	3	0	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・卒業研究があまり思うように進まなかった。・実習があったためきちんと取り組める期間が短すぎた。・レポートが大変すぎる。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	1	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	1	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	18	
6．その他	3	1ヶ月程度のホームスティ1，旅行（5日）1，台湾旅行1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	9	2	13	3	1	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	11	2	11	3	1	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	4	2	14	3	5	4	0	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	4	2	9	3	10	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	3	2	8	3	8	4	3	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	1	2	14	3	8	4	0	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	12
2．就職（その他）	0
3．大学院進学（本学保健科学院）	7
4．大学院進学（本学医学院）	0
5．大学院進学（本学医理工学院）	2
6．大学院進学（その他）	2
7．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

理学療法学専攻
卒業者数: 19 名
回答者数: 9 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	５
２．女性	４

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

理学療法学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	８
２．総合入試	１
３．編入学	０
４．ＡＯ入試	０
５．帰国子女入試	０
６．その他（私費入試等）	０

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	２
２．北海道へのあこがれ	２
３．本学へのあこがれ	７
４．勉強したい分野があった	５
５．指導して欲しい教員がいた	０
６．学力（偏差値など）が適当	６
７．親・先生・友人等に勧められた	３
８．その他	０

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	６
２．資格取得が有利	２
３．希望する職業分野が勉強できる	７
４．指導して欲しい教員がいた	０
５．学力（偏差値など）が適当	２
６．就職に有利	２
７．その他	０

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	８
２．無かった（→問７へ）	１

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	２
２．まあまあ達成できた	４
３．あまり達成できなかった	２
４．全く達成できなかった	０

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	２
２．知らなかった	７

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	０
２．知らなかった	９

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	０
２．知らなかった	９

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	3	2	5	3	0	4	1
B．実験・実習	1	6	2	1	3	1	4	1
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	7	2	1	3	0	4	1
D．外国語	1	3	2	3	3	1	4	2
E．海外留学	1	1	2	0	3	0	4	5
F．資格の取得	1	1	2	2	3	1	4	2
G．インターンシップ・就職活動	1	0	2	3	3	0	4	3
H．部・サークル活動	1	2	2	3	3	0	4	3
I．アルバイト	1	3	2	4	3	1	4	1
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	0	2	1	3	2	4	4
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	3	2	5	3	1	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	6	2	2	3	1	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	6	2	2	3	1	4	0
C．ディスカッション能力	1	4	2	3	3	2	4	0
D．コミュニケーション能力	1	4	2	4	3	1	4	0
E．外国語能力	1	1	2	4	3	3	4	1
F．リーダーシップ	1	1	2	4	3	4	4	0
G．集団の中での協調性	1	3	2	4	3	2	4	0
H．情報収集・分析能力	1	6	2	2	3	1	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	5	3	2	4	0
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	4	2	2	3	3	4	0
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	4	3	5	4	0
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	4	2	3	3	2	4	0
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	4	2	5	3	0	4	0
B．演習	1	3	2	5	3	1	4	0
C．実験・実習	1	4	2	3	3	2	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	4	2	5	3	0	4	0
E．カリキュラム全体	1	4	2	4	3	1	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

・実習時期で就職活動に不利が働いてしまう。　演習はレポートより発表の機会を増やしたほうが良いと思われる。・2年生前期にもう少し授業を入れて3年前期をもう少し減らしてほしかった。・授業料を支払った上で実習にかかる費用（交通費・下宿費等）を負担するのは納得がいかなかった。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	1	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	6	
6．その他	1	旅行1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	3	2	3	3	2	4	1	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	5	2	4	3	0	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	2	2	2	3	4	4	1	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	2	2	2	3	4	4	1	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	2	2	1	3	5	4	1	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	1	2	2	3	4	4	2	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	5	
2．就職（その他）	0	
3．大学院進学（本学保健科学院）	2	
4．大学院進学（本学医学院）	0	
5．大学院進学（本学医理工学院）	0	
6．大学院進学（その他）	1	
7．その他	1	専門学校1

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

・就活（企業）をできるようにしてほしい。・土日祝や長期休暇中の勉強場所がもう少し欲しい。　学科内の端末が少なすぎる。増えないなら無線LANを充実して欲しい。

資料保56_H29年度学部卒業時アンケート集計(H29.3更新)

看護学専攻
卒業者数: 80 名
回答者数: 75 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	10
２．女性	65

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

看護学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	67
２．総合入試	3
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	5
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	23
２．北海道へのあこがれ	6
３．本学へのあこがれ	42
４．勉強したい分野があった	22
５．指導して欲しい教員がいた	1
６．学力（偏差値など）が適当	35
７．親・先生・友人等に勧められた	17
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	20
２．資格取得が有利	22
３．希望する職業分野が勉強できる	46
４．指導して欲しい教員がいた	1
５．学力（偏差値など）が適当	20
６．就職に有利	15
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	52
２．無かった（→問７へ）	23

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	8
２．まあまあ達成できた	37
３．あまり達成できなかった	6
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	30
２．知らなかった	43

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	23
２．知らなかった	50

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	9
２．知らなかった	64

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	8	2	47	3	20	4	0
B．実験・実習	1	38	2	33	3	4	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	25	2	39	3	11	4	0
D．外国語	1	6	2	25	3	32	4	10
E．海外留学	1	4	2	5	3	4	4	45
F．資格の取得	1	14	2	25	3	7	4	19
G．インターンシップ・就職活動	1	13	2	27	3	15	4	15
H．部・サークル活動	1	25	2	27	3	10	4	11
I．アルバイト	1	21	2	37	3	9	4	7
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	5	2	6	3	18	4	30
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	20	2	41	3	12	4	2

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	24	2	47	3	4	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	15	2	49	3	11	4	0
C．ディスカッション能力	1	18	2	46	3	11	4	0
D．コミュニケーション能力	1	25	2	44	3	6	4	0
E．外国語能力	1	1	2	15	3	41	4	17
F．リーダーシップ	1	4	2	36	3	31	4	4
G．集団の中での協調性	1	24	2	41	3	9	4	1
H．情報収集・分析能力	1	19	2	49	3	7	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	5	2	35	3	31	4	3
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	13	2	51	3	10	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	3	2	23	3	35	4	13
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	12	2	50	3	12	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	17	2	55	3	2	4	1
B．演習	1	16	2	55	3	2	4	1
C．実験・実習	1	22	2	45	3	7	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	26	2	43	3	5	4	1
E．カリキュラム全体	1	14	2	55	3	3	4	1

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－2　不満に感じた点を教えて下さい

実習先の指導員が学生に対してきつい時がありました。
カリキュラムの組み方（講義を行う順番やコマ数）が、あまり適切でないと思う。2年前期にもう少し授業のコマを行えば、後の負担も減るし、成人看護概論など基盤的分野はもっと早期に行うべきだったと思う。
学期毎の科目の量にバランスの悪さを感じたり、順序の悪さを感じた。
実習疲れた
技術の演習1～2回講義で行うだけでは十分に見につかず、不安であるから。
国試に取り組むまでが長い。
下学年さんからは変わってきているとは思いますが、2年後期から学生の負担が大きいように感じます。
３年間でつめこむのが辛かった。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	1
4．中長期ボランティアやインターンシップ	2
5．在学中に海外渡航はしていない	53
6．その他	5

1週間程度の旅行。2週間程度。旅行（3泊4日）1週間留学。

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	9	2	44	3	15	4	1	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	17	2	38	3	14	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	7	2	27	3	34	4	1	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	7	2	24	3	37	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	9	2	21	3	38	4	0	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	6	2	21	3	41	4	0	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	47
2．就職（その他）	2
3．大学院進学（本学保健科学院）	10
4．大学院進学（本学医学院）	1
5．大学院進学（本学医理工学院）	0
6．大学院進学（その他）	4
7．その他	5

未定。専門学校進学。専攻科進学。

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

連絡事項が知らされるのが、毎度遅いと思います。充分な用意ができるようにもう少し早く掲示などしてほしいです。
学修環境として、冷暖房の管理をもっとして、快適な空間づくりをしてほしいです。
担当教員との連絡を取るのが大変だった。
保健学科のラウンジ寒い。

検査技術科学専攻
卒業者数: 35 名
回答者数: 35 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	14
２．女性	20

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

検査技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	32
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	1

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	5	
２．北海道へのあこがれ	8	
３．本学へのあこがれ	16	
４．勉強したい分野があった	19	
５．指導して欲しい教員がいた	0	
６．学力（偏差値など）が適当	10	
７．親・先生・友人等に勧められた	4	
８．その他	2	入試に面接がない。総合入試制度

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	10
２．資格取得が有利	17
３．希望する職業分野が勉強できる	18
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	6
６．就職に有利	2
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	23
２．無かった（→問７へ）	12

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	3
２．まあまあ達成できた	17
３．あまり達成できなかった	3
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	6
２．知らなかった	24

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	4
２．知らなかった	26

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	2
２．知らなかった	28

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	8	2	14	3	9	4	3
B．実験・実習	1	12	2	18	3	2	4	2
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	12	2	18	3	3	4	1
D．外国語	1	5	2	15	3	11	4	3
E．海外留学	1	4	2	1	3	5	4	20
F．資格の取得	1	9	2	8	3	6	4	7
G．インターンシップ・就職活動	1	5	2	11	3	5	4	10
H．部・サークル活動	1	9	2	9	3	10	4	6
I．アルバイト	1	10	2	14	3	6	4	4
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	1	2	7	3	7	4	15
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	10	2	15	3	7	4	2

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	8	2	23	3	2	4	1
B．発表・プレゼンテーション能力	1	7	2	16	3	11	4	0
C．ディスカッション能力	1	2	2	19	3	12	4	1
D．コミュニケーション能力	1	5	2	20	3	8	4	1
E．外国語能力	1	1	2	8	3	22	4	3
F．リーダーシップ	1	1	2	10	3	19	4	4
G．集団の中での協調性	1	6	2	24	3	3	4	1
H．情報収集・分析能力	1	7	2	22	3	5	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	16	3	14	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	4	2	22	3	7	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	2	2	9	3	12	4	11
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	3	2	25	3	5	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	3	2	28	3	2	4	1
B．演習	1	7	2	26	3	1	4	0
C．実験・実習	1	10	2	23	3	1	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	10	2	20	3	4	4	0
E．カリキュラム全体	1	6	2	26	3	2	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

2年生のとき授業が少なすぎたので3~4年と分散してほしかった。もっと国試に役立つ講義をしてほしかった。講義があまりおもしろくなかった親密な指導が得られず苦難した

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	2	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	22	
6．その他	1	数日間

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	8	2	22	3	3	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	13	2	18	3	2	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	4	2	15	3	12	4	2	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	4	2	13	3	13	4	3	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	8	2	14	3	10	4	1	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	2	2	12	3	14	4	4	5	1

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	16	
2．就職（その他）	4	
3．大学院進学（本学保健科学院）	5	
4．大学院進学（本学医学院）	6	
5．大学院進学（本学医理工学院）	0	
6．大学院進学（その他）	1	
7．その他	1	養成所入学

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

提出書類に不備があった際、教務から電話があったが、その際の態度が非常に高圧的であったことが残念でした。改めてください。保健学科でも長期留学できるようにしてほしいです。

作業療法学専攻

卒業者数: 22 名
回答者数: 21 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	6
２．女性	15

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

作業療法学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	17
２．総合入試	0
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	3
５．帰国子女入試	1
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	2
２．北海道へのあこがれ	4
３．本学へのあこがれ	12
４．勉強したい分野があった	10
５．指導して欲しい教員がいた	1
６．学力（偏差値など）が適当	10
７．親・先生・友人等に勧められた	4
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	5
２．資格取得が有利	5
３．希望する職業分野が勉強できる	15
４．指導して欲しい教員がいた	1
５．学力（偏差値など）が適当	7
６．就職に有利	4
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	14
２．無かった（→問７へ）	7

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	1
２．まあまあ達成できた	12
３．あまり達成できなかった	0
４．全く達成できなかった	1

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	3
２．知らなかった	16

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	3
２．知らなかった	17

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	0
２．知らなかった	20

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	3	2	12	3	4	4	2
B．実験・実習	1	12	2	7	3	0	4	2
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	6	2	7	3	7	4	1
D．外国語	1	2	2	6	3	8	4	5
E．海外留学	1	2	2	0	3	1	4	14
F．資格の取得	1	3	2	7	3	6	4	2
G．インターンシップ・就職活動	1	4	2	8	3	4	4	3
H．部・サークル活動	1	7	2	8	3	1	4	2
I．アルバイト	1	5	2	11	3	3	4	2
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	1	2	5	3	3	4	9
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	7	2	10	3	4	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	6	2	14	3	1	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	3	2	16	3	2	4	0
C．ディスカッション能力	1	5	2	12	3	3	4	1
D．コミュニケーション能力	1	8	2	10	3	3	4	0
E．外国語能力	1	0	2	3	3	12	4	6
F．リーダーシップ	1	1	2	5	3	11	4	4
G．集団の中での協調性	1	4	2	15	3	2	4	0
H．情報収集・分析能力	1	5	2	14	3	2	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	0	2	11	3	8	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	2	2	12	3	7	4	0
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	2	3	12	4	7
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	3	2	6	3	11	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	4	2	16	3	1	4	0
B．演習	1	4	2	15	3	2	4	0
C．実験・実習	1	10	2	9	3	1	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	6	2	11	3	3	4	1
E．カリキュラム全体	1	3	2	16	3	1	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

教員の指導がもっとほしかった指導方法が合わなかった実技演習をもっと丁寧に行ってほしい

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	1
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0
5．在学中に海外渡航はしていない	18
6．その他	0

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	5	2	11	3	5	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	6	2	14	3	1	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	2	2	8	3	10	4	1	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	3	2	6	3	10	4	2	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	2	2	11	3	6	4	1	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	4	2	9	3	7	4	0	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	18
2．就職（その他）	1
3．大学院進学（本学保健科学院）	2
4．大学院進学（本学医学院）	0
5．大学院進学（本学医理工学院）	0
6．大学院進学（その他）	0
7．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

放射線技術科学専攻
卒業者数: 38 名
回答者数: 38 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	20
２．女性	18

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

放射線技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	36
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	10	
２．北海道へのあこがれ	10	
３．本学へのあこがれ	18	
４．勉強したい分野があった	17	
５．指導して欲しい教員がいた	0	
６．学力（偏差値など）が適当	12	
７．親・先生・友人等に勧められた	4	
８．その他	1	北海道にいたかった

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	13	
２．資格取得が有利	14	
３．希望する職業分野が勉強できる	20	
４．指導して欲しい教員がいた	0	
５．学力（偏差値など）が適当	4	
６．就職に有利	7	
７．その他	1	なんとなく

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	28
２．無かった（→問７へ）	10

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	4
２．まあまあ達成できた	19
３．あまり達成できなかった	5
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	3
２．知らなかった	32

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	2
２．知らなかった	35

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	1
２．知らなかった	36

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	6	2	18	3	10	4	4
B．実験・実習	1	10	2	21	3	4	4	3
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	17	2	14	3	5	4	2
D．外国語	1	4	2	13	3	14	4	7
E．海外留学	1	0	2	1	3	2	4	29
F．資格の取得	1	13	2	9	3	7	4	7
G．インターンシップ・就職活動	1	3	2	16	3	7	4	9
H．部・サークル活動	1	11	2	16	3	6	4	5
I．アルバイト	1	10	2	21	3	5	4	2
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	1	2	7	3	7	4	19
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	10	2	20	3	6	4	1

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	12	2	22	3	4	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	10	2	23	3	4	4	1
C．ディスカッション能力	1	5	2	19	3	12	4	2
D．コミュニケーション能力	1	5	2	25	3	7	4	1
E．外国語能力	1	1	2	15	3	16	4	6
F．リーダーシップ	1	1	2	13	3	21	4	3
G．集団の中での協調性	1	10	2	24	3	3	4	1
H．情報収集・分析能力	1	9	2	21	3	8	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	3	2	16	3	17	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	4	2	22	3	9	4	3
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	1	2	13	3	15	4	9
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	4	2	21	3	10	4	3
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	6	2	27	3	4	4	1
B．演習	1	7	2	28	3	2	4	1
C．実験・実習	1	6	2	28	3	3	4	1
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	18	2	17	3	3	4	0
E．カリキュラム全体	1	5	2	29	3	4	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

個人に任されていた。学部卒では卒業研究が思ったよりできなかった。座学わかりにくい。複数の専攻合同授業の日程・内容ともに微妙。自分のしたいことがあまりなかった。実習時期が遅く企業就活を行う人にとっては不利だと感じた。自分のもんだいな気がします。

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0	
2．3ヶ月～半年程度の留学	0	
3．1ヶ月程度の語学研修	0	
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0	
5．在学中に海外渡航はしていない	32	
6．その他	2	ボランティア

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

	1		2		3		4		5	
A．学修や研究のための施設・設備	1	8	2	23	3	6	4	1	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	14	2	18	3	5	4	1	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	6	2	12	3	19	4	1	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	5	2	11	3	21	4	1	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	9	2	17	3	12	4	0	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	5	2	12	3	18	4	3	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	20	
2．就職（その他）	2	
3．大学院進学（本学保健科学院）	8	
4．大学院進学（本学医学院）	1	
5．大学院進学（本学医理工学院）	5	
6．大学院進学（その他）	0	
7．その他	1	研究生（情報系）

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

北図書館の長期休暇での開き時間をのばしてほしい。ていねいに説明しましょう　科学大をみならって学部入学したので教養時代が不要だと思いました。

理学療法学専攻

卒業者数:　15 名
回答者数:　15 名

①　基本的事項

問１　あなたの性別を教えて下さい

１．男性	8
２．女性	7

問２　あなたの所属専攻を教えて下さい

理学療法学専攻

問３　あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	14
２．総合入試	1
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

②　本学への進学について

問４　本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	3
２．北海道へのあこがれ	4
３．本学へのあこがれ	3
４．勉強したい分野があった	6
５．指導して欲しい教員がいた	1
６．学力（偏差値など）が適当	7
７．親・先生・友人等に勧められた	2
８．その他	0

問５　本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	10	
２．資格取得が有利	2	
３．希望する職業分野が勉強できる	6	
４．指導して欲しい教員がいた	0	
５．学力（偏差値など）が適当	3	
６．就職に有利	0	
７．その他	2	特にないなんとなく

③　学修目標について

問６　入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	11
２．無かった（→問７へ）	4

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２　入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	1
２．まあまあ達成できた	10
３．あまり達成できなかった	0
４．全く達成できなかった	0

問７　本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	4
２．知らなかった	11

問８　本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	1
２．知らなかった	14

問９　本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	0
２．知らなかった	15

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	1	2	10	3	4	4	0
B．実験・実習	1	3	2	11	3	1	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	12	2	2	3	1	4	0
D．外国語	1	1	2	5	3	5	4	4
E．海外留学	1	0	2	0	3	1	4	10
F．資格の取得	1	1	2	4	3	1	4	5
G．インターンシップ・就職活動	1	1	2	4	3	4	4	5
H．部・サークル活動	1	10	2	3	3	0	4	1
I．アルバイト	1	4	2	5	3	2	4	3
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	0	2	3	3	1	4	9
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	4	2	10	3	1	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	5	2	10	3	0	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	3	2	11	3	1	4	0
C．ディスカッション能力	1	3	2	8	3	3	4	1
D．コミュニケーション能力	1	4	2	8	3	3	4	0
E．外国語能力	1	1	2	1	3	9	4	4
F．リーダーシップ	1	2	2	4	3	7	4	2
G．集団の中での協調性	1	4	2	10	3	1	4	0
H．情報収集・分析能力	1	6	2	9	3	0	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	5	3	7	4	1
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	2	2	7	3	5	4	0
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	2	2	1	3	8	4	4
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	7	2	8	3	0	4	0
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	2	2	10	3	3	4	0
B．演習	1	2	2	11	3	2	4	0
C．実験・実習	1	4	2	8	3	3	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	5	2	9	3	1	4	0
E．カリキュラム全体	1	3	2	10	3	2	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

卒業論文を早くして、国試の勉強を早くから取り組ませるべき2年前期に授業が少なく、2年後期以降にとても多い

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	1
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0
5．在学中に海外渡航はしていない	9
6．その他	0

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	3	2	4	3	4	4	3	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	6	2	6	3	2	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	1	2	3	3	10	4	0	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	1	2	2	3	11	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	1	2	2	3	9	4	2	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	1	2	2	3	9	4	2	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	6	
2．就職（その他）	1	
3．大学院進学（本学保健科学院）	6	
4．大学院進学（本学医学院）	0	
5．大学院進学（本学医理工学院）	0	
6．大学院進学（その他）	0	
7．その他	1	就職活動

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

物理療法機器や実験装置（反射マーカー等）を新しくしてほしい

資料保57_H30年度学部卒業時アンケート集計(H29.3更新)

看護学専攻
卒業者数: 75 名
回答者数: 74 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	5
２．女性	69

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

看護学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	65
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	7
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	19
２．北海道へのあこがれ	11
３．本学へのあこがれ	40
４．勉強したい分野があった	20
５．指導して欲しい教員がいた	0
６．学力（偏差値など）が適当	38
７．親・先生・友人等に勧められた	9
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	12
２．資格取得が有利	28
３．希望する職業分野が勉強できる	40
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	26
６．就職に有利	12
７．その他	3

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	49
２．無かった（→問７へ）	25

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	7
２．まあまあ達成できた	31
３．あまり達成できなかった	9
４．全く達成できなかった	1

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	27
２．知らなかった	46

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	20
２．知らなかった	53

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	10
２．知らなかった	63

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	12	2	38	3	20	4	3
B．実験・実習	1	34	2	29	3	10	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	27	2	35	3	10	4	1
D．外国語	1	10	2	24	3	32	4	7
E．海外留学	1	3	2	6	3	9	4	44
F．資格の取得	1	11	2	23	3	17	4	16
G．インターンシップ・就職活動	1	8	2	31	3	19	4	12
H．部・サークル活動	1	25	2	23	3	12	4	9
I．アルバイト	1	28	2	30	3	9	4	5
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	3	2	11	3	18	4	31
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	29	2	28	3	13	4	2

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	18	2	53	3	2	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	11	2	45	3	15	4	2
C．ディスカッション能力	1	10	2	50	3	10	4	3
D．コミュニケーション能力	1	20	2	46	3	6	4	1
E．外国語能力	1	3	2	18	3	36	4	15
F．リーダーシップ	1	4	2	32	3	35	4	2
G．集団の中での協調性	1	21	2	48	3	4	4	0
H．情報収集・分析能力	1	18	2	46	3	9	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	4	2	31	3	35	4	3
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	12	2	49	3	11	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	4	2	18	3	39	4	12
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	10	2	38	3	23	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	10	2	60	3	3	4	0
B．演習	1	14	2	56	3	3	4	0
C．実験・実習	1	11	2	57	3	5	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	18	2	52	3	3	4	0
E．カリキュラム全体	1	10	2	58	3	5	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－2　不満に感じた点を教えて下さい

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	5
4．中長期ボランティアやインターンシップ	3
5．在学中に海外渡航はしていない	57
6．その他	2

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	12	2	46	3	14	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	24	2	41	3	6	4	1	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	8	2	35	3	25	4	2	5	1
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	8	2	32	3	28	4	2	5	1
E．奨学金など学費援助の制度	1	8	2	34	3	26	4	3	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	5	2	27	3	30	4	4	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	46
2．就職（その他）	0
3．大学院進学（本学保健科学院）	9
4．大学院進学（本学医学院）	2
5．大学院進学（本学医理工学院）	2
6．大学院進学（その他）	8
7．その他	5

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

検査技術科学専攻
卒業者数: 35 名
回答者数: 33 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	16
２．女性	17

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

検査技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	30
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	9
２．北海道へのあこがれ	4
３．本学へのあこがれ	13
４．勉強したい分野があった	12
５．指導して欲しい教員がいた	0
６．学力（偏差値など）が適当	15
７．親・先生・友人等に勧められた	3
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	10
２．資格取得が有利	6
３．希望する職業分野が勉強できる	16
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	9
６．就職に有利	3
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	21
２．無かった（→問７へ）	12

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	3
２．まあまあ達成できた	16
３．あまり達成できなかった	2
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	14
２．知らなかった	19

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	10
２．知らなかった	23

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	5
２．知らなかった	28

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	2	2	20	3	10	4	1
B．実験・実習	1	7	2	23	3	2	4	1
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	14	2	17	3	2	4	0
D．外国語	1	1	2	17	3	12	4	3
E．海外留学	1	0	2	7	3	4	4	17
F．資格の取得	1	3	2	11	3	8	4	9
G．インターンシップ・就職活動	1	2	2	9	3	9	4	8
H．部・サークル活動	1	9	2	17	3	4	4	3
I．アルバイト	1	5	2	20	3	6	4	2
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	0	2	8	3	8	4	14
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	7	2	17	3	8	4	1

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	4	2	27	3	2	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	4	2	25	3	4	4	0
C．ディスカッション能力	1	0	2	17	3	16	4	0
D．コミュニケーション能力	1	1	2	22	3	9	4	1
E．外国語能力	1	1	2	10	3	16	4	6
F．リーダーシップ	1	1	2	15	3	11	4	5
G．集団の中での協調性	1	3	2	22	3	7	4	1
H．情報収集・分析能力	1	1	2	26	3	6	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	17	3	12	4	2
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	4	2	18	3	10	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	1	2	16	3	10	4	6
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	0	2	27	3	6	4	0
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	2	2	29	3	1	4	1
B．演習	1	4	2	27	3	1	4	1
C．実験・実習	1	6	2	26	3	0	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	11	2	20	3	2	4	0
E．カリキュラム全体	1	3	2	27	3	2	4	1

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－2　不満に感じた点を教えて下さい

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	2
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0
5．在学中に海外渡航はしていない	27
6．その他	1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	5	2	21	3	7	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	6	2	23	3	3	4	1	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	1	2	17	3	14	4	0	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	2	2	15	3	15	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	3	2	17	3	11	4	1	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	1	2	15	3	15	4	1	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	12
2．就職（その他）	3
3．大学院進学（本学保健科学院）	7
4．大学院進学（本学医学院）	6
5．大学院進学（本学医理工学院）	1
6．大学院進学（その他）	4
7．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

理学療法学専攻

卒業者数:　17 名
回答者数:　15 名

①　基本的事項

問１　あなたの性別を教えて下さい

１．男性	2
２．女性	13

問２　あなたの所属専攻を教えて下さい

理学療法学専攻

問３　あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	11
２．総合入試	1
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	2
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	1

②　本学への進学について

問４　本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	0
２．北海道へのあこがれ	1
３．本学へのあこがれ	6
４．勉強したい分野があった	4
５．指導して欲しい教員がいた	0
６．学力（偏差値など）が適当	4
７．親・先生・友人等に勧められた	1
８．その他	1

問５　本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	7
２．資格取得が有利	2
３．希望する職業分野が勉強できる	7
４．指導して欲しい教員がいた	1
５．学力（偏差値など）が適当	6
６．就職に有利	2
７．その他	0

③　学修目標について

問６　入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	6
２．無かった（→問７へ）	8

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２　入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	1
２．まあまあ達成できた	5
３．あまり達成できなかった	2
４．全く達成できなかった	0

問７　本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	5
２．知らなかった	8

問８　本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	2
２．知らなかった	11

問９　本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	2
２．知らなかった	11

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	1	2	7	3	4	4	1
B．実験・実習	1	4	2	6	3	3	4	1
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	3	2	8	3	1	4	2
D．外国語	1	0	2	7	3	3	4	4
E．海外留学	1	0	2	2	3	0	4	10
F．資格の取得	1	1	2	6	3	2	4	3
G．インターンシップ・就職活動	1	0	2	4	3	3	4	5
H．部・サークル活動	1	6	2	4	3	2	4	2
I．アルバイト	1	2	2	8	3	3	4	1
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	0	2	4	3	3	4	7
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	0	2	7	3	6	4	1

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	1	2	8	3	5	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	0	2	6	3	7	4	1
C．ディスカッション能力	1	0	2	5	3	8	4	1
D．コミュニケーション能力	1	0	2	8	3	5	4	1
E．外国語能力	1	0	2	2	3	7	4	5
F．リーダーシップ	1	0	2	4	3	6	4	4
G．集団の中での協調性	1	0	2	8	3	4	4	2
H．情報収集・分析能力	1	0	2	7	3	5	4	1
I．企画、アイディア等の創造力	1	0	2	3	3	10	4	1
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	0	2	7	3	5	4	2
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	2	3	9	4	3
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	0	2	8	3	5	4	1
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	1	2	12	3	1	4	0
B．演習	1	1	2	11	3	1	4	1
C．実験・実習	1	1	2	13	3	0	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	2	2	9	3	3	4	0
E．カリキュラム全体	1	2	2	10	3	1	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－２　不満に感じた点を教えて下さい

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	1
4．中長期ボランティアやインターンシップ	0
5．在学中に海外渡航はしていない	10
6．その他	1

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	3	2	7	3	2	4	1	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	4	2	6	3	2	4	1	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	2	2	5	3	5	4	1	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	2	2	5	3	6	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	3	2	6	3	4	4	0	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	3	2	5	3	5	4	0	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	7
2．就職（その他）	0
3．大学院進学（本学保健科学院）	3
4．大学院進学（本学医学院）	1
5．大学院進学（本学医理工学院）	0
6．大学院進学（その他）	2
7．その他	1

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

放射線技術科学専攻
卒業者数: 36 名
回答者数: 30 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	17
２．女性	13

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

放射線技術科学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	28
２．総合入試	2
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	10
２．北海道へのあこがれ	4
３．本学へのあこがれ	13
４．勉強したい分野があった	11
５．指導して欲しい教員がいた	0
６．学力（偏差値など）が適当	6
７．親・先生・友人等に勧められた	1
８．その他	1

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	12
２．資格取得が有利	9
３．希望する職業分野が勉強できる	11
４．指導して欲しい教員がいた	0
５．学力（偏差値など）が適当	5
６．就職に有利	4
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	16
２．無かった（→問７へ）	14

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	2
２．まあまあ達成できた	11
３．あまり達成できなかった	0
４．全く達成できなかった	1

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	7
２．知らなかった	23

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	7
２．知らなかった	23

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	5
２．知らなかった	25

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	6	2	14	3	8	4	2
B．実験・実習	1	8	2	18	3	3	4	1
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	10	2	15	3	4	4	1
D．外国語	1	3	2	11	3	9	4	7
E．海外留学	1	1	2	6	3	3	4	17
F．資格の取得	1	10	2	11	3	3	4	6
G．インターンシップ・就職活動	1	4	2	15	3	4	4	7
H．部・サークル活動	1	11	2	8	3	6	4	5
I．アルバイト	1	14	2	13	3	2	4	1
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	2	2	6	3	8	4	11
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	10	2	13	3	3	4	3

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	8	2	18	3	3	4	1
B．発表・プレゼンテーション能力	1	4	2	15	3	10	4	1
C．ディスカッション能力	1	3	2	11	3	15	4	1
D．コミュニケーション能力	1	5	2	18	3	5	4	2
E．外国語能力	1	3	2	9	3	14	4	4
F．リーダーシップ	1	4	2	9	3	13	4	4
G．集団の中での協調性	1	7	2	19	3	3	4	1
H．情報収集・分析能力	1	7	2	17	3	5	4	1
I．企画、アイディア等の創造力	1	6	2	13	3	10	4	1
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	5	2	18	3	6	4	1
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	4	2	10	3	11	4	5
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	5	2	14	3	9	4	2
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	4	2	19	3	6	4	1
B．演習	1	3	2	17	3	8	4	1
C．実験・実習	1	4	2	17	3	6	4	2
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	7	2	17	3	5	4	0
E．カリキュラム全体	1	3	2	18	3	7	4	0

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－2　不満に感じた点を教えて下さい

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	2
4．中長期ボランティアやインターンシップ	1
5．在学中に海外渡航はしていない	20
6．その他	3

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	8	2	13	3	8	4	0	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	12	2	10	3	7	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	5	2	13	3	11	4	0	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	4	2	12	3	13	4	0	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	6	2	10	3	13	4	0	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	4	2	14	3	11	4	0	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	19
2．就職（その他）	0
3．大学院進学（本学保健科学院）	5
4．大学院進学（本学医学院）	0
5．大学院進学（本学医理工学院）	4
6．大学院進学（その他）	0
7．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

作業療法学専攻

卒業者数: 15 名
回答者数: 16 名

① 基本的事項

問１ あなたの性別を教えて下さい

１．男性	6
２．女性	10

問２ あなたの所属専攻を教えて下さい

作業療法学専攻

問３ あなたが入学した試験の形態を教えて下さい

１．学部別入試	16
２．総合入試	0
３．編入学	0
４．ＡＯ入試	0
５．帰国子女入試	0
６．その他（私費入試等）	0

② 本学への進学について

問４ 本学に進学した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．通学が容易	4
２．北海道へのあこがれ	6
３．本学へのあこがれ	8
４．勉強したい分野があった	10
５．指導して欲しい教員がいた	0
６．学力（偏差値など）が適当	6
７．親・先生・友人等に勧められた	2
８．その他	0

問５ 本学部を選択した理由を教えて下さい（複数回答可）

１．勉強したいテーマの存在	12
２．資格取得が有利	5
３．希望する職業分野が勉強できる	8
４．指導して欲しい教員がいた	1
５．学力（偏差値など）が適当	2
６．就職に有利	0
７．その他	0

③ 学修目標について

問６ 入学した時点で、大学で学ぼうとする目標はありましたか？

１．あった（→問６－２へ）	13
２．無かった（→問７へ）	3

（「１．あった」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問６－２ 入学時点で立てた学修目標はどれくらい達成できましたか？

１．十分達成できた	2
２．まあまあ達成できた	11
３．あまり達成できなかった	0
４．全く達成できなかった	0

問７ 本学部・学科で掲げている“教育目標”は知っていましたか？

１．知っていた	5
２．知らなかった	11

問８ 本学部の“カリキュラム・ポリシー”は知っていましたか？

１．知っていた	3
２．知らなかった	13

問９ 本学部の “ディプロマ・ポリシー” は知っていましたか？

１．知っていた	2
２．知らなかった	14

④　在学時の教育内容と経験

問10　大学生活において、以下の学修や経験についてどの程度熱心に取り組みましたか？
それぞれ４段階でお答え下さい（履修又は経験した項目のみお答え下さい）

1．熱心　　2．やや熱心　　3．やや不熱心　　4．不熱心

A．講義	1	5	2	8	3	2	4	1
B．実験・実習	1	13	2	3	3	0	4	0
C．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	11	2	5	3	0	4	0
D．外国語	1	1	2	4	3	8	4	3
E．海外留学	1	0	2	0	3	4	4	11
F．資格の取得	1	4	2	5	3	5	4	1
G．インターンシップ・就職活動	1	1	2	3	3	7	4	3
H．部・サークル活動	1	9	2	3	3	3	4	1
I．アルバイト	1	7	2	4	3	3	4	2
J．ボランティア・社会奉仕活動	1	2	2	1	3	4	4	8
K．人間関係の構築（友人づくりなど）	1	5	2	9	3	1	4	0

問11　在学中、以下のことについてどの程度身についたと思いますか？それぞれ４段階でお答え下さい

1．十分身についた　2．まあまあ身についた　3．あまり身につかなかった　4．全く身につかなかった

A．専門教育につながる基礎的な学力	1	5	2	10	3	1	4	0
B．発表・プレゼンテーション能力	1	4	2	10	3	2	4	0
C．ディスカッション能力	1	3	2	9	3	4	4	0
D．コミュニケーション能力	1	4	2	12	3	0	4	0
E．外国語能力	1	0	2	3	3	8	4	5
F．リーダーシップ	1	0	2	7	3	7	4	2
G．集団の中での協調性	1	3	2	12	3	1	4	0
H．情報収集・分析能力	1	5	2	11	3	0	4	0
I．企画、アイディア等の創造力	1	2	2	9	3	5	4	0
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	3	2	12	3	1	4	0
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	0	2	5	3	9	4	2
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	3	2	12	3	1	4	0
M．その他								

問12　カリキュラム（講義、演習、実験・実習、ゼミ等）の満足度を教えて下さい

1．非常に満足　　2．概ね満足　　3．やや不満　　4．非常に不満

A．講義	1	3	2	12	3	1	4	0
B．演習	1	4	2	11	3	1	4	0
C．実験・実習	1	4	2	11	3	1	4	0
D．卒業論文・卒業研究・ゼミ（少人数）	1	6	2	8	3	2	4	0
E．カリキュラム全体	1	1	2	10	3	3	4	1

（問12のいずれかで「やや不満」もしくは「非常に不満」と回答した方のみ次の設問にお答え下さい）

問12－2　不満に感じた点を教えて下さい

⑤　在学中の海外経験について

問13　在学中の海外渡航のうち、もっとも長期の滞在経験を教えてください

1．1年以上の留学	0
2．3ヶ月～半年程度の留学	0
3．1ヶ月程度の語学研修	0
4．中長期ボランティアやインターンシップ	1
5．在学中に海外渡航はしていない	15
6．その他	0

⑥　本学での学生生活等について

問14　本学の修学支援等に係るや各種サービスに対する満足度を教えて下さい

1．とても満足　2．満足　3．どちらでもない　4．不満　5．とても不満

A．学修や研究のための施設・設備	1	1	2	6	3	5	4	4	5	0
B．立地を始めとした学修環境	1	7	2	7	3	2	4	0	5	0
C．アカデミック・サポートセンター等における学習サポート	1	3	2	3	3	8	4	2	5	0
D．学生相談室やピアサポート室等における学生生活支援	1	3	2	4	3	8	4	1	5	0
E．奨学金など学費援助の制度	1	3	2	4	3	9	4	0	5	0
F．キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）	1	4	2	4	3	6	4	2	5	0

⑦　卒業後の進路について

問15　今後の進路を教えて下さい

1．就職（医療系）	10
2．就職（その他）	0
3．大学院進学（本学保健科学院）	5
4．大学院進学（本学医学院）	1
5．大学院進学（本学医理工学院）	0
6．大学院進学（その他）	0
7．その他	0

⑧　本学の教育に対する要望について

問16　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います。

資料保58

３年生調査　２０１８年アンケート

Ⅰ．最初にあなたのことについておうかがいします。

［1］　あなたの学籍番号　　（番号：　　）

［2］　あなたが所属する学部　　（学部：　　）

［3］　あなたの性別
1_男性　　2_女性

［4］　あなたの年齢（２０１６年４月１日現時点）
1_20歳　　2_21歳　　3_22～２４歳　4_２５～２９歳　　5_30歳以上

［5］　あなたは「新渡戸カレッジ生」ですか。
1_はい　　2_いいえ

［6］　あなたの片道の通学時間
1_30分未満　　2_30分以上ー1時間未満　　3_1時間以上ー1時間30分未満　　4_1時間30分以上ー2時間未満　　5_2時間以上

［7］　あなたの現在の居住形態
1_家族または親戚と暮らしている　　2_アパート・学生マンションでひとり暮らし　　3_大学寮や合宿所　　4_その他

Ⅱ．現在のあなたの学習状況についておうかがいします。

［8］　あなたが受講した大学の授業で、次のような事を経験する機会はどのくらいありましたか。
A　実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ
B　仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ
C　授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する
D　授業の一環でボランティア活動をする
E　学生自身が文献や資料を調べる
F　定期的に小テストやレポートが課される
G　教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する
H　学生が自分の考えや研究を発表する
I　授業中に学生同士が議論をする
J　授業で検討するテーマを学生が設定する
K　授業の進め方に学生の意見が取り入れられる
L　取りたい授業を履修登録できなかった
M　出席することが重視される
N　TAなどの授業補助者から補助を受ける

４：　ひんぱんにあった
３：　ときどきあった
２：　あまりなかった
１：　まったくなかった

［9］　大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか
A　授業課題のために図書館の資料を利用した
B　授業課題のためにWeb上の情報を利用した
C　インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした
D　提出期限までに授業課題を完成できなかった
E　授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容について話したりした
F　授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた
G　授業を欠席した
H　授業に遅刻した
I　授業をつまらなく感じた
J　授業中に居眠りをした
K　教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした
L　単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した
M　大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）
N　教員に親近感を感じた

４：　ひんぱんにあった
３：　ときどきあった
２：　あまりなかった
１：　まったくなかった

［10］　今年度になってから、あなたは次の活動に**1週間当たり**どのくらいの時間を費やしましたか。
A　授業や実験に出る
B　授業時間外に、授業課題や準備学習、復習をする
C　授業時間外に、授業に関連しない勉強をする
D　オフィスアワーなど、授業時間外に教員と面談する
E　部活動や同好会に参加する
F　大学外でアルバイトや仕事をする
G　読書をする（マンガ・雑誌を除く）
H　個人的な趣味活動をする（テレビやゲーム、映画鑑賞など）

１：　全く時間を費やさなかった
２：　１　時間未満
３：　１　～ ２時間
４：　３　～ ５時間
５：　６　～10時間
６：　11　～15時間
７：　16　～20時間
８：　20　時間以上

［11］　入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。
A　一般的な教養
B　分析力や問題解決能力
C　専門分野や学科の知識
D　批判的に考える能力
E　異文化の人々に関する知識
F　リーダーシップの能力
G　人間関係を構築する能力
H　他の人と協力して物事を遂行する能力
I　異文化の人々と協力する能力
J　地域社会が直面する問題を理解する能力
K　国民が直面する問題を理解する能力
L　文章表現の能力
M　外国語の運用能力
N　コミュニケーションの能力
O　プレゼンテーションの能力
P　数理的な能力
Q　コンピュータの操作能力
R　時間を効果的に利用する能力
S　グローバルな問題の理解
T　卒業後に就職するための準備の度合い
U　倫理面に配慮して行動する能力

５：　大きく増えた
４：　増えた
３：　変化なし
２：　減った
１：　大きく減った

Ⅲ．英語の学習状況についておうかがいします。

［12］　あなたの英語能力を聞く力、読む力、会話力、表現力、書く力の5つの観点から自己評価した場合に、現在、到達していると思うレベルを1つずつ答えてください。

A聞く力	
A１	
A２	
B１	
B２	
C１	
C２	

B読む力	
A１	
A２	
B１	
B２	
C１	
C２	

C会話力	
A１ .1	
A１ .2	
A２ .1	
A２ .2	
B１	
B２	
C１	
C２	

D表現力	
A１	
A２	
B１	
B２	
C１	
C２	

E書く力	
A１	
A２	
B１	
B２	
C１	
C２	

※レベルの目安はweb設問ページに表示されますので、参考にして選択しお答え下さい。

［１３］　アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドやこれらの国以外（インド、シンガポール等）などへの渡航経験（期間）についておうかがいします。
英語でコミュニケーションをすることを目指した渡航経験があれば、その期間（複数回の経験がある場合は最長のもの）について１つ選んで回答してください。

1_渡航したことはない　2_10日未満　3_10日以上１ヶ月未満　4_１ヶ月以上６ヶ月未満　5_６ヶ月以上

［１４］　今までに受験したことのある英語の検定試験についておうかがいします。それぞれの試験について取得したスコア、級の中で最も高いものを教えてください。
※試験を受けたことがある場合は、「受けたことがある」にチェックしてスコア等を記入してください。

	受けたことが	
・ 実用英語技能検定試験（英検（１級～準2級）	1： ある 2： ない	……級
・ TOEIC（公開テストまたはIPテスト）		……点
・ TOEFL ITPテスト（団体受験）		……点
・ インターネット版TOEFLテスト（TOEFL iBT）		……点
・ その他の英語の検定試験（検定名：……）		……点／級

Ⅳ．次に、大学生活に対するあなたの考えや満足度についておうかがいします。

［１５］　本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。

A　大学の学生向けサービスを上手に利用する
B　大学教員の学問的な期待を理解する
C　効果的に学習する技能を修得する
D　大学が求める水準に応えて学習する
E　時間を効果的に使う
F　大学教員と顔見知りになる
G　他の学生との友情を深める

4： とてもうまくいった
3： いくらかうまくいった
2： あまりうまくいかなかった
1： まったくうまくいかなかった

［１６］　あなたの学生生活は充実していますか。

4_充実している　3_まあまあ充実している　2_あまり充実していない　1_充実していない

［１７］　あなたは、本学の教育内容・環境にどれくらい満足していますか。

A　専門教育あるいは所属学科の授業
B　2年次生または3年次生を対象としたゼミ（演習）などの教育内容
C　授業の全体的な質
D　日常生活と授業内容との関連
E　将来の仕事と授業内容の結びつき
F　教員と話をする機会
G　学習支援や個別の学習指導
H　他の学生と話をする機会
I　大学のなかでの学生同士の一体感
J　多様な考え方を認め合う雰囲気
K　大学での経験全般について
L　１つの授業を履修する学生数

5： とても満足
4： 満足
3： どちらでもない
2： 不満
1： とても不満

［１８］　あなたは、本学の設備や学生支援制度にどの程度満足していますか。

A　図書館の設備（蔵書やレファレンスサービス）
B　実験室の設備や器具
C　コンピュータの施設や設備
D　コンピュータの訓練や援助
E　インターネットの使いやすさ
F　奨学金など学費援助の制度
G　健康・保健サービス（心身の健康に関わる問題についての診療や相談）
H　レクリエーション施設（ジムの設備など）
I　キャリアカウンセリング（就職や進学に関する相談）

5： とても満足
4： 満足
3： どちらでもない
2： 不満
1： とても不満

Ⅴ．最後に、将来のことについておうかがいします。

［１９］　あなたは大学（学部）卒業後、どのような進路を考えていますか。

1_就職する　2_大学院に進学する　3_留学する　4_他大学に(編)入学する　5_専門学校に入学する　6_まだわからない
7_その他（具体的に：……）

［２０］　将来の見通しに関する以下の２つの文章を読んで、あなたの今の状態にもっとも近いものを選んでください。
【1】あなたは将来の見通し（将来こういう風でありたいという考え）を持っていますか。
【2】その見通しのなかでもっとも重要なものを１つ思い浮かべてください。あなたは、その見通しの実現に向かって、自分が何をすべきなのかわかっていますか。
また、それを実行していますか。

1： 将来の見通しを持っている＋何をすべきかわかっているし、実行もしている
2： 将来の見通しを持っている＋何をすべきかわかっているが、実行はできていない
3： 将来の見通しを持っている＋何をすべきかわからない
4： 将来の見通しを持っていない

［２１］　あなたが大学（学部）卒業後の進路の準備をしたり考えたりするために、次のようなことがらを大学在学中に経験したいと思いますか。

A　専門分野をしっかり身につける
B　専門分野だけでなく、幅広い知識を身につけ視野を広げる
C　職業意識の形成につながる教育を受ける
D　企業での体験実習等を踏まえた上で、専門知識を学ぶ
E　教員が設定した特定の課題に対して、チームで取り組むプロジェクト型の授業を受ける
F　自分で課題を見つけ、自分で解決していくような訓練を受ける
G　ディベートやプレゼンテーションの訓練を受ける
H　実践的で専門性のある資格を取得するためのプログラムを受ける
I　レポートや論文指導により、文書作成能力を高める
J　卒業後の進路について、教職員に対して個別に相談する
K　卒業後の進路について、本学の卒業生や先輩と話をする
L　本学の教職員以外の大人と話をする

4： そう思う
3： どちらかといえばそう思う
2： どちらかといえばそう思わない
1： そう思わない

［２２］　大学に対するご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

質問は、以上です。ご協力ありがとうございました。

保健学科3年生調査2018

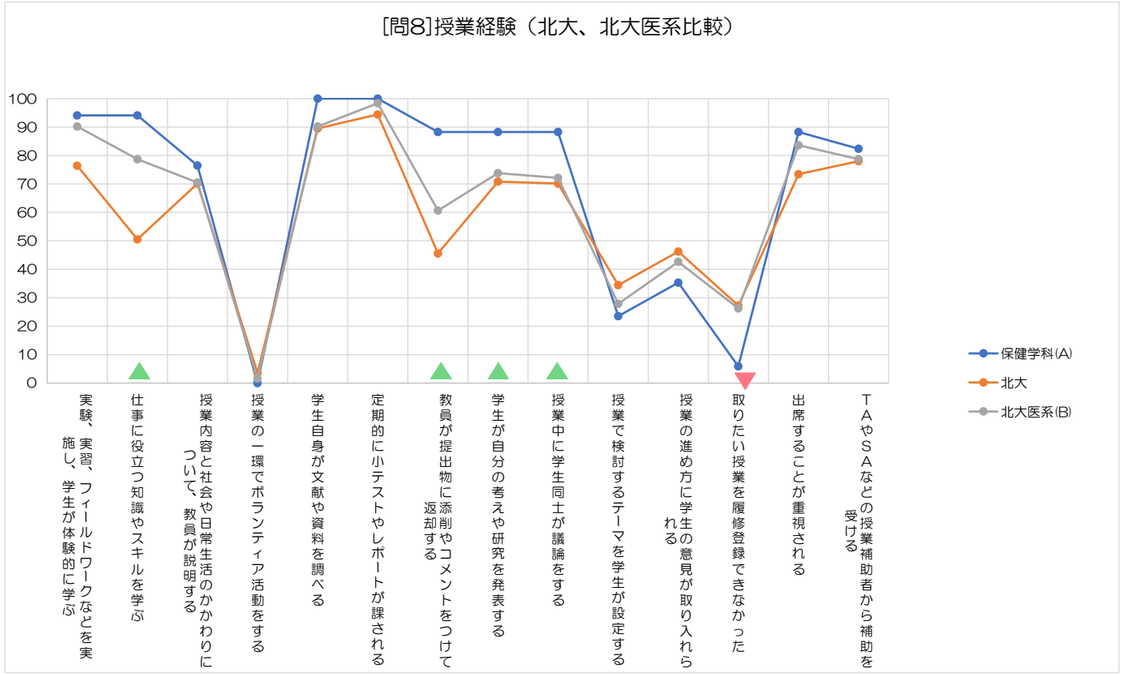
全国調査は2年生以上の学生

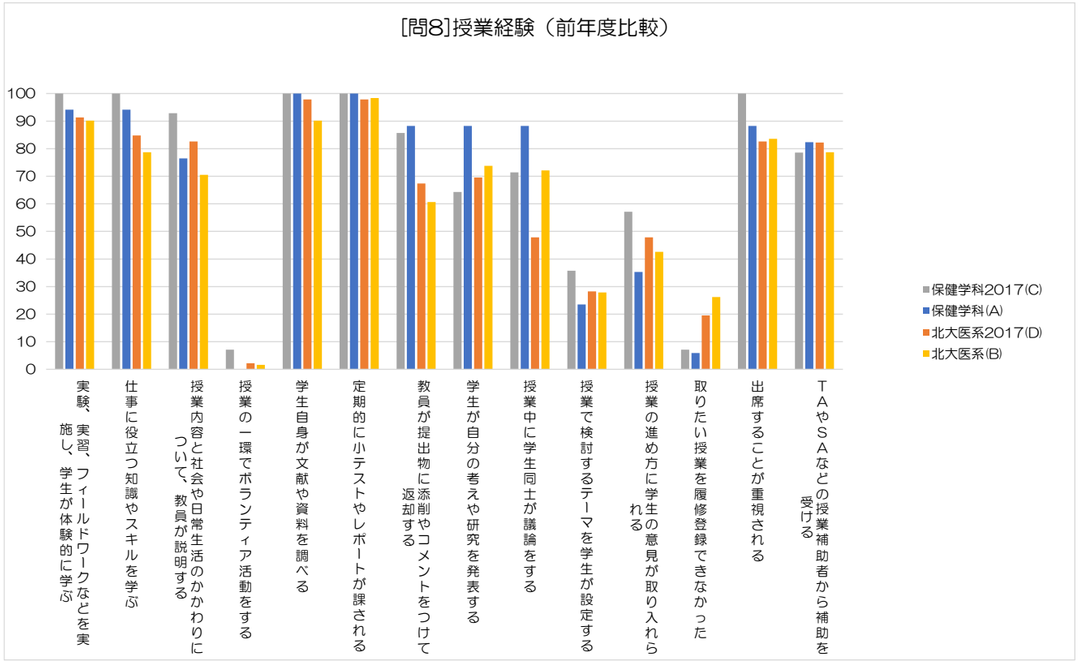
	保健学科	北大	北大医系		保健学科2017	北大2017	北大医系2017		全国2017	全国医系2017	
回答者数	17	305	61		14	349	46		42827	5695	

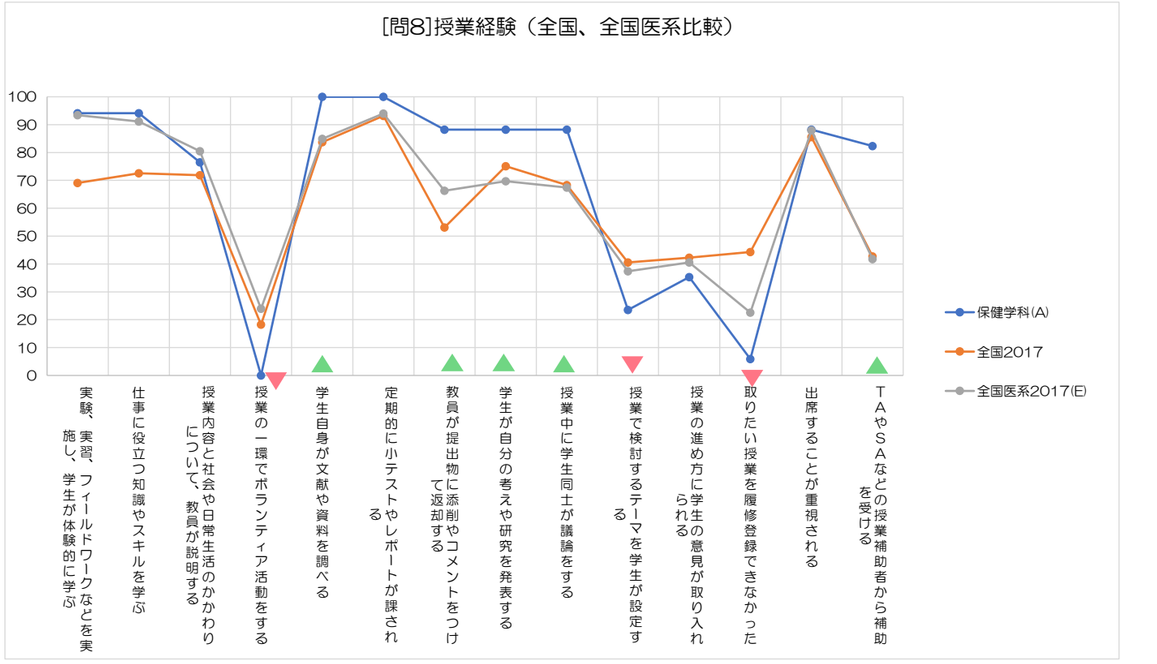
[問8]授業経験

「3.ときどきあった」と「4.ひんぱんにあった」の割合　　差が10以上で緑、－10以下で赤

	保健学科(A)	北大	北大医系(B)	差(A-B)	保健学科2017(C)	北大2017	北大医系2017(D)	差2017(C-D)	全国2017	全国医系2017(E)	差(A-E)
実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ	94.1	76.4	90.2	4.0	100.0	72.4	91.3	8.7	69.1	93.4	0.7
仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ	94.1	50.5	78.7	15.4	100.0	56.3	84.8	15.2	72.6	91.1	3.0
授業内容と社会や日常生活のかかわりについて、教員が説明する	76.5	70.2	70.5	6.0	92.9	77.9	82.6	10.2	71.8	80.5	-4.0
授業の一環でボランティア活動をする	0.0	3.6	1.6	-1.6	7.1	2.6	2.2	5.0	18.2	24.0	-24.0
学生自身が文献や資料を調べる	100.0	89.5	90.2	9.8	100.0	91.9	97.8	2.2	83.7	84.9	15.1
定期的に小テストやレポートが課される	100.0	94.4	98.4	1.6	100.0	91.9	97.8	2.2	93.2	94.0	6.0
教員が提出物に添削やコメントをつけて返却する	88.2	45.6	60.7	27.6	85.7	47.9	67.4	18.3	53.1	66.3	21.9
学生が自分の考えや研究を発表する	88.2	70.8	73.8	14.5	64.3	71.6	69.6	-5.3	75.1	69.7	18.5
授業中に学生同士が議論をする	88.2	70.2	72.1	16.1	71.4	61.8	47.8	23.6	68.3	67.4	20.8
授業で検討するテーマを学生が設定する	23.5	34.4	27.9	-4.3	35.7	33.2	28.3	7.5	40.5	37.4	-13.9
授業の進め方に学生の意見が取り入れられる	35.3	46.2	42.6	-7.3	57.1	42.1	47.8	9.3	42.3	40.5	-5.2
取りたい授業を履修登録できなかった	5.9	27.2	26.2	-20.3	7.1	25.2	19.6	-12.4	44.3	22.6	-16.7
出席することが重視される	88.2	73.4	83.6	4.6	100.0	73.6	82.6	17.4	85.5	88.0	0.3
TAやSAなどの授業補助者から補助を受ける	82.4	78.0	78.7	3.7	78.6	72.0	82.2	-3.7	42.7	41.8	40.6





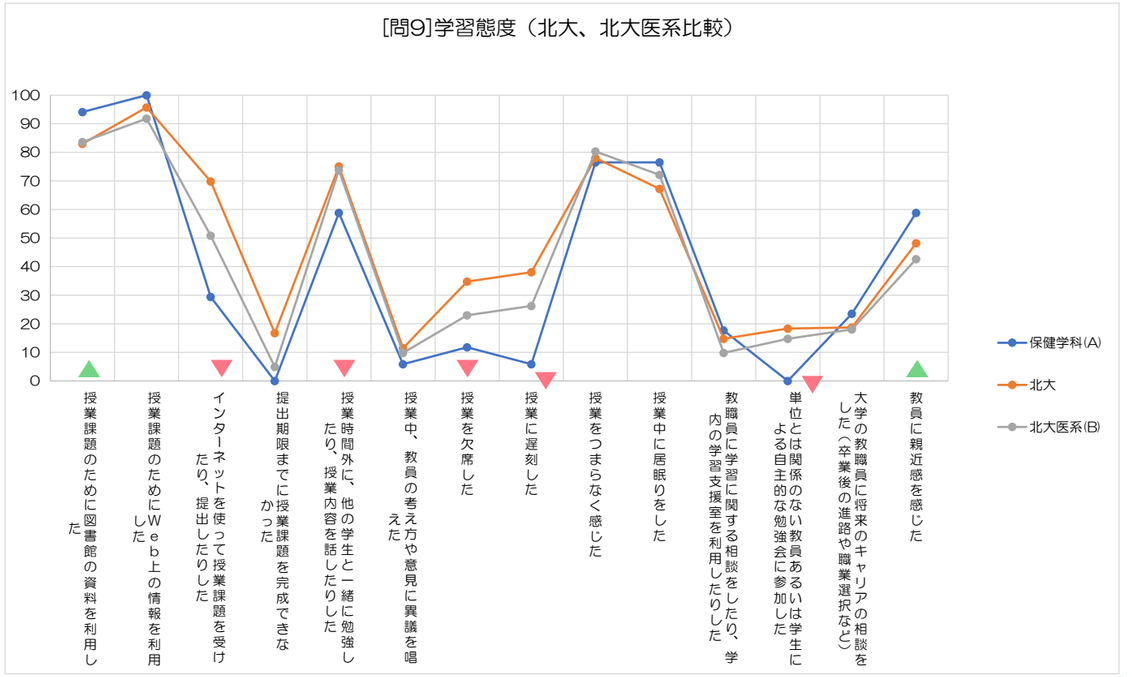


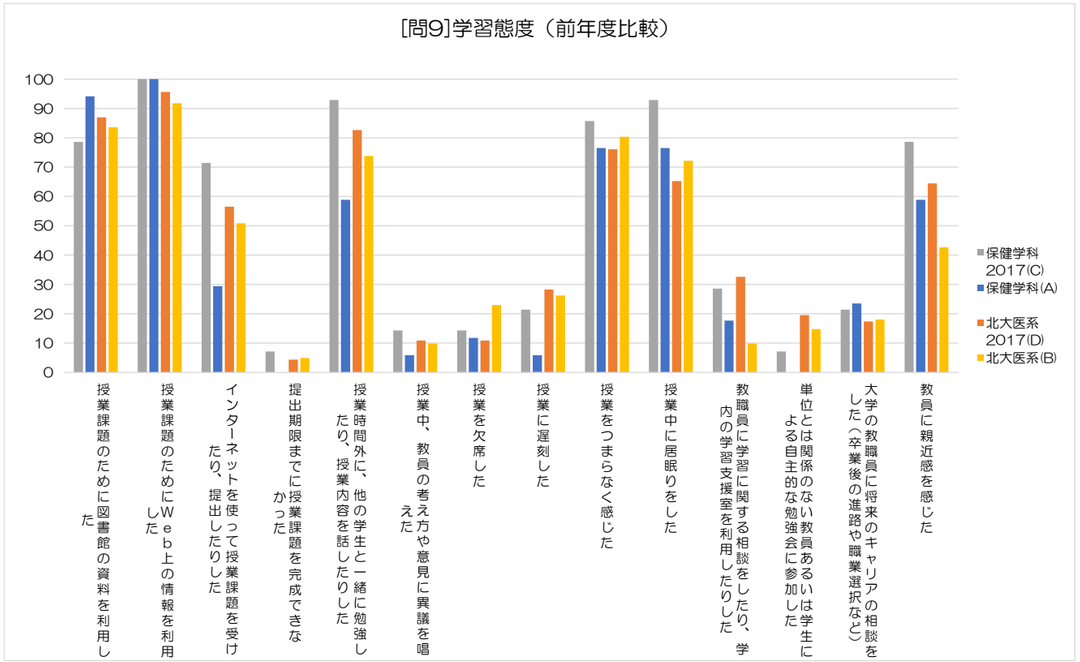
資料保59

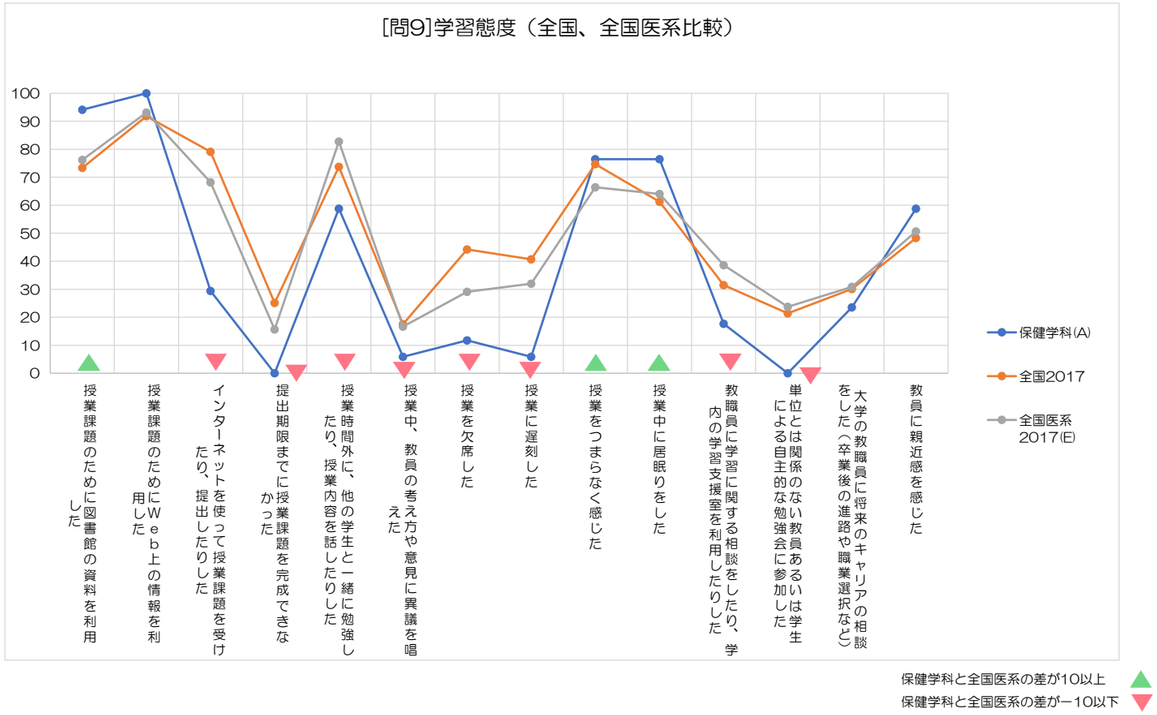
[問9]学習態度

「3.ときどきした」と「4.ひんぱんにした」の割合　　差が10以上で緑、－10以下で赤

	保健学科(A)	北大	北大医系(B)	差(A-B)	保健学科2017(C)	北大2017	北大医系2017(D)	差2017(C-D)	全国2017	全国医系2017(E)	差(A-E)
授業課題のために図書館の資料を利用した	94.1	83.0	83.6	10.5	78.6	85.9	87.0	-8.4	73.4	76.2	17.9
授業課題のためにWeb上の情報を利用した	100.0	95.7	91.8	8.2	100.0	96.6	95.7	4.3	91.8	93.1	6.9
インターネットを使って授業課題を受けたり、提出したりした	29.4	69.8	50.8	-21.4	71.4	65.4	56.5	14.9	79.1	68.2	-38.8
提出期限までに授業課題を完成できなかった	0.0	16.7	4.9	-4.9	7.1	14.9	4.3	2.8	25.1	15.7	-15.7
授業時間外に、他の学生と一緒に勉強したり、授業内容を話したりした	58.8	75.1	73.8	-14.9	92.9	76.1	82.6	10.2	73.7	82.8	-23.9
授業中、教員の考え方や意見に異議を唱えた	5.9	11.5	9.8	-4.0	14.3	8.9	10.9	3.4	17.5	16.6	-10.8
授業を欠席した	11.8	34.8	23.0	-11.2	14.3	33.3	10.9	3.4	44.2	29.1	-17.3
授業に遅刻した	5.9	38.0	26.2	-20.3	21.4	38.7	28.3	-6.8	40.7	32.0	-26.1
授業をつまらなく感じた	76.5	78.0	80.3	-3.9	85.7	79.3	76.1	9.6	74.7	66.4	10.0
授業中に居眠りをした	76.5	67.2	72.1	4.3	92.9	60.7	65.2	27.6	61.3	64.1	12.4
教職員に学習に関する相談をしたり、学内の学習支援室を利用したりした	17.6	14.8	9.8	7.8	28.6	20.1	32.6	-4.0	31.5	38.6	-21.0
単位とは関係のない教員あるいは学生による自主的な勉強会に参加した	0.0	18.4	14.8	-14.8	7.1	21.0	19.6	-12.4	21.4	23.7	-23.7
大学の教職員に将来のキャリアの相談をした（卒業後の進路や職業選択など）	23.5	18.7	18.0	5.5	21.4	11.5	17.4	4.0	30.1	30.8	-7.3
教員に親近感を感じた	58.8	48.2	42.6	16.2	78.6	51.3	64.4	14.1	48.3	50.7	8.1



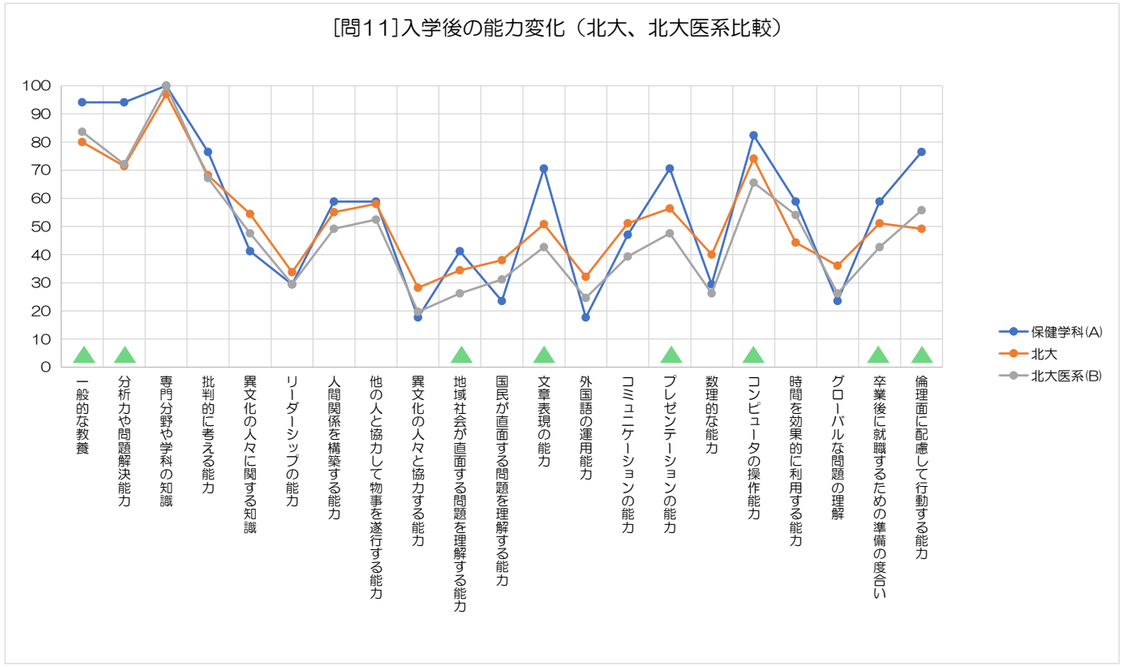




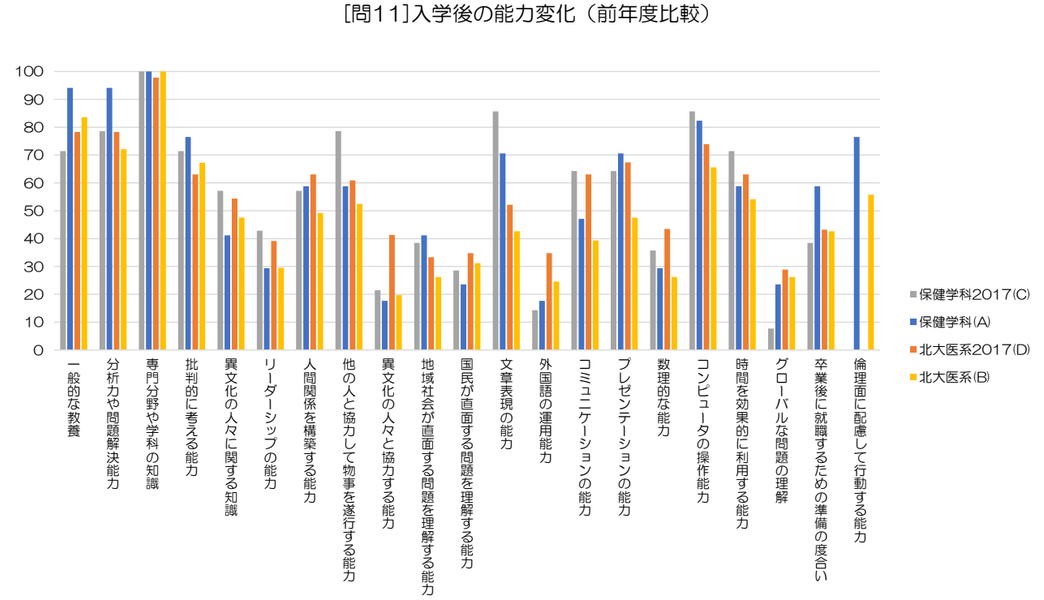
[問11]入学後の能力変化

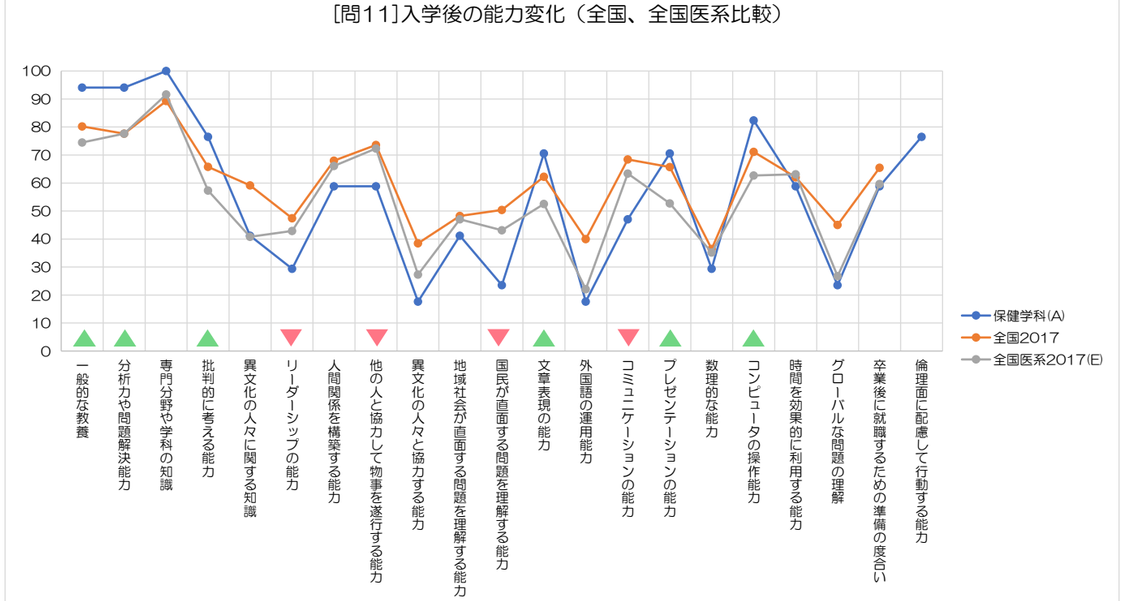
「4.増えた」と「5.大きく増えた」の割合　　差が10以上で緑、－10以下で赤

	保健学科(A)	北大	北大医系(B)	差(A-B)	保健学科2017(C)	北大2017	北大医系2017(D)	差2017(C-D)	全国2017	全国医系2017(E)	差(A-E)
一般的な教養	94.1	80.0	83.6	10.5	71.4	83.0	78.3	-6.8	80.2	74.5	19.7
分析力や問題解決能力	94.1	71.5	72.1	22.0	78.6	80.2	78.3	0.3	77.6	77.6	16.5
専門分野や学科の知識	100.0	97.0	100.0	0.0	100.0	97.7	97.8	2.2	89.3	91.6	8.4
批判的に考える能力	76.5	68.2	67.2	9.3	71.4	74.2	63.0	8.4	65.8	57.3	19.1
異文化の人々に関する知識	41.2	54.4	47.5	-6.4	57.1	61.0	54.3	2.8	59.1	40.8	0.4
リーダーシップの能力	29.4	33.8	29.5	-0.1	42.9	39.9	39.1	3.7	47.4	42.9	-13.4
人間関係を構築する能力	58.8	55.1	49.2	9.6	57.1	55.0	63.0	-5.9	68.0	66.1	-7.3
他の人と協力して物事を遂行する能力	58.8	58.0	52.5	6.4	78.6	63.2	60.9	17.7	73.6	72.3	-13.5
異文化の人々と協力する能力	17.6	28.2	19.7	-2.0	21.4	33.5	41.3	-19.9	38.5	27.3	-9.7
地域社会が直面する問題を理解する能力	41.2	34.4	26.2	14.9	38.5	40.1	33.3	5.1	48.2	47.1	-5.9
国民が直面する問題を理解する能力	23.5	38.0	31.1	-7.6	28.6	48.0	34.8	-6.2	50.4	43.1	-19.6
文章表現の能力	70.6	50.8	42.6	28.0	85.7	58.7	52.2	33.5	62.2	52.5	18.1
外国語の運用能力	17.6	32.1	24.6	-6.9	14.3	34.1	34.8	-20.5	40.0	22.1	-4.4
コミュニケーションの能力	47.1	51.1	39.3	7.7	64.3	54.2	63.0	1.2	68.4	63.4	-16.3
プレゼンテーションの能力	70.6	56.4	47.5	23.0	64.3	59.3	67.4	-3.1	65.7	52.7	17.9
数理的な能力	29.4	40.0	26.2	3.2	35.7	47.6	43.5	-7.8	36.4	35.2	-5.8
コンピュータの操作能力	82.4	74.1	65.6	16.8	85.7	78.2	73.9	11.8	71.1	62.7	19.7
時間を効果的に利用する能力	58.8	44.3	54.1	4.7	71.4	48.3	63.0	8.4	62.0	63.1	-4.3
グローバルな問題の理解	23.5	36.1	26.2	-2.7	7.7	42.8	28.9	-21.2	45.0	26.7	-3.2
卒業後に就職するための準備の度合い	58.8	51.1	42.6	16.2	38.5	54.4	43.2	-4.7	65.4	59.6	-0.8
倫理面に配慮して行動する能力	76.5	49.2	55.7	20.7							



保健学科と医系の差が10以上 ▲
保健学科と医系の差が－10以下 ▼



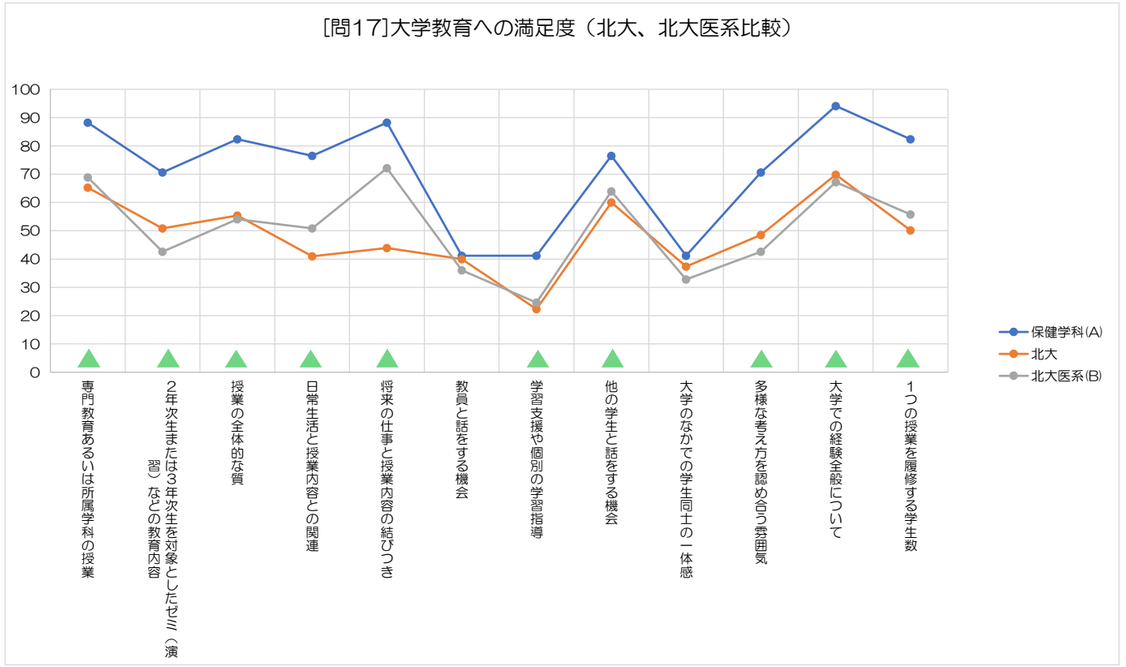


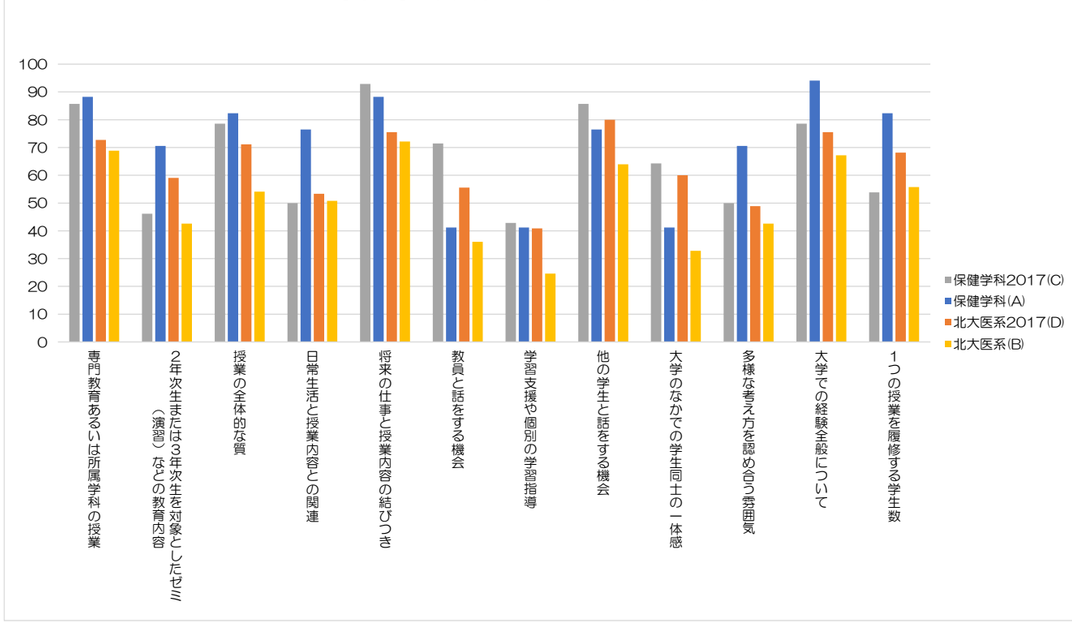
保健学科と全国医系の差が10以上 ▲
保健学科と全国医系の差が－10以下 ▼

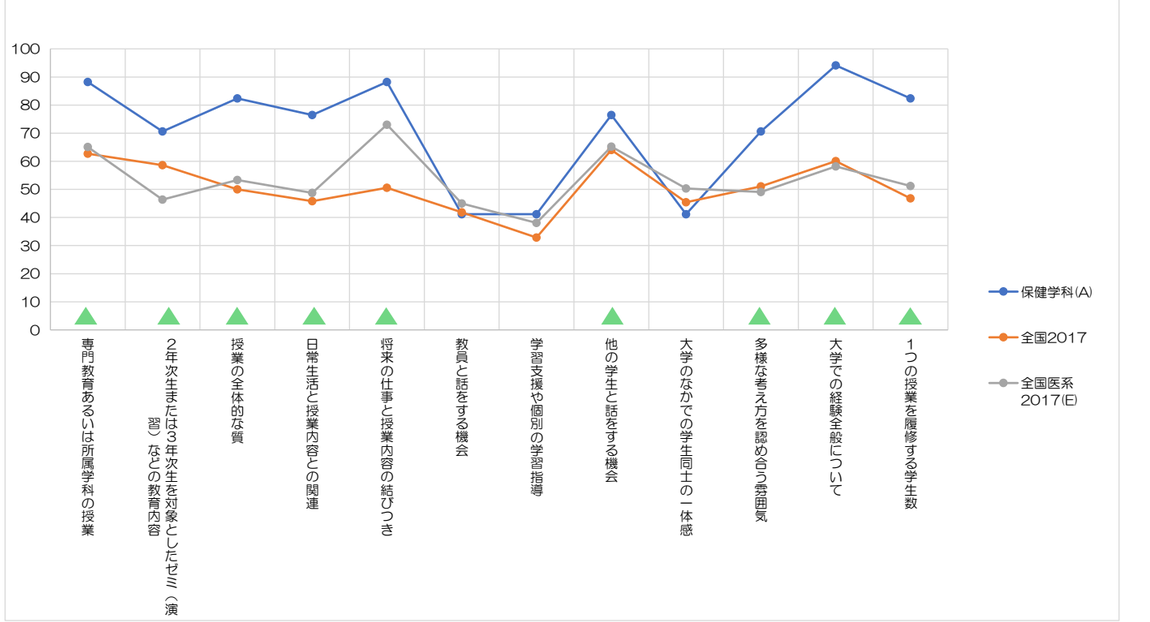
[問17]大学教育への満足度

「4.満足」と「5.とても満足」の割合　　差が10以上で緑、－10以下で赤

	保健学科(A)	北大	北大医系(B)	差(A-B)	保健学科2017(C)	北大2017	北大医系2017(D)	差2017(C-D)	全国2017	全国医系2017(E)	差(A-E)
専門教育あるいは所属学科の授業	88.2	65.2	68.9	19.4	85.7	68.7	72.7	13.0	62.7	65.1	23.2
２年次生または３年次生を対象としたゼミ（演習）などの教育内容	70.6	50.8	42.6	28.0	46.2	61.1	59.1	-12.9	58.6	46.4	24.2
授業の全体的な質	82.4	55.4	54.1	28.3	78.6	60.5	71.1	7.5	50.0	53.3	29.0
日常生活と授業内容との関連	76.5	41.0	50.8	25.7	50.0	46.8	53.3	-3.3	45.8	48.7	27.7
将来の仕事と授業内容の結びつき	88.2	43.9	72.1	16.1	92.9	50.3	75.6	17.3	50.6	73.0	15.2
教員と話をする機会	41.2	40.0	36.1	5.1	71.4	36.9	55.6	15.9	41.9	45.0	-3.8
学習支援や個別の学習指導	41.2	22.3	24.6	16.6	42.9	24.6	40.9	1.9	32.9	38.1	3.1
他の学生と話をする機会	76.5	60.0	63.9	12.5	85.7	61.1	80.0	5.7	64.0	65.2	11.3
大学のなかでの学生同士の一体感	41.2	37.4	32.8	8.4	64.3	40.1	60.0	4.3	45.4	50.3	-9.2
多様な考え方を認め合う雰囲気	70.6	48.5	42.6	28.0	50.0	49.0	48.9	1.1	51.1	49.0	21.5
大学での経験全般について	94.1	69.8	67.2	26.9	78.6	73.5	75.6	3.0	60.1	58.2	35.9
１つの授業を履修する学生数	82.4	50.2	55.7	26.6	53.8	50.6	68.2	-14.3	46.8	51.2	31.1







問５　本学卒業生の以下の能力は，総じてどのように感じますか？

１．大変優れている　２．やや優れている　３．普通　４．やや劣っている　５．大変劣っている

	1					2					3					4					5					未回答				
	N	R	L	PO	計	N	R	L	PO	計	N	R	L	PO	計	N	R	L	PO	計	N	R	L	PO	計	N	R	L	PO	計
A．専攻分野に関する知識		1	4	1	**6**	5	6	2		**13**	4	3	3	1	**11**					**0**					**0**					**0**
B．発表・プレゼンテーション能力		3		1	**4**	5	4	6	1	**16**	3	2	2		**7**			1		**1**	1				**1**					**0**
C．ディスカッション能力	1	1			**2**	2	3	4	2	**11**	4	4	5		**13**	2	1			**3**					**0**					**0**
D．コミュニケーション能力		1	1		**2**	3	2	3		**8**	4	4	4	1	**13**	1	2	1	1	**5**					**0**	1				**1**
E．外国語能力			1	1	**2**	2	6	1		**9**	5	3	7	1	**16**					**0**					**0**	2				**2**
F．リーダーシップ		1	1		**2**	3	3	1		**7**	3	4	6	2	**15**	3	1	1		**5**					**0**					**0**
G．集団の中での協調性	1	3	1		**5**	3	2	2		**7**	4	3	4	1	**12**	1	1	2	1	**5**					**0**					**0**
H．情報収集・分析能力	1	1	1		**3**	4	6	3	2	**15**	3	2	5		**10**	1				**1**					**0**					**0**
I．企画・アイディア等の創造力		1			**1**	1	4	5	1	**11**	8	3	3	1	**15**		1	1		**2**					**0**					**0**
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	1	1		**3**	2	2	2		**6**	5	6	5	1	**17**	1		1	1	**3**					**0**					**0**
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質		1	1	1	**3**		5			**5**	7	4	7	1	**19**		1	1		**2**					**0**	2				**2**
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力		1	1	1	**3**	2	3	3	1	**9**	6	3	5		**14**	1				**1**					**0**					**0**

コメント：
個人差が大きく、総じて評価することは困難です。
皆さん大変優秀な方です。評価については平均値を記入していますが、数名は殆どの項目において「大変優れている」と評価されています。

資料保60

平成29年度卒業生アンケート(企業アンケート)保健学科

【看護学専攻】　　回答数:　10 件

①　貴院・貴社の概要について

問1　貴院・貴社の所在地について，都道府県名を記入して下さい

北海道	4
東京	3
神奈川	1
千葉	1
京都	1

問2　貴院・貴社の従業員数について教えて下さい

1．～29人	
2．30～99人	
3．100～299人	
4．300～499人	1
5．500～999人	2
6．1,000～2,999人	5
7．3,000人～	1
8．未回答	1

問3　貴院・貴社の業種について教えて下さい

1．医療	10
2．保健	

②　本学卒業生の採用状況について

問4　貴院・貴社には現在本学科卒業生は何人程度在職していますか？

1．5人未満	6
2．5～9人	2
3．10～50人	1
4．50人超	1

③　本学卒業生の能力について

問5　本学卒業生の以下の能力は，総じてどのように感じますか？

1．大変優れている　2．やや優れている　3．普通　4．やや劣っている　5．大変劣っている

	1	2	3	4	5	未回答
A．専攻分野に関する知識		5	4			
B．発表・プレゼンテーション能力		5	3		1	
C．ディスカッション能力	1	2	4	2		
D．コミュニケーション能力		3	4	1		1
E．外国語能力		2	5			2
F．リーダーシップ		3	3	3		
G．集団の中での協調性	1	3	4	1		
H．情報収集・分析能力	1	4	3	1		
I．企画・アイディア等の創造力		1	8			
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	2	5	1		
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質			7			2
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力		2	6	1		

コメント：
個人差が大きく、総じて評価することは困難です。
皆さん大変優秀な方です。評価については平均値を記入していますが、数名は殆どの項目において「大変優れている」と評価されています。

問６　本学の卒業生に対して，大学在学中にもっと身につけておいて欲しい知識・能力などありましたら，記入願います

・入職する前に基本的な看護技術の再学習、演習等の実施。
・看護師として働くことの心がまえ。
・自ら学習し、わからないこと、課題などを自分でみつけ出し、先輩に聞いたり文献を調べたり、といった対処がとれ、知識を自分のものとして身につけることのできる能力をつけてほしい。課題を与えられると負担になり、与えられないと全く学習せずに仕事にのぞむ、それについて注意されると認められない、という人もいます。
・特にございません。2010年以降入職者は、クリティカル系部署でそれぞれ活躍しています。
・卒業生の数が、まだ少数のため、個人の能力による差もあると考えます。現在のところ、もっと身につけておいてほしいという具体的なものはありません。しかし、外国の患者さんが増えているので、語学力は身につけておくとよいかと思います。
・看護の専門性として、大学教育を受けているのであれば、認定ではなく専門看護師や大学院での研究など、貴学であればめざしていただきたいが、認定でよいという考えがあったようなので、今一度専門性について基礎教育できちんとおさえていただきたい。患者の生活の視点に立って看護を考える力が２名ともやや不足している。疾病を抱えながら生活をしていく患者さんの側に立って看護展開を行うキカイを増やしていただければと思う。
・個人による差はありますが、勉強の方法は身につけていますが、その知識を関連させ、統合する訓練が不足と感じます。急性期病院では患者の変化も速いため、変化に追いつけない場合も起こります。現象から、何が起きているかを考える能力が不足しているのは、そのような考え方を学んでいないためではないかと感じています。また、コミュニケーション能力（相手の意図を理解する、察する、自分の思いや考えを発信する）の訓練ももう少し強化していただけると、卒業後に学生さん達が苦労しないように思います。

④　本学の教育に対する要望について

問７　本学の教育に対して，ご意見・要望などがありましたら，記入願います

・看護学に対し、根拠のある確かな知識、技術、そして何より患者のために看護師が行うことの意味をしっかりと伝えていただきたいです。
・学歴のためにや、看護師にはなりたくなかったが入学した、入職した、という人もいます。本当に看護師として働ける学生か、見きわめていただけると、とてもありがたいです。
・貴校の教育目標や求める学生像は、当院の理念に共通する内容と存じます。今後とも、よろしくお願いします。
・上記に関係するが、国立大学の卒業生として、社会貢献は必須であると考える。人材として、この国の保健医療をリードできる方々として、専門性の高いフィロソフィーと、確実な技術を身につけることの重要性を基礎教育で教えていただけたらと思う。
・専門課程教育が実質２年間の現状で、優秀な看護専門職を育てるのは不可能と思います。大学として４年制になり、かえって３年から２年へと育成期間が後退しています。現在の医学、医療の高度化に、実質２年の専門課程教育では対応できていません。看護教育において、臨床で実際の患者さんと接することで、はじめてコミュニケーション能力を磨き、知識を駆使して統合すること、考えることを学びます。知識とその実践である実習を２年間でつめこむのは無理があります。又、看護系の資格を持たない教員には、看護専門職を育成することは困難と思います。ぜひ、看護系資格を有する教員を手厚く配置して、教育を充実させていただきたいと願っております。

平成29年度卒業生アンケート(企業アンケート)保健学科

【放射線技術科学専攻】　　回答数:　9 件

①　貴院・貴社の概要について

問1　貴院・貴社の所在地について，都道府県名を記入して下さい

北海道	8
宮城県	1

問2　貴院・貴社の従業員数について教えて下さい

1．～29人	
2．30～99人	
3．100～299人	
4．300～499人	2

5．500～999人	3
6．1,000～2,999人	2
7．3,000人～	2

問3　貴院・貴社の業種について教えて下さい

1．医療	8
2．保健	1

②　本学卒業生の採用状況について

問4　貴院・貴社には現在本学科卒業生は何人程度在職していますか？

1．5人未満	2
2．5～9人	5
3．10～50人	2
4．50人超	

③　本学卒業生の能力について

問5　本学卒業生の以下の能力は、総じてどのように感じますか？

1．大変優れている　2．やや優れている　3．普通　4．やや劣っている　5．大変劣っている

	1	2	3	4	5
A．専攻分野に関する知識	1	6	2		
B．発表・プレゼンテーション能力	3	4	2		
C．ディスカッション能力	1	3	4	1	
D．コミュニケーション能力	1	2	4	2	
E．外国語能力		6	3		
F．リーダーシップ	1	3	4	1	
G．集団の中での協調性	3	2	3	1	
H．情報収集・分析能力	1	6	2		
I．企画・アイディア等の創造力	1	4	3	1	
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	2	6		
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1	3	4	1	
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	5	3		

問6　本学の卒業生に対して、大学在学中にもっと身につけておいて欲しい知識・能力などありましたら、記入願います

・合理的になりすぎているところが見られる。もう少し無駄なことも重視して欲しい。
・人間力！
・患者等へ対する接遇。
・北大の卒業生に限ったことではありませんが、職場の同僚や患者様とのコミュニケーションや接遇について、病院局内で話題になりますので、日ごろの挨拶などを含めた指導をしていただき、十分に身に付けていただければと思います。
・病院での検査は専攻科の知識以外にも解剖、病理等の知識も必要となります。また病気の内容もある程度理解できるとよいです（医師からの検査時のコメントが理解できる程度は）。
・当施設においては、健常者の方を対象に事業を展開しており、医療機関での患者様とは異なった接遇能力が要求されます。また、多職種とチームを組んで行う業務もあるため、高いコミュニケーション能力を身につけていることが望ましいと考えています。コミュニケーション能力は個人差が大きいと思われますので、日常から意識し、自己研鑽に努めるようご指導お願いします。

④　本学の教育に対する要望について

問7　本学の教育に対して、ご意見・要望などがありましたら、記入願います

・医師の教官が多すぎる。
・もう少し新聞などを読んで、現在の社会動向や問題などを知ってほしいと思います。とくに最近の医療、介護問題など自分の関係する分野だけでも興味をもってほしいと思います。
・診療や業務をないがしろにせず、仕事について責任を持ち、社会人としての自覚を持った、人間性のしっかりした人を輩出してほしい。
・文章能力及びプレゼンテーション能力は優れています。今後とも、レベルを維持していただける様、宜しくお願いします。

平成29年度卒業生アンケート(企業アンケート)保健学科

【検査技術科学専攻】　　回答数:　9 件

①　貴院・貴社の概要について

問1　貴院・貴社の所在地について，都道府県名を記入して下さい

北海道	9

問2　貴院・貴社の従業員数について教えて下さい

1．～29人	
2．30～99人	
3．100～299人	
4．300～499人	3

5．500～999人	3
6．1,000～2,999人	3
7．3,000人～	

問3　貴院・貴社の業種について教えて下さい

1．医療	9

②　本学卒業生の採用状況について

問4　貴院・貴社には現在本学科卒業生は何人程度在職していますか？

1．5人未満	3
2．5～9人	5
3．10～50人	1
4．50人超	

③　本学卒業生の能力について

問5　本学卒業生の以下の能力は，総じてどのように感じますか？

1．大変優れている　2．やや優れている　3．普通　4．やや劣っている　5．大変劣っている

	1	2	3	4	5
A．専攻分野に関する知識	4	2	3		
B．発表・プレゼンテーション能力		6	2	1	
C．ディスカッション能力		4	5		
D．コミュニケーション能力	1	3	4	1	
E．外国語能力	1	1	7		
F．リーダーシップ	1	1	6	1	
G．集団の中での協調性	1	2	4	2	
H．情報収集・分析能力	1	3	5		
I．企画・アイディア等の創造力		5	3	1	
J．倫理観を有する豊かな人間性	1	2	5	1	
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1		7	1	
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	3	5		

問6　本学の卒業生に対して，大学在学中にもっと身につけておいて欲しい知識・能力などありましたら，記入願います

・知識・技術は大変よいものを身につけている。それに比べコミュニケーション能力や協調性は平均的である。
・貴学校の卒業生に限ったことではありませんが、検査に関わる基本的な知識や、現場で必要な技術は経験により身に付いていきますので、問題無いと考えています。ただし社会人としての意識づけが不足してきていると感じています。挨拶、コミュニケーション能力、協調性などについての教育強化を希望致します。
・おおむね良好。コミュニケーション力も高いと思います。卒業生の中にコミュニケーション力や学ぶ意欲がないものがいる。なぜ卒業させたのか疑問に思う者がいた。

④　本学の教育に対する要望について

問7　本学の教育に対して，ご意見・要望などがありましたら，記入願います

・対人的スキルをもっと身につけるための教育をすると即戦力としてもっとよくなると思います。
・優秀な人材が多くたすかっています。

平成29年度卒業生アンケート(企業アンケート)保健学科

【理学療法学・作業療法学専攻】　　回答数:　2 件

①　貴院・貴社の概要について

問1　貴院・貴社の所在地について，都道府県名を記入して下さい

北海道	2

問2　貴院・貴社の従業員数について教えて下さい

1．～29人	
2．30～99人	
3．100～299人	
4．300～499人	1

5．500～999人	
6．1,000～2,999人	1
7．3,000人～	

問3　貴院・貴社の業種について教えて下さい

1．医療	2
6．その他（健診）	

②　本学卒業生の採用状況について

問4　貴院・貴社には現在本学科卒業生は何人程度在職していますか？

1．5人未満	
2．5～9人	2
3．10～50人	
4．50人超	

③　本学卒業生の能力について

問5　本学卒業生の以下の能力は，総じてどのように感じますか？

1．大変優れている　2．やや優れている　3．普通　4．やや劣っている　5．大変劣っている

	1	2	3	4	5
A．専攻分野に関する知識	1		1		
B．発表・プレゼンテーション能力	1	1			
C．ディスカッション能力		2			
D．コミュニケーション能力			1	1	
E．外国語能力	1		1		
F．リーダーシップ			2		
G．集団の中での協調性			1	1	
H．情報収集・分析能力		2			
I．企画・アイディア等の創造力		1	1		
J．倫理観を有する豊かな人間性			1	1	
K．国際的視野に立ち国際的に活動できる資質	1		1		
L．科学的根拠に基づいた論理的な思考力	1	1			

問6　本学の卒業生に対して，大学在学中にもっと身につけておいて欲しい知識・能力などありましたら，記入願います

・臨床、研究場面でそれぞれ目指している方向性や分野にて十分な力を発揮して頂いています。日々の臨床のみならず、科学的根拠に基づいた倫理的思考による研究の推進により、国際的に活動できる高いレベルの職員もいます。しかしながら、組織内でのリーダーシップを発揮するより、自身の研究や臨床を行うことが得意な方が多い印象です。マネジメントスキルを身につけて頂くことで更に活躍できる人材となることが出来るでしょうし、そのような知識、能力も積極的に身につけていただければと思います。
・多職種連携能力

④　本学の教育に対する要望について

問7　本学の教育に対して，ご意見・要望などがありましたら，記入願います

・学問、研究を背景とし、現状のリハビリテーションのおかれている状況を理解し、次代を牽引していく強いリーダーシップのある学生の育成を期待します。

資料保 61

履修指導の実施状況が確認できる資料

取組	実施組織	実施状況
新入生オリエンテーション・ガイダンス	総合教育部 学務部教育推進課	実施日：4 月 3 日(水)（入学式前日）新入生参加必須 午前：新入生向けに基礎クラス(53 クラス)単位で実施 午後：総合入試入学者，学部別入試入学者に分かれて進級，学部移行，学科分属等のガイダンスを実施
全学教育科目の履修調整・登録に関するガイダンス	全学教育部 学務部教育推進課	実施日：4 月 5 日(金)　基本的に自由参加 １回につき 1 時間強で説明し，合計 5 回実施 学生は，学部，クラスごとの指定された時刻で参加
履修相談会（MANAVI）	学務部教育推進課 北大生協学生組織委員会	実施期間：4 月 6 日(土)～11 日(木)　自由参加 全体説明会：4 月 6 日(土)、7 日(日) 個別相談会：4 月 7 日(日)～11 日(木)
必修科目長期欠席者への対応	総合教育部 学務部教育推進課	必修科目において３回連続で欠席した場合，クラス担任，副担任に出欠確認システムにより，自動的に報告メールが配信され，面談等により状況確認等を行う。
履修相談	ラーニング・サポート室	随時，ラーニングサポートスタッフ（特定専門職員)による履修相談対応（利用者数：R１年度　216 名） 複数の学問分野にまたがる相談など，対応に高度な知識を要する場合は，アカデミック・アドバイザー教員が対応 特定の学部・学科等に特化した内容の場合には、学部相談員が対応

資料保 62

学習相談の実施状況が確認できる資料

取組	実施組織	実施状況
クラス担任・副担任によるオフィスアワー設定	総合教育部 学務部教育推進課	学生からの相談等の受入体制として，オフィスアワーを設定しており，新入生オリエンテーション時に，クラス担任，副担任のオフィスアワーについて説明（掲示版にも各クラス担任，副担任のオフィスアワー一覧を掲示）
クラスアワーの実施	総合教育部 学務部教育推進課	クラス担任，副担任により基礎クラス別に年４回実施 第１回は，新入生オリエンテーション時，第２回は６月上旬までに，第３回は９月末に個別面談方式で実施，第４回は，実施時期は２月上旬頃となるが，実施の有無を含めてクラスの状況を見てクラス担任が判断
個別学習相談	ラーニング・サポート室	随時，ラーニングサポートスタッフ（特定専門職員，TA）による個別学習相談対応（利用者数：R１年度 216 名）*数値は医学部保健学科のみ 特に，理科，数学等の理系基礎科目の基礎力をつけるための補講等も実施している。

資料保 63

社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料

取組	実施組織	実施状況
実習関連科目の開設	医学部 保健学科	基礎看護学実習 （受講者 75 人） 基礎看護学実習 （受講者 73 人） 小児看護学実習 （受講者 75 人） 成人看護学実習Ⅰ（受講者 75 人） 母性看護学実習 （受講者 75 人） 老年看護学実習Ⅰ（受講者 75 人） 地域看護学実習 （受講者 75 人） 老年看護学実習Ⅱ（受講者 79 人） 精神看護学実習（受講者 79 人） 成人看護学実習Ⅱ（受講者 79 人） 在宅看護学実習（受講者79 人） 看護統合実習（受講者 79 人） 臨床実習Ⅰ（受講者 38 人） 臨床実習Ⅱ（受講者 38 人） 臨床実習Ⅲ（受講者 38 人） 臨床実習Ⅳ（受講者 38 人） 臨床実習Ⅴ（受講者 38 人） 臨床検査学実習Ⅱ（受講者 35 人） 臨床血液学実習Ⅱ（受講者 35 人） 病理組織細胞学実習Ⅱ（受講者 35 人） 臨床化学実習Ⅱ（受講者35 人） 免疫検査学実習Ⅱ（受講者 35 人） 微生物学実習Ⅱ（受講者 35 人） 臨床生理画像学実習Ⅱ（受講者 35 人） 臨床見学実習（受講者 1 人） 臨床実習Ⅰ（新カリ）（受講者 18人） 臨床評価実習（受講者 16 人） 臨床実習Ⅰ（受講者 15 人） 臨床実習Ⅱ（受講者 16 人） 臨床実習Ⅰ（新カリ）（受講者 14 人） 臨床評価実習（受講者 17 人） 臨床実習Ⅰ（受講者 23 人） 臨床実習Ⅱ（受講者 23 人）

資料保 64

履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料

対象	実施組織	実施状況
障害のある学生及び性別違和の学生	教務委員会	授業に関する配慮願い届の提出。教務委員会並びに各専攻内で情報共有を行い、願い出のあった学生の要望を基に適宜対応。

医学部保健学科　授業に関する配慮願い届

医学部保健学科では，多様な機材を使用する実習や，病院での臨床実習があります。
不安な事項がありましたら，事前に配慮を検討しますので，下記に記載してください。

※この届に記載されている氏名及びその他の個人情報は，あなたの安全な授業参加と円滑な授業運営のために利用します。また，取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外には利用しません。

所属専攻名	
学生番号	
氏名	
提出日	年　　月　　日

懸念する事項

【例】
・ペースメーカー
・難聴（補聴器使用）
・不安障害

希望する配慮事項　　＊対応できるかどうかは，授業ごとの検討事項となります。

【例】
・強い磁気を発する機器に近寄らずに実習を受けたい
・口頭説明を理解する助けとするために，レジュメを作成してほしい
・病院実習で予期せぬパニックを起こした場合に備え，実習先選択に配慮をお願いしたい

＊事務担当者確認欄	確認月日　（　　年　　月　　日）

資料保 65

2019年度 北海道大学医学部保健学科
科目等履修生(10月期入学)出願要項

保健学科において特定の科目について受講を希望する者がある場合，保健学科において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，科目等履修生として入学を許可します。

１．出願資格

保健学科に入学できる者は，保健学科において当該授業科目を履修する学力があると認められる者

２．出願手続（郵送の場合は，必ず書留便にしてください。）

出願希望者は，以下の書類を北海道大学医学系事務部保健科学研究院事務課教務担当に提出してください。

(1) 入学願書（所定の様式）
必ず事前に科目担当教員の承認印を得ること。

(2) 履歴書（所定の様式）

(3) 最終学歴の卒業証明書又は在学証明書

(4) 出願許可書（会社等に在職の者）（様式任意）

(5) 検定料（９，８００円）

a. 別添の専用振込用紙（払込取扱票等一式）により郵便局または銀行の窓口で振り込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

b. 「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」（E 票）を「検定料受付証明書貼り付け台紙」に貼付して提出してください。

※ 既納の検定料は還付しません。

(6) 出願結果通知用封筒
定型封筒（長型３号）に宛先を明記し，９２円分の切手を貼付したもの。

３．出願期間

２０１９年９月２日（月）から９月６日（金）まで（必着）
（午前８時３０分から午後５時００分まで）

４．入学許可

入学許可者には，２０１９年９月２０日（金）に送付する「入学許可通知書」により通知します。

５．入学手続

２０１９年９月２４日（火）から９月２６日（木）
（午前８時３０分から午後５時００分まで）
期間内に入学料を納入していただきます。
なお，授業料の納入時期は５月および１１月です。
詳細は「入学許可通知書」送付に併せてお知らせします。
（既納の検定料，入学料及び授業料は返還しません。）

６．費　用

(1) 入学検定料　　９，８００円
(2) 入　学　料　２８，２００円（予定）
(3) 授　業　料　１４，８００円（１単位につき（予定））
※　授業料は半期毎（５月及び１１月に６ヶ月分）に納入していただきます。

７．個人情報の取り扱いについて

本学では，出願の際に提出された入学願書等に記載されている氏名，性別，生年月日，住所及びその他の個人情報は，入学者選抜（出願処理，選考），合格発表及び入学手続（入学時に必要な経費の通知，書類の送付，入学後の連絡事項）並びに学籍・成績管理を行うために利用します。また，取得した個人情報は適切に管理し，上記目的以外に利用しません。

８．その他

(1) 出願を希望する者は，出願書類を下記北海道大学医学系事務部保健科学研究院事務課教務担当に申し込んでください。
(2) 保健学科以外の本学の学部等にも同時に出願予定の場合は，予めご連絡ください。
(3) 科目等履修生として授業科目を履修し，当該授業科目の試験に合格した場合は，保健学科会議の議を経て所定の単位が与えられます。

○ 出願書類提出先・問い合わせ先

〒060-0812　札幌市北区北12条西5丁目
北海道大学医学系事務部
保健科学研究院事務課教務担当
ＴＥＬ:011-706-2135

資料保 66

2019年度 北海道大学医学部保健学科
聴講生（10月期入学）出願要項

保健学科において特定の科目について聴講を希望する者がある場合，保健学科において適当と認め，かつ，支障のないときに限り，聴講生として入学を許可します。

１．出願資格

保健学科に入学できる者は，保健学科において当該授業科目を聴講する学力があると認められる者

２．出願手続（郵送の場合は，必ず書留便にしてください。）

出願希望者は，以下の書類を北海道大学医学系事務部保健科学研究院事務課教務担当に提出してください。

(1) 入学願書（所定の様式）
必ず事前に科目担当教員の承認印を得ること。

(2) 履歴書（所定の様式）

(3) 最終学歴の卒業証明書又は在学証明書

(4) 出願許可書（会社等に在職の者）（様式任意）

(5) 検定料（９，８００円）

a. 別添の専用振込用紙（払込取扱票等一式）により郵便局または銀行の窓口で振り込んでください。ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

b. 「受付局日附印」が押印された「検定料受付証明書」（E 票）を「検定料受付証明書貼り付け台紙」に貼付して提出してください。

※ 既納の検定料は還付しません。

(6) 出願結果通知用封筒
定型封筒（長型３号）に宛先を明記し，９２円分の切手を貼付したもの。

３．出願期間

２０１９年9月２日（月）から9月６日（金）まで（必着）
（午前８時３０分から午後５時００分まで）

４．入学許可

入学許可者には，２０１９年9月２０日（金）に送付する「入学許可通知書」により通知します。

５．入学手続

２０１９年9月２４日（火）から9月２６日（火）
（午前８時３０分から午後５時００分まで）
期間内に入学料を納入していただきます。
なお，授業料の納入時期は５月および１１月です。
詳細は「入学許可通知書」送付に併せてお知らせします。
（既納の検定料，入学料及び授業料は返還しません。）

６．費　用

(1) 入学検定料　　９，８００円
(2) 入　学　料　２８，２００円（予定）
(3) 授　業　料　１４，８００円（１単位につき（予定））
※　授業料は半期毎（５月及び１１月に６ヶ月分）に納入していただきます。

７．個人情報の取り扱いについて

本学では，出願の際に提出された入学願書等に記載されている氏名，性別，生年月日，住所及びその他の個人情報は，入学者選抜（出願処理，選考），合格発表及び入学手続（入学時に必要な経費の通知，書類の送付，入学後の連絡事項）並びに学籍管理を行うために利用します。また，取得した個人情報は適切に管理し，上記目的以外に利用しません。

８．その他

(1) 出願を希望する者は，出願書類を下記北海道大学医学系事務部保健科学研究院事務課教務担当に申し込んでください。
(2) 保健学科以外の本学の学部等にも同時に出願予定の場合は，予めご連絡ください。
(3) 聴講生として聴講した授業科目について，単位は付与されません。

○ 出願書類提出先・問い合わせ先

〒060-0812　札幌市北区北12条西5丁目
北海道大学医学系事務部
保健科学研究院事務課教務担当
ＴＥＬ:011-706-2135
ＦＡＸ:011-706-4916

医学部保健学科学生の表彰に関する内規

（平成 19 年 7 月 19 日制定）

（趣旨）

第１条　この内規は，北海道大学医学部保健学科（以下「本学科」という。）に在籍する学生又は学生団体の表彰に関し，必要な事項を定めるものとする。

第２条　医学部保健学科長（以下「学科長」という。）は，学業成績及び研究等で優秀な成績を修め，または，課外活動，社会活動において顕著な功績を挙げた本学科学生を表彰することができる。

２　表彰の種類は，次の各号に掲げるとおりとする。

（１）北海道大学医学部保健学科長賞

（２）北海道大学医学部保健学科卒業研究優秀賞

（対象）

第３条　前条第２項第１号の表彰は，次の各号の一に該当する学生又は学生団体に対して行うものとする。

（１）医学部保健学科第４学年に在籍する学生で，特に優秀な成績を修め，他の学生の模範となると認められた各専攻の学生

（２）課外活動において，特に優秀な成績を修めた学生又は学生団体

（３）ボランティア活動等の社会活動において，顕著な功績を挙げ，社会から評価を受けた学生又は学生団体

（４）その他前各号と同等以上の功績等により，表彰に価する行為があったと認められる学生又は学生団体

２　前条第２項第２号の表彰は，医学部保健学科４学年に在籍する学生で，保健科学における新しい研究課題を積極的に開拓し，優れた卒業研究を行った各専攻の学生に対して行うものとする。

（候補者の推薦）

第４条　各専攻主任は，候補者推薦時までに修得した専門科目の GPA の成績上位者で，前条第１項第１号に該当すると認められる学生１名を，保健学科長に推薦することができる。なお，候補者の推薦にあたり，本学入学後において留年の学習歴のある者を除くものとする。

２　専攻主任は，前条第２号から第４号に該当すると認められる学生又は学生団体を，学科長に推薦することができる。

３　各専攻主任は，前条第２項に該当すると認められる次に掲げる学生を学科長に推薦することができる。

（１）看護学専攻　４名まで

（２）放射線技術科学専攻　２名まで

（３）検査技術科学専攻　２名まで

（４）理学療法学専攻　１名まで

（５）作業療法学専攻　１名まで

（候補者の推薦の様式）

第５条　第３条第１項第１号の候補者の推薦は，別記様式１号により，毎年６月末日までに行うものとする。

２　第３条第１項第２号から第４号の候補者の推薦は，別記様式１号により，適時行うものとする。

３　第３条第２項の候補者の推薦は，別記様式２号により，毎年１月の保健学科会議開催日前までに行うものとする。

（表彰対象者の決定）

第６条　学科長は，前条により推薦があった場合，保健学科会議の議を経て，表彰を決定する。

（表彰の方法）

第７条　表彰は，学科長が表彰状を授与することにより行う。

２　前項の表彰状に添えて，第２条第１項の被表彰者及び，第２条第２項の被表彰者１名に２万円相当の記念品を贈呈するものとする。

（表彰の時期）

第８条　表彰は，第６条により決定され次第，速やかに行うものとする。

（公表）

第９条　学科長は，保健学科広報誌及びホームページに表彰を受けた学生又は学生団体を公表するものとする。

（事務）

第 10 条　表彰に関する事務は，医学系事務部において処理する。

（雑則）

第 11 条　この内規に定めるもののほか，学生又は学生団体の表彰の実施に関し必要な事項は，学科長が別に定める。

附　則

この内規は，平成 19 年７月 19 日から施行する。

附　則

この内規は，平成 23 年５月 19 日から施行し，平成 23 年４月１日から適用する。

附　則

この内規は，平成 27 年 12 月 17 日から施行し，平成 27 年４月１日から適用する。

別記様式１号（第５条第１項および第２項関係）

医学部保健学科 学生表彰候補者推薦書

推薦する学生 又は学生団体	氏名又は学生団体名（代表者名） （学生団体の場合は代表者について記入） 専攻名： 学　年： 連絡先：（電話） （E-mail）
推薦の基準	□ 学業優秀者　□ 課外活動 □ 社会活動　□ その他
推薦の理由	
推薦者	氏　名： 専攻名：

別記様式２号（第５条第３項関係）

医学部保健学科 学生表彰候補者推薦書

推薦する学生	氏　名： 専攻名： 卒業研究課題名：
推薦の理由	
推薦者	氏　名： 専攻名：

資料保 68

学科説明会など派遣一覧

平成 14 年 8 月	北海道大学セミナー(函館)	看護①
平成 15 年 8 月	北海道大学セミナー(函館)	理学①, 作業①
平成 15 年 11 月	北海道大学セミナー(北見)	理学②
平成 16 年 7 月	北海道大学セミナー(旭川)	理学③
平成 17 年 8 月	北海道大学セミナー(函館)	検査①
平成 17 年 10 月	北海道大学セミナー(北見)	放射線①
平成 18 年 6 月	看護医療系進学相談会(札幌)	看護②、放射線②
平成 18 年 7～9 月	北海道大学セミナー(帯広)	参加せず (十勝地方出身教員限定)
平成 18 年 7 月	北海道大学セミナー(旭川)	看護③
平成 19 年 7 月 14 日	北海道進学コンソーシアム(仙台) (医学科と交互の予定)	検査②
平成 19 年 9 月 9 日	北海道大学セミナー(函館)	作業②
平成 19 年 10 月 13 日	北海道大学セミナー(北見)	放射線③
平成 20 年 7 月 12 日	全国国公立・有名私大相談会(東京)	放射線④
平成 20 年 7 月 21 日	北海道大学セミナー(旭川)	看護④
平成 20 年 9 月 28 日	主要大学説明会(札幌)	検査③
平成 20 年 11 月 1 日	北海道大学進学相談会(大阪)	放射線⑤
平成 20 年 11 月 3 日	北海道大学進学相談会(東京)	放射線⑥
平成 20 年 11 月 7 日	校内進路ガイダンス(藻岩高校)	作業③
平成 20 年 11 月 11 日	校内進路ガイダンス(滝川)	理学④、作業④
平成 20 年 11 月 22 日	進学相談会(駿台予備校札幌校)	作業⑤

平成 21 年 8 月 30 日	北海道大学セミナー(函館)	看護⑤
平成 21 年 6 月 10 日	札幌光星高校主催進学説明会(札幌)	作業⑥
平成 21 年 6 月 16 日	札幌北陵高校主催進学説明会(札幌)	作業⑦
平成 21 年 10 月 31 日	北海道大学進学相談会(名古屋)	検査④
平成 21 年 11 月 1 日	北海道大学進学相談会(大阪)	検査⑤
平成 21 年 11 月 3 日	北海道大学進学相談会(東京)	検査⑥
平成 21 年 11 月 12 日	ミニ講義(札幌光星高校)	検査⑦
平成 21 年 12 月 4 日	学部・学科研究会(小樽潮陵高校)	理学⑤
平成 21 年 12 月 4 日	進学ガイダンス(札幌月寒高校)	作業⑧
平成 21 年 12 月 9 日	進学ガイダンス(札幌第一高校)	作業⑨

平成 22 年 7 月 19 日	北海道大学セミナー(旭川)	理学⑥
平成 22 年 7 月 24 日	北海道進学コンソーシアム(大阪)(隔年)	放射線⑦
平成 22 年 11 月 6 日	北海道大学進学相談会(名古屋)	看護⑥
平成 22 年 11 月 7 日	北海道大学進学相談会(大阪)	看護⑦
平成 22 年 11 月 13 日	北海道大学進学相談会(東京)	放射線⑧
平成 22 年 12 月 3 日	学部・学科研究会(小樽潮陵高校)	理学⑦

平成 23 年 8 月 30 日	北海道大学セミナー(函館)	検査⑧
平成 23 年 10 月 8 日	北海道大学セミナー(北見)	看護⑧
平成 23 年 11 月 5 日	北海道大学進学相談会(東京)	理学⑧
平成 23 年 11 月 12 日	北海道大学進学相談会(名古屋)	検査⑨
平成 23 年 11 月 13 日	北海道大学進学相談会(大阪)	検査⑩
平成 23 年 11 月 日	校内進路ガイダンス(滝川)	作業⑩
平成 23 年 12 月 3 日	学部・学科研究会(小樽潮陵高校)	放射線⑨

平成 24 年 7 月 16 日	北海道大学セミナー(旭川)	看護⑨
平成 24 年 8 月 30 日	紋別市立潮見中学校見学	看護 9.5
平成 24 年 7 月 23 日	保健学科説明会(札幌北)	検査⑪
平成 24 年 11 月 30 日	学部・学科研究会(小樽潮陵高校)	理学⑨
平成 24 年 8 月 8 日	進路相談会(北海道看護協会主催)	看護 10.5
平成 24 年 10 月 27 日	北海道大学進学相談会(名古屋)	理学⑩
平成 24 年 10 月 28 日	北海道大学進学相談会(大阪)	理学⑪

平成 24 年 11 月 3 日	北海道大学進学相談会（東京）	放射線⑩
平成 25 年 8 月 22 日	長万部中学校見学	看護⑪
平成 25 年 10 月 26 日	北海道大学進学相談会（名古屋）	作業⑩
平成 25 年 10 月 27 日	北海道大学進学相談会（大阪）	作業⑪
平成 25 年 11 月 2 日	北海道大学進学相談会（東京）	検査⑫
平成 25 年 11 月 29 日	学部・学科研究会(小樽潮陵高校)	理学⑫
平成 25 年 12 月 6 日	苫小牧東高校ジョイントセミナー	理学⑬
平成 26 年 7 月 21 日	北大セミナーin 旭川	放射⑪
平成 26 年 7 月 27 日	受験産業主催大学説明会（隔年）	看護⑫
平成 26 年 8 月 23 日	北海道大学進学相談会（東京）	放射⑫
平成 26 年 9 月 5 日	高校生メディカル講座（静内高） NorPT	看護⑬
平成 26 年 9 月 11 日	高校生メディカル講座（苫小牧東高）	作業⑫
平成 26 年 10 月 25 日	北海道大学進学相談会（名古屋）	検査⑬
平成 26 年 10 月 26 日	北海道大学進学相談会（大阪）	検査⑭
平成 26 年 11 月 28 日	学部・学科研究会(小樽潮陵高校)	放射⑬
平成 27 年 6 月 3 日	ニセコ中学校見学	放射+0.2 検査+0.2 作業+0.2
平成 27 年 9 月 6 日	北大セミナーin 函館	作業⑬
平成 27 年 8 月 22 日	進学相談会 東京	放射⑭
平成 27 年 10 月 10 日	進学相談会 大阪	看護⑭
平成 27 年 10 月 11 日	進学相談会 名古屋	看護⑮
平成 27 年 10 月 23 日	高校生メディカル講座（江差高）	作業⑭
平成 27 年 10 月 10 日	北大セミナーin オホーツク	理学⑭
平成 27 年 11 月 27 日	小樽潮陵学問研究会	理学⑮
平成 28 年 6 月 1 日	ニセコ中学校見学	放射+0.2 理学+0.2 作業+0.2
平成 28 年 7 月 24 日	全国国公立・有名私大相談会	放射⑮
平成 28 年 8 月 20 日	進学相談会 東京	検査⑮

平成 28 年 9 月 1 日　　紋別市立潮見中学校見学　　看護+0.5
放射+0.2
平成 28 年 9 月 11 日　北大セミナーin 旭川　　理学⑯
平成 28 年 10 月 8 日　進学相談会　名古屋　　作業⑮
平成 28 年 10 月 9 日　進学相談会　大阪　　作業⑯
平成 28 年 10 月 19 日　高校生メディカル講座（江差高）　　看護⑯
平成 28 年 11 月 29 日　小樽潮陵学問研究会　　放射⑯
平成 28 年 11 月 18 日　札幌開成中等教育学校学問探究セミナー検査⑯

平成 29 年 8 月 20 日　進学相談会　東京　　看護⑰
平成 29 年 10 月 8 日　進学相談会　大阪　　放射⑰
平成 29 年 9 月 1 日　　高校生メディカル講座（静内高）　　検査⑰
平成 29 年 12 月 1 日　小樽潮陵学部・学科研究会　　理学⑰
平成 29 年 10 月 7 日　北大セミナーin オホーツク　　作業⑰
平成 29 年 11 月 15 日　札幌開成中等教育学校学問探求セミナー　看護⑱

平成 30 年 7 月 14 日　全国国公立・有名私大相談会　　放射⑱
平成 30 年 8 月 25 日　進学相談会　東京　　検査⑱
平成 30 年 10 月 7 日　進学相談会　大阪　　理学⑱
平成 30 年 10 月 2 日　高校生メディカル講座（静内高）　　作業⑱
平成 30 年 11 月 30 日　小樽潮陵学問研究会　　放射⑲

令和元年 8 月 23 日　統一学校説明会（釧路湖陵）　　検査　19
令和元年 7 月 7 日　全国国公立・有名私立大学相談会（東京）　　理学　19
令和元年 8 月 24 日　進学相談会（東京）　　作業　19
令和元年 10 月 6 日　進学相談会（大阪）　　看護　19
令和元年 7 月 18 日　校内大学進学相談会（帯広柏陽）　　放射　20

資料保 69

高校への出前講義など実施状況

*イベント名称、高校名、所在地、実施日、派遣教員数

平成 28 年

・学問研究会、北海道旭丘高校、札幌市、2017/11/7、1 名
・ 学部学科研究会、北海道小樽潮陵高校、小樽市、2017/12/1、 1 名
・ 社会人・大学生によるセミナー＆座談会　学びの Flora～第 2 弾～、旭川東高等学校、旭川市、2017/7/19、1 名
・ 小樽潮陵高校メディカル講座、小樽潮陵高校、小樽市、2017/12/1、1 名
・ アクティブラーニング型学問探究セミナー、札幌開成中等教育学校、札幌、2016/11/18、10 名
・ 高校生メディカル講座、江差高等学校、江差町、2017/10/19、1 名

平成 29 年

・学問研究会、北海道旭丘高校、札幌市、2018/11/6、1 名
・ 学問研究「出前講義」、札幌国際情報高校、札幌市、2018/11/7、 1 名
・ 北大セミナー、北見北斗高校、北斗市、2018/10/7、1 名
・ 札幌開成中等教育学校学問探求セミナー、札幌開成中等教育学校、札幌市、2018/11/15、1 名

平成 30 年

・学問研究会、北海道旭丘高校、札幌市、2019/11/12、1 名
・ 学部学科研究会、北海道小樽潮陵高校、小樽市、2019/11/29、 1 名
・ 平成３０年度地域医療を支える人づくりプロジェクト事業に係る高校生メディカル講座、北海道静内高校、日高郡静内町、2019/10/2、1 名

資料保70

令和元年度
概　要

GUIDE for VISITORS 2019

北海道大学

大学院保健科学研究院
大学院保健科学院
医学部保健学科

Faculty of Health Sciences
Graduate School of Health Sciences
Department of Health Sciences, School of Medicine

Hokkaido University

保健科学研究院長メッセージ

大学院保健科学研究院長
齋藤　健

保健学は、多岐で複雑化する世界の保健・健康問題を見据えて、胎生期から小児期、成人期を経て老年期に至る全てのライフステージにおいて、人々の肉体的、精神的並びに社会的健康状態を的確に把握し、疾病や傷害の発生と再発を防止し、健康の保持・増進を図ることに重点を置く学問です。医学医療の中では、広義の予防医学（第一次予防:疾病や傷害の発生予防や健康の保持増進、第二次予防:疾病の早期発見と早期対処、第三次予防:疾病の再発防止やリハビリテーション）に重点を置く学問とも言えます。

北海道大学医学部保健学科は2003年10月に設置されました。本学の保健学科は、看護学専攻・放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻・理学療法学専攻・作業療法学専攻の5専攻からなる学科で、医学医療の体系的な教育を展開するために、医学部の中に医学科とともに設置されています。一方、大学院は保健科学院として独立しており、修士課程（2008年）と博士後期課程（2010年）が設置されました。本保健科学院は、修士課程及び博士後期課程ともに、保健科学と看護学に区分された2つのコースの中に、学部・学科の専攻（看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学）と対応する教育研究領域（科目群）に加えて、保健科学コースには、専門分野を超えて多岐で複雑化する健康課題の解決と健康の保持・増進を目指す健康科学科目群を設置しています。さらに、2014年より修士課程看護学コースでは、公衆衛生看護学科目群、助産学科目群、高度実践看護学科目群が設置され、21世紀の高度医療や健康な社会の創生を担う保健師、助産師および実践的看護師の育成を行っています。2018年より、高度実践看護学科目群では、がん看護専門看護師の養成を目指す新たな実践教育プログラムが始まりました。また、2018年より、北海道大学とJICAが連携して大学院教育を通じて途上国の健全な発展を目指す、JICA開発大学院連携プログラムが始まりました。このプログラムに保健科学院も他の大学院と共同参画し、国際貢献を進めています。さらに、全学の大学院生や社会人を対象に、病院経営においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指す、病院経営アドミニストレータ育成プログラムも始まりました。また、博士後期課程保健科学コースには、放射線医学総合研究所との連携分野として「重粒子医科学分野」が設置されています。上記コースに加えて、修士課程又は博士後期課程の2年次から小樽商科大学大学院商学研究科のMBA（経営管理修士）特別コースへも進学でき、本保健科学院の学位（保健科学又は看護学）と小樽商科大学MBAの二つの学位（ダブルディグリー）を取得することが可能となっています。

教員の所属する保健科学研究院は、2008年4月に設置され、教員の専門性に応じて7分野に分かれています。2011年には、健康イノベーションセンターが設置されました。本センターは、高度脂質ラボラトリー部門、ヘルスネットワークシステム部門、生体分子・機能イメージング部門からなり、健康科学研究の成果を企業等に技術移転し、産学共同開発を進め、医療・保健のイノベーションに貢献することを目指しています。2012年には、保健医療教育研究センターが設置されました。本センターは教育改革研究部門、継続教育研究部門および病院経営教育プログラム開発部門からなり、保健医療専門職の資質向上のための教育プログラムの開発などを行っています。また、民間からの寄附を有効に活用して運営し、保健科学の教育研究の活発化を図る寄附分野も、現在2分野が設置されており、さらに本年7月にはもう1分野が設置されることとなっています。

このように、本研究院・学院は、高度医療を支える保健科学の教育研究基盤の強化と、疾病の予防や健康保持・増進、安心で安全な社会の実現を目指す学際的な教育研究拠点として、発展を続けています。しかし、疾病を予防し、健康の保持・増進を図るためには、人間そのものの理解や人々を取り巻く様々な環境との相互作用に対する深い洞察が必須であり、本研究院・学院は、医学のみならず、理工学、農学、環境科学、獣医学、薬学、経済学、哲学、倫理学などと「Health」をキーワードとして学際的な学問領域を構築しています。このような学問的背景を踏まえ、本研究院・学院では、広い視野と深い専門性を併せ持った高度医療専門職や教育研究者として、様々な健康問題に積極的に取り組みその解決に貢献できる人材を輩出しています。

Message from Takeshi Saito, the Dean of Faculty of Health Sciences

Health sciences are a field of study with an emphasis on preventing the onset and recurrence of illness and injury and on assessing, maintaining and promoting the physical, mental and social wellbeing of people in all life stages — from the embryonic stage to childhood and adulthood to old age — with an eye toward global public health issues that have become increasingly complex and diverse. In the field of medical sciences and medical care, health sciences can be seen as a field of study with an emphasis on preventive medicine in a broad sense, which includes primary prevention (prevention of the onset of illness and injury, and health maintenance and promotion), secondary prevention (early detection and treatment) and tertiary prevention (prevention of recurrence and rehabilitation).

The Department of Health Sciences in the School of Medicine was established on October 2003. The Department consists of five divisions: Nursing, Radiological Science and Technology, Medical Technology, Physical Therapy, and Occupational Therapy. To offer systematic curricula in medical sciences and medical care, the Department is located within the School of Medicine along with the Department of Medicine. For graduate education, Graduate School of Health Sciences of Hokkaido University has offered master's program since 2008 and doctoral program since 2010. In a master's degree program and a doctoral degree program, the Graduate School of Health Sciences offers two courses of health sciences and nursing. These courses feature education and research fields (subjects) corresponding to majors in undergraduate schools and departments (divisions of nursing, radiological science and technology, medical technology, physical therapy and occupational therapy) and health science subjects that aim to solve various health problems and maintain/improve health under the Health Science Course. Moreover, the Master Course of Nursing has offered advanced public health nursing, advanced midwifery and advanced practice nursing subjects since 2014 to train public health nurses, midwives, and practical nurses responsible for the creation of sophisticated medical care and healthy society in the 21st century. Since 2018, a new practical educational program aiming to train Certified Nurse Specialist for Cancer Nursing has started in the advanced practical nursing subjects. In addition, “JICA Program with Universities for Development Studies” which is graduate school program provided by Hokkaido University and JICA in cooperation, aiming at sound development of developing countries has started. The Graduate School of Health Sciences has joined with other Graduate Schools in the program and is promoting international contribution. A hospital management administration program aiming at nurturing human resources capable of demonstrating leadership in hospital management has also started in 2018. The Health Science Course as a doctoral degree program covers the field of Charged Particle Therapy in association with the National Institute of Radiological Sciences. Beyond the aforementioned courses, sophomore students or higher in the master's degree program or doctoral degree program can go to the Otaru University of Commerce's Graduate School of Commerce Special MBA Course and obtain double degrees—the Graduate School of Health Sciences' degree (Master of Health Sciences or Nursing) and Otaru University of Commerce MBA (Master of Business Administration) degree.

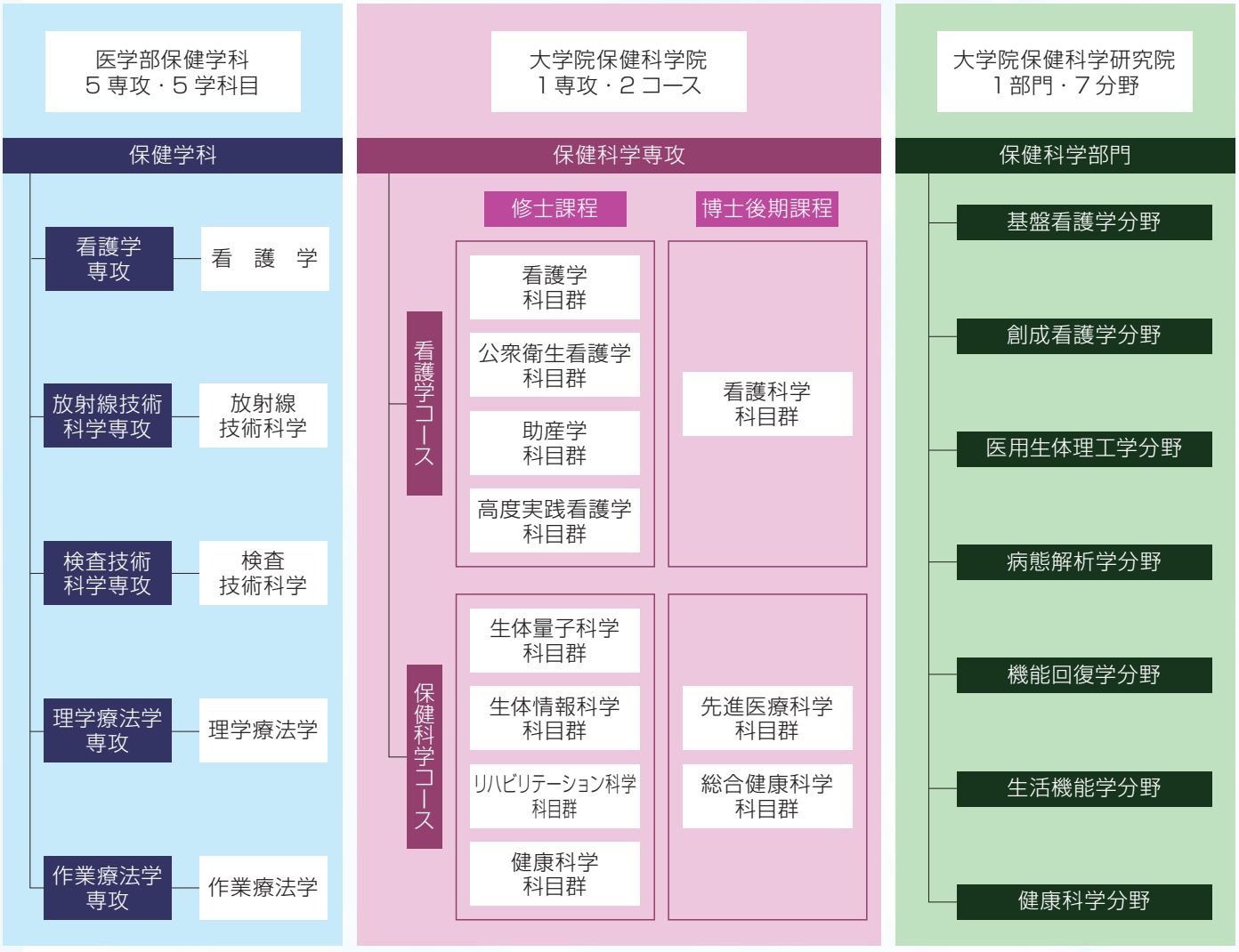
The Faculty of Health Sciences to which faculty members belong was established in April 2008 and divided into seven fields depending on the expertise of faculty members. The Health Innovation & Technology Center (HITEC) was established in 2011 in the Faculty of Health Sciences founded as an organization for teaching staff. HITEC consists of three sections: Laboratory for Advanced Lipid Analysis, Health Network System and Laboratory of Molecular and Functional Bio-Imaging. HITEC is targeting on the contribution to transfer the technology of health science research to the companies and promoting industry-university cooperation joint development. The Education Research Center for Health Professionals (ERCHP) was established in 2012. ERCHP consists of three sections: Educational Reform, Continuing Education and Hospital Management Administration. ERCHP aims to develop programs for continuing education and training of health professionals in order to level up their skills. In addition, two donated fund laboratories have been set up at the Faculty of Health Sciences and another donated fund laboratory is scheduled to start in July 2019.

Our institution has continued to evolve as an interdisciplinary research and education center seeking to strengthen the foundations for research and education in health sciences to support the performance of advanced medical care, to prevent illness and maintain and promote health, and to create a safe and secure society. However, the prevention of illness and the maintenance and promotion of health require knowledge about human beings and profound insights into their interactions with the environments around them. Accordingly, our institution builds a health-related interdisciplinary field that involves not only medical sciences, but also science and engineering, agriculture, environmental science, veterinary medicine, pharmacology, economics, philosophy, ethics and so on. Based on this academic background, our institution is committed to developing future generations of advanced medical professionals, educators and researchers capable of helping to solve various health issues using their broad perspectives and high levels of expertise.

沿　革

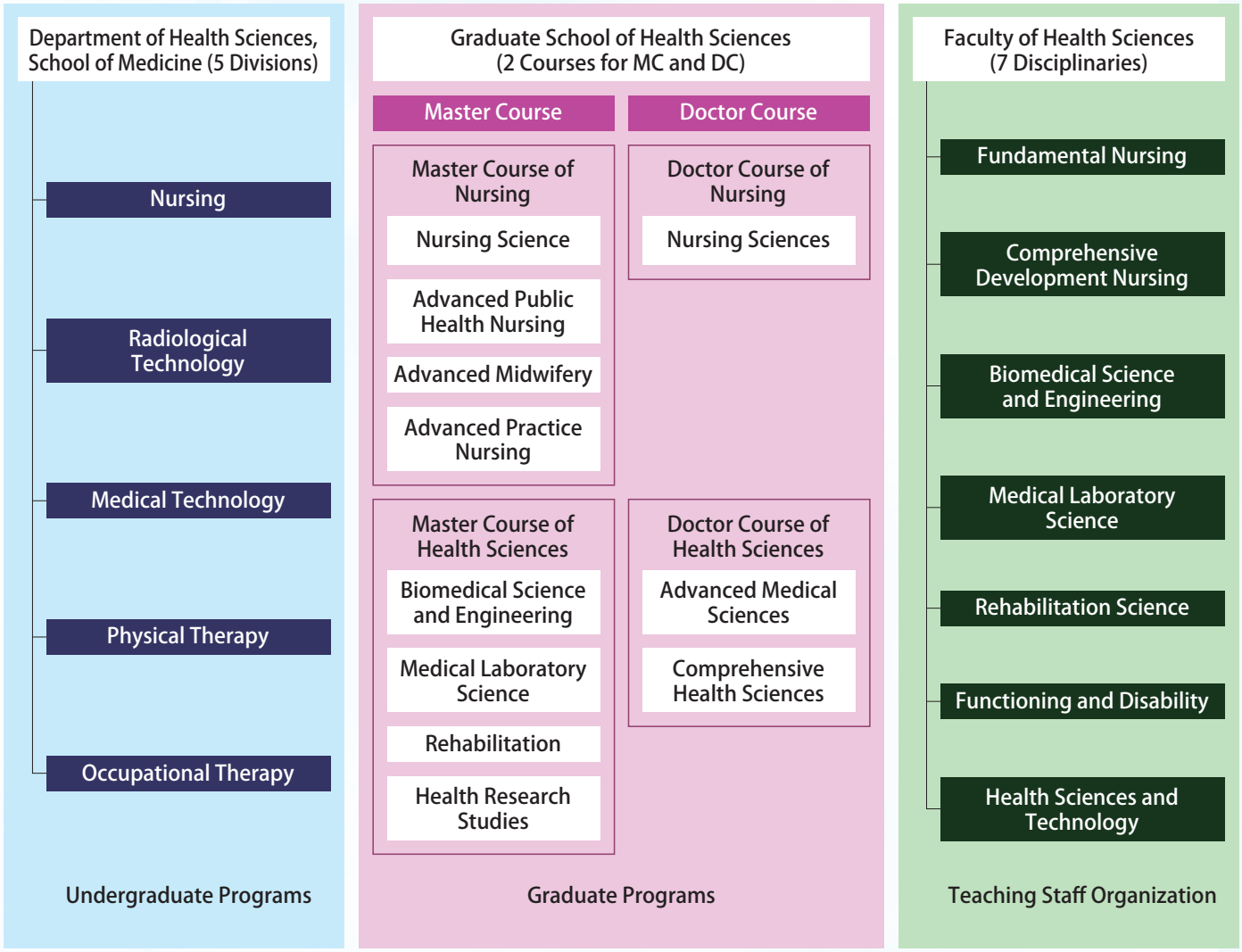
平成 15 年 10 月 1 日	北海道大学医学部保健学科設置
平成 20 年 4 月 1 日	北海道大学大学院保健科学研究院・大学院保健科学院保健科学専攻修士課程設置
平成 22 年 4 月 1 日	北海道大学大学院保健科学院保健科学専攻博士後期課程設置
平成 23 年 10 月 1 日	北海道大学大学院保健科学研究院健康イノベーションセンター設置
平成 24 年 4 月 1 日	北海道大学大学院保健科学研究院保健医療教育研究センター設置
平成 26 年 3 月 28 日	北海道大学大学院保健科学研究院研究棟 E 棟竣工

組　織

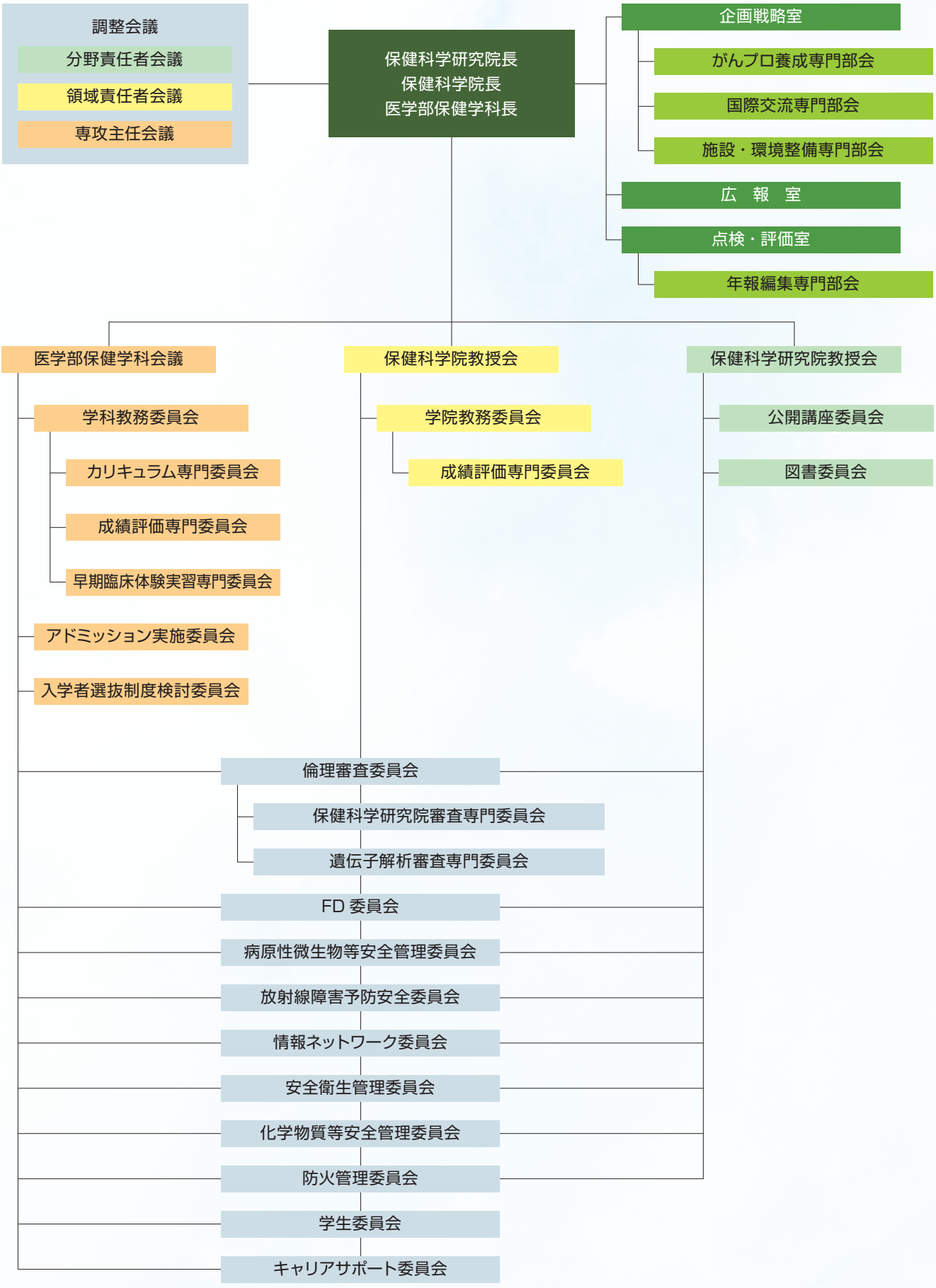


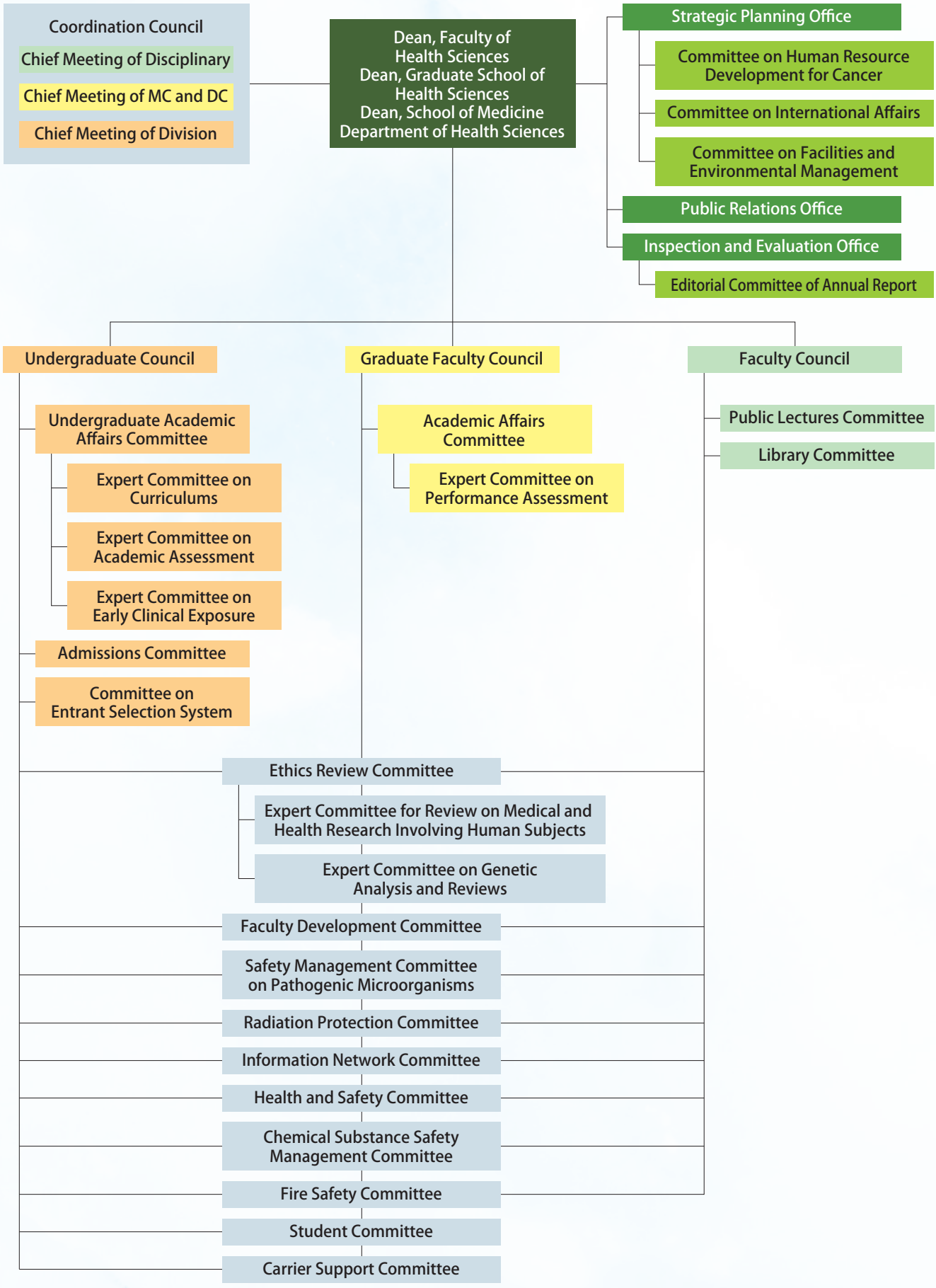
October 1, 2003	Department of Health Sciences was established at the School of Medicine, Hokkaido University.
April 1, 2008	Faculty of Health Sciences and Graduate School of Health Sciences (master course) were established in Hokkaido University.
April 1, 2010	Doctor course was established in the Graduate School of Health Sciences.
October 1, 2011	Health Innovation & Technology Center (HITEC) was established in the Faculty of Health Sciences.
April 1, 2012	Education Research Center for Health Professionals was established in the Faculty of Health Sciences.
March 28, 2014	The Research Building E was completed in the Faculty of Health Sciences.

Organization Chart



管理運営体制


調整会議
分野責任者会議
領域責任者会議
専攻主任会議
保健科学研究院長
保健科学院長
医学部保健学科長
企画戦略室
がんプロ養成専門部会
国際交流専門部会
施設・環境整備専門部会
広　報　室
点検・評価室
年報編集専門部会
医学部保健学科会議
学科教務委員会
カリキュラム専門委員会
成績評価専門委員会
早期臨床体験実習専門委員会
アドミッション実施委員会
入学者選抜制度検討委員会
保健科学院教授会
学院教務委員会
成績評価専門委員会
保健科学研究院教授会
公開講座委員会
図書委員会
倫理審査委員会
保健科学研究院審査専門委員会
遺伝子解析審査専門委員会
FD 委員会
病原性微生物等安全管理委員会
放射線障害予防安全委員会
情報ネットワーク委員会
安全衛生管理委員会
化学物質等安全管理委員会
防火管理委員会
学生委員会
キャリアサポート委員会


Coordination Council
Chief Meeting of Disciplinary
Chief Meeting of MC and DC
Chief Meeting of Division
Dean, Faculty of Health Sciences
Dean, Graduate School of Health Sciences
Dean, School of Medicine
Department of Health Sciences
Strategic Planning Office
Committee on Human Resource Development for Cancer
Committee on International Affairs
Committee on Facilities and Environmental Management
Public Relations Office
Inspection and Evaluation Office
Editorial Committee of Annual Report
Undergraduate Council
Graduate Faculty Council
Faculty Council
Undergraduate Academic Affairs Committee
Expert Committee on Curriculums
Expert Committee on Academic Assessment
Expert Committee on Early Clinical Exposure
Admissions Committee
Committee on Entrant Selection System
Academic Affairs Committee
Expert Committee on Performance Assessment
Public Lectures Committee
Library Committee
Ethics Review Committee
Expert Committee for Review on Medical and Health Research Involving Human Subjects
Expert Committee on Genetic Analysis and Reviews
Faculty Development Committee
Safety Management Committee on Pathogenic Microorganisms
Radiation Protection Committee
Information Network Committee
Health and Safety Committee
Chemical Substance Safety Management Committee
Fire Safety Committee
Student Committee
Carrier Support Committee

役職員　Chief Members of Administration

保健科学研究院長・保健科学院長・保健学科長 Dean/Director	齋　藤　　健 SAITO Takeshi
保健科学研究院副研究院長 Vice-Dean	遠　山　　晴　一 TOHYAMA Harukazu
保健科学院副学院長 Vice-Dean	小笠原　　克　彦 OGASAWARA Katsuhiko
保健科学研究院長補佐 Coadjutor of Dean	恵　　淑　萍 HUI Shu-Ping
保健科学研究院長補佐 Coadjutor of Dean	尾　崎　　倫　孝 OZAKI Michitaka
保健科学院学院長補佐 Coadjutor of Dean	山　口　　博　之 YAMAGUCHI Hiroyuki

歴代医学部保健学科長
Directors, Department of Health Sciences, School of Medicine

松　野　　一　彦 MATSUNO Kazuhiko	平成 15 年 10 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日 October 1, 2003 ～ March 31, 2007
小　林　　清　一 KOBAYASHI Seiichi	平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日 April 1, 2007 ～ March 31, 2012
伊　達　　広　行 DATE Hiroyuki	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日 April 1, 2012 ～ March 31, 2016
齋　藤　　健 SAITO Takeshi	平成 28 年 4 月 1 日 April 1, 2016 ～

歴代大学院保健科学院長
Deans, Graduate School of Health Sciences

小　林　　清　一 KOBAYASHI Seiichi	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日 April 1, 2008 ～ March 31, 2012
伊　達　　広　行 DATE Hiroyuki	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日 April 1, 2012 ～ March 31, 2016
齋　藤　　健 SAITO Takeshi	平成 28 年 4 月 1 日 ～ April 1, 2016 ～

歴代大学院保健科学研究院長
Deans, Faculty of Health Sciences

小　林　　清　一 KOBAYASHI Seiichi	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日 April 1, 2008 ～ March 31, 2012
伊　達　　広　行 DATE Hiroyuki	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日 April 1, 2012 ～ March 31, 2016
齋　藤　　健 SAITO Takeshi	平成 28 年 4 月 1 日 ～ April 1, 2016 ～

下妻　光夫	SHIMOZUMA Mitsuo	平成 18年 4月1日 授与 April 1, 2006
上野　武治	UENO Takeji	平成 19年 4月1日 授与 April 1, 2007
村松　宰	MURAMATSU Tsukasa	平成 19年 4月1日 授与 April 1, 2007
中村　仁志夫	NAKAMURA Nishio	平成 19年 4月1日 授与 April 1, 2007
大宮司　信	DAIGUJI Makoto	平成 20年 4月1日 授与 April 1, 2008
森下　節子	MORISHITA Setsuko	平成 21年 4月1日 授与 April 1, 2009
松野　一彦	MATSUNO Kazuhiko	平成 23年 4月1日 授与 April 1, 2011
清水　匡	SHIMIZU Tadashi	平成 23年 4月1日 授与 April 1, 2011
松下　通明	MATSUSHITA Michiaki	平成 24年 4月1日 授与 April 1, 2012
武田　直樹	TAKEDA Naoki	平成 25年 4月1日 授与 April 1, 2013
福島　順子	FUKUSHIMA Junko	平成 25年 4月1日 授与 April 1, 2013
酒井　正春	SAKAI Masaharu	平成 25年 4月1日 授与 April 1, 2013
宮本　顯二	MIYAMOTO Kenji	平成 26年 4月1日 授与 April 1, 2014
森山　隆則	MORIYAMA Takanori	平成 27年 4月1日 授与 April 1, 2015
小林　清一	KOBAYASHI Seiichi	平成 27年 4月1日 授与 April 1, 2015
八田　達夫	HATTA Tatsuo	平成 28年 4月1日 授与 April 1, 2016
三神　大世	MIKAMI Taisei	平成 29年 4月1日 授与 April 1, 2017
良村　貞子	YOSHIMURA Sadako	平成 29年 4月1日 授与 April 1, 2017
千葉　仁志	CHIBA Hitoshi	平成 30年 4月1日 授与 April 1, 2018
佐伯　和子	SAEKI Kazuko	平成 30年 4月1日 授与 April 1, 2018
山中　正紀	YAMANAKA Masanori	平成 30年 4月1日 授与 April 1, 2018
傳田　健三	DENDA Kenzo	平成 30年 4月1日 授与 April 1, 2018
井上　馨	INOUE Kaoru	平成 31年 4月1日 授与 April 1, 2019
村田　和香	MURATA Waka	平成 31年 4月1日 授与 April 1, 2019

職員数　Number of Staff Members

令和元年５月１日現在　As of May 1, 2019

教　授 Professors	准教授 Associate Professors	講　師 Lecturers	助　教 Assistant Professors	特任教員 Specially Appointed Academic Staff	小　計 Subtotal	事務職員 Administrative Staff	合　計 Total
20	13	6	32	5	76	15	91

臨床指導教員数 Number of Clinical Training Staff

令和元年５月１日現在　As of May 1, 2019

臨床指導教授 Professors	臨床指導准教授 Associate Professors	臨床指導講師 Lecturers	合　計 Total
8	12	34	54

大学･部局間協定 Departmental Agreement

大学・部局名 Counterparts	締結年月日 Concluded	協定内容 Exchange Contents
小樽商科大学大学院商学研究科 Graduate School of Commerce, Otaru University of Commerce	平成20年8月1日 August 1, 2008	「大学院連携によるMBA特別コース」に関する協定 Agreement on a special MBA course based on cooperation between both graduate schools
放射線医学総合研究所 National Institute of Radiological Sciences	平成24年12月1日 December 1, 2012	大学院連携に関する協定 Agreement for graduate school cooperation
ディポネゴロ大学医学部Dr. カリアディ病院 Faculty of Medicine Diponegoro University Dr. Kariadi Hospital	平成24年12月4日 December 4, 2012	国際学術交流に関する協定 Agreement for international academic exchanges
台北医学大学医学部, 看護学部, 公衆衛生・栄養学部, 医療技術学部 College of Medicine, College of Nursing, College of Public Health and Nutrition, College of Medical Science and Technology, Taipei Medical University	平成24年12月21日 December 21, 2012	国際学術交流に関する協定 Agreement for international academic exchanges
チュラロンコン大学医学部 Faculty of Medicine, Chulalongkorn University	平成27年6月3日 June 3, 2015	国際学術交流に関する協定 Agreement for international academic exchanges
高雄医学大学健康科学院 College of Health Sciences, Kaohsiung Medical University	平成27年6月10日 June 10, 2015	国際学術交流に関する協定 Agreement for international academic exchanges
台北医学大学 Taipei Medical University	平成27年8月28日 August 28, 2015	国際学術交流に関する協定 Agreement for international academic exchanges
カルフォルニア大学デービス校 The College of Agricultural and Environmental Sciences, the University of California, DAVIS	平成28年6月19日 June 19, 2016	国際学術交流に関する協定 Working Agreement for Faculty and Student Mobility
地球環境学研究所 Research Institute for Humanity and Nature	平成28年8月1日 August 1, 2016	学術交流・協力に関する基本協定 Basic Agreement on Academic Exchange and Collaboration
札幌市 City of Sapporo	平成28年12月15日 December 15, 2016	福祉避難場所等への学生等ボランティアの派遣協力に関する協定 Agreement on Dispatch of Students and Other Volunteers to Welfare Evacuation Sites
岩見沢市 City of Iwamizawa	平成29年5月31日 May 31, 2017	健康づくり等に関する連携協定 Agreement on Collaboration for Health Promotion

大学・部局名 Counterparts	締結年月日 Concluded	協定内容 Exchange Contents
チュラロンコン大学総合保健科学部 The Faculty of Allied Health Sciences, Chulalongkorn University	平成30年8月9日 August 9, 2018	国際学術交流に関する協定 Agreement for international academic exchanges
札幌市北区 Kita Ward Office, City of Sapporo	平成30年11月20日 Novemver 20, 2018	健康なまちづくりに関する地域連携協定 Partnership Agreement on Collaboration for Healthy Community
香港大学看護学部 University of Hong Kong School of Nursing	平成31年1月24日 January 24, 2019	国際学術交流に関する協定 Agreement for international academic exchanges
室蘭市 City of Muroran	平成31年2月7日 February 7, 2019	健康づくりに関する連携協定 Agreement on Collaboration for Health Promotion

Number of Students Enrolled　在学生数

医学部保健学科　Department of Health Sciences, School of Medicine
令和元年５月１日現在　As of May 1, 2019

区　分 Category	1年 1st year		2年 2nd year		3年 3rd year		4年 4th year		計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
看護学専攻	—	—	6	66	10	65	5	70	21	201
Division of Nursing	—		72 (70)		75 (70)		75 (70)		222 (210)	
放射線技術科学専攻	—	—	26	13	29	8	20	15	75	36
Division of Radiological Technology	—		39 (37)		37 (37)		35 (37)		111 (111)	
検査技術科学専攻	—	—	14	25	14	27	15	20	43	72
Division of Medical Technology	—		39 (37)		41 (37)		35 (37)		115 (111)	
理学療法学専攻	—	—	10	8	10	11	10	7	30	26
Division of Physical Therapy	—		18 (18)		21 (18)		17 (18)		56 (54)	
作業療法学専攻	—	—	7	10	5	13	5	8	17	31
Division of Occupational Therapy	—		17 (18)		18 (18)		13 (18)		48 (54)	
合　計 Total	—	—	63	122	68	124	55	120	186	366
	—		185 (180)		192 (180)		175 (180)		552 (540)	

＊(　　)内は定員数
＊Figures in parentheses indicate the prescribed number of students.
＊総合入試制度の導入により，1年生は総合教育部に所属します。
＊With the introduction of a new entrance examination system, freshmen belong to the First Year Education Division.

大学院保健科学院　Graduate School of Health Sciences
令和元年5月1日現在　As of May 1, 2019

区　分 Category		1年 1st year		2年 2nd year		計 Total	
		男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
修士課程保健科学コース　Master Course of Health Sciences							
	生体量子科学科目群 Biomedical Science and Engineering	3	2	4	4	7	6
		5		8		13	
	生体情報科学科目群 Medical Laboratory Science	6	4	4	2	10	6
		10		6		16	
	リハビリテーション科学科目群 Rehabilitation	6	9	7	7	13	16
		15		14		29	
	健康科学科目群 Health Research Studies	5	9	5	3	10	12
		14		8		22	
修士課程看護学コース　Master Course of Nursing							
	看護学科目群 Nursing Science	1	2	1	4	2	6
		3		5		8	
	公衆衛生看護学科目群 Advanced Public health Nursing	1	5	1	5	2	10
		6		6		12	
	助産学科目群 Advanced Midwifery	0	3	0	5	0	8
		3		5		8	
	高度実践看護学科目群 Advanced Practice Nursing	1	1	0	0	1	1
		2		0		2	
合　計 Total		23	35	22	30	45	65
		58 (40)		52 (40)		110 (80)	

区　分 Category		1年 1st year		2年 2nd year		3年 3rd year		計 Total	
		男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
博士後期課程保健科学コース　Doctor Course of Health Sciences									
	先進医療科学科目群 Advanced Medical Sciences	1	0	1	0	1	0	3	0
		1		1		1		3	
	総合健康科学科目群 Comprehensive Health Sciences	6	1	5	0	10	6	21	7
		7		5		16		28	
博士後期課程看護学コース　Doctor Course of Nursing									
	看護科学科目群 Nursing Science	2	4	0	2	0	5	2	11
		6		2		5		13	
合　計 Total		9	5	6	2	11	11	26	18
		14 (10)		8 (10)		22 (8)		44 (28)	

＊(　　)内は定員数

＊Figures in parentheses indicate the prescribed number of students.

大学院保健科学研究院
Research Students in Faculty of Health Sciences
令和元年５月１日現在　As of May 1, 2019

区　分 Category	男 Male	女 Female
研究生 Research Student	5	7
合　計 Total	12	

外国人留学生　Number of International Students
令和元年５月１日現在　As of May 1, 2019

区　分 Category	国費留学生 Government		外国政府派遣留学生 Foreign Government		私費留学生 Private		計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
学部生 Undergraduate	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院生 Postgraduate	0	2	0	0	5	17	5	19
研究生 Research Student	0	0	0	0	3	6	3	6
合　計 Total	2		0		31		33	

進路状況 Career after Graduation

医学部保健学科 Department of Health Sciences, School of Medicine

平成 31 年 3 月 31 日現在 As of March 31, 2019

区 分 Category	卒業者数 Number of Graduates	平成30年度卒業者の進路別内訳 Career Options (2018 Graduates)								
		進学者数 Admission to Grad School	就職者 Employment							その他 Other
			研究職 Research Staff	保健師 助産師 看護師 PHN(*) Midwife Nurse	医療技術者 (*) RT, MT, PT, OT	その他の 医療専門職 Other Health Professionals	事務職 Office Staff	その他 Other	計 Total	
男 Male	52	22	0	3	18	0	0	2	23	7
女 Female	127	43	0	44	34	0	0	1	79	5
計 Total	179	65	0	47	52	0	0	3	102	12

大学院保健科学院修士課程 Graduate School of Health Sciences(Master Course)

平成 31 年 3 月 31 日現在 As of March 31, 2019

区 分 Category	卒業者数 Number of Graduates	平成30年度卒業者の進路別内訳 Career Options (2018 Graduates)								
		進学者数 Admission to Grad School	就職者 Employment							その他 Other
			教 員 Academic Staff		保健師 助産師 看護師 PHN(*) Midwife Nurse	医療技術者 (*) RT, MT, PT, OT	事務職 Office Staff	その他 Other	計 Total	
			大 学 College/Univ.	その他 Other						
男 Male	29	7	0	0	3	13	0	5	21	1
女 Female	21	4	0	1	8	5	0	2	16	1
計 Total	50	11	0	1	11	18	0	7	37	2

大学院保健科学院博士後期課程　Graduate School of Health Sciences(Doctor Course)
平成 31 年 3 月 31 日現在　As of March 31, 2019

区　分 Category	修了者数 Number of Graduates	単位修得退学者数 Number of Ph.D. requirements completed	平成30年度修了者等の進路別内訳　Career Options (2018 Graduates/other)					
			就職者　Employment					その他 Other
			教　員 Academic Staff		医療技術者 (*) RT, MT, PT, OT	研究員 その他 Researcher Other	計 Total	
			大　学 College/Univ.	その他 Other				
男 Male	2	3	3	0	0	1	4	0
女 Female	1	2	0	1	0	0	1	3
計 Total	3	5	3	1	0	1	5	3

*PHN：保健師　Public Health Nurse
R　T：診療放射線技師　Radiological Technologist
M T：臨床検査技師　Medical Technologist
P　T：理学療法士　Physical Therapist
O　T：作業療法士　Occupational Therapist

地域別就職者数 Regional Grouping

医学部保健学科
Department of Health Sciences, School of Medicine

平成 31 年 3 月 31 日現在　As of March 31, 2019

区　分 Category		男 Male	女 Female	計 Total
北海道 Hokkaido	札幌市 Sapporo	8	52	60
	札幌市以外 exe.Sapporo	9	8	17
東北 Tohoku	青森県 Aomori	0	1	1
	岩手県 Iwate	0	1	1
関東 Kanto	茨城県 Ibaraki	0	1	1
	栃木県 Tochigi	1	0	1
	埼玉県 Saitama	0	1	1
	千葉県 Chiba	0	2	2
	東京都 Tokyo	3	8	11
	神奈川県 Kanagawa	1	0	1
北陸 Hokuriku	新潟県 Niigata	0	1	1
中部 Chubu	静岡県 Shizuoka	0	1	1
近畿 Kinki	和歌山県 Wakayama	0	1	1
四国 Shikoku	徳島県 Tokushima	0	1	1
九州 Kyushu	熊本県 Kumamoto	0	1	1
計 Total		22	79	101

大学院保健科学院
Graduate School of Health Sciences

平成 31 年 3 月 31 日現在　As of March 31, 2019

区　分 Category		男 Male	女 Female	計 Total
北海道 Hokkaido	札幌市 Sapporo	12	5	17
	札幌市以外 exe.Sapporo	3	3	6
関東 Kanto	茨城県 Ibaraki	0	1	1
	栃木県 Tochigi	1	1	2
	千葉県 Chiba	1	0	1
	東京都 Tokyo	2	3	5
	神奈川県 Kanagawa	1	2	3
中部 Chubu	長野県 Nagano	0	1	1
	愛知県 Aichi	1	1	2
近畿 Kinki	三重県 Mie	0	1	1
	京都府 Kyoto	0	2	2
	大阪府 Osaka	1	0	1
海外 Overseas		1	0	1
その他 Others		2	0	2
計 Total		25	20	45

Library 図　書

蔵書数　Library Holdings

平成 31 年 4 月 1 日現在　As of April 1, 2019

蔵書冊数 Number of Books			所蔵雑誌種類 Periodicals (Number of Series)		
和書 Japanese	洋書 Foreign	総数 Total	和書 Japanese	洋書 Foreign	総数 Total
29,734	4,028	33,762	812	135	947

利用統計（平成 30 年度）　Statistics of Utilization (2018)

入室者数 Visitors	32,459名			
開室日数 Days Open	239日			
館外貸出総数 Total Number of Books and Journals Borrowed from the Library	3,088冊			
図書館間相互利用依頼 Request of Interlibrary Loans	複写 Copy	407件	貸借 Loan	4冊
図書館間相互利用受付 Acceptance of Interlibrary Loans	複写 Copy	169件	貸借 Loan	6冊

Land and Buildings 土地・建物面積

土地面積 Land	11,763㎡

建物名称 Name of Building	建築面積 Building Area	建物面積 Total Floor Space	階数 Number of Floors
A棟	976㎡	2,653㎡	3
B棟	450㎡	900㎡	2
C棟	340㎡	2,102㎡	6
D棟	759㎡	4,550㎡	6
E棟	760㎡	3,744㎡	5
合計 Total	3,285㎡	13,949㎡	

［交通案内］

JRご利用の場合
札幌駅下車、徒歩7分で「正門」到着

地下鉄南北線・東豊線ご利用の場合
さっぽろ駅下車、徒歩10分で「正門」到着

地下鉄南北線ご利用の場合
北12条駅下車、徒歩4分で「北13条門」到着
北18条駅下車、徒歩7分で「北18条門」到着

◇学部と同じ建物の大学院は名称を省略している
◇〔 〕は他機関の建物を示す

University Organization

1. Administration Bureau
2. Front Office for Human Resource Education and Development
3. Hokkaido University Hospital
4. Dental Clinical Division of Hokkaido University Hospital
5. Institute for International Collaboration
6. Center for International Education and Research
7. Admission Center
8. Institute for the Advancement of Higher Education

Graduate Schools, Faculties and Schools

1. Graduate School of Letters
2. Graduate School of Law
3. Graduate School of Economics and Business
4. Graduate School of Education
5. Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies
6. Graduate School of Public Policy
7. Graduate School of Medicine
8. Graduate School of Biomedical Science and Engineering
9. Graduate School of Dental Medicine
10. Graduate School of Veterinary Medicine
11. Graduate School of Infectious Diseases
12. Graduate School of Health Sciences
13. Graduate School of Information Science and Technology
14. Graduate School of Environmental Science
15. Graduate School of Science
16. Graduate School of Agriculture
17. Graduate School of Global Food Resources
18. Graduate School of Life Science
19. Graduate School of Engineering
20. Graduate School of Chemical Sciences and Engineering
21. Faculty of Pharmaceutical Sciences
22. Faculty of Advanced Life Science

Note: The Graduate School of Fisheries Sciences is located at Hakodate Campus

Research Institutes & Centers

1. Center for Ainu & Indigenous Studies
2. Hokkaido University Press
3. Hokkaido University Archives
4. Slavic-Eurasian Research Center
5. Center for Experimental Research in Social Sciences
6. Information Initiative Center North/South Bldgs.
7. Archaeological Research Center
8. Center for Environmental and Health Sciences
9. Field Science Center for Northern Biosphere
10. Research Center for Integrated Quantum Electronics
11. Proton Beam Therapy Center
12. Research and Education Center for Brain Science
13. Institute for Genetic Medicine
14. Central Institute of Isotope Science
15. Frontier Research in Applied Sciences Bldg.
16. Environmental Preservation Center
17. Center for Language Learning
18. Center for Advanced Tourism Studies
19. The Open University of Japan; Hokkaido Study Center
20. Health Care Center

Research Institutes / Centers (North Campus Area)

1. Creative Research Institution (CRIS)
2. Center for Innovation and Business Promotion, Institute for the Promotion of Business-Regional Collaboration
3. Hokkaido Collaboration Center
4. Center for Food & Medical Innovataion, Institute for the Promotion of Business-Regional Collaboration
5. Shionogi Innovation Center for Drug Discovery
6. Platform for Research on Biofunctional Molecules (PRBM)
7. Frontier Research Center for Advanced Material and Life Science
8. Arctic Research Center
9. Catalysis Research Center
10. Research Institute for Electronic Science
11. Green Nanotechnology Research Center
12. Research Center for Zoonosis Control
13. Institute of Low Temperature Science
14. Veterinary Teaching Hospital

Facilities

1. Conference Hall
2. Clark Memorial Student Center
3. Career Center
4. Centennial Hall
5. Furukawa Hall
6. Humanities and Social Sciences Classroom Building
7. "Kodomo No Sono" Child Care Center
8. Faculty House Trillium
9. Experiment Farm
10. Student Services
11. Multimedia Education Building
12. Gym
13. Enyu Gakusha Community Hall
14. Sports Training Center
15. "Tomoni" Child Care Center

Libraries

1. Central Library
2. North Library

Dorms

1. Hokkaido University International House Kita 8 (Kita 8 Nishi 11)
2. Keiteki-Ryo Student Dormitory (Kita 18 Nishi 13)
3. Hokkaido University International House Kita 23 (Kita 23 Nishi 13)
4. Foreign Scholars' Accommodation (Kita 24 Nishi 12)

Tourist Spots

1. Sakushukotoni River
2. Central Lawn
3. Bust of Dr. William S. Clark
4. Elm Grove
5. Former School of Agriculture Library
6. The Hokkaido University Museum
7. Birthplace of the First Artificial Snow Crystal
8. Ono Pond
9. Monument in Honor of Dr. Inazo Nitobe
10. Flowering Tree Garden
11. Poplar Avenue
12. Gingko Avenue
13. Heisei Poplar Avenue
14. Site of Old Village
15. The Second Farm (Model Barn)
16. Botanic Garden

Cafeterias / Restaurants / Stores

1. Information Center "Elm Forest Shop"
1. Hokkaido University (HU) Co-op
2. Clark Cafeteria
3. Chuo Cafeteria, HU Co-op
4. Restaurant Elm
5. Restaurant Royal
6. Hokubu Cafeteria, HU Co-op
7. Restaurant Poplar
8. Hokudai Marche Café & Labo

北海道大学

大学院保健科学研究院
大学院保健科学院
医学部保健学科

〒060-0812　札幌市北区北12条西5丁目
電 話 011-706-3315（庶務担当）
FAX 011-706-4916（庶務担当）
URL https://www.hs.hokudai.ac.jp

Faculty of Health Sciences, Graduate School of Health Sciences
Department of Health Sciences, School of Medicine
Hokkaido University
North 12, West 5, Kita-ku, Sapporo, 060-0812, Japan

Phone +81-11-706-3315
Fax +81-11-706-4916
URL https://www.hs.hokudai.ac.jp/

函館高専が北大医学部と連携したプログラム実施

2019年10月4日 3時00分　函館市

覚書に署名して握手を交わす但野校長（右）と齋藤院長

函館高専（但野茂校長）は１日、保健科学と工学の知識を併せ持つ人材養成プログラムの実施に向けて、北大医学部と北大大学院保健科学研究院の２者と覚書を締結した。高専と医学部が連携した教育プログラムは全国初で、２０２１年度から函館高専専攻科生を対象に実施を目指す。

同プログラムは、函館高専の本科（５年課程）を卒業後に専攻科（２年課程）に進んだ学生が、北大医学部保健学科に３年次編入し、疾病予防やリハビリテーションなどの保健科学に関する知識を習得する。定員は年２人程度を予定しており、修了後は北大から学位が与えられる。

同日、函館高専で調印式が行われ、但野校長と同研究院の齋藤健院長が覚書に署名した。但野校長は「５年間の一貫した工学教育で専門的な知識を身に付けた学生を新たな領域で活躍できる人材に育てていくことが大きな使命」とし、「人生１００年時代を迎える中、保健分野の技術者養成は近々の課題だと感じている。わが国の産業を支える人材を育てていきたい」と語った。

齋藤院長は「高齢化社会を迎え、本プログラムを修了した学生は社会のニーズが非常に高いと思われる。ヘルスケアエンジニアのリーダーとして世界を引っ張っていく人材になることを期待する」と述べた。（金子真人）

資料保72

保健学科公開講座「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」
参加者数集計（H28～R1）

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
男	38	48	59	40
女	28	27	29	22
計	66	75	88	62

資料保73

保健学科オープンキャンパス参加者数集計（H28～R1年度）

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
札幌市内	323	424	389	340
市外道内	282	409	494	469
その他	134	167	209	219
不明	2	26	3	6
計	741	1,026	1,095	1,034